香南市地域公共交通計画

令和4年3月

（令和8年5月最終改訂）

香南市

香南市地域公共交通計画

令和4年3月

第1版（令和5年5月改訂）

第2版（令和8年5月改訂）

目　次

はじめに……1
(1)計画策定の目的……1
(2)計画の位置づけ……2
(3)計画の区域……3
(4)計画の期間……4
(5)本計画書の構成……4
1　香南市の現状……5
(1)位置及び地勢……5
(2)人口……6
(3)道路・交通……11
(4)自動車保有台数および運転免許返納状況……13
(5)地域内の主要施設……15
(6)観光入込客数の動向……18
2　上位・関連計画……19
(1)高知県東部広域地域公共交通網形成計画……19
(2)第2次香南市振興計画……20
(3)第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略……20
(4)香南市都市計画マスタープラン……21
(5)香南市自転車活用推進計画……23
(6)香南市高齢者福祉計画第8期介護保険事業計画……23
(7)香南市第6期障害者福祉計画・第2期障害児童福祉計画……24
(8)上位・関連計画での位置づけのまとめ……24
(9)地域公共交通活性化再生法の改正……25
3　地域公共交通の現状……26
(1)市内公共交通機関……26
(2)鉄道……27
(3)路線バス……29
(4)市営バス……31
(5)タクシー……41
(6)その他移動支援……42
(7)地域公共交通に及ぼす新型コロナウイルス感染症の影響……44
(8)公共交通空白地域……45
(9)公共交通の財政負担……46

4　地域住民や公共交通利用者の移動ニーズ……47
(1)調査概要……47
(2)市民アンケート調査……48
(3)公共交通利用者調査……68
(4)集客施設利用者調査……83
(5)目的地となり得る事業所等調査……84
(6)交通事業者ヒアリング・アンケート調査……85
(7)関連事業者アンケート調査……86
(8)住民意見交換会……87
5　地域公共交通に関する課題……91
6　香南市地域公共交通の基本方針……95
(1)香南市地域公共交通の方向性……95
(2)基本方針……96
(3)望ましい公共交通ネットワークのあり方……98
7　計画の目標と評価指標……103
8　目標達成に向けた具体的な施策……107
(1)施策および具体事業……107
(2)具体事業……109
基本方針1　生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成……109
基本方針2　利用しやすく使いたくなるような交通環境づくり……115
基本方針3　公共交通の利用促進と情報発信の強化……119
基本方針4　多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通……124
(3)具体事業と実施時期一覧……128
(4)地域公共交通特定事業(地域公共交通利便増進事業)の導入について……128
9　計画の評価と進捗管理……131
(1)計画の実施及び進捗管理の体制……131
(2)PDCA サイクルの実行……132
(3)評価方法及びスケジュール……132
参考資料……133
(1)香南市地域公共交通会議　委員名簿……133
(2)香南市地域公共交通会議　開催状況……134

はじめに

(1)計画策定の目的

○地域の暮らしと産業を支え、豊かで暮らしやすい地域づくりや、個性・活力のある地域の振興を図る上で「移動」は欠かせない存在である。しかしながら、近年の人口減少の本格化、運転手不足の深刻化、公共交通を確保・維持するための公的負担の増加等により、公共交通の維持は容易ではなくなってきている。

○地域における移動手段の維持・確保は、交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光振興、更には健康、福祉、教育、環境等の様々な分野で大きな効果をもたらす。地域公共交通を確保・維持することは、地域社会全体の価値を高めることに直結するため、地域の総合行政を担う地方公共団体が中心となって、地域戦略の一環として取り組んでいくことが重要である。

○現在、香南市内を走る主な公共交通は、市営バス(スクールバス)、民間バスの高知東部交通(株)、タクシー事業者3者及び民間鉄道の土佐くろしお鉄道(株)が運行している。

○地域の公共交通である市営バスは、平成 19 年に旧香我美町と旧夜須町の町営バスを再編成するかたちで運行を開始し、3年に1度の頻度で、利便性や運行効率の向上を目的とした路線やダイヤの見直しを実施しながら運行を行ってきた。しかしながら、高齢者や免許返納者、学生や障害を持つ方など、「自ら移動手段を持たない方」の多様な移動ニーズが高くなっているなかで、市営バスだけではカバーしきれない部分があることや、今後の財政負担の増加や交通事業者の運転手不足など、運行を継続していくための課題も多く、現状の地域公共交通の在り方そのものについて考える時期となっている。

○本市でも「暮らしの安心と豊かなまちづくりを支える地域公共交通～みんなで支え未来へつなぐ香南市の地域公共交通～」を基本理念として掲げ、これを今後6年間で実現していくために、基本方針や事業の方向性、および具体的な事業と実施主体等についてとりまとめた「香南市地域公共交通計画」を策定する。

【地域公共交通計画とは】

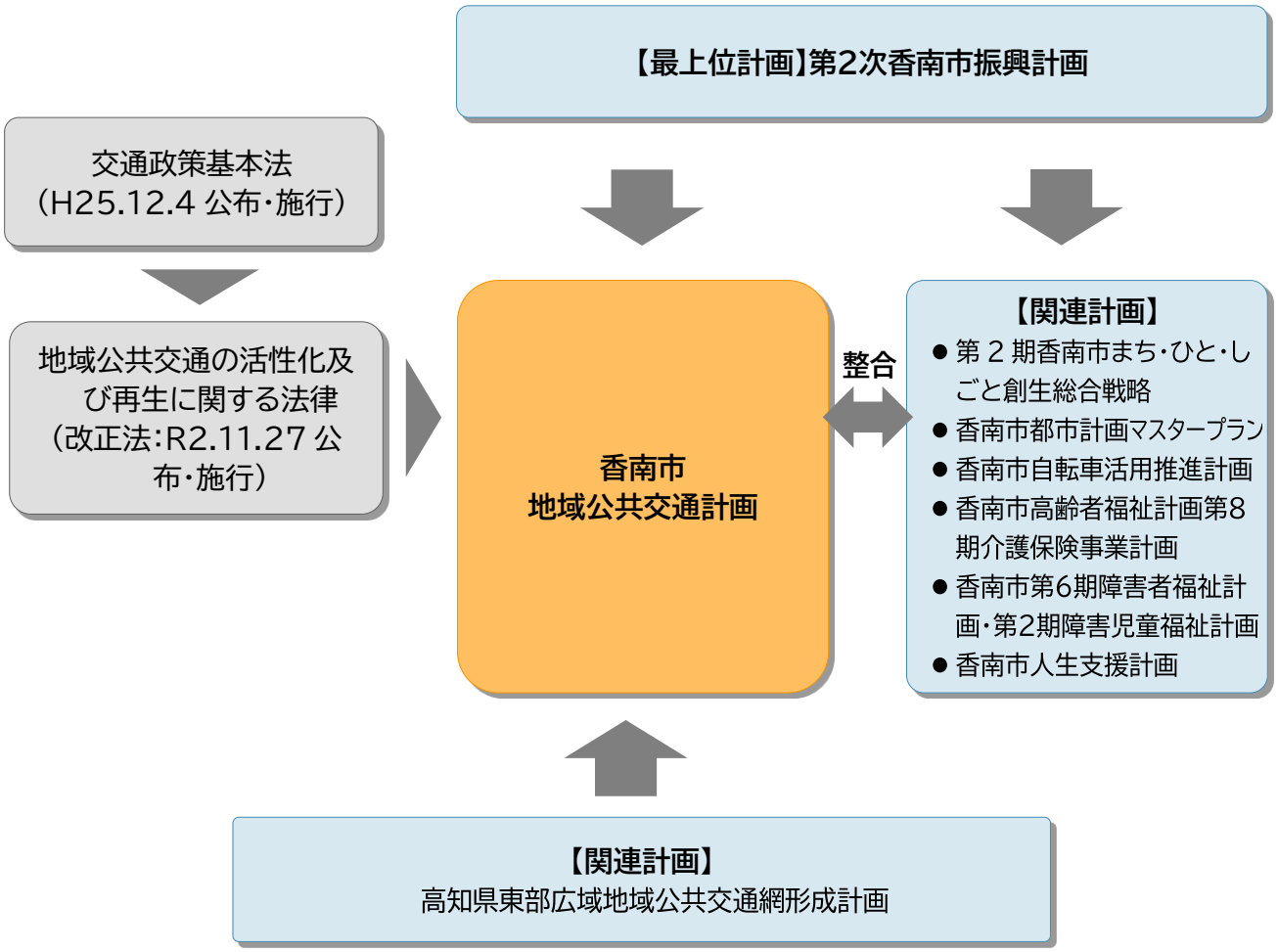
○地域公共交通計画は、地域の移動手段を確保するために、住民などの移動ニーズにきめ細かく対応できる立場にある地方公共団体が中心となって、交通事業者や住民などの地域の関係者と協議しながら作成するマスタープラン(ビジョン+事業体系を記載するもの)となる計画であり、また、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする役割を果たすものになる。

○地域公共交通計画においては、従来の鉄道やバス、タクシーといった既存の公共交通サービスを最大限活用した上で、必要に応じて自家用有償旅客運送やスクールバス、福祉輸送、病院・商業施設・企業などの既存の民間事業者による送迎サービス、物流サービス等の地域の多様な輸送資源についても最大限活用する取組みを盛り込むことで、持続可能な地域旅客運送サービスの提供を確保することを求めている。

（2）計画の位置づけ

○本計画は、最上位計画である、「第2次香南市振興計画」に即し、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「香南市都市計画マスタープラン」などとの整合を図り、また、「交通政策基本法」や「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に留意し、総合的なまちづくりの一環として公共交通に係る事項を位置づける計画とする。

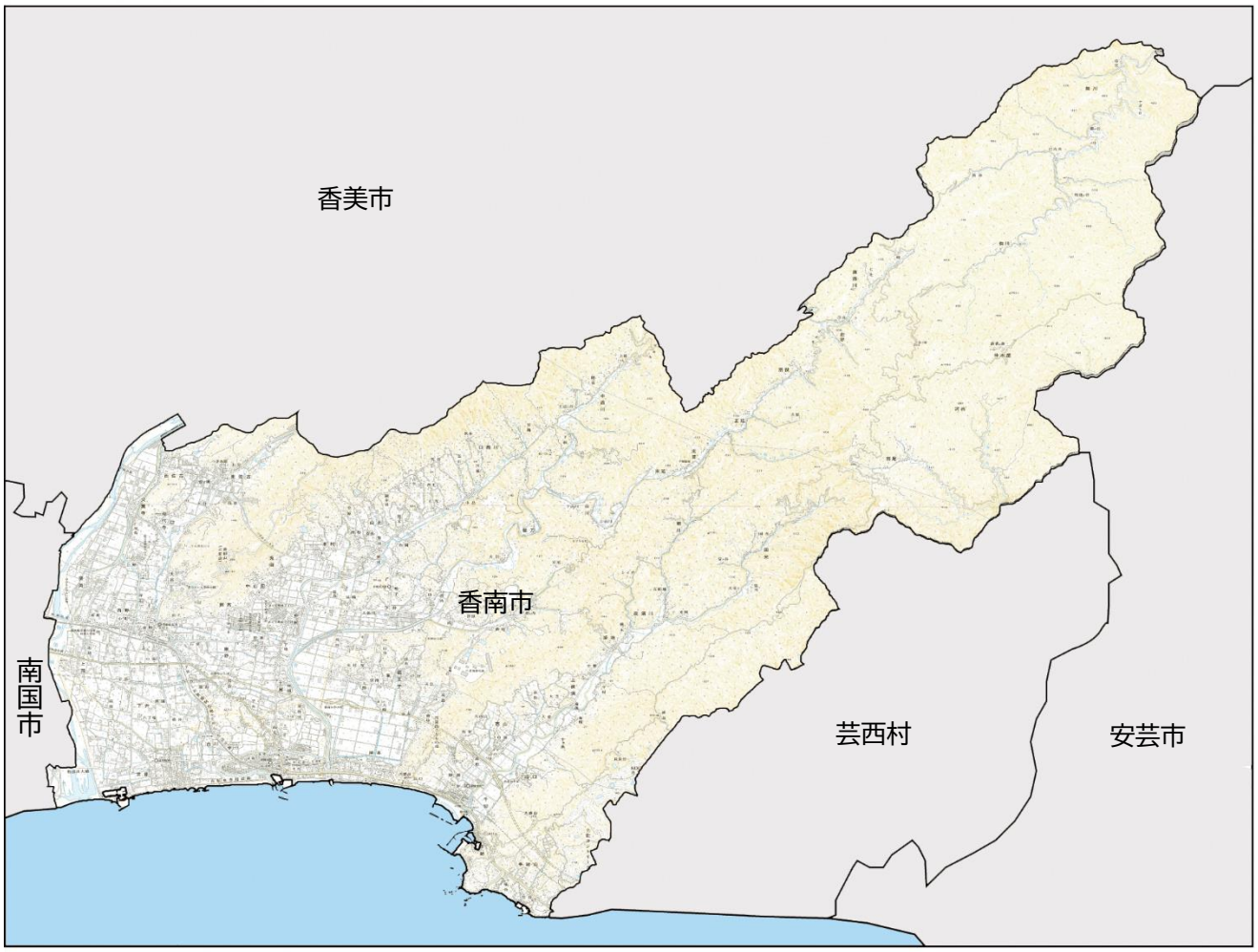
■ 計画の位置づけ



(3)計画の区域

○計画区域は香南市全域とする。香南市内全域を対象とするが、日常的な交通行動は市域をまたがっているため、香南市の周辺自治体も考慮した内容とする。

■ 香南市区域



(4)計画の期間

○市営バスの見直し※を 3 年毎に実施しており、2026 年の見直しおよび 2027 年での検証を踏まえ計画を改定することを考慮し、計画期間は 2022 年から 2027 年度までの6年間とする。

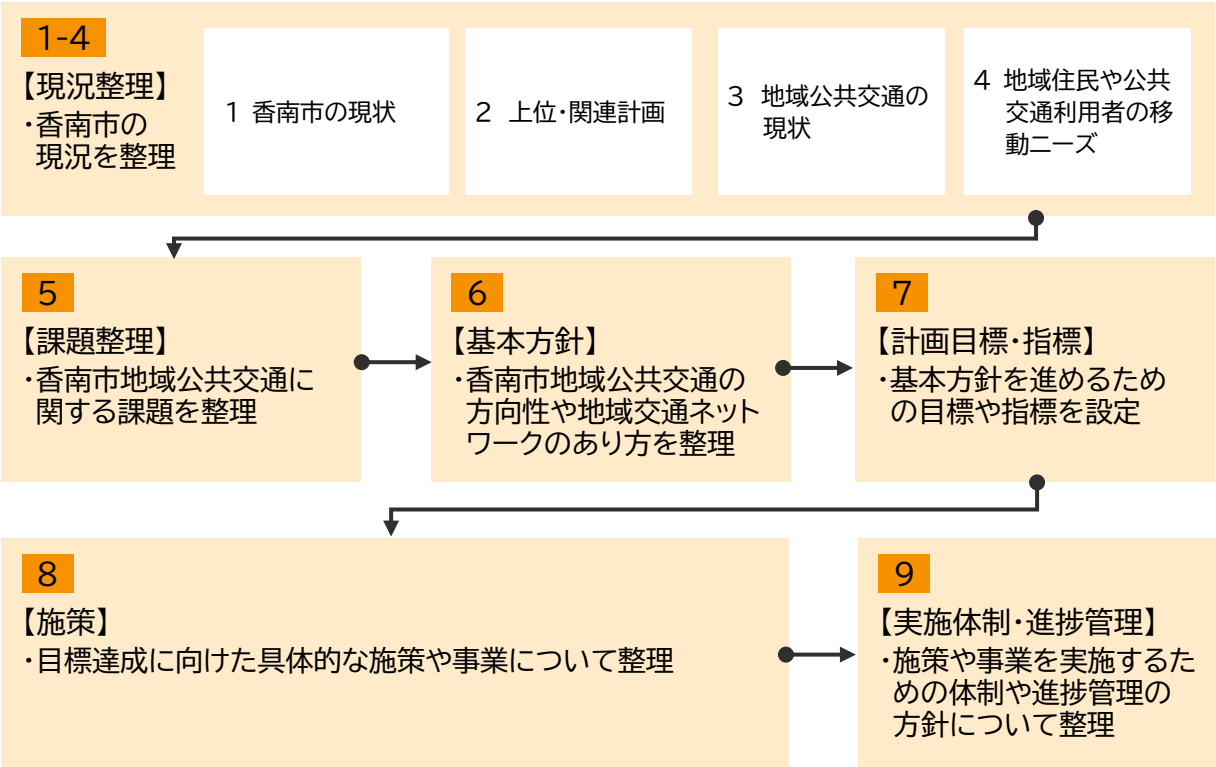
	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)
第2次香南市振興計画	2026 年度まで						
第2次香南市振興計画 後期基本計画	策定	後期基本計画					
香南市営バス見直し※			見直し			見直し →	検証
香南市地域公共交通計画	策定	6年間(2027 年まで)					

※市営バスは 3 年毎に利用者や地区住民の要望、利用状況に応じた運行の実現と利便性及び運行効率の向上を目指して、路線とダイヤの見直しを行っている。

(5)本計画書の構成

○本計画は、1～9で構成している。1～4 では本市の地域公共交通を取り巻く現状や上位・関連計画等をそれぞれ整理し、5 でそれらの課題を整理している。6 において将来の目指すべき地域公共交通の姿として、基本方針やそのあり方を示すとともに、7 で将来像を実現するための計画目標や指標を設定している。これらを踏まえ、8 では今後 6 年間の計画期間における地域公共交通に関する施策や事業の内容とスケジュールを示している。9 では、それぞれの施策や事業が効果的に実施されるように、計画全体として実施体制や進捗管理の方法について示している。

■ 計画書の構成

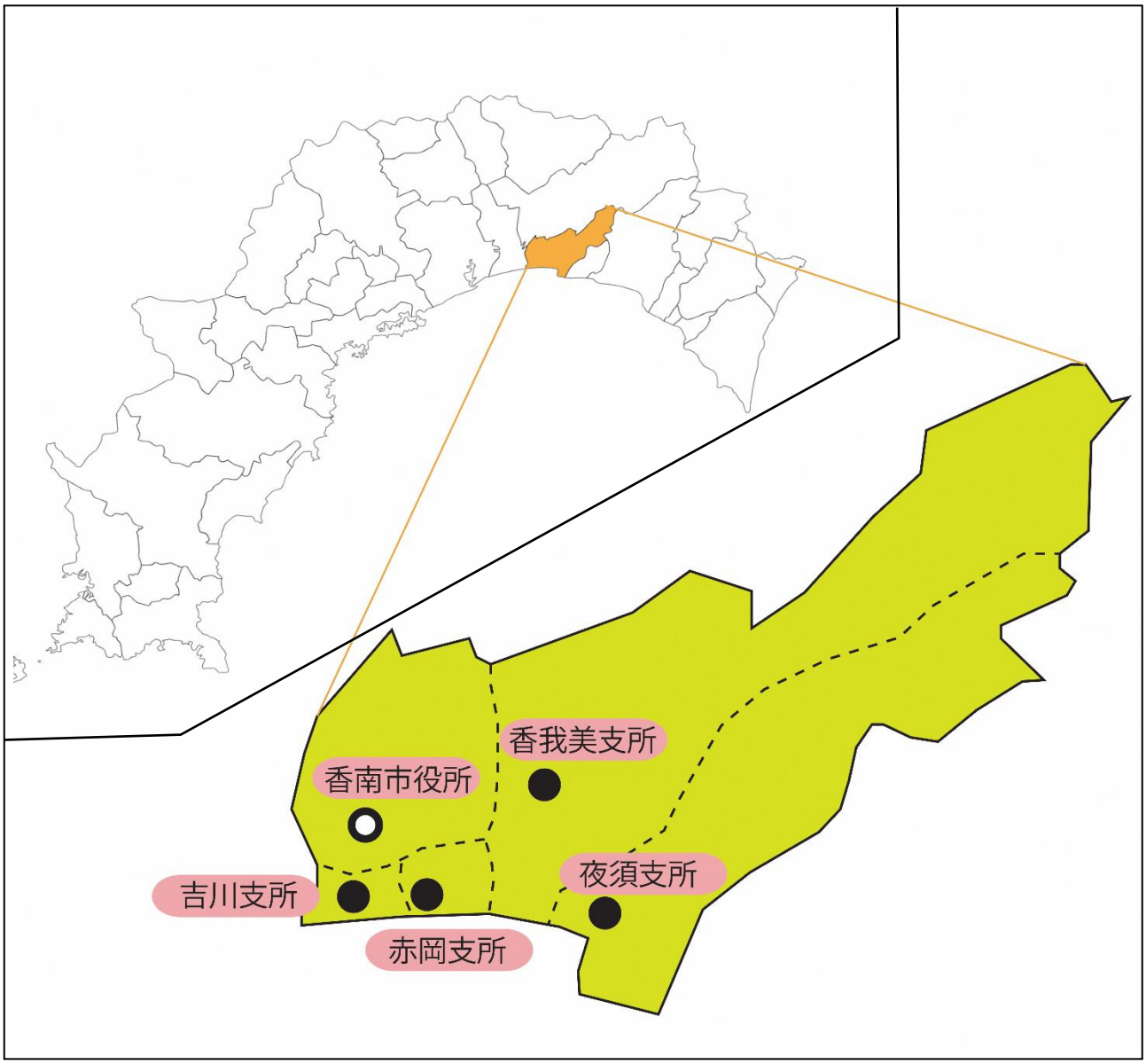


1　香南市の現状

(1)位置及び地勢

○香南市は、平成 18 年 3 月 1 日に、高知県の香南5町村(赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村)が合併して誕生した。
○県都高知市の東部約 17km に位置し、市域の東西は約 20km、南北は約 15km の広さを持ち、面積 126.46 ㎢のまちである。
○高知市中心部や高知龍馬空港に近く、広域的立地条件に恵まれている。
○南部は土佐湾に面する海岸部と肥沃な平野が広がり、北部は四国山地の一部を構成し、里山環境が広がっている。また、物部川などの多数の河川が流れており、豊かな水と緑に包まれている。
○気候は、南海型の気候区分に属し、温暖な気候に加え、年間降水量は、県内でも少ない地域となっている。

■　香南市の位置



(2)人口

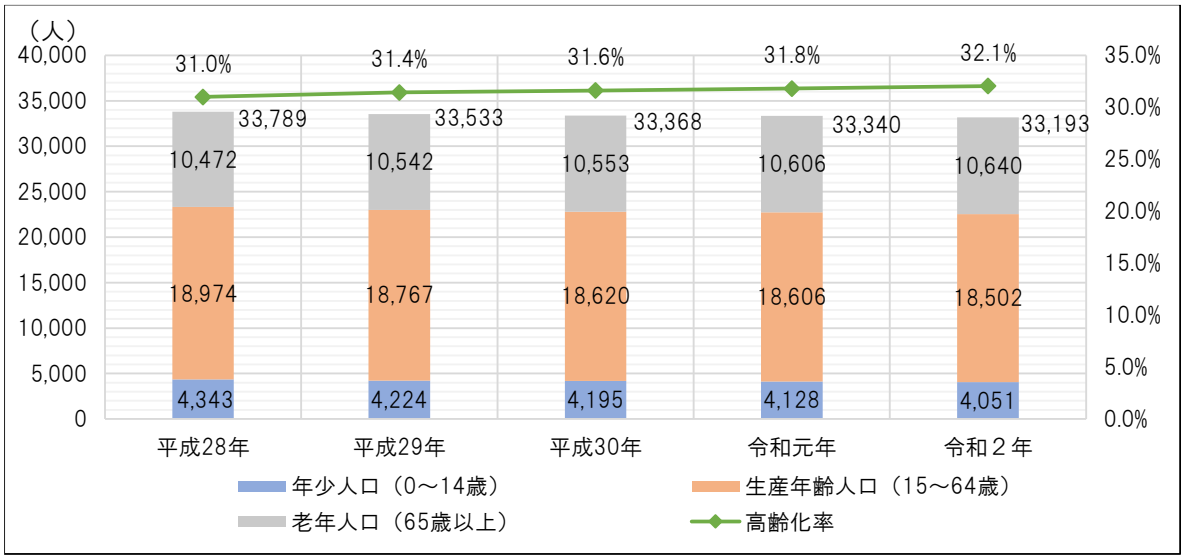
① 人口・高齢化率の推移

○総人口は平成 28 年の 33,789 人から緩やかに減少しており、令和 2 年で 33,193 人となっている。

○年少人口および生産年齢人口は、総人口と同様緩やかな減少傾向となっている。一方で、老年人口は増加傾向となっており、高齢化率は令和 2 年で 32.1%となっている。

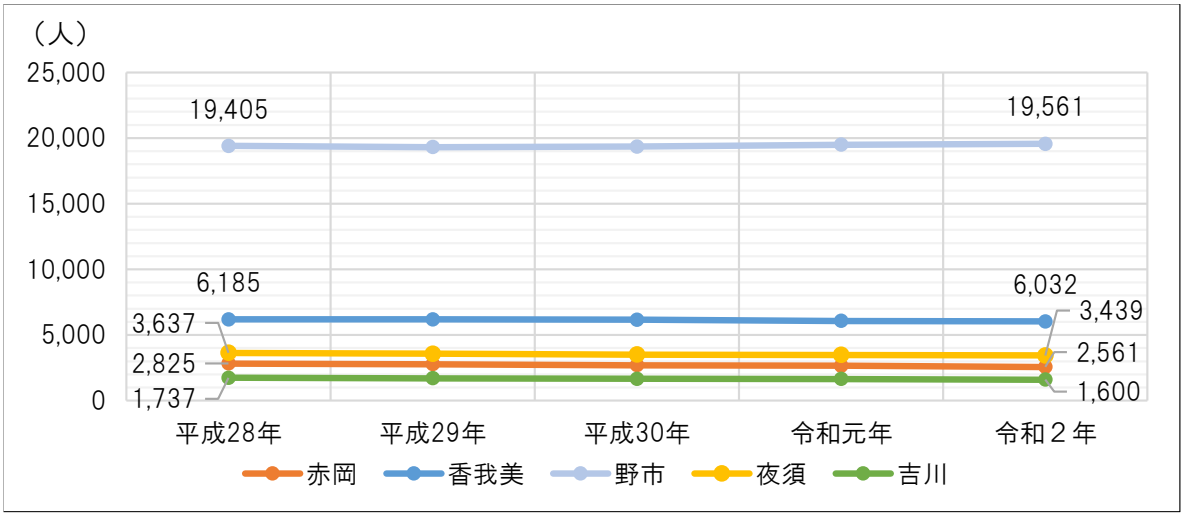
○地区別人口の推移をみると、野市町では平成 28 年の 19,405人から令和 2 年では 19,561 人と 156人増加している。一方で香我美町、赤岡町、夜須町、吉川町は減少傾向となっている。

■ 人口と高齢化率の推移



出典：香南市（各年 12 月人口）

■ 地区別人口の推移

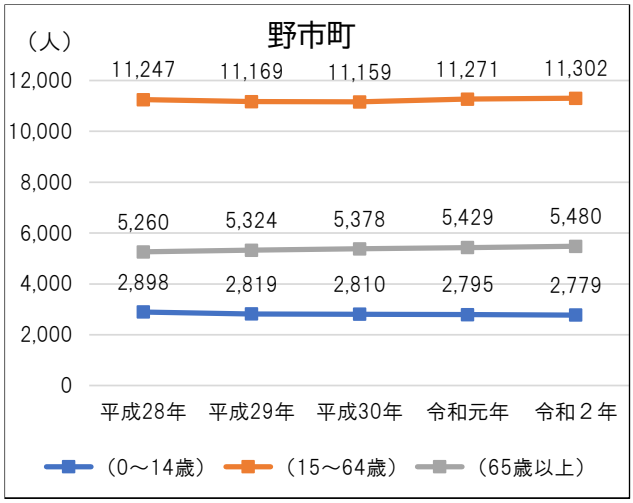


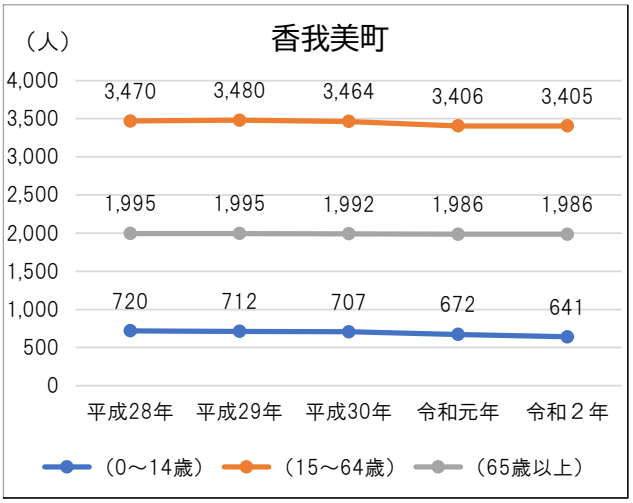
資料：香南市（各年 12 月人口）

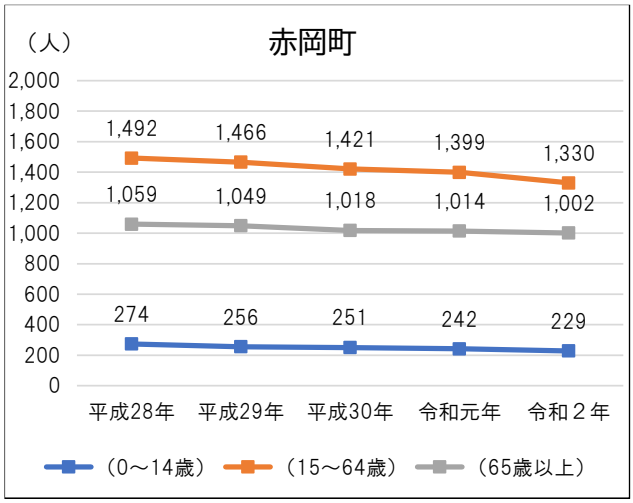
② 地区別人口の推移

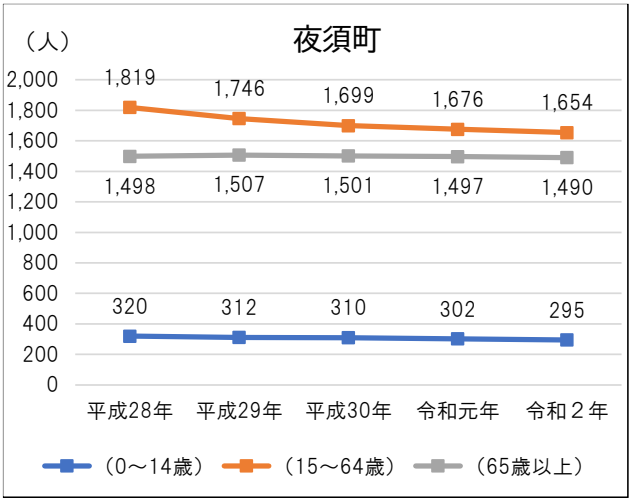
○野市町は生産年齢人口、老年人口ともに微増傾向となっている。
○赤岡町、夜須町、吉川町では生産年齢人口の減少が顕著にみられる。

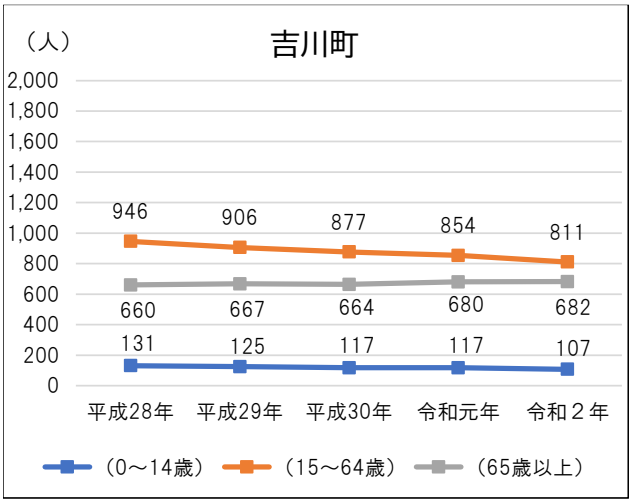
■ 地区別における年齢3区分別の人口推移









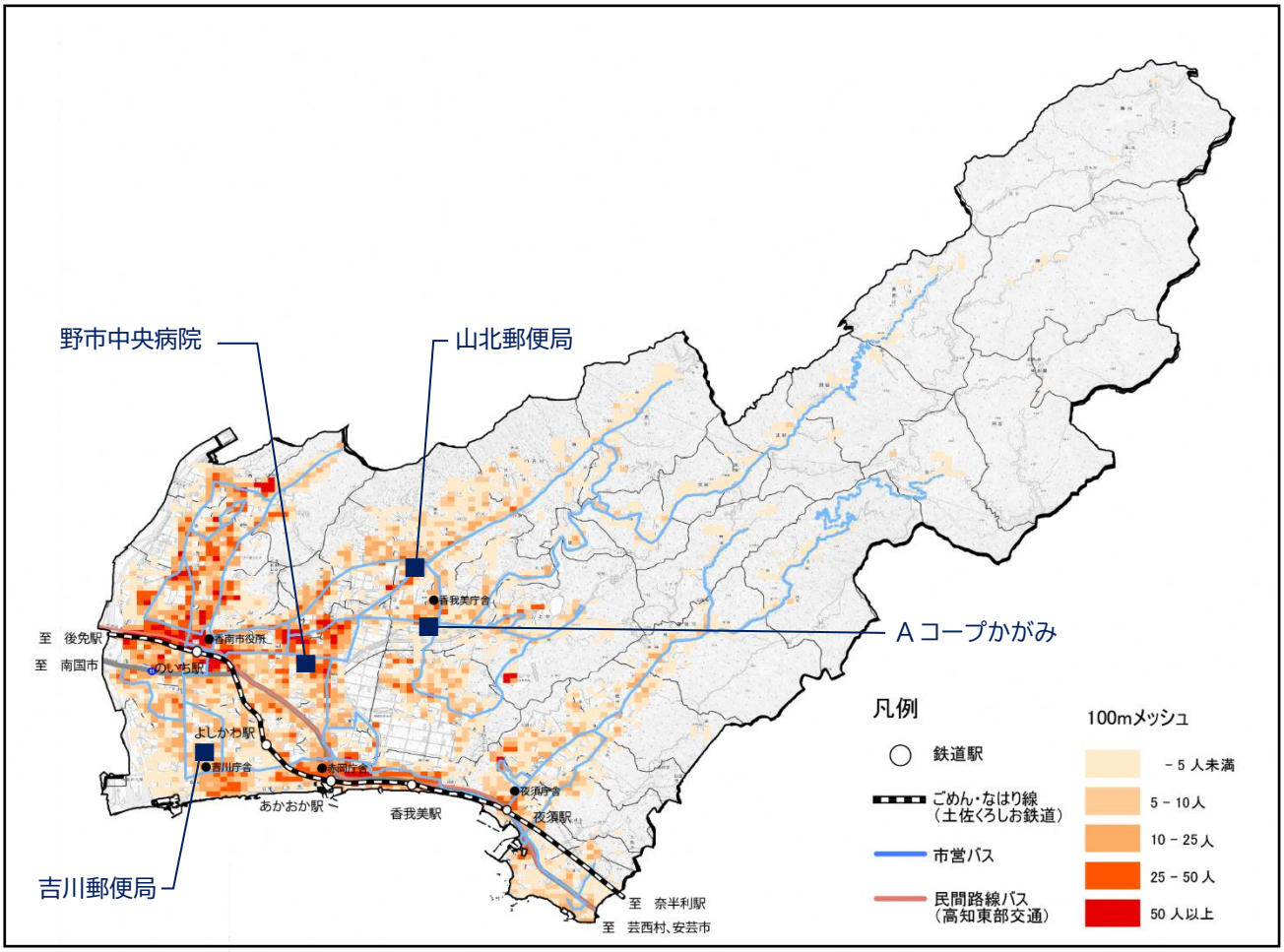


出典：香南市（各年 12 月人口）

③ 人口分布状況

○野市町では、ごめん・なはり線のいち駅を中心の西野地区に最も集積しており、北部の母代寺や西佐古、東佐古、東部ではみどり野に集積している。
○香我美町では、Ａコープかがみ周辺の山南地区、山北郵便局周辺の山北地区に集積している。
○赤岡町では、赤岡駅周辺の鉄道路線から北側に人口が集積している。
○夜須町では、夜須駅周辺の坪井、西山、手結地区に集積している。
○吉川町では、吉川郵便局から海岸線にかけた吉原地区に集積している。

■ 人口分布状況



出典：東京大学空間情報科学研究センター（平成 27 年国勢調査データを活用）

④ 将来推計人口

○香南市の人口は、緩やかな減少傾向にあり、このまま転出入や死亡・出生の傾向が続けば、2035年（令和17年）には、29,478 人にまで減少する見込みとなっている。

○そのため、様々な定住人口確保につながる施策や少子化対策による出生率の向上など一連の対策を積極的に進めることで、2035 年（令和17年）の想定人口を 31,692 人とし、2026年（令和8年）の人口目標を 32,900 人としている。

■ 香南市の将来人口（人口目標）

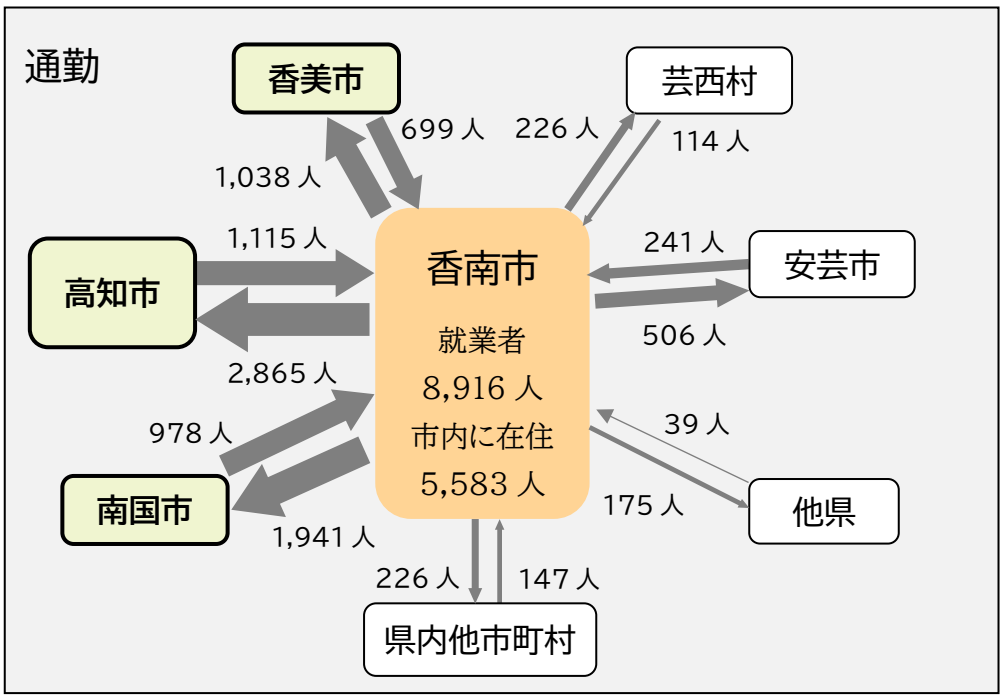
出典：第2次香南市振興計画

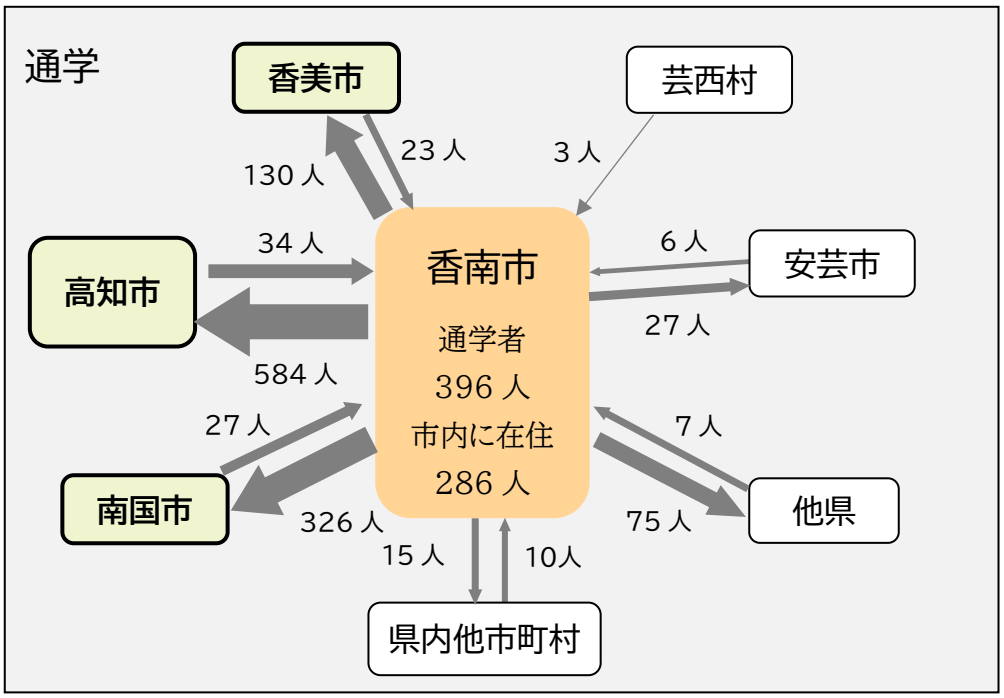
⑤ 通勤通学流動

○香南市の通勤通学流動をみると、流入・流出ともに高知市が最も多く、通勤（流入 1,115 人、流出 2,865 人）、通学（流入 34 人、流出 584 人）となっている。

○通勤について、南国市が流入 978 人、流出 1,941 人と、高知市に次いで2番目に流入・流出が多くなっている。また、香美市も流入 699 人、流出 1,038 人となっており、隣接する南国市と香美市との往来が多いことが伺える。

■ 香南市の通勤通学流動





資料：平成 27 年国勢調査

(3)道路・交通

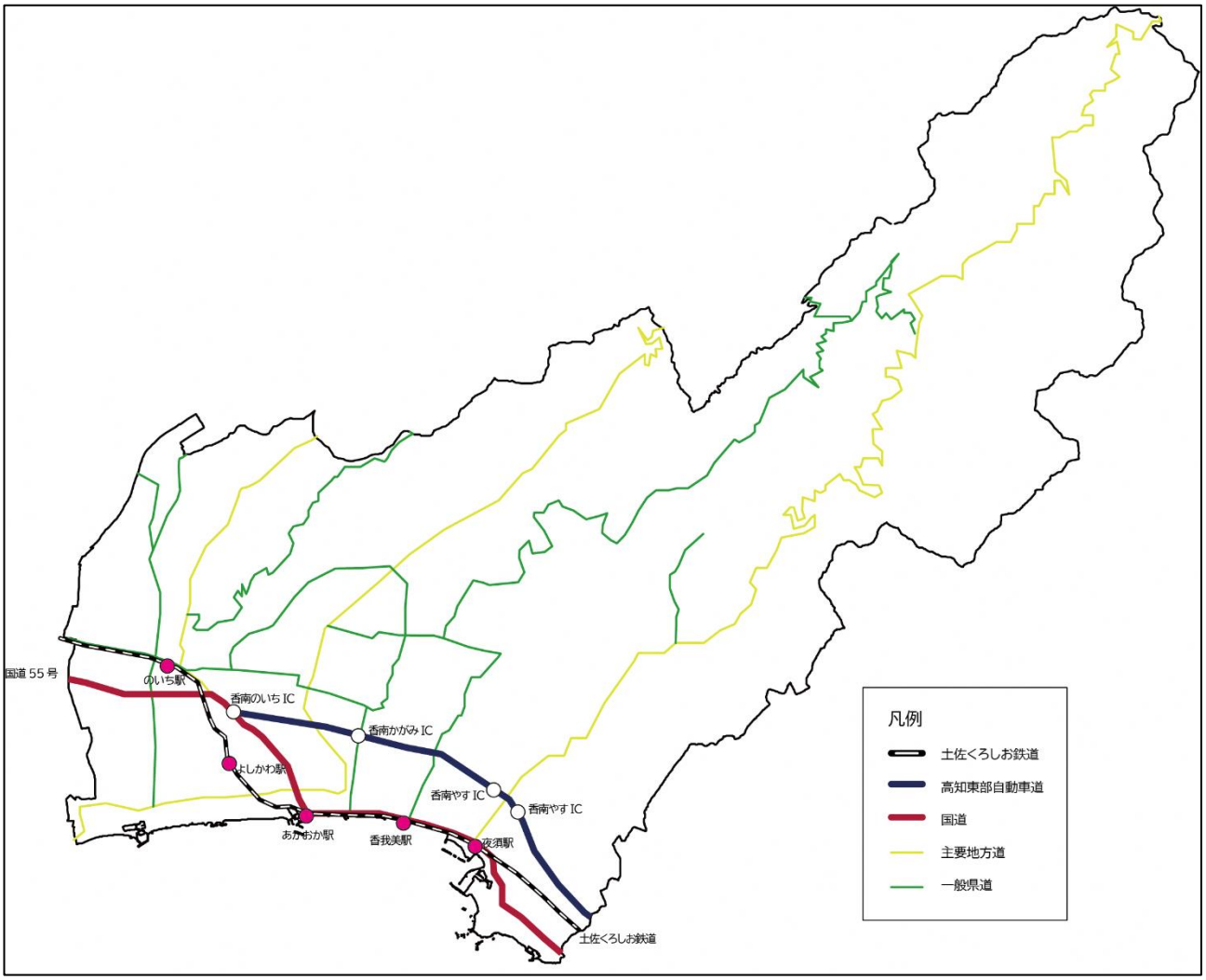
① 市内道路網・交通網

○道路網は東西方向に国道 55 号線が走り、これを基点に周辺地域や市内各地に向かって県道が通っている。

○広域的な公共交通として、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線や高知東部交通安芸線が通っており、市内には香南市営バスが運行されている。

○交通結節点として、のいち駅はごめん・なはり線と市営バスが接続しており、駅北の県道には高知東部交通安芸線のバス停「野市龍河洞通」を有している。夜須駅も同様にごめん・なはり線、市営バス、高知東部交通安芸線が接続している。

■ 香南市の道路・交通の現状



② 広域道路網

○広域的幹線道路として、高知東部自動車道や国道 55 号線が東西方向に通っており、県の中心である高知市に連絡している。

○高知龍馬空港にも近く、広域的立地条件に恵まれており、将来、高知東部自動車道の未整備区間（高知龍馬空港 IC～香南のいち IC 間）の開通により、広域的な交通利便性の更なる向上が見込まれる。令和 3 年 2 月には高知 IC～高知南 IC が開通したことにより、高知龍馬空港へのアクセスが向上している。

■ 高知東部自動車道 高知南国道路整備状況

出典：土佐国道事務所ホームページ

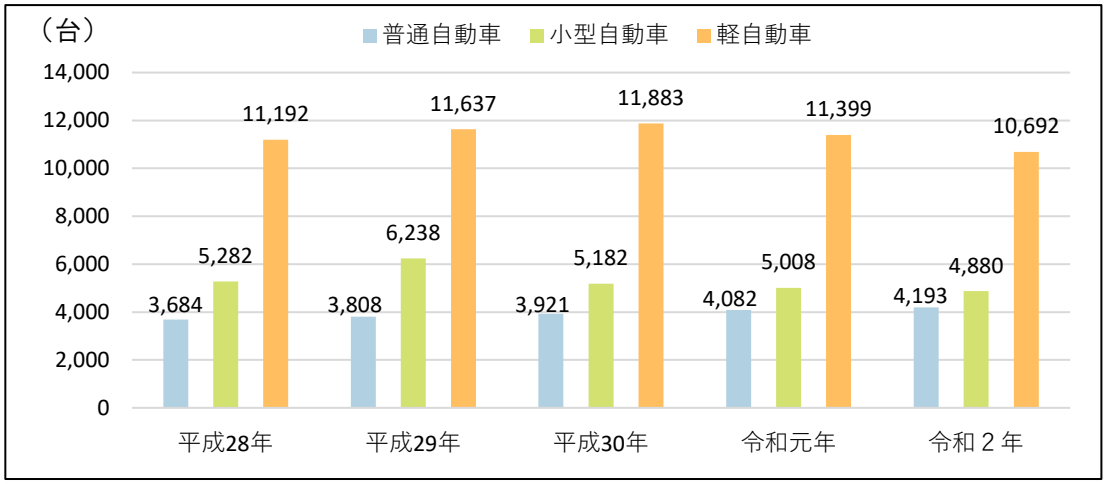
(4)自動車保有台数および運転免許返納状況

① 自動車保有台数(乗用)

○自動車保有台数について、普通自動車※は増加傾向にある一方で、小型自動車※および軽自動車が減少傾向にある。

※普通自動車…排気量 2,001cc 以上、全長 4,701mm 以上、全幅 1,701mm 以上、全高 2,001mm 以上のいずれか1つでも満たした乗用車。
小型自動車…排気量が 660cc 超 2,000cc 以下で、全長 4,700mm 以下、全幅 1,700mm 以下、全高 2,000mm 以下の乗用車。

■ 自動車保有台数推移

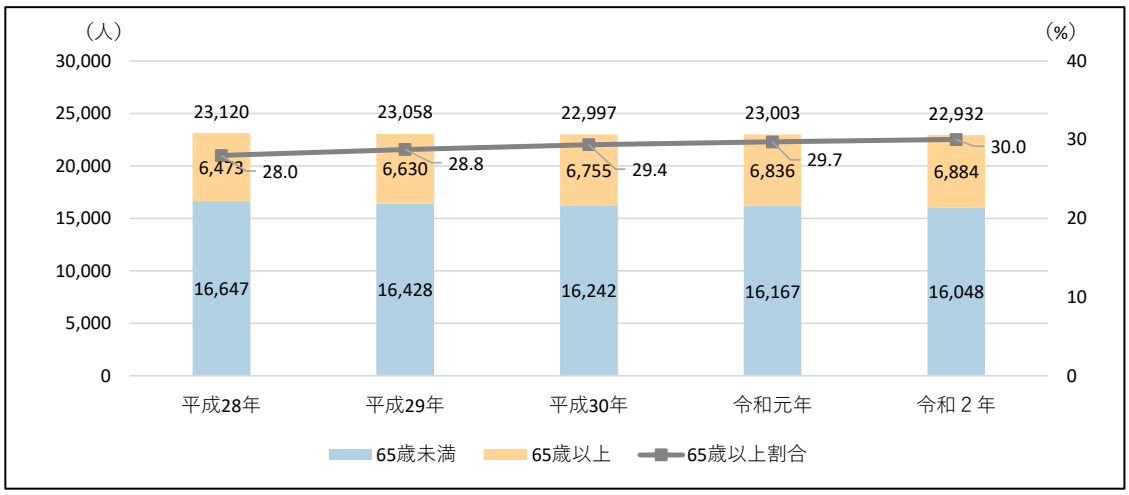


出典:高知運輸支局

② 運転免許保有者数

○運転免許保有者数は 23,000 人前後を推移しており、そのうち 65 歳以上が増加しており、令和 2 年では 65 歳以上の割合が 30.0%となっている。

■ 運転免許保有者件数推移

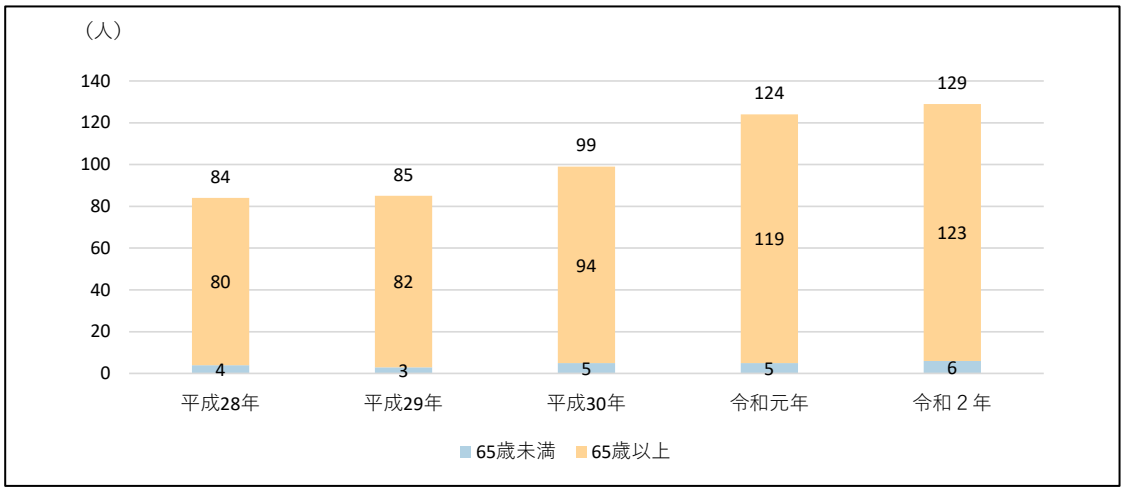


出典:香南市資料

③ 運転免許返納者数

〇運転免許返納者数は増加傾向であり、令和 2 年では 129 人（うち 65 歳以上が 123 人）となっている。

■ 運転免許返納者件数推移

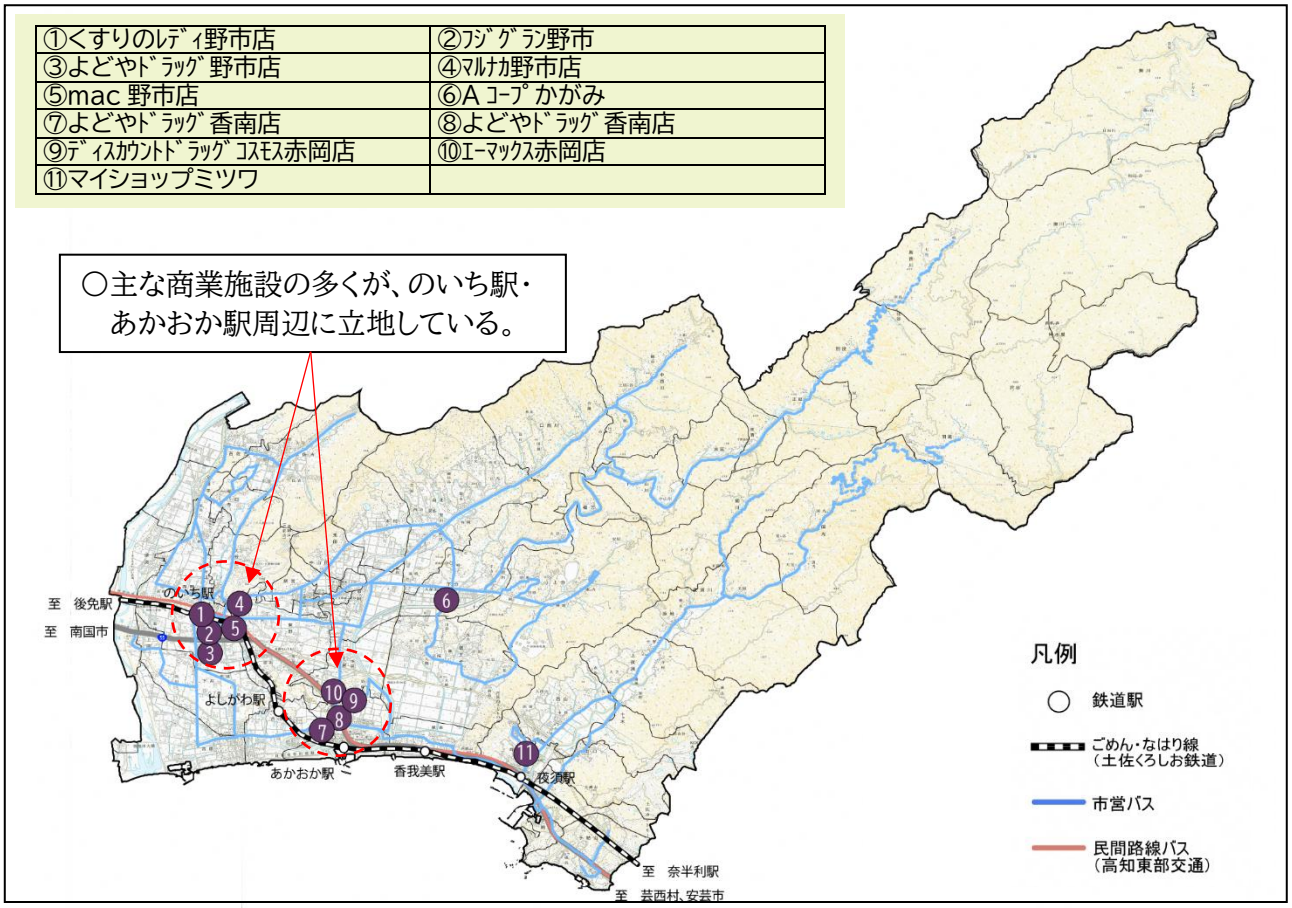


出典：香南市資料

（5）地域内の主要施設

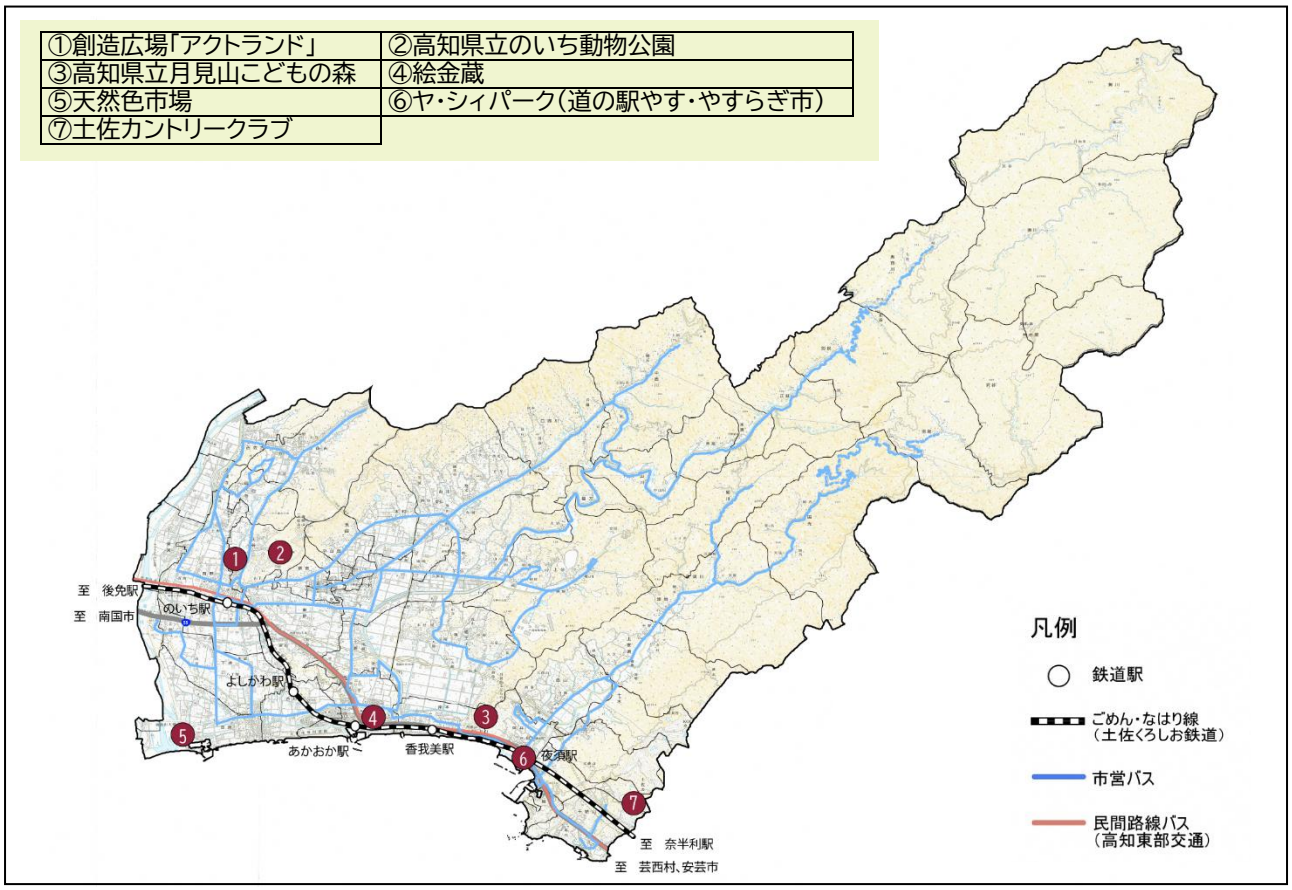
① 主な商業施設

①くすりのﾚﾃﾞｨ野市店	②ﾌｼﾞｸﾞﾗﾝ野市
③よどやﾄﾞﾗｯｸﾞ野市店	④ﾏﾙﾅｶ野市店
⑤mac 野市店	⑥A ｺｰﾌﾟかがみ
⑦よどやﾄﾞﾗｯｸﾞ香南店	⑧よどやﾄﾞﾗｯｸﾞ香南店
⑨ﾃﾞｨｽｶｳﾝﾄﾄﾞﾗｯｸﾞｺｽﾓｽ赤岡店	⑩ｴｰﾏｯｸｽ赤岡店
⑪マイショップミツワ	



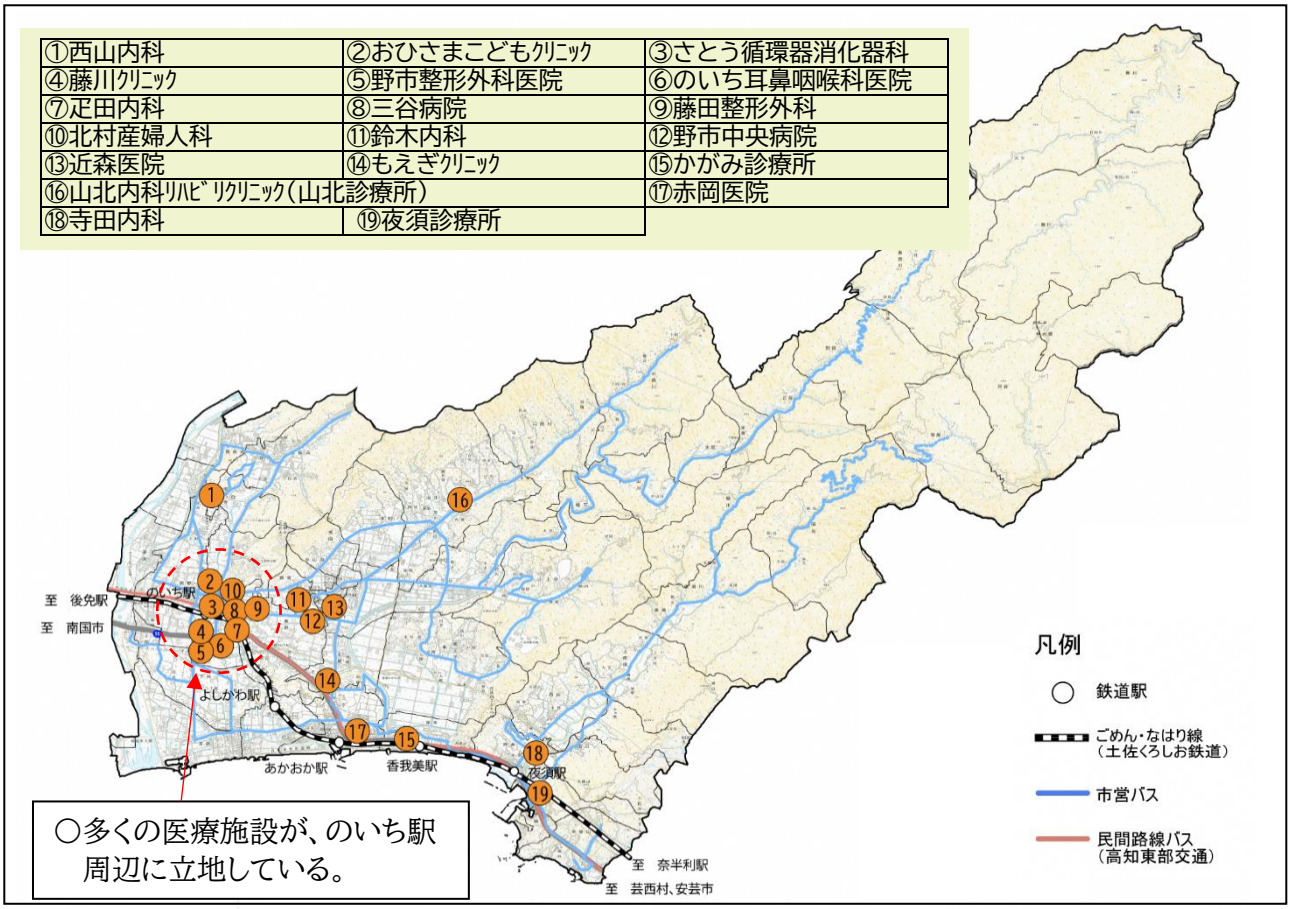
② 主な観光施設

①創造広場「アクトランド」	②高知県立のいち動物公園
③高知県立月見山こどもの森	④絵金蔵
⑤天然色市場	⑥ヤ・シィパーク（道の駅やす・やすらぎ市）
⑦土佐カントリークラブ	



③ 医療施設

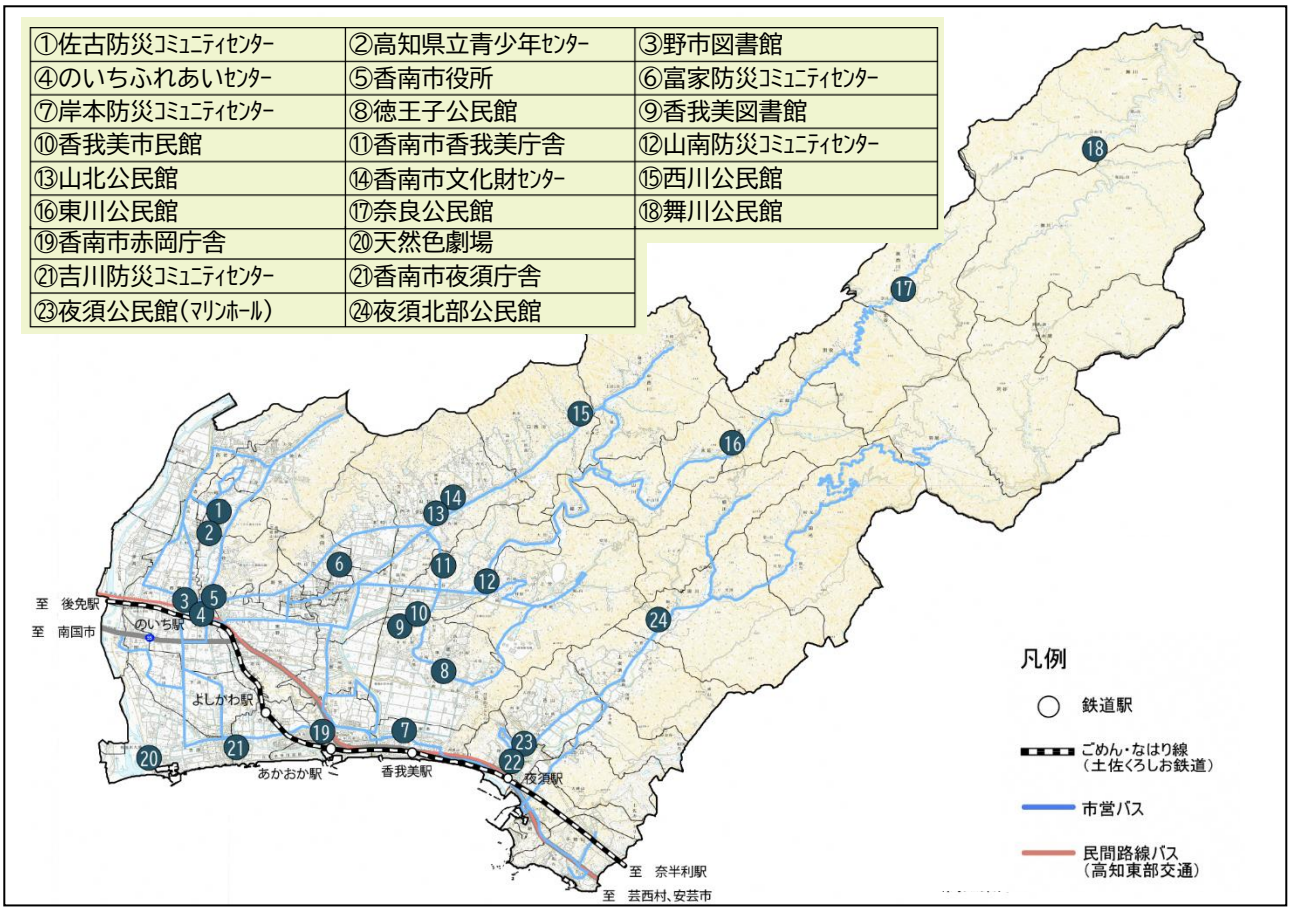
①西山内科	②おひさまこどもｸﾘﾆｯｸ	③さとう循環器消化器科
④藤川ｸﾘﾆｯｸ	⑤野市整形外科医院	⑥のいち耳鼻咽喉科医院
⑦疋田内科	⑧三谷病院	⑨藤田整形外科
⑩北村産婦人科	⑪鈴木内科	⑫野市中央病院
⑬近森医院	⑭もえぎｸﾘﾆｯｸ	⑮かがみ診療所
⑯山北内科ﾘﾊﾋﾞﾘｸﾘﾆｯｸ(山北診療所)		⑰赤岡医院
⑱寺田内科	⑲夜須診療所	



○多くの医療施設が、のいち駅周辺に立地している。

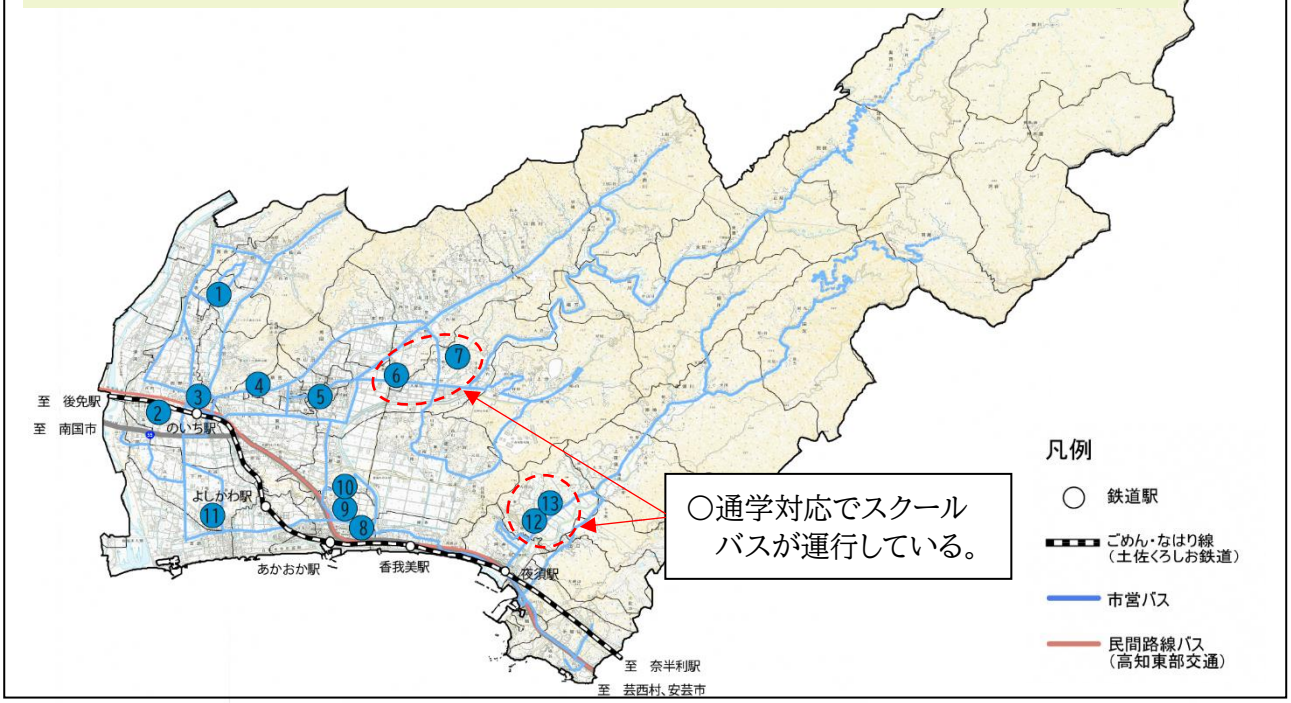
④ 公共施設

①佐古防災ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	②高知県立青少年ｾﾝﾀｰ	③野市図書館
④のいちふれあいｾﾝﾀｰ	⑤香南市役所	⑥富家防災ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ
⑦岸本防災ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	⑧徳王子公民館	⑨香我美図書館
⑩香我美市民館	⑪香南市香我美庁舎	⑫山南防災ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ
⑬山北公民館	⑭香南市文化財ｾﾝﾀｰ	⑮西川公民館
⑯東川公民館	⑰奈良公民館	⑱舞川公民館
⑲香南市赤岡庁舎	⑳天然色劇場	
㉑吉川防災ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	㉑香南市夜須庁舎	
㉓夜須公民館(ﾏﾘﾝﾎｰﾙ)	㉔夜須北部公民館	



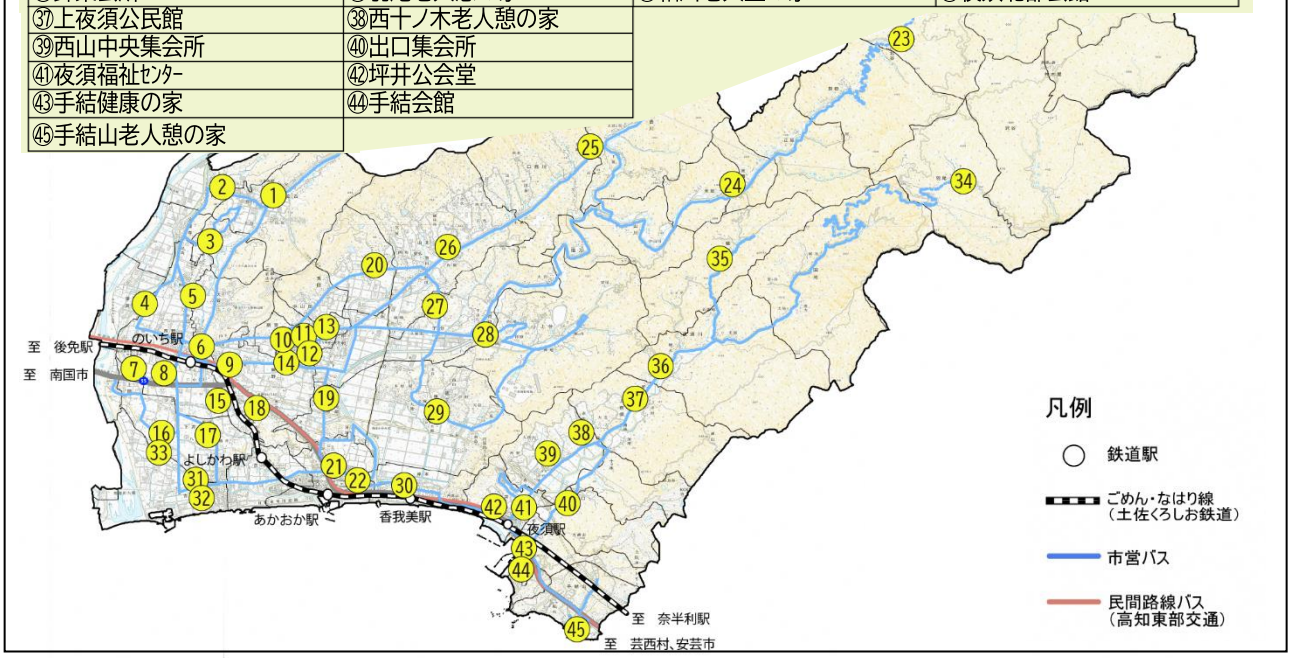
⑤ 教育施設

①佐古小学校	②高知県職業能力開発短期大学校	③野市小学校・野市幼稚園
④野市中学校	⑤野市東小学校・野市東幼稚園	⑥香我美中学校
⑦香我美小学校・香我美幼稚園	⑧赤岡小学校	⑨赤岡中学校
⑩高知県立城山高等学校	⑪吉川小学校	⑫夜須中学校
⑬夜須小学校・夜須幼稚園		



⑥ サロン等住民が集まる公民館及び集会所等

①つきみ野公民館	②西佐古公民館	③母代寺公民館	④深渕公民館
⑤東上野公民館	⑥のいちふれあいセンター	⑦北地公民館	⑧西中筋公民館
⑨西石家公民館	⑩みどり野１丁目公民館	⑪みどり野３丁目公民館	⑫みどり野4丁目公民館
⑬みどり野東公民館	⑭野地公民館	⑮東中筋南公民館	⑯下高田公民館
⑰横井ふれあい館	⑱山地・遠山公民館	⑲土居公民館	⑳本村公民館
㉑赤岡保健ｾﾝﾀｰ	㉒別所山集会所	㉓奈良公民館	㉔東川公民館
㉕西川公民館	㉖山北公民館	㉗香我美庁舎	㉘山南防災ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ
㉙徳王子公民館	㉚岸本防災ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	㉛清水八反集会所	㉜浜口集会所
㉝錦集会所	㉞羽尾老人憩の家	㉟細川老人里の家	㊱夜須北部会館
㊲上夜須公民館	㊳西十ノ木老人憩の家		
㊴西山中央集会所	㊵出口集会所		
㊶夜須福祉ｾﾝﾀｰ	㊷坪井公会堂		
㊸手結健康の家	㊹手結会館		
㊺手結山老人憩の家			

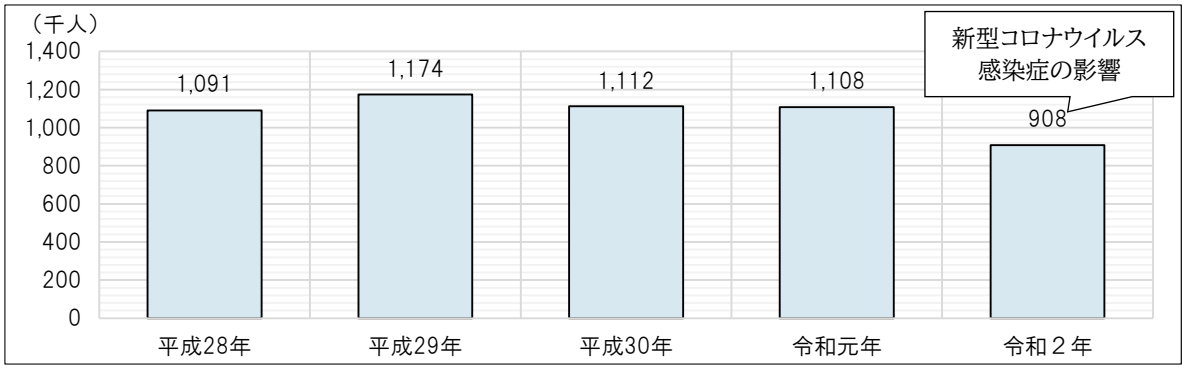


（6）観光入込客数の動向

○観光入込客数については、令和元年までは 1,000 千人を超えていたが、令和 2 年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、908 千人となっている。

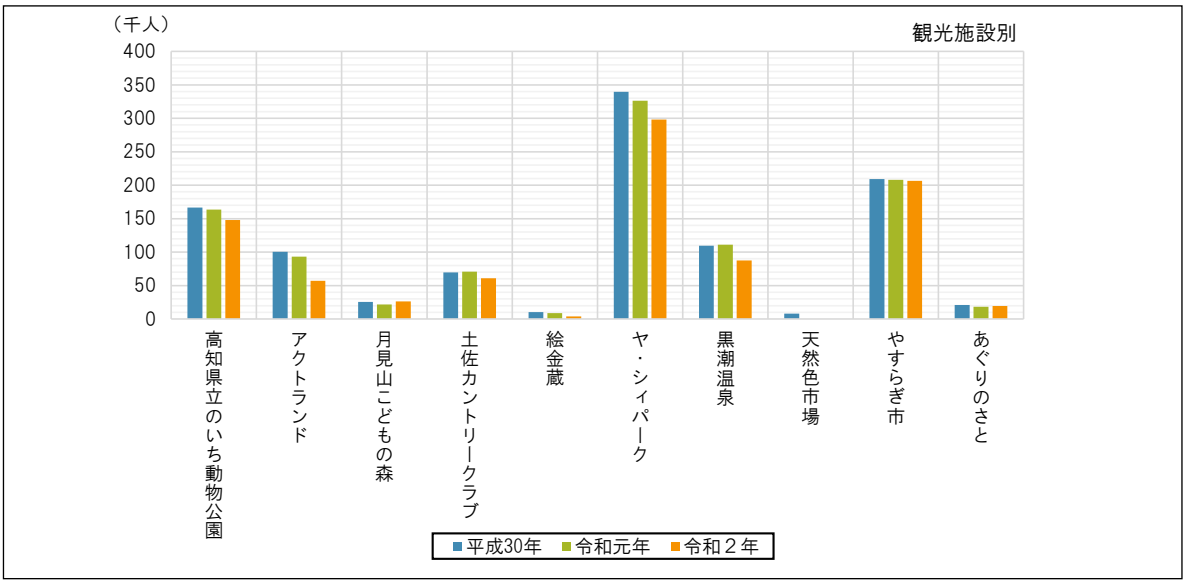
○施設別にみると、ヤ・シィパークが最も多く、次いでやすらぎ市となっている。

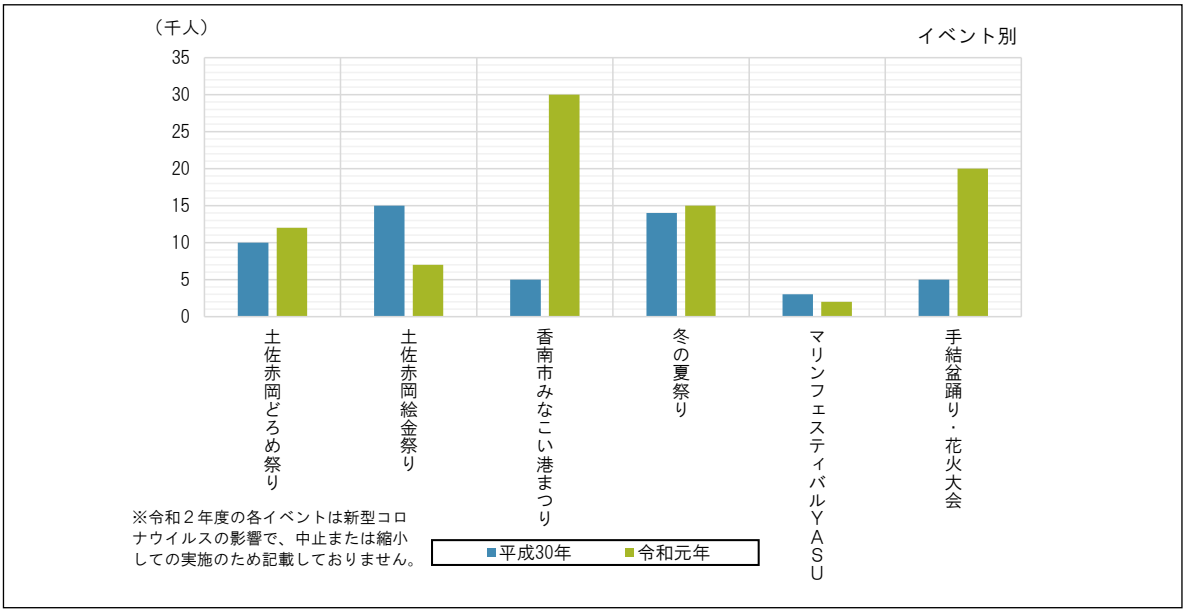
■ 観光入込客数



出典：香南市資料

■ 観光入込客数（施設・イベント別）





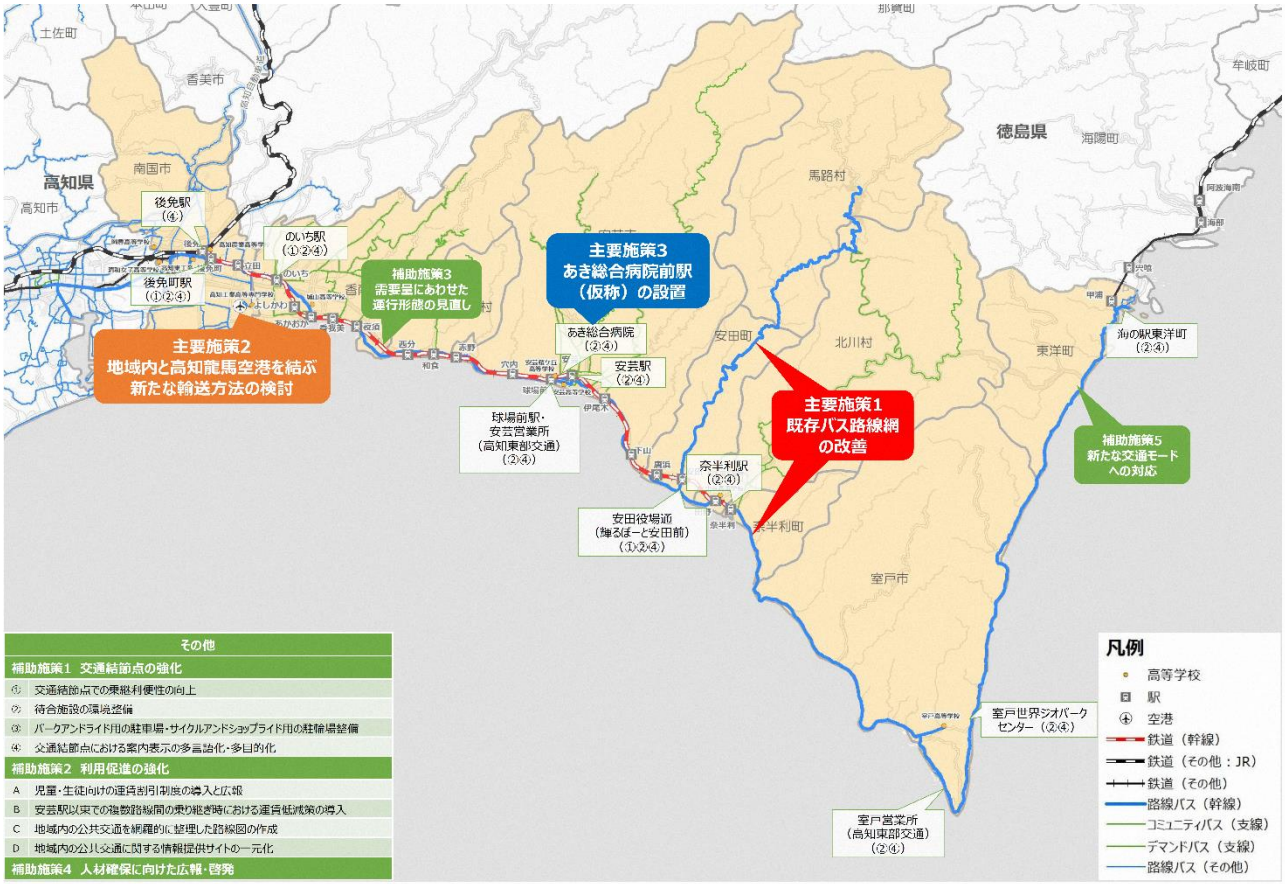
2　上位・関連計画

(1)高知県東部広域地域公共交通網形成計画

【計画期間】2019 年度～2023 年度
【基本目標】
1. 市町村内・地域内・地域外のそれぞれの移動ニーズにあわせた公共交通ネットワークの再構築
2. 異なる交通モード間のスムーズな乗換環境の整備
3. 地域の観光資源を生かすための公共交通利用環境の改善
4. 持続可能な公共交通運行に向けた交通資源の見直し
5. 新たな公共交通利用者確保に向けた利用促進策の実施

【関連する実施項目】
○地域内と高知龍馬空港を結ぶ新たな輸送方法の検討
○あき総合病院前駅設置
○交通結節点の強化(交通結節点での乗継利便性の向上 / 待合施設の環境整備 / 交通結節点における案内表示の多言語化・多目的化)※のいち駅対象
○利用促進の強化(児童・生徒向けの運賃割引制度の導入と広報 / 地域内の公共交通を網羅的に整理した路線図の作成 / 地域内の公共交通に関する情報提供サイトの一元化)
○需要量にあわせた運行形態の見直し
○人材確保に向けた広報・啓発

■ 実施項目対象範囲



出典：高知県東部広域地域公共交通網形成計画
※資料は平成 31 年 3 月策定時点。あき総合病院前駅は令和 3 年 3 月に開業。

（2）第2次香南市振興計画

【将来像】水・緑・風が輝く　豊かな暮らしと産業で　飛躍するまち　”香南市”
【計画期間】2017年度～2026年度
【まちづくりの基本理念】
1. 豊かな自然を愛し、山と川と海のきれいなまちづくりを進めます。
2.先人たちが築き、育んできた地域の魅力や個性を守り育て、輝かせるまちづくりを進めます。
3.安全で安心して暮らせるように、地域の中に助け合い支え合いがある心豊かなまちづくりを進めます。
4.市民と行政が互いに協力し合い、地域に活力を生む元気なまちづくりを進めます。
5.住んでいる地域を愛し、まちをふるさととして想う心を育てるまちづくりを進めます。

【関連する実施項目】
基本施策 18「交通網体系の整備」
○施策の基本目標
　豊かな自然に恵まれた市域で、元気で活力ある市民生活や市民活動が営まれるためには、交通や物流あるいは人と人との交流を支える骨格交通網が不可欠となる。
　そのため、人口規模や産業規模に見合った道路網計画や公共交通などを構築する必要があり幹線道路や生活道路の整備、公共交通サービスの充実を図る。
○まちづくり指標
市営バス利用者数 38,066 人/年（H27 年度）、目標 40,000 人/年（R3 年度）

（3）第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

【将来像】次世代を担う若者が、地域で誇りと希望を持ち、安心してくらし働ける香南市
【計画期間】2020 年度～2024 年度
【基本目標】
1. 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用と稼ぐ産業を創出する
2. 香南市とのつながりを強化し、新しい人の流れをつくる
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. 地域コミュニティの活性化を図り、安心・安全な地域をつくる
5. 次世代を担う若者に魅力あるまちをつくる
6. 新しい時代の流れを力にする

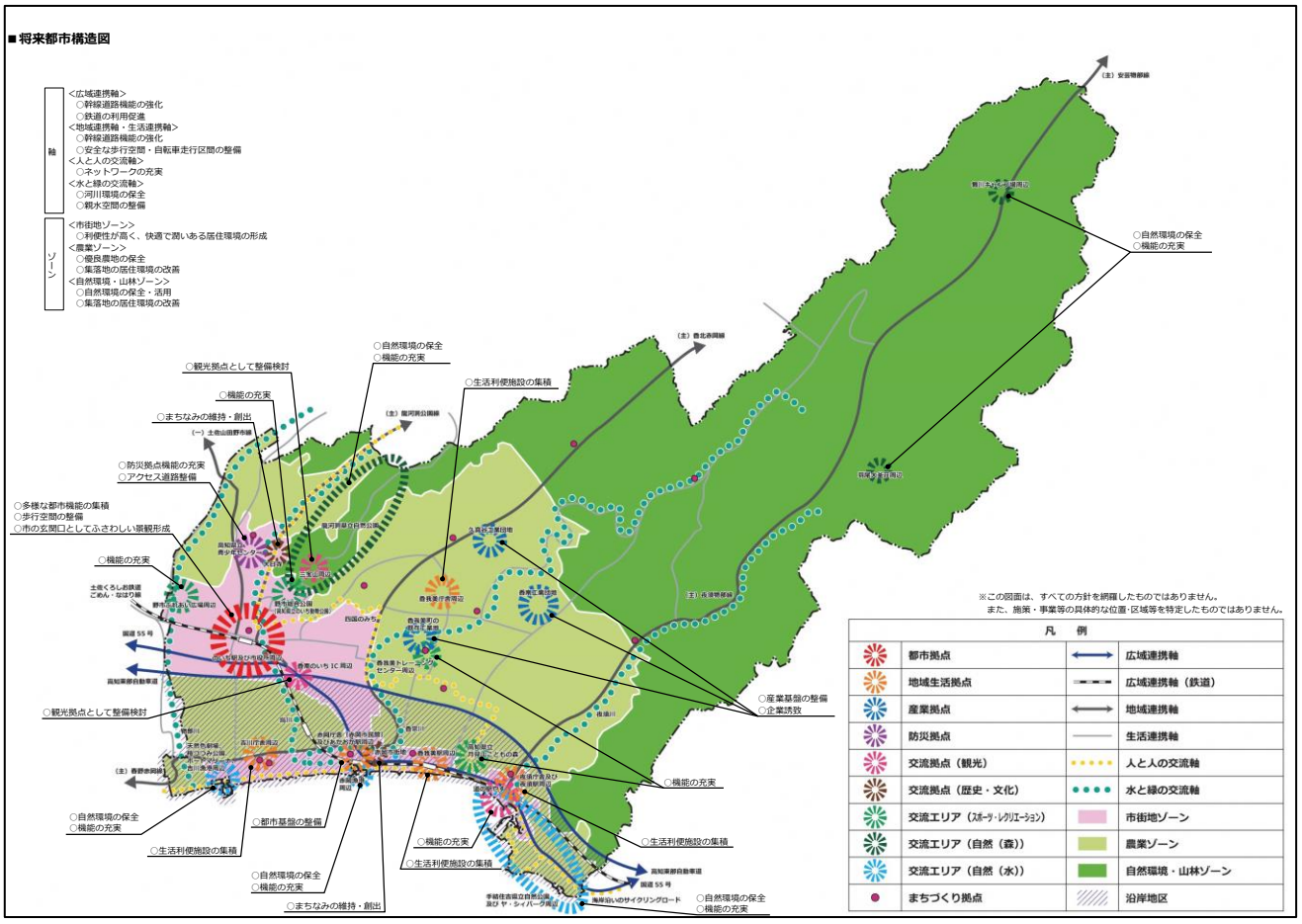
【関連する実施項目】
○観光拠点形成とネットワーク構築
・県東部観光の玄関口にふさわしい商業活性化拠点・観光拠点として、三宝山一帯の活用等に取り組み、地域資源の価値を高め、観光拠点としての強化を図る。
○協働のまちづくりの推進
・市民と行政が「協働」で地域課題を解決する仕組みづくりに取り組む。
・市民が主役のまちづくりの推進を図るため、市民自らがまちづくりについて考え、自らの手でよりよいまちづくりを進めていこうとする団体活動を支援。

(4)香南市都市計画マスタープラン

【将来都市像】水・緑・風が輝き　人が集い・交流する　心豊かに暮らせるまち ”香南市”
【計画期間】2018 年度～2035 年度
【基本目標】
1. 拠点の適正配置とネットワークによる利便性の高いまちづくり
2. 移住・定住を促進する快適なまちづくり
3. 地域活力の維持・創出による交流のまちづくり
4. 魅力ある地域資源を活かしたまちづくり
5. 安全・安心な暮らしを守る災害に強いまちづくり
6. 多様な主体の連携による協働のまちづくり

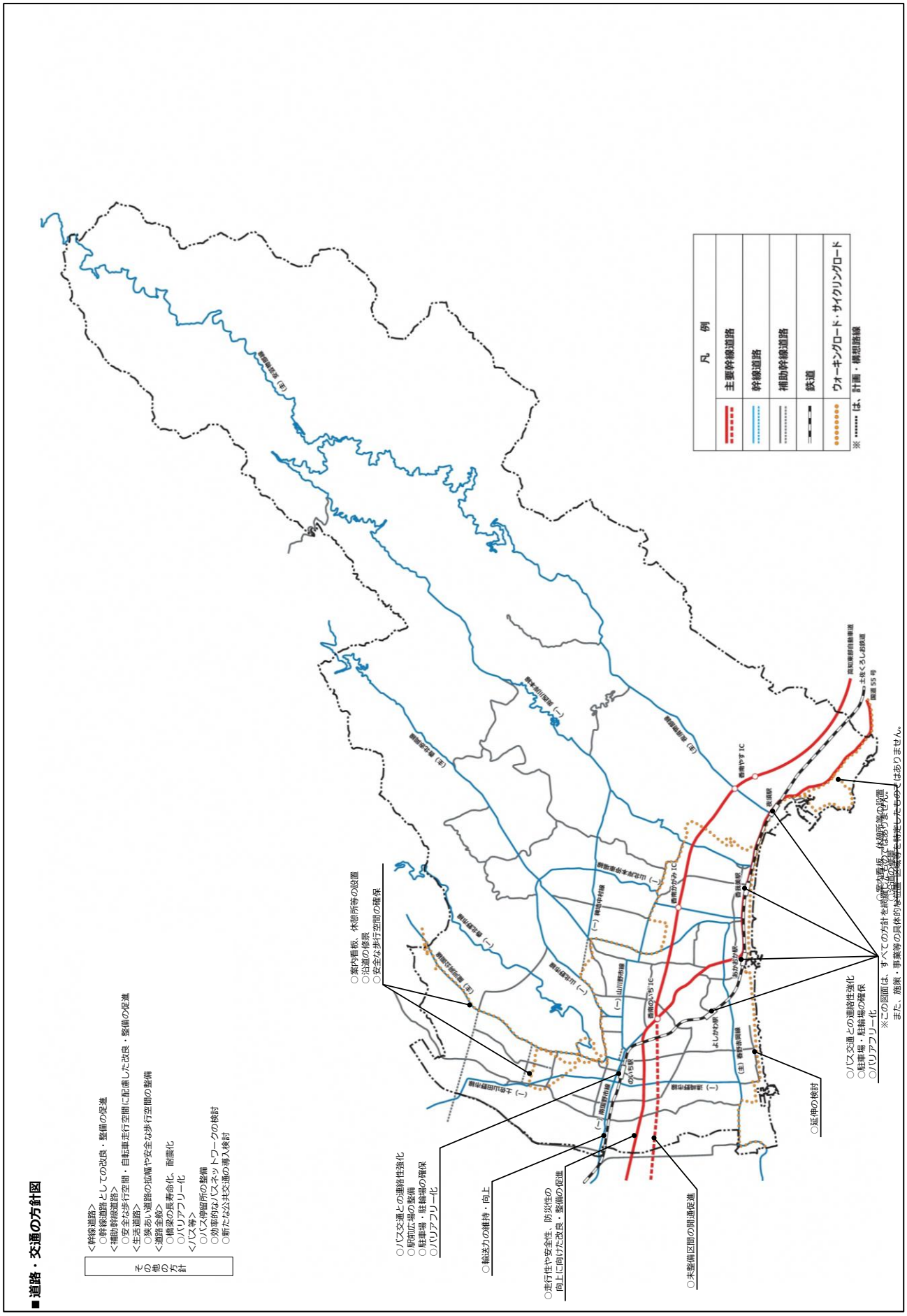
【公共交通の位置づけ】
○土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線については、輸送能力の維持・向上を働きかけるとともに、バス交通との連絡性の強化、駅前広場やアクセス道路の整備、駅周辺における駐車場・駐輪場の確保、エレベーターの設置等によるバリアフリー化の促進など、利便性の向上を図るとともに、通勤・通学や買い物、観光などにおける利用を促進する。
○バスについては、バス停留所の整備（上屋、駐輪場等）や小型バス車両の導入など、利便性の向上を図る。
○都市拠点や地域生活拠点を中心として、需要に応じた効率的なバスネットワークの検討（既存路線の見直し・拡充、新規路線の導入等）や人口減少や高齢化の進行を見据えた新たな公共交通（デマンド交通等）の導入検討を進め、公共交通空白地の解消を図る。

■ 将来都市構想図



出典：香南市都市計画マスタープラン

■ 道路・交通の方針



出典：香南市都市計画マスタープラン

(5)香南市自転車活用推進計画

【将来ビジョン】
■市民の日常的な自転車利用で健康を育むまち
■多くの観光サイクリストが訪れ、市民サイクリストや地域住民との交流を通じて、市民生活の向上と観光関連産業の振興が並び立つサイクルツーリズムが展開するまち
【計画期間】2021 年度～2025 年度
【戦略の柱】
○健康：自転車を活用した健康づくり
○観光：サイクルツーリズムの推進
○教育：自転車に安全に乗れる人づくり
○環境：サイクリストにやさしい環境づくり

【公共交通の位置づけ】
○観光：サイクルツーリズムの推進
・周遊型サイクル観光の推進
→二次交通としての自転車＋公共交通への自転車積載、送迎など
○環境：サイクリストにやさしい環境づくり
・道の駅やすの再整備と利活用
→道の駅やすのアクセス利便性を活かし、周辺地域の観光サイクリングを推進するため、ごめん・なはり線夜須駅のロータリー西側に、レンタサイクル施設を整備。

(6)香南市高齢者福祉計画第8期介護保険事業計画

【基本理念】
安全で安心して暮らせるよう、地域のなかに助け合い支え合いがある、心豊かなまちづくり
【計画期間】2021 年度～2023 年度
【基本目標】
基本目標1　生きがいづくりの充実
基本目標2　元気で長生き健康づくりの推進
基本目標3　福祉サービスとみんなで支え合う体制の充実
基本目標4　介護保険制度の充実

【関連する移動支援】
○福祉サービスとみんなで支え合う体制の充実
すべての高齢者が住み慣れた地域でできるだけ長く生活ができるよう地域の見守り・支え合いの体制の充実を目指す。
・医療機関送迎サービス事業…在宅生活を支援するためのサービス利用促進に向けて、介護保険サービス利用者だけでなく、要介護認定を受けている方へ広報や通知等できめ細かい情報提供ができるよう取り組んでいく。
・生活支援体制整備事業…協議体の活動継続に向けた支援を、委託先である社会福祉協議会と協働していくとともに、市全域の取り組みとして、移動支援に関するニーズの把握や対応方法を検討していく。

(7)香南市第6期障害者福祉計画・第2期障害児童福祉計画

【基本理念】
人にやさしく、充実した暮らしを共に支え合うまち　こうなん
【計画期間】2018 年度～2023 年度
【計画推進のポイント】
　○共に認め合う共生社会の促進
　○ライフステージに応じた切れ目ない支援の充実
　○地域包括ケアシステムの構築と連携の強化
　○就労をはじめとする社会参加の促進

【関連する移動支援】
　○ライフステージに応じた切れ目のない支援の充実
　　妊娠・出産・乳幼児期から高齢期まで、障害のある人が生涯を通じて安心して暮らせるよう、ライフステージごとに異なる課題や複合的な課題に対応できる支援体制を整備し、当事者だけではなく、障害のある人の家族等への支援の強化を目指す。
　　・地域生活支援事業（移動支援事業）…移動支援サービスに対するニーズの変化に対応し、適切な利用目的や方法を検討し、障害のある子どもを含め利用者に柔軟な対応ができる事業運営に努める。
　　・医療機関送迎サービス事業、社会参加のための外出支援サービス事業…利用者のニーズに対応できる柔軟な事業への見直し検討や事業の継続と支援体制を確保し、適切な支援が受けられるよう利用促進及び普及啓発活動を継続する。

(8)上位・関連計画での位置づけのまとめ

① 交通結節点の強化

○鉄道とバスの乗り継ぎ利便性の向上
○待合施設の環境整備
○案内表示の多言語化・多目的化
○バス停留所の整備（上屋、駐輪場等）

② 利用促進の強化

○地域内の網羅的な公共交通を整理した路線図の作成
○情報提供サイトの一元化
○児童・生徒向けの運賃割引制度の導入と広報

③ 需要量に合わせた運行形態の見直し

○既存路線の見直し・拡充、新規路線の導入
○高齢化の進行を見据えた新たな公共交通（デマンド交通等）の導入検討
○小型バス車両の導入

④ まちづくりや福祉との連携

○拠点形成を支える連携した利便性の高い公共交通ネットワークの整備
○観光周遊を促進するサイクリングやレンタサイクルと公共交通の組み合わせによる利用促進
○地域との協働による取組の推進
○移動に困っている人への移動支援

(9)地域公共交通活性化再生法の改正

○令和2年 11 月にこれまでの地域公共交通網形成計画を「地域公共交通計画」と改め、地方公共団体の作成を努力義務として規定された。

○「地域旅客運送サービス継続事業」や「地域公共交通利便増進事業」等が創設され、地域における移動手段の確保や地域公共交通の充実を図る制度が整備された。

■ 地域公共交通活性化再生法の制定・改正の変遷

平成 19 年 制定	○地域公共交通活性化再生法を制定し、市町村が主体となって幅広い関係者の参加による協議会を設置。 ○「地域公共交通総合連携計画」の策定を通じて、地域公共交通の維持・確保や利便性向上に取り組むことを促進する制度を整備。
平成 26 年 改正	○「まちづくりと連携(コンパクト・プラス・ネットワーク)」、「面的な公共交通ネットワークの再構築」を図るため、「地域公共交通網形成計画」を法定計画として規定。 ○バス路線の再編等を実施する「地域公共交通再編事業」を創設し、その実施計画について国が認定し、法律・予算の特例措置を適用することにより、計画の実現を後押しする制度を整備。
令和2年 改正	○地域公共交通網形成計画を「地域公共交通計画」と改め、地方公共団体の作成を努力義務として規定。 ○「地域旅客輸送サービス継続事業」、「地域公共交通利便増進事業」等を創設し、地域における移動手段の確保や地域公共交通の充実を図る制度を整備。

■ 地域公共交通計画と従来の計画の違い

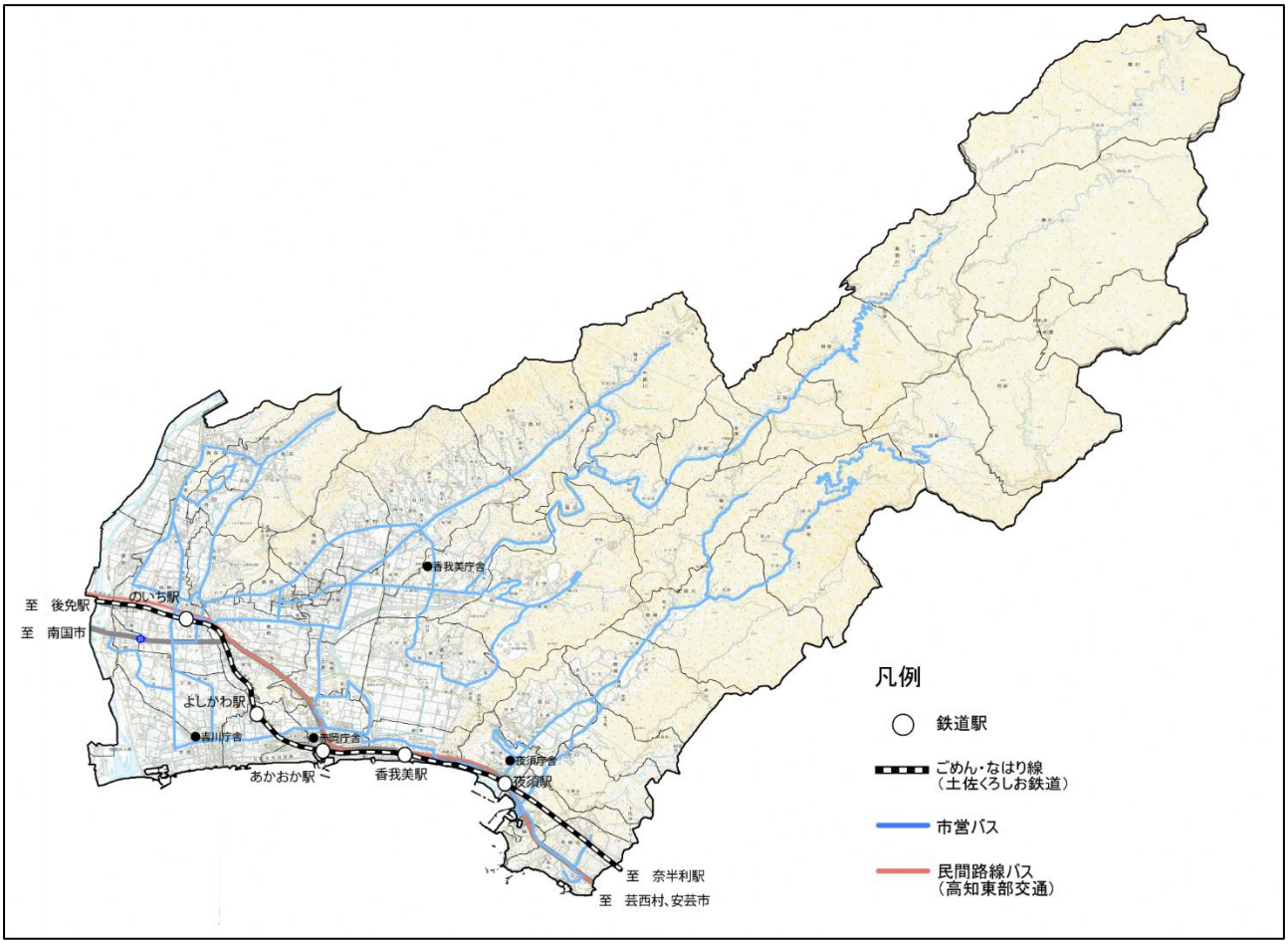
	地域公共交通計画 (令和 2 年～)	網形成計画 (平成 26 年～)	総合連携計画 (平成 19 年～)
計画の対象	○ネットワークの確保・充実に加え、ダイヤや運賃などの面からもサービスを総合的に捉え改善や充実に取り組む。 ○地域の輸送資源を総動員する具体策を盛り込むことができる。	○バス路線などの専ら公共交通のネットワークの確保・充実(主に路線の再編や新規整備)を対象とする。	○バス交通などの活性化・再生を目的としており、特定の交通機関に特化した計画の作成も可能。
位置づけ	○地方公共団体による作成を法的に努力義務化・基本的に全ての地方公共団体において計画の作成や実施に取り組む。	○地方公共団体による作成が可能。	○市町村による作成が可能(ただし、複数市町村での作成も可能)。
実効性確保	○定量的な目標の設定や毎年度の評価などの仕組みを制度化。 ○定量的なデータに基づく PDCA の取組を強化。	○可能な限り具体的な数値指標を明示。 ○原則として計画期間の終了時・計画の見直し時に達成状況を評価。	○可能な限り具体的かつ明確な目標を設定。

3 地域公共交通の現状

(1)市内公共交通機関

○土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線、香南市営バス、タクシー事業者3社を有する。

■ 香南市の公共交通網



■ 市内公共交通運行概要

公共交通	概要
土佐くろしお鉄道 ごめん・なはり線	平成 14(2002)年に開業した土佐くろしお鉄道(株)の「ごめん・なはり線」を有し、市内に 5 駅(のいち駅・よしかわ駅・あかおか駅・香我美駅・夜須駅)が所在している。
高知東部交通 安芸線	高知東部交通(株)によって、高知市と安芸市を繋ぐ安芸線が運行している。
香南市営バス	のいち駅と夜須駅を起終点とした全 14 路線を定時定路線で運行。曜日を限定している路線 5 路線、一部予約運行区間の路線 2 路線有する。
タクシー事業	(株)のいちタクシー、(有)平和ハイヤー、(有)野島ハイヤーの3事業者を有する。

(2)鉄道

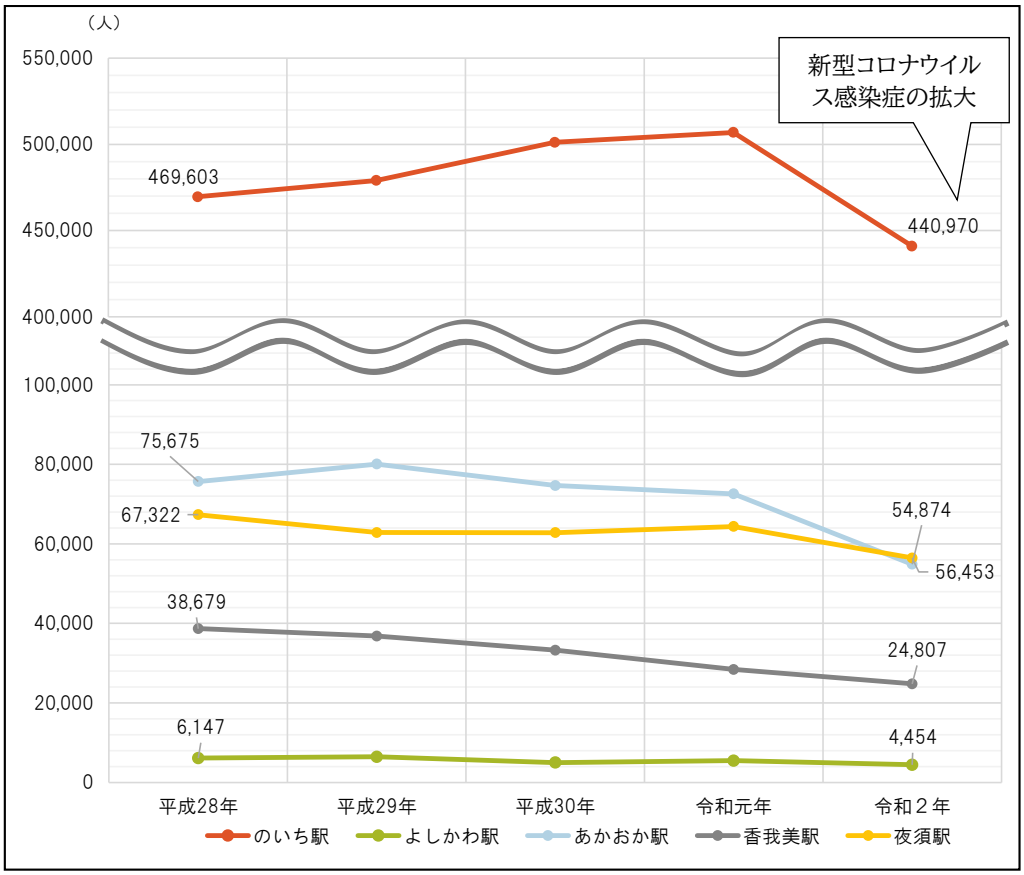
○地域内の鉄道路線は、平成 14(2002)年に開業した土佐くろしお鉄道(株)のごめん・なはり線を有し、市内に 5 駅(のいち駅・よしかわ駅・あかおか駅・香我美駅・夜須駅)が所在している。このうち、よしかわ駅、あかおか駅、香我美駅、夜須駅の 4 駅が無人駅となっている。

○乗降客数はのいち駅は増加傾向であるが、その他の市内の駅は年々減少傾向となっている。

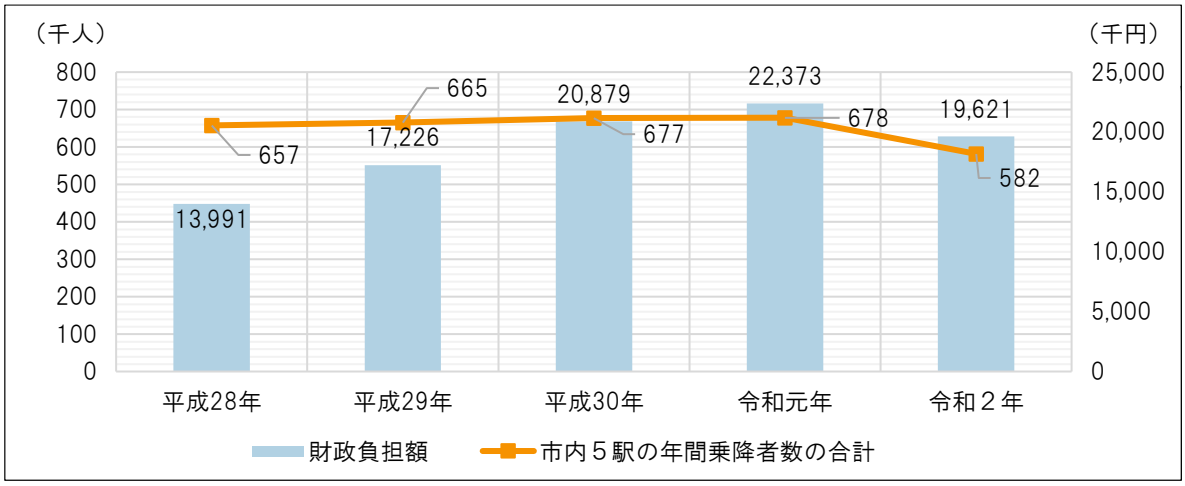
○令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響で大幅に減少している。

○本市の財政負担は年々増加し、令和元年で 22,373 千円をピークに、令和 2 年では 19,621 千円となっている。

■ 駅別年間乗降者数



■ ごめん・なはり線における本市の財政負担推移



■ 土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線路線図

■ 土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線

(3)路線バス

○現在、高知東部交通(株)によって、高知市と安芸市を繋ぐ安芸線が運行されている。
※平成29年9月まではとさでん交通(株)が運行。

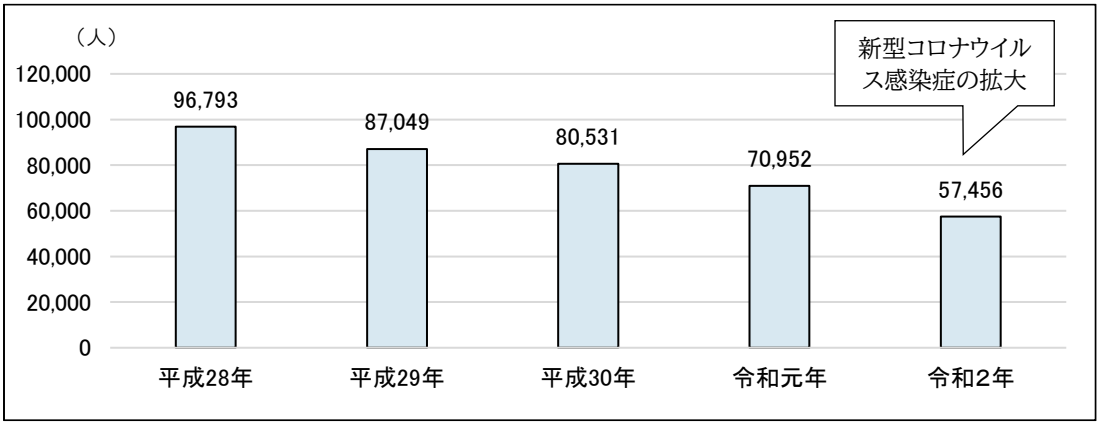
○路線バス利用者は年々減少しており、平成 28 年から令和元年までの 3 年間でマイナス 25,841 人と大幅に減少している。令和 2 年では新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、さらに利用者が減っている。

○今後は、利用者のニーズを把握し、利便性の向上と利用促進策を検討する必要がある。

■ 路線バス運行状況

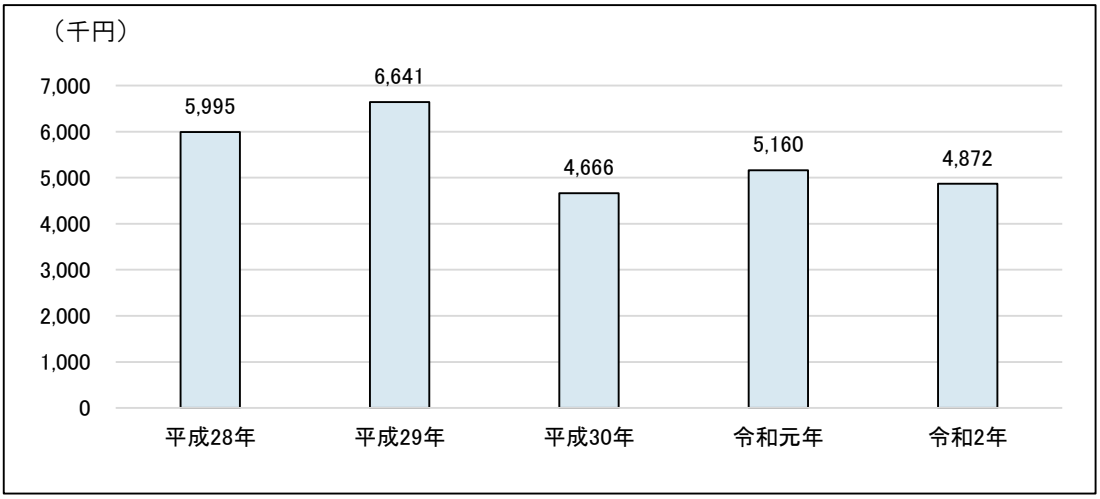
運行区間	運行本数		運賃
	平日	休日	
高知～安芸	11 本	10 本	200～1,240 円 ※例:野市龍河洞通から はりまや橋…540 円
安芸～高知	11 本	10 本	

■ 利用者数の推移(路線バス)

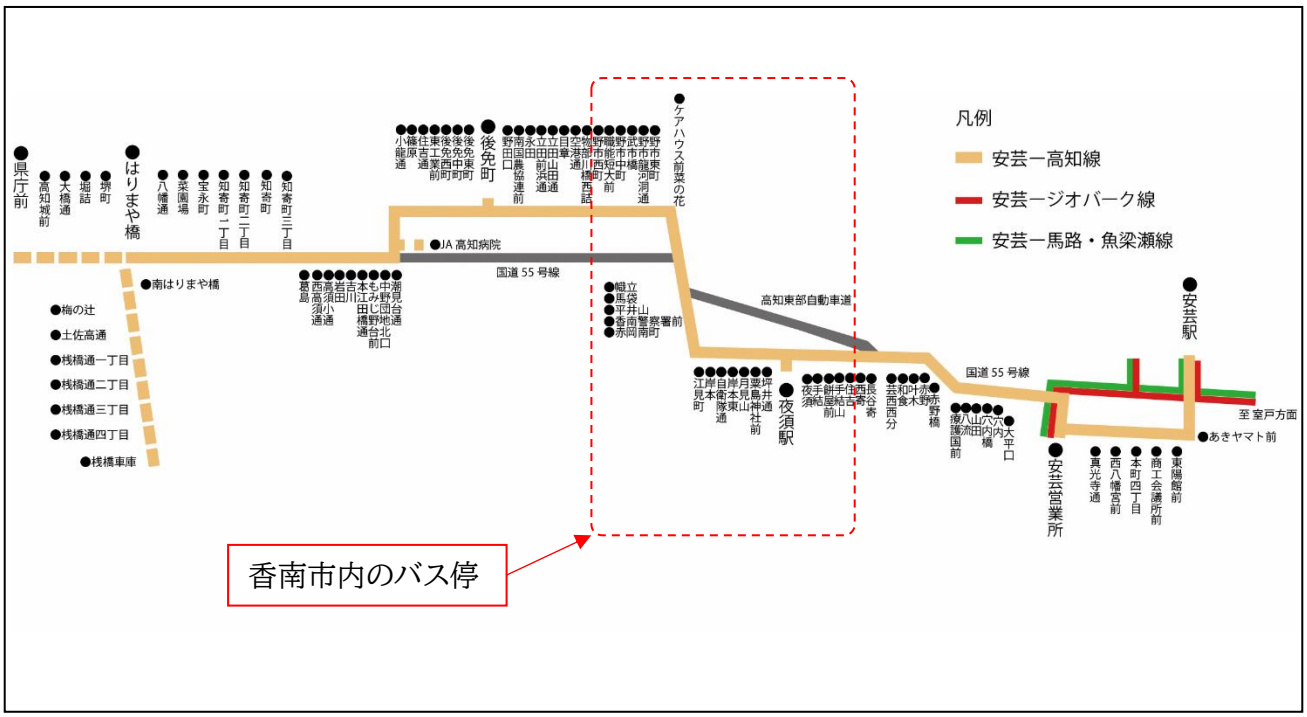


出典:とさでん交通株式会社

■ 路線バスにおける本市の財政負担推移



■ 路線図(安芸線)



■ 高知東部交通安芸線バス

(4)市営バス

① 市営バス運行の背景・経緯

○町村合併前は、中心地と山間地との間を民間路線バス(土佐電気鉄道(株))が運行していたが、過疎化と自家用車の普及による利用客減少により路線の休止が行われ、旧香我美町、旧夜須町は自家用自動車による有償運送の許可を取得した。

○旧香我美町内で運行していた東川線は、昭和 45 年 10 月に運行許可を取得。旧夜須町内を運行していた国光線、羽尾線、細川線についても、昭和 45 年 10 月に運行許可を取得し、地域住民の利便性を図るため町所有の自動車による代替輸送を行っていた。その後、西川線(H14.10.1廃止)、野市・龍河洞線(H16.10.1廃止)など、民間バス路線が廃止。廃止後、西川線は香我美町が代替運行を行った。吉川村では吉川－JA南国病院区間の運行を行っていた。

○平成 18 年3月の合併後は、各町村で運行していた町営バス、村営バスを残す形で香南市営バスを運行。3年に1回、定期的に市営バス事業の見直しを行っており、令和2年10月には4回目の見直しを実施している。

○スクールバスについては、旧町時代から夜須校区と香我美校区の2箇所でスクールバスの運行を行っていた。合併後も同様に夜須校区と香我美校区ではスクールバスを運行しており、一部の便では一般の利用者も乗車できる混乗方式を導入している。したがって、市営バスの運行はスクール対応を前提とした編成となっており、登下校の時間帯以外の空き時間(間合い時間)に市営バスを運行している。

※P.36 市営バス運行とスクールバス対応の車両関係図を参照。

■ 香南市営バスの取組(年表)

年代	出来事
平成 18 年3月	香南市誕生とともに、香南市営バス運行開始。
平成 22 年	デマンド交通についてタクシーを使った実証実験を実施。
平成 23 年7月	第1回見直し 香我美町・夜須町の山間部でデマンド運行開始するとともに、ルート変更や増便を実施。
平成 25 年	54 系統あった複雑なバス路線を 17 路線に整理。
平成 26 年7月	第2回見直し 17 路線で運行開始。
平成 29 年 9 月	マイクロバス2台を 14 人乗り車両へ小型化。
平成 29 年 10 月	第3回見直し 運行効率及び利便性の向上を目的として、17 路線を 12 路線へ集約。
令和 2 年 9 月	マイクロバス 1 台を 14 人乗り車両へ小型化。
令和 2 年 10 月	第4回見直し 交通空白地域解消を目的として、12 路線を 14 路線に拡充。

② 運行概要

○平成 18 年の市町村合併に伴い、旧町村で運行していたバス路線を再編し、香南市営バスとして運行を開始。のいち駅と夜須駅を起終点とした全 14 路線を定時定路線で運行しており、曜日を限定している路線を 5 路線、一部予約運行区間の路線を 2 路線有している。

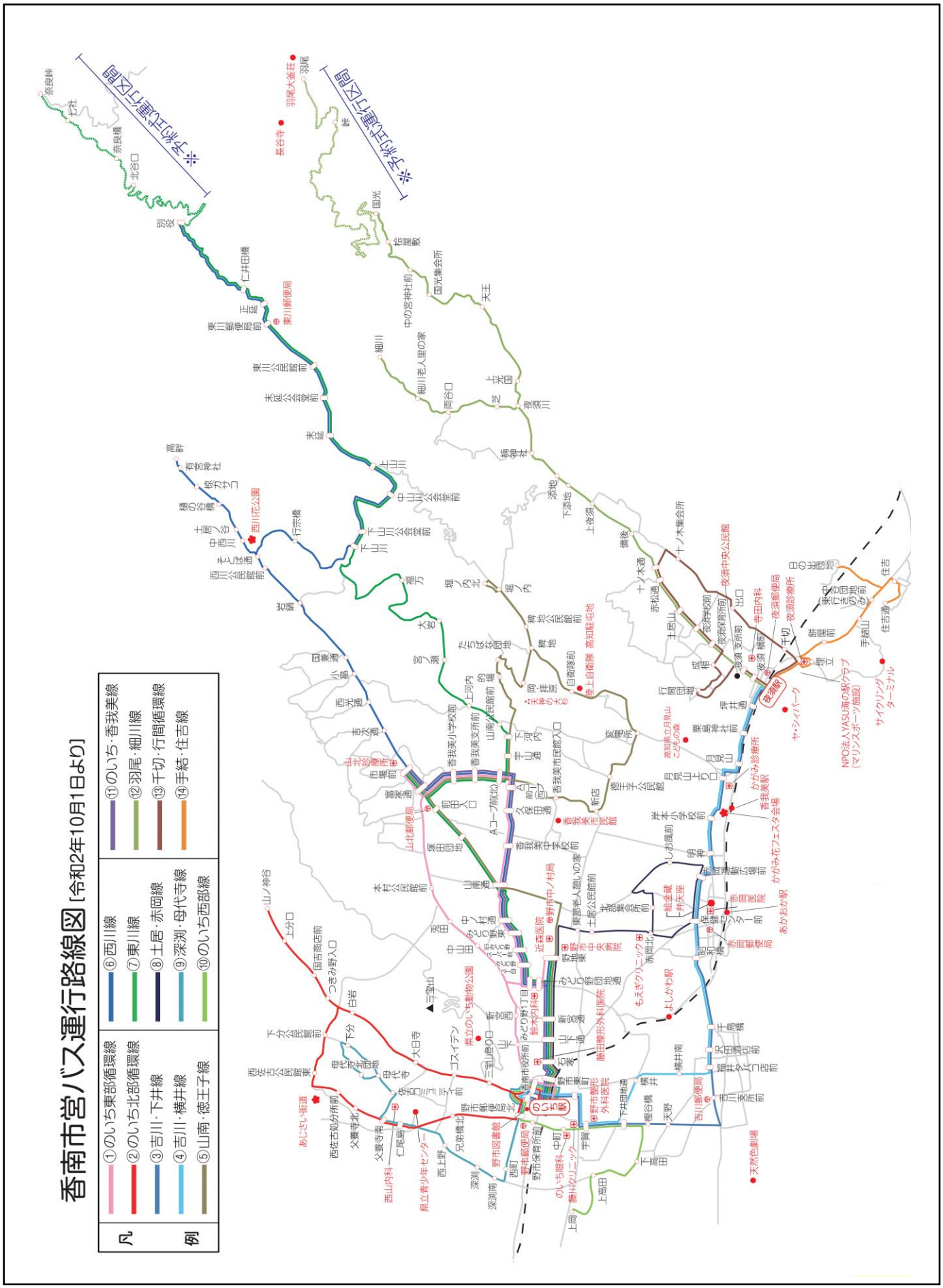
○平日は7台、休日は4台の車両で運行しており、平日7台のうち 6 台が香我美町と夜須町の学校区で登下校の時間帯に合わせてスクールバスとして運行している。

■ 市営バス運行概要（令和2年10月1日以降）

路線番号	路線名	運行回数		運賃※	備考（運行日）
		平日	休日		
1	のいち東部循環線	5 回	4 回	100 円均一	
2	のいち北部循環線	5 回	4 回	100 円均一	
3	吉川・下井線（上り）	5 回	4 回	100～300 円	月・水・金・土・日・祝
	吉川・下井線（下り）	5 回	5 回		
4	吉川・横井線（上り）	5 回	-	100～300 円	火・木　※祝日除く
	吉川・横井線（下り）	5 回	-		
5	山南・徳王子線	5 回	4 回	100～200 円	
6	西川線（上り）	5 回	3 回	100～500 円	登下校の時間帯に合わせてスクールバスとの混乗方式で運行
	西川線（下り）	4 回	3 回		
7	東川線（上り）	2 回	2 回	100～600 円	月・水・金・土・日・祝 一部予約運行区間
	東川線（下り）	3 回	3 回		
8	土居・赤岡線	3 回	3 回	100 円均一	
9	深渕・母代寺線	5 回	-	100 円均一	火・木　※祝日除く
10	のいち西部線	5 回	-	100 円均一	火・木　※祝日除く
11	のいち・香我美線（上り）	1 回	1 回	100 円均一	
	のいち・香我美線（下り）	3 回	1 回		
12	羽尾・細川線（上り）	5 回	3 回	100～400 円	一部予約運行区間 登下校の時間帯に合わせてスクールバスとの混乗方式で運行
	羽尾・細川線（下り）	5 回	2 回		
13	千切・行間循環線（右回り）	3 回	-	100 円均一	
	千切・行間循環線（左回り）	3 回	-		
14	手結・住吉線	5 回	2 回	100 円均一	登下校の時間帯に合わせてスクールバスとの混乗方式で運行

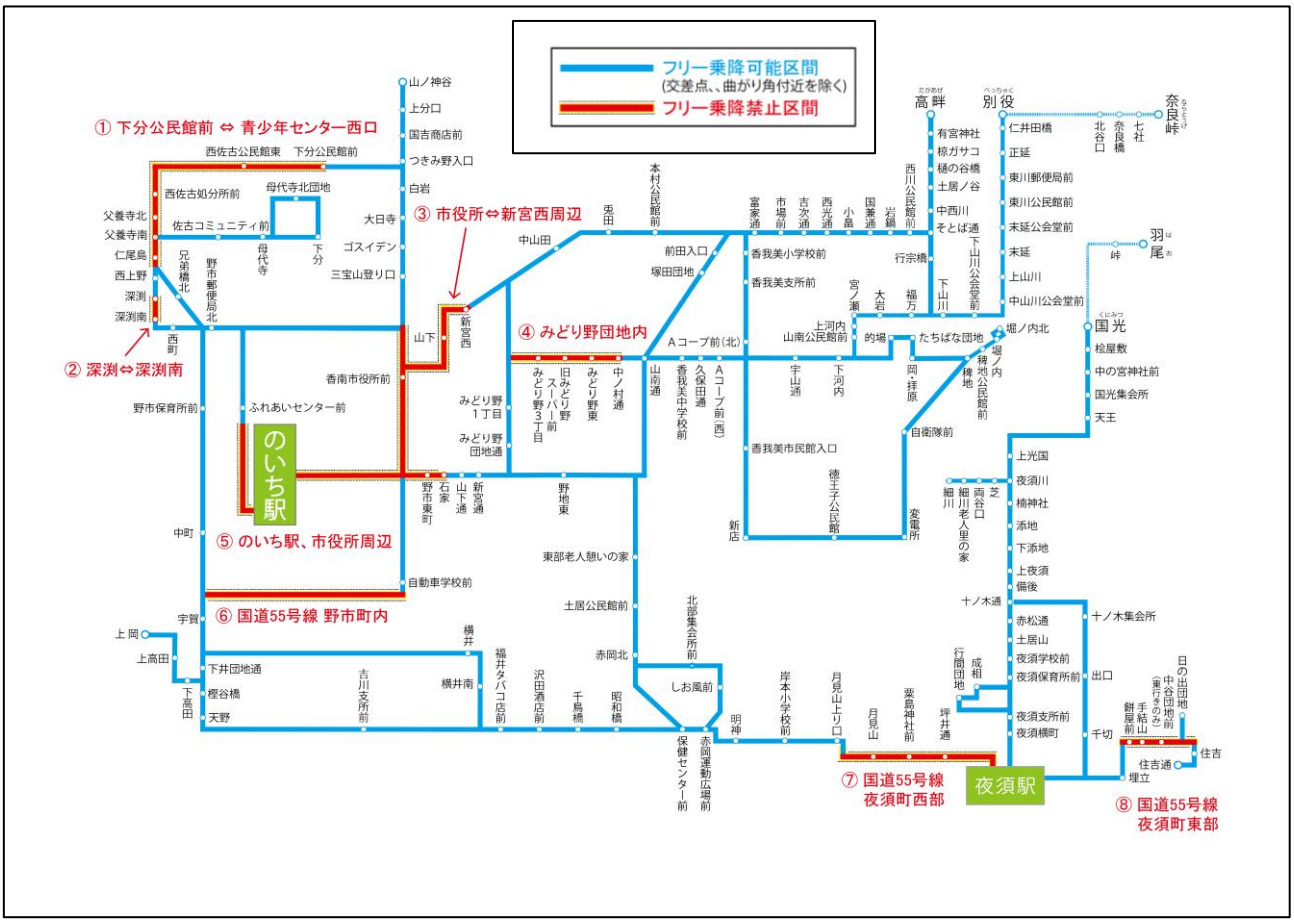
※運賃の割引対象
運賃無料…小学生未満
運賃半額…小学生、75 歳以上、身体障害者及び付添人、児童福祉法適用者及び付添人、知的障害者及び付添人、精神障害者及び介護人、運転免許証返納者

■ 市営バス路線図


香南市営バス運行路線図【令和2年10月1日より】
凡例
①のいち東部循環線
②のいち北部循環線
③吉川・下井線
④吉川・横井線
⑤山南・徳王子線
⑥西川線
⑦東川線
⑧土居・赤岡線
⑨深渕・母代寺線
⑩のいち西部線
⑪のいち・香我美線
⑫羽尾・細川線
⑬千切・行間循環線
⑭手結・住吉線
※冬期運行区間
※冬期運行区間
のいち駅
夜須駅

○市営バスはバス停以外でも乗り降りできるフリー乗降方式で運行している。交通量の多いエリア、駐停車禁止箇所、交差点、曲がり角付近や運転手が安全でないと判断した場合は乗り降り不可としている。

■ 市営バス路線図フリー乗降区間（令和2年10月1日以降）



③ バス車両概要

○バス車両は 10 台を有し(予備車両 2 台含む)、平日 7 台、土日祝日は 4 台で運行している。
○26 人または 29 人乗りのマイクロバスと14人乗りの小型バスを使用しており、香我美小学校の岸本地区の生徒の送迎のみ45人乗りの中型バスを使用している。
○バス車両は運行の安全性確保のために定期的に更新を行っている。

■ 市営バス車両一覧(令和 3 年 11 月時点)

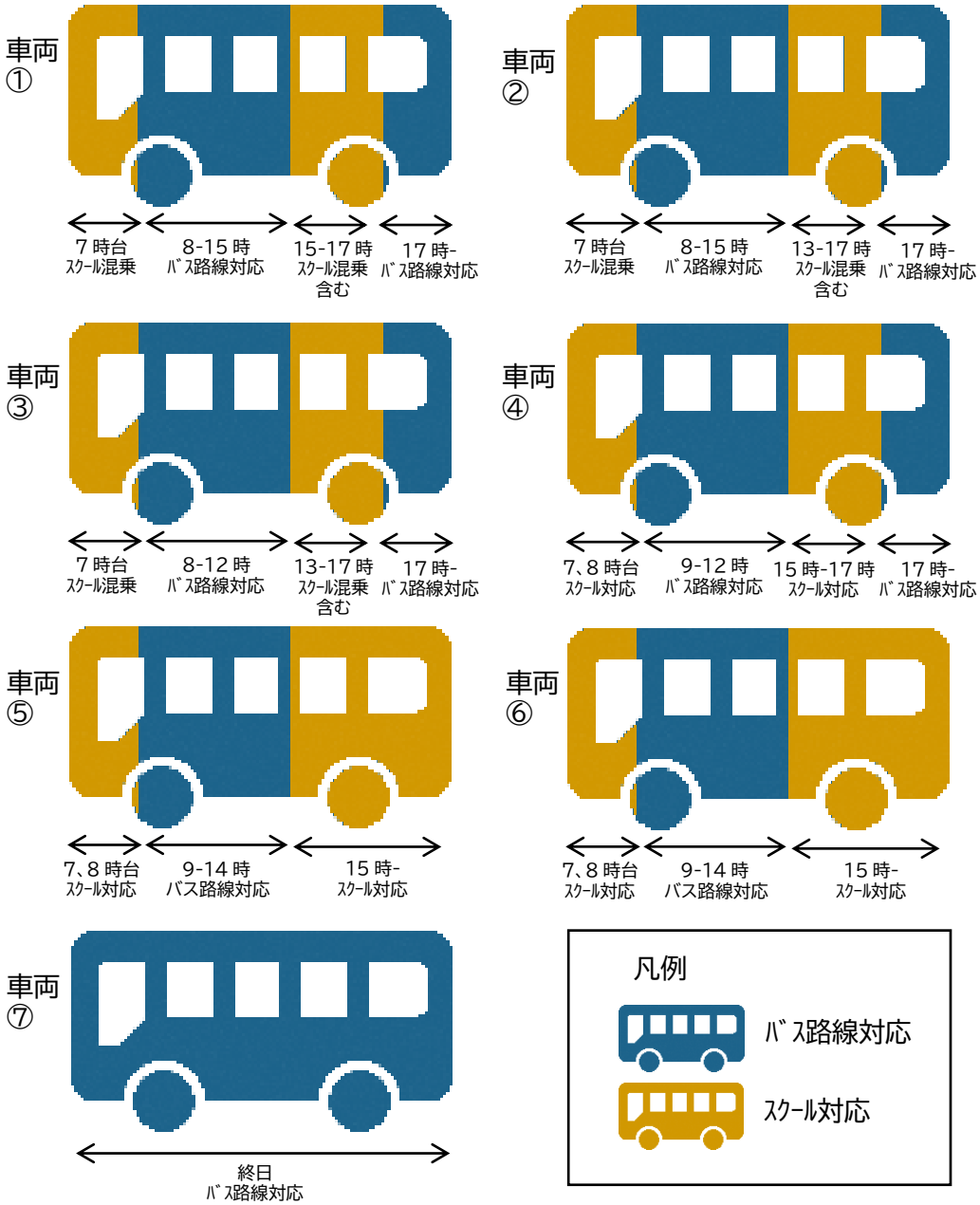
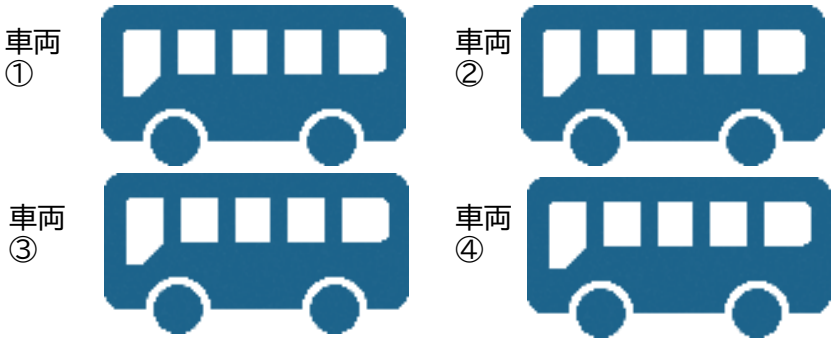
	初度登録年月	車名	車種	乗車定員	走行距離(km)	運行仕業	特記事項
1	H20.6	三菱	マイクロバス	26人	570,146	-	予備車両
2	H21.12	ニッサン	マイクロバス	29人	597,687	平日のみ	※令和 4 年度に更新予定
3	H21.12	ニッサン	マイクロバス	26人	588,209	-	予備車両 ※令和 4 年度に更新予定
4	H27.10	三菱	マイクロバス	29人	299,536	平日 土日祝	
5	H28.9	日野	マイクロバス	26人	172,696	平日のみ	
6	H29.9	トヨタ	小型バス	14人	152,270	平日のみ	
7	H29.9	トヨタ	小型バス	14人	179,162	平日 土日祝	
8	H31.3	日野	マイクロバス	29人	121,118	平日 土日祝	
9	R2.3	日野	中型バス	45人	13,190	平日のみ (ｽｸｰﾙのみ)	香我美小学校 岸本地区スクールバス専用
10	R2.9	トヨタ	小型バス	14人	38,932	平日 土日祝	

※ は、スクール専用

■マイクロバス

■小型バス

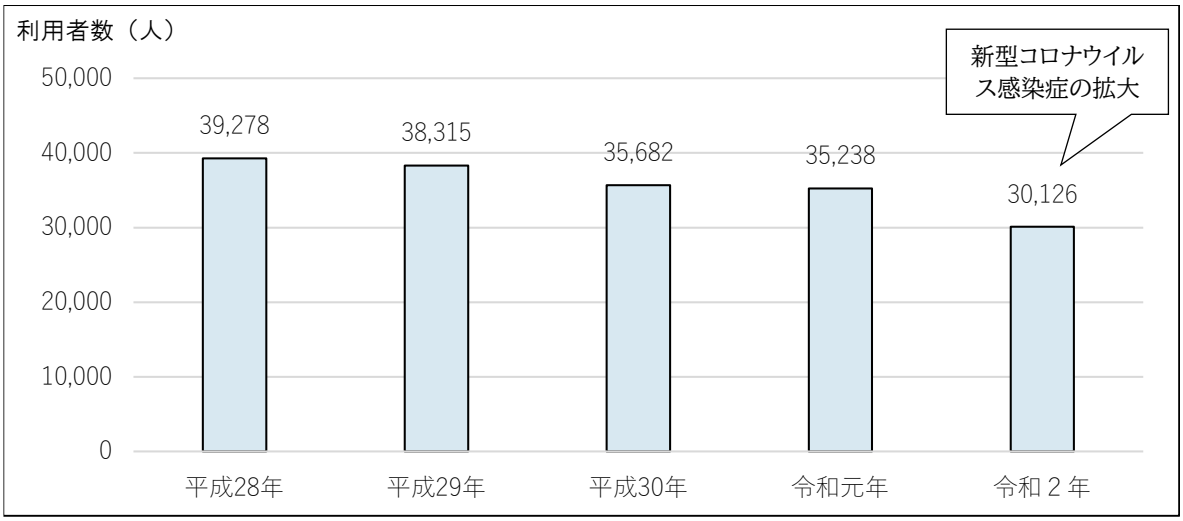
■ 市営バス運行とスクールバス対応の車両関係図(イメージ)※令和2年10月1日以降

	仕様
平日	※7台で運行。朝夕の時間に応じてスクール対応を行っている。(一部スクール混乗便でも対応) 
土日祝日	※4台で運行している。 

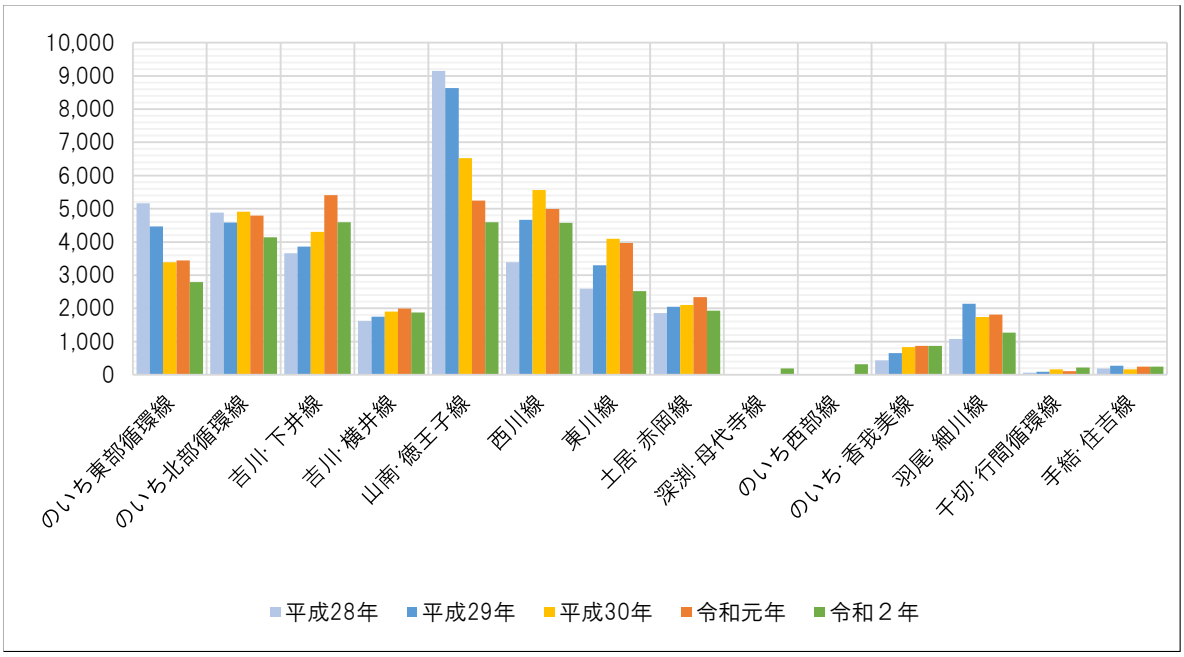
④ バス利用者数

○近年の市営バス利用者数はほぼ横ばいで、年間 35,000 人前後の利用者であったが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 30,126 人まで減少している。
○のいち東部循環線や山南・徳王子線は年々減少傾向にあるが、その他は概ね横ばいとなっている。
○令和 2 年度は全ての路線で前年度より利用者数が減少している。

■ 市営バス利用者数の推移



■ 市営バス利用者数の推移（路線別）



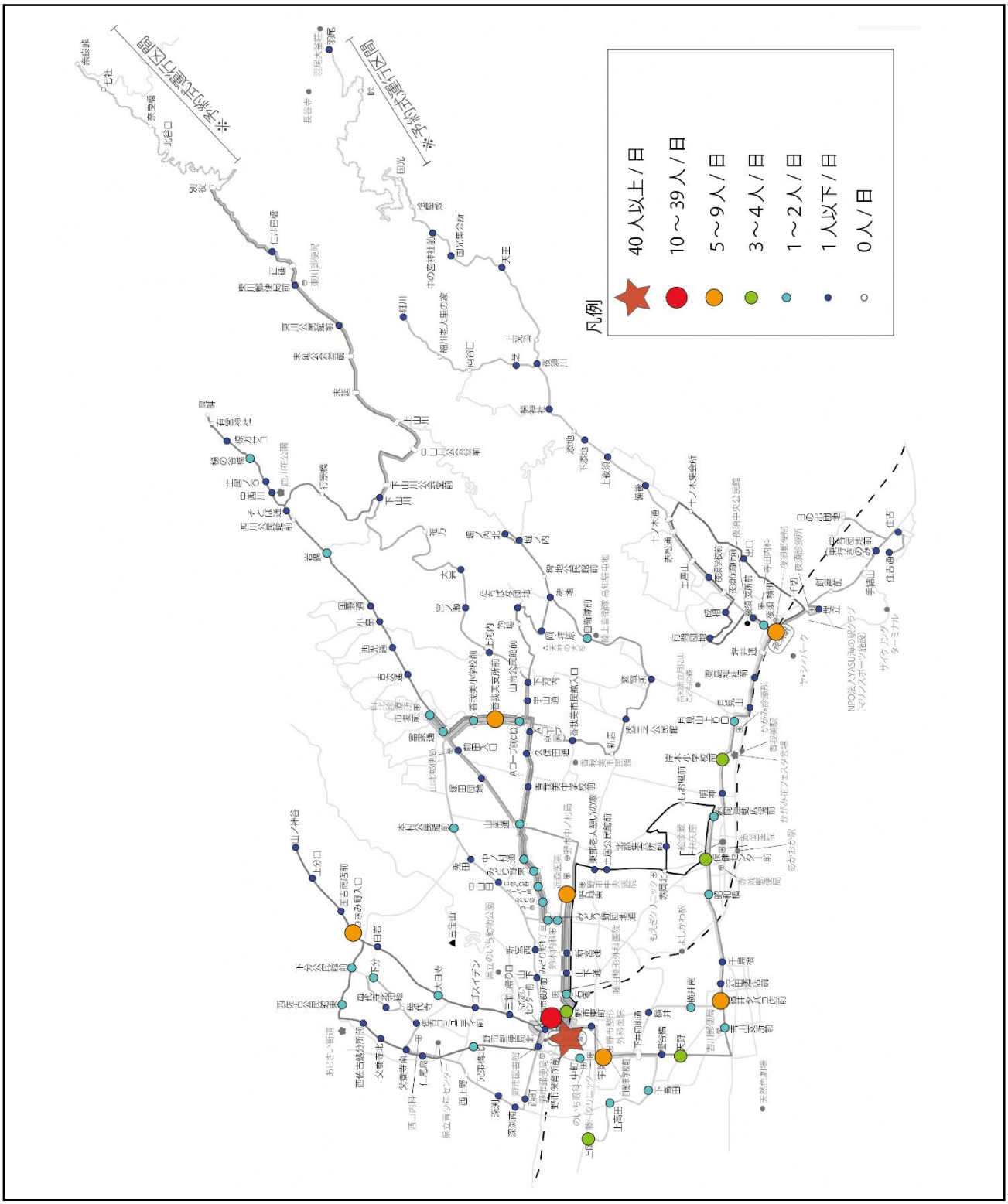
1. のいち東部循環線：平成 28 年はみどり野循環線
2. 山南・徳王子線：平成 28 年～平成 29 年 9 月は堀ノ内循環線、平成 29 年 10 月～令和 2 年 9 月は堀ノ内徳王子循環線
3. 土居・赤岡線：平成 28 年～平成 29 年 9 月は赤岡土居循環線
4. 深渕・母代寺線、のいち西部線は令和 2 年 10 月から運行開始
5. 羽尾細川線：平成 28 年～平成 29 年 9 月は羽尾細川線、国光線、国光細川線、羽尾線として運行
6. 千切・行間循環線：平成 28 年～平成 29 年 9 月は行間循環線
7. 手結・住吉線：平成 28 年～平成 29 年 9 月は手結線、平成 29 年 10 月～令和 2 年 9 月は手結住吉循環線

○各バス停の平日の1日あたりの利用者数は、のいち駅の利用が最も多く、また夜須駅や主要な目的地となる公共施設（香我美支所等）、商業施設、医療施設（野地東、宇賀等）のバス停利用者が多くなっている。

○のいち駅と市場前、のいち駅と夜須駅を結ぶ路線の利用が多く、火曜日と木曜日のみ運行しているのいち西部線上の利用も多くみられる。

○香我美町と夜須町では1日1人以下や利用者がいないバス停が多くみられる。

■ 市営バス停別利用者（令和３年7月1日～31日実績）



⑤ 財政負担

○市営バスは市営バス路線とスクールバス路線の運行委託費（車両の維持管理費含む）、燃料費や老朽したバス車両の買換、時刻表冊子の印刷費等の経費がかかっており、市営バスの料金収入や高知県の補助金収入を賄っても年々経費は増加している。令和 2 年度は約 53,000 千円の財政負担額となっており、一般の利用者の利用一回あたりの財政負担額は約 765 円となっている。

○令和元年度から岸本小学校の閉校に伴い、スクールバスが必要となったため運行委託費が増加している。

※バスの運行経費には国の普通交付税及び特別交付税、過疎対策事業債を充当している。

■ 市営バス財政負担額推移（内訳）

■支出　（単位：円）

	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和２年
市営バス路線運行委託費	18,188,933	20,331,055	21,861,138	22,063,557	21,355,922
スクールバス運行委託費	16,129,808	16,555,666	16,859,848	22,784,139	25,217,595
その他経費	13,993,789	18,972,539	14,838,118	8,649,250	13,971,867
支出計	48,312,530	55,859,260	53,559,104	53,496,946	60,545,384

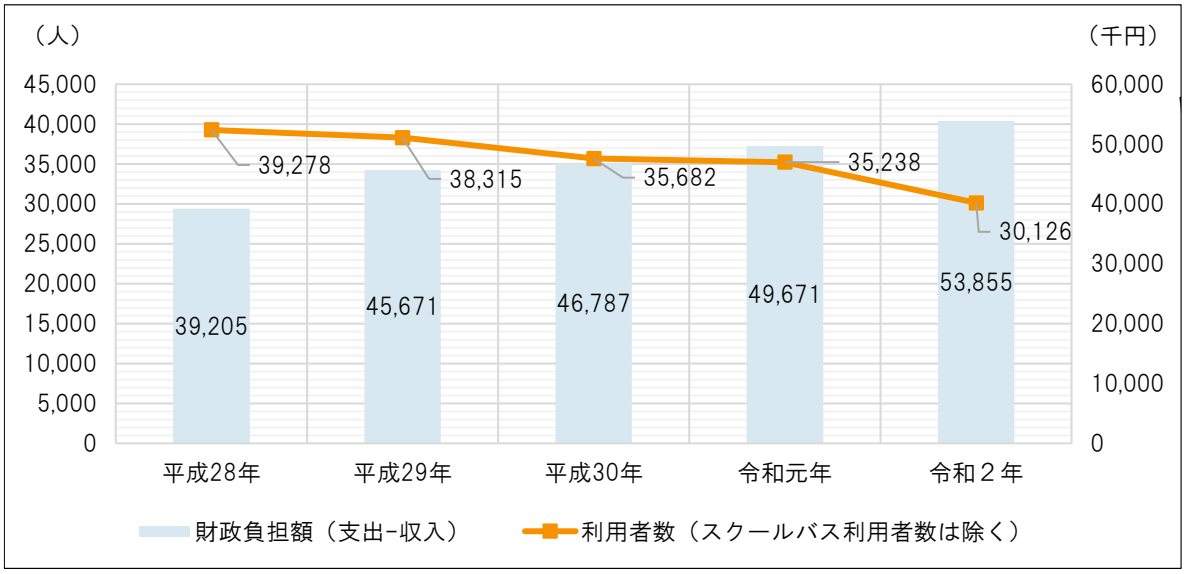
■収入

市営バス売上	4,136,576	3,775,193	3,165,694	3,334,666	3,021,496
補助金（県）	4,971,000	6,413,000	3,606,000	491,000	3,669,000
収入計	9,107,576	10,188,193	6,771,694	3,825,666	6,690,496

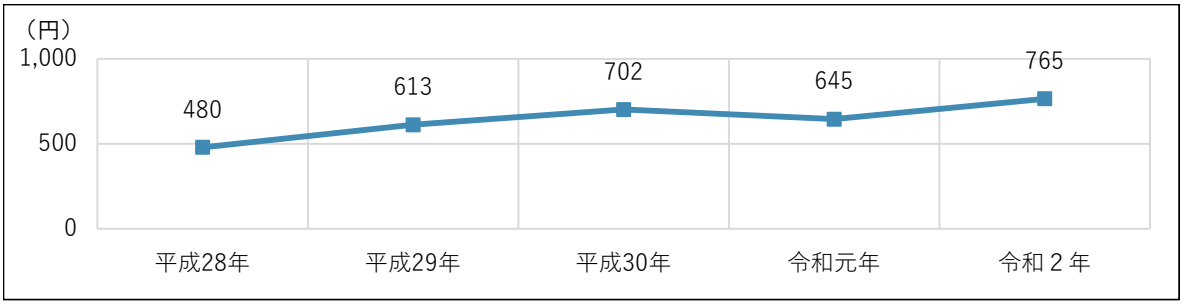
■財政負担額（支出-収入）

支出-収入	39,204,954	45,671,067	46,787,410	49,671,280	53,854,888

■ 市営バス財政負担額推移



■ 一回利用当たりの財政負担額(市営バス路線)



【参考:一回利用あたりの財政負担額(市営バス)の算出方法】※令和２年度

(単位：円)

		市営バス路線	スクールバス路線	計
支出	運行委託費	21,355,922	25,217,595	46,573,517
	その他経費※	6,416,690	7,555,177	13,971,867
	計	27,772,612	32,772,772	60,545,384
収入	市営バス路線売上	3,021,496	0	3,021,496
	補助金(高知県)※	1,682,391	1,986,609	3,669,000
	計	4,703,887	1,986,609	6,690,496
支出－収入①		23,068,725	30,786,163	53,854,888
年間利用者数②		30,126	-	
1回利用あたり(①÷②)		765	-	

※その他経費、補助金(高知県)は運行委託費の割合で按分。スクールバスの年間利用者数はカウントしていません。

(5)タクシー

○主に香南市内を営業区域とする事業者は３事業者(※介護タクシー除く)である。

○のいちタクシーと野島ハイヤーの協働で 60 歳以上の方の利用が１割引となる「がんばろうカード」を発行し、利用促進に繋げている。

<がんばろうカード>

■ 香南市内を運行しているタクシー会社(令和４年２月時点)

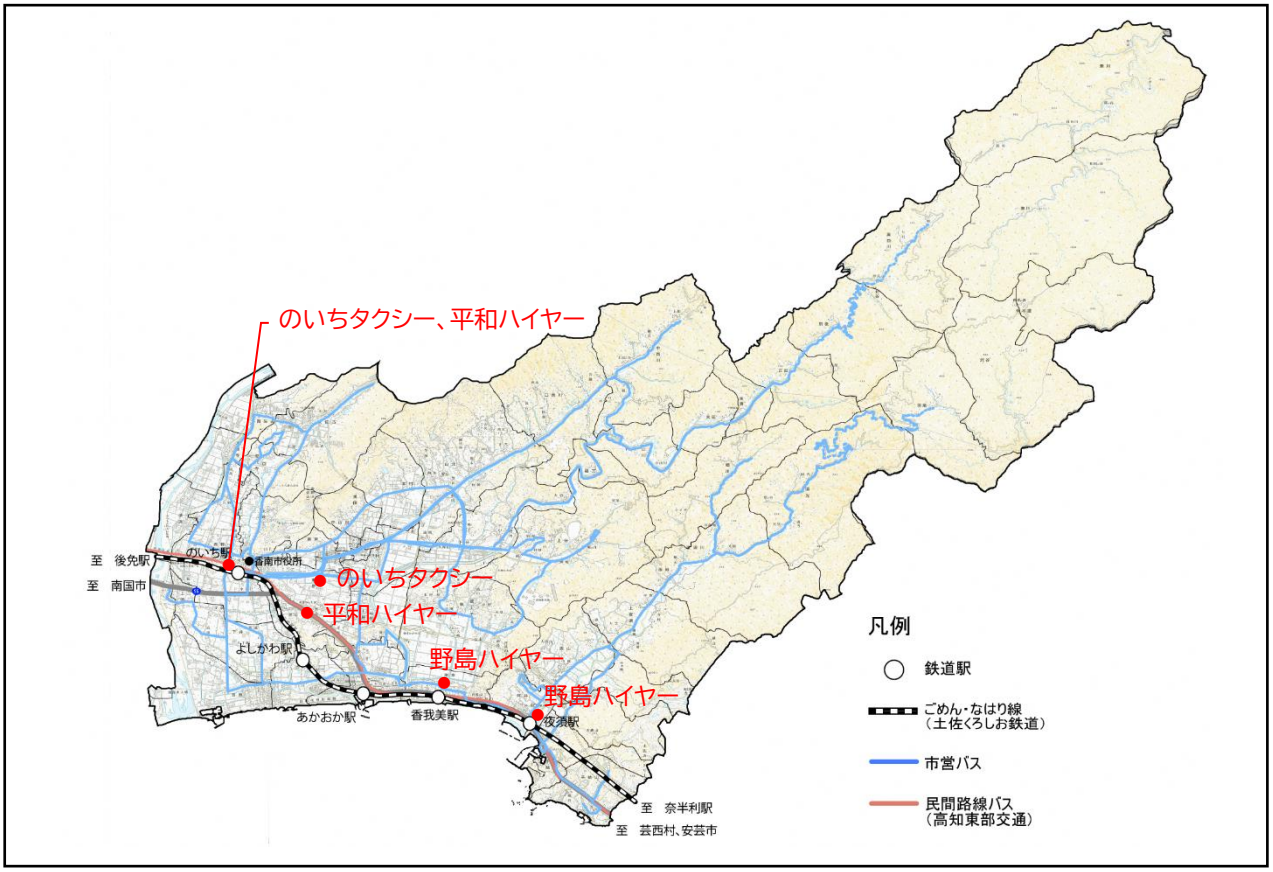
会社名	所在地	登録台数	
		登録台数	うち大型
(株)のいちタクシー	野市町西野579	12	1
(有)平和ハイヤー	野市町東野1231	26	1
(有)野島ハイヤー	香我美町岸本47	5	0
合計		43	2

▼ のいちタクシー

▼ 平和ハイヤー

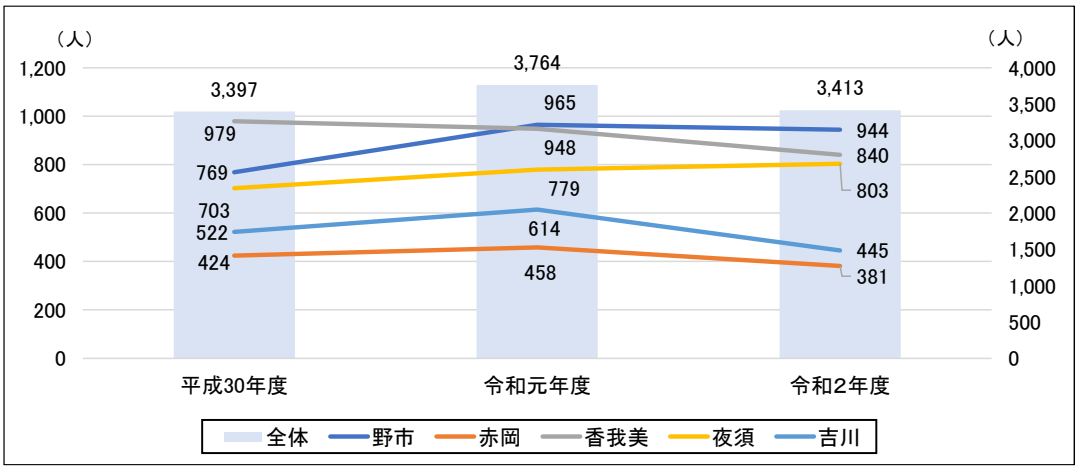
▼ 野島ハイヤー

■ タクシー事業所・営業所



（6）その他移動支援

① リフレッシュ移動サロン

項目	内容
概要	高齢者の日常生活用品の買い出し等のための送迎を行う取組
実施主体	香南市社会福祉協議会
対象	○70 歳以上の市民　　○ひとり暮らし、又は高齢者世帯 ○買物に行くための車を所有していない人、又は運転できない人 ○自分で動けて買い物ができる人　○リフレッシュ移動サロン会員に登録
金額	年間 500 円の会費制
運行内容	毎週1回～月2回程度各地区にて実施※地域によって実施回数は異なる ■リフレッシュ移動サロン延べ参加者数（平成 30～令和 2 年度実績）  ※リフレッシュ移動サロン会員登録者数…140 人（令和 3 年3月 31 日時点） ■右写真　リフレッシュ移動サロン（香南市社会福祉協議会提供）

② 移動販売

事業者	内容
とくし丸	株式会社サニーマートが運営。市内計 18 カ所で毎週火曜と水曜に販売を行う。 【販売エリア】(※令和 2 年 3 月時点) ○野市町…野市東小、みどり野1丁目、下井、兎田、つきみ野、上久保神社、中ノ村 ○香我美町…若一王子宮、岸本、香我美駅南、徳王子、たちばな団地 ○赤岡町…松ヶ瀬 ○吉川町…吉川町郵便局 ○夜須町…手結港、手結山第2トンネル、出口、十ノ木
ハッピーライナー	株式会社サンプラザが運営。市内の 5 地域に対し週に1回の販売を行う。 【販売エリア】(※令和 2 年 3 月時点) ○野市町…横井近辺 ○香我美町…西川方面 ○夜須町…細川、国光、羽尾

③ その他移動支援

支援事業	内容
医療機関送迎サービス	高齢者や障害者が通院のためにタクシーを利用した際の費用の一部を月に1回助成。 【対象者】 香南市に住所を有する在宅者で要支援または要介護の認定を受けている人 ※入退院時の送迎を行う場合・対象者が車両等を運転することができる場合・家族による送迎が可能な場合又は公共の交通機関を利用できる場合などは対象外 【助成限度額】 ○高知市内の医療機関…5,000 円 ○南国市・香美市・芸西村の医療機関…3,000 円 ○香南市内の医療機関…全額

④ パーク＆ライドの取組

支援事業	内容
土佐くろしお鉄道	○のいち駅では定期券利用者専用のパーク＆ライド専用駐車場を無料で提供している。ごめん・なはり線上で 5 駅(後免駅・のいち駅・安芸駅・田野駅・奈半利駅)が対象となるが、のいち駅は 10 台の駐車場を受入れており、満車となっている。 ○のいち駅に限り利用条件として隣接のフジグラン野市で利用可能な商品券を 3,000 円×利用月分のご購入が契約条件となっており、フジグラン野市と連携して取り組んでいる。

(7)地域公共交通に及ぼす新型コロナウイルス感染症の影響

○令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されて以降、日本各地に感染が拡大し、同年4月に緊急事態宣言が発令されたが、今もなお収束の兆しが見えない状況にある。

○地域公共交通は、緊急事態宣言下においても休業要請の対象外であり、エッセンシャルワーカーとして地域住民の「くらしの足」を守るために運行を継続している。しかしながら、収支率が他産業と比べて高くない公共交通事業者にとって、感染拡大による利用者の更なる減少は経営危機に直結している。

○一般路線バスの利用者数は、緊急事態宣言解除後の令和2年6月より回復傾向にあるものの、前年比で2割～3割減少(令和2年 11 月時点)した状態が続いている。鉄道、高速バス、タクシーについても一般路線バスと同等またはそれ以上に減少している。そのため、公共交通事業者においては、「安心して利用してもらうための取組」と、「事業を継続するための工夫」を講じていくことが急務となっている。地域公共交通の存続の危機に直面している中で、地方における様々な対応、取組を全力で支援するため、内閣府所管の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が創設拡充されている。

■ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の概要(令和 2 年度)

1．補正予算計上額　1.5 兆円 （うち 地方単独分 1.0兆円、即時対応分 0.2兆円）

2．所管　内閣府（地方創生推進室）　ただし、各府省に移し替えて執行

3．交付対象等

（1）交付対象　：実施計画を策定する地方公共団体（都道府県・市町村）

（2）交付方法　：コロナ対応にかかる国庫補助事業の地方負担と地方単独事業のそれぞれの所要経費に対し、交付限度額を上限として交付金を交付。
即時対応分は、営業時間短縮要請等に係る協力金等の支払に対して交付※。

（3）交付限度額：①　感染症対応分（0.5兆円）
（地方単独事業分）　人口・事業所数を基礎に、感染状況等に基づき算定
②　地域経済対応分（0.5兆円）
人口、年少者・高齢者の比率、財政力等に基づき算定

※協力要請推進枠の地方負担分が一定額を上回る地方公共団体については、「即時対応分」を活用して追加的に支援。

4．使途（即時対応分を除く）

地方公共団体が地域の実情に応じてきめ細やかに実施する以下のような取組に充当。

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けた対応
- ポストコロナに向けた経済構造の転換・地域における民需主導の好循環の実現に向けた対応

※中小企業への支援や雇用の創出に資する事業等について、国の施策を補完する地方公共団体独自の措置にも積極的に活用。

■ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用事例集(抜粋)

24.公共交通(バス、鉄道、旅客船、航空等)応援事業

他の支援施策の対象とならない又は超える部分について、経営に大きな影響を生じている公共交通機関及び関連事業者に対して、3密を避けるための運行に協力する場合や、収束後に利用を喚起するために便数や施設等の利用環境を整える場合に、奨励金等により支援。

25.地域公共交通機関の高度化支援事業

収束後の地域の移動を支えるため、経営に大きな影響を生じている地域公共交通機関に対し、他の支援施策の対象とならない又は超える部分について、収束後の経営持続化に資する省メンテナンスで環境性能に優れた車両・船舶への入替や施設管理の効率化等に関する取組に要する経費の一部を支援。

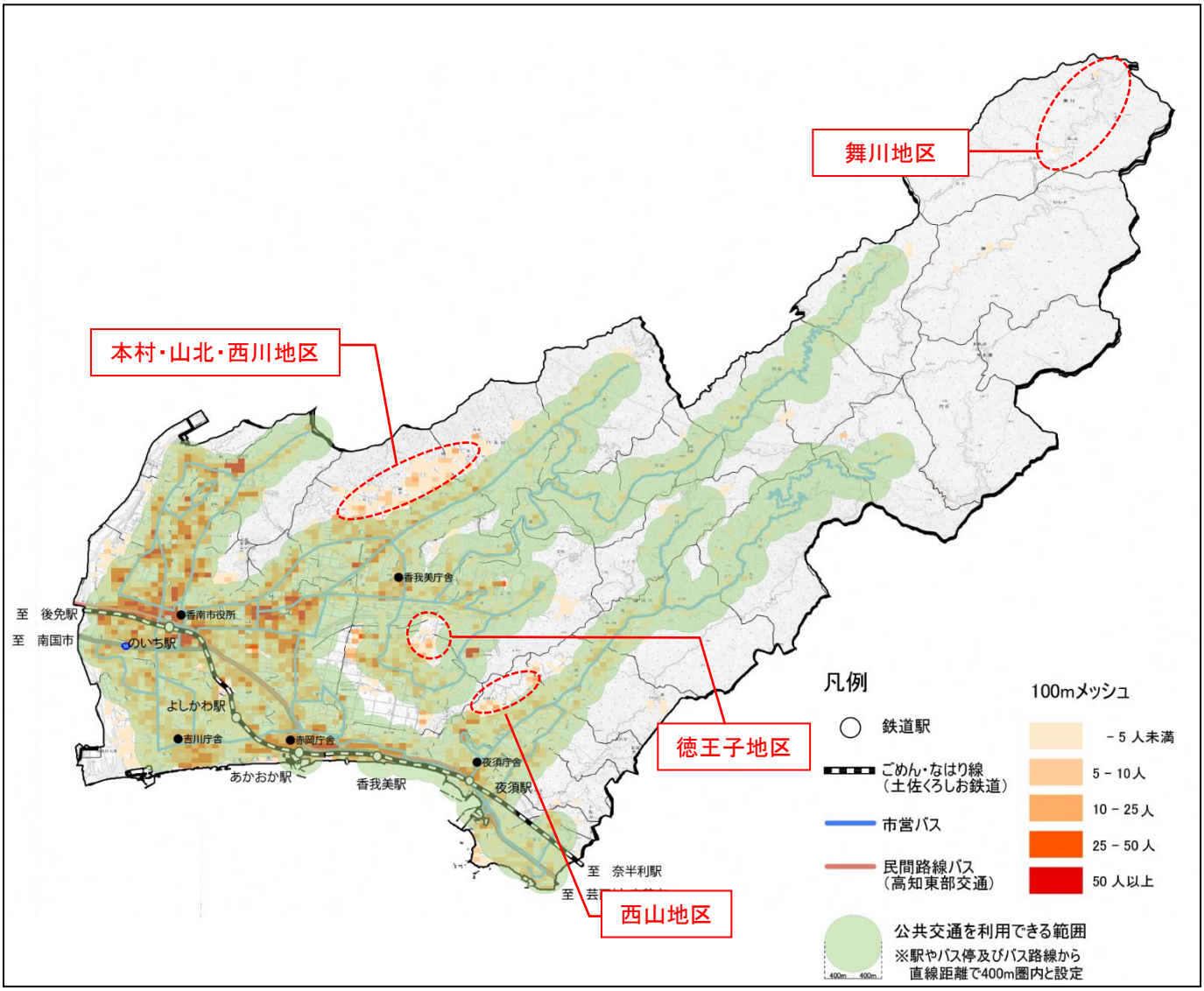
(8)公共交通空白地域

○公共交通空白地域*について、空白地域について、野市町本村、香我美町山北、西川、徳王子、夜須町西山の一部地区、香我美町舞川等が該当する。

○また、吉川・横井線、東川線、深渕・母代寺線、のいち西部線等の路線は、曜日運行を行っているため、空白地域の対象でなくても生活が不便でないか配慮が必要である。

*公共交通空白地域…交通空白地や交通不便地域ともいわれ、公共交通の便利さの指標の一つ。本市では駅やバス停が半径 400mの距離の範囲内にない地域とする。

■公共交通空白地域

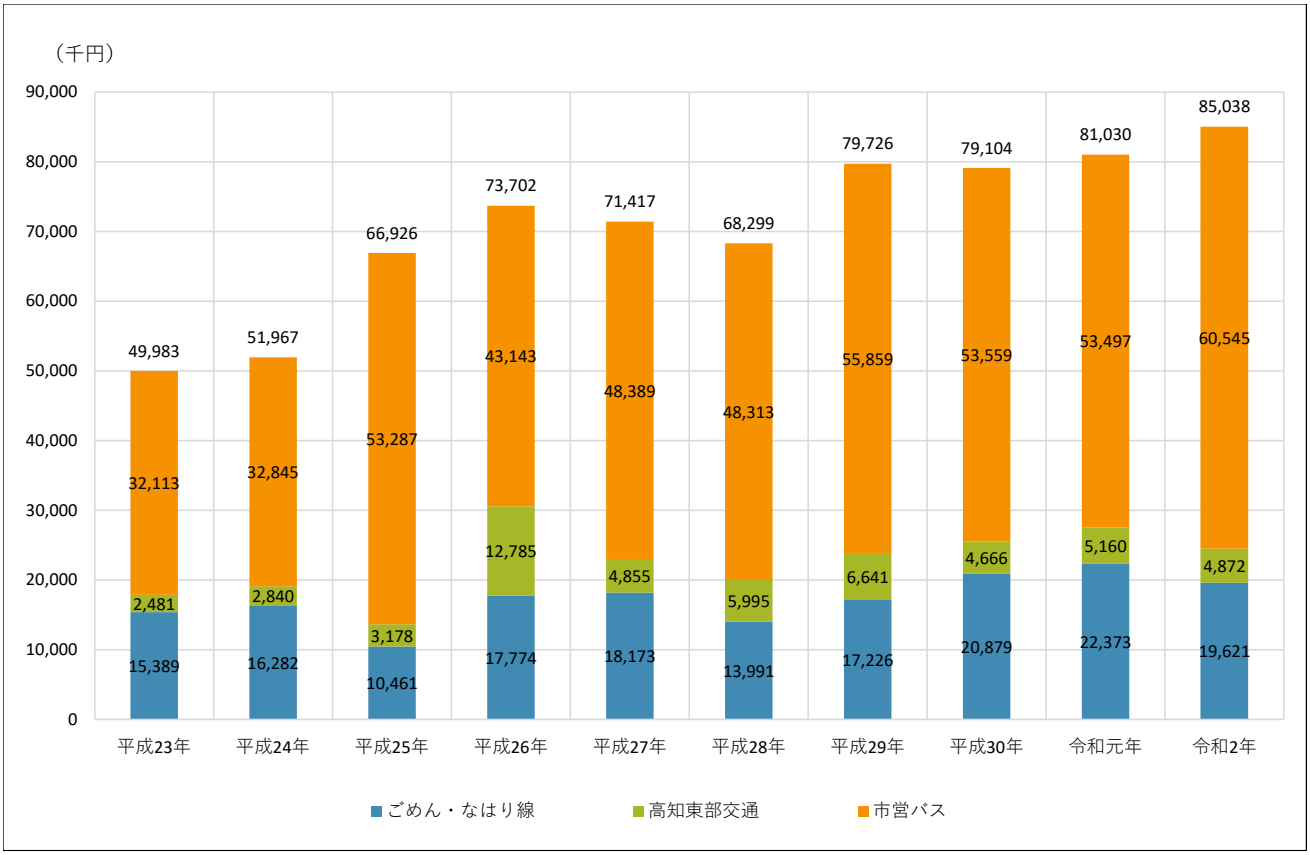


（9）公共交通の財政負担

○公共交通における財政負担について、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線への負担金および高知東部交通安芸線への補助金、市営バス（スクールバス含む）の運行委託費（車両の維持管理費含む）、燃料費や老朽したバス車両の買換等の経費負担が生じている。

○本市の財政負担額は、平成 26 年から平成 28 年まで減少しているが、平成 29 年以降、ごめん・なはり線は設備の更新や修繕等に係る負担金が増加し、市営バス（スクールバス含む）は、令和元年の岸本小学校閉校による運行台数の増加、運行会社の委託費の増加等により、財政負担は年々増加している。財政負担額の合計は令和 2 年度では約 85,000 千円となっている。

■ 公共交通の財政負担推移



※高知東部交通への補助は平成30年から開始。平成29年まではとさでん交通へ補助。

資料：香南市

4 地域住民や公共交通利用者の移動ニーズ

(1)調査概要

<table>
<tr><th>実施調査</th><th>調査内容</th></tr>
<tr><td>市民アンケート調査
P48</td><td>【実施時期】令和 3 年 8 月 6 日(金)～8 月 27 日(金)
【対象者】15 歳以上の市民 3, 000 人
令和 3 年 4 月 1 日時点の住民基本台帳から無作為抽出
※公共交通の利用が比較的多い、10 歳代及び 65 歳以上の配布割合を多く設定。
【回収数】1,360(回収率 45.3%)</td></tr>
<tr><td>公共交通利用者調査
P68</td><td>【実施時期】令和 3 年 9 月 15 日(水)、16 日(木)
<table>
<tr><td>ごめん・なはり線</td><td>【実施手法】市内各駅にて鉄道利用者に対し配布、回収
【回収数】112 人</td></tr>
<tr><td>高知東部交通安芸線</td><td>【実施手法】主要バス停(野市龍河洞通、夜須駅)利用者に対し配布、回収
【回収数】15 人</td></tr>
<tr><td>市営バス</td><td>【手法】調査員が乗車し調査カードを配布、回収
【回収数】192 人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>集客施設利用者調査
P83</td><td>【実施時期】令和 3 年 9 月 14 日(火)
【対象施設】香南市役所、フジグラン野市、A コープかがみ、高知県立のいち動物公園、道の駅やす
【回収数】270 人</td></tr>
<tr><td>目的地となり得る事業所等調査
P84</td><td>【実施時期】令和 3 年 9 月 3 日(金)～9 月 20 日(月)
【対象事業所】医療機関、観光施設、商業施設、宿泊施設等 32 事業所
【回収数】14 事業所</td></tr>
<tr><td>交通事業者アンケート調査
P85</td><td>【実施時期】令和 3 年 9 月～12 月※ヒアリングも含む
【対象事業所】バス・鉄道事業者、タクシー事業者</td></tr>
<tr><td>関連事業者アンケート調査
P86</td><td>【実施時期】令和 3 年 9 月 3 日(金)～9 月 20 日(月)
【対象事業者】観光協会、子育て支援団体、障害者福祉団体、高齢者デイサービス支援団体</td></tr>
<tr><td>地域住民意見交換会
P87</td><td>【実施時期】令和 3 年 8 月～12 月
【対象地域】野市町(つきみ野団地、白岩団地、みどり野東、母代寺、下高田、山地・遠山)、香我美町(山北、徳王子、山南、奥西川、東川岸本、西川)、赤岡町(別所山)、夜須町(日の出団地、手結山、西山、出口)、吉川町(清水八反)</td></tr>
</table>

(2)市民アンケート調査

① 調査結果概要

■調査概要

【実施時期】令和 3 年 8 月 6 日(金)～8 月 27 日(金)
【対象者】15 歳以上の市民 3, 000 人
令和 3 年 4 月 1 日時点の住民基本台帳から無作為抽出
※公共交通の利用が比較的多い、10 歳代及び 65 歳以上の配布割合を多く設定。
【回収数】1,360(回収率 45.3%)

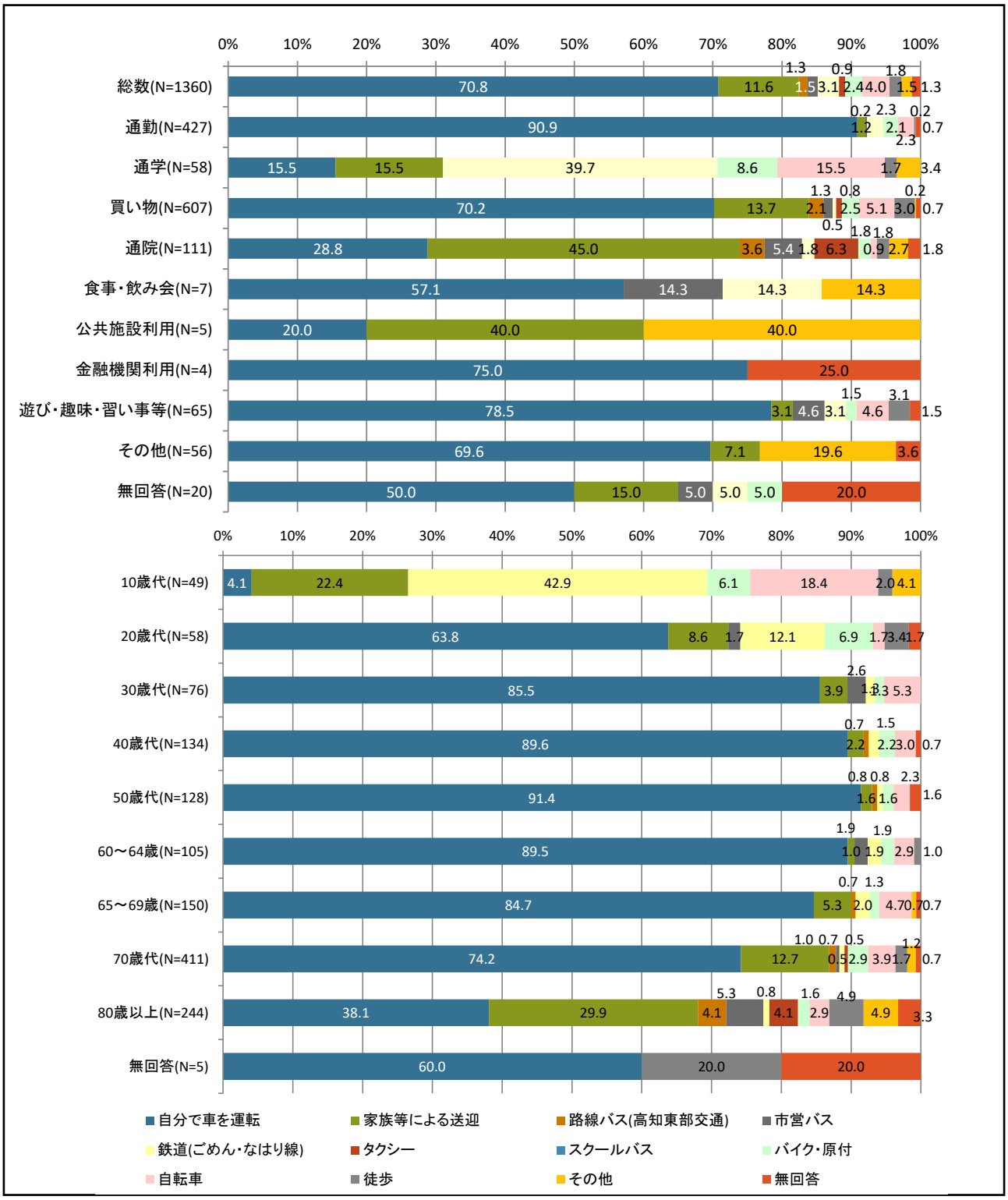
■回収結果

属性	回収結果					
性別	男性	523	38.5%	女性	772	56.8%
	無回答	65	4.8%			
年齢	10 歳代	49	3.6%	20～64 歳	501	36.8%
	65 歳～69 歳	150	11.0%	70 歳代	411	30.2%
	80 歳代以上	244	17.9%	無回答	5	0.4%
職業	会社員・公務員	268	19.7%	自営業	106	7.8%
	農林水産業	86	6.3%	学生	64	4.7%
	専業主婦(夫)	90	6.6%	パート・アルバイト	134	9.9%
	無職(年金生活含む)	567	41.7%	その他	37	2.7%
	無回答	8	0.6%			
地区	野市町	809	59.4%	香我美町	240	17.6%
	赤岡町	77	5.7%	吉川町	50	3.7%
	夜須町	152	11.2%	無回答	32	2.4%

② 地域住民の買い物や移動実態について

○多くの市民が自動車で移動しており、公共交通の利用は 6.8%となっている。
○通院や公共施設の利用で家族による送迎に頼っている傾向がある。
○10 歳代で、通学による公共交通利用が多く見られ、次いで、80 歳代以上で利用が多い。

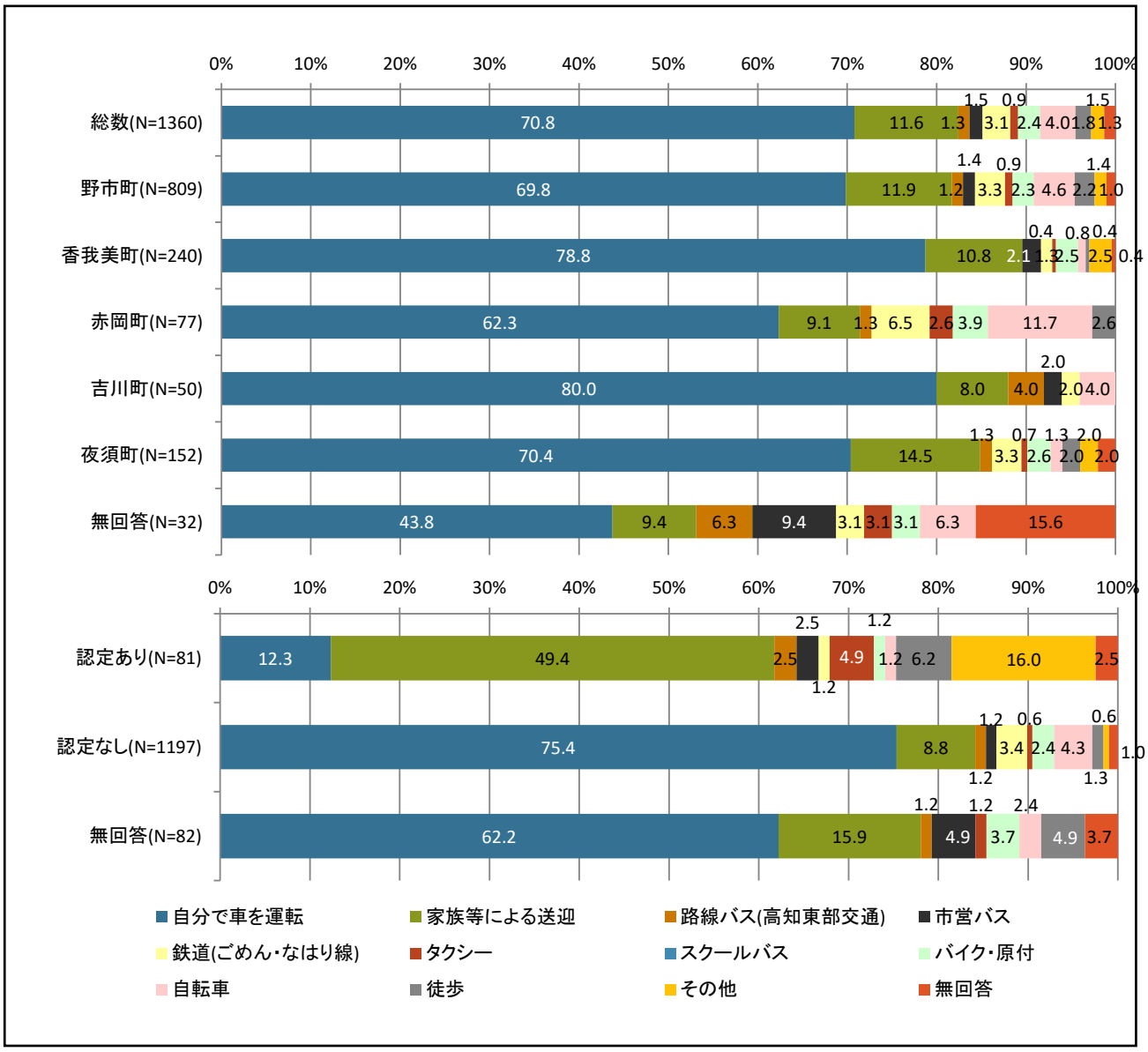
■ 主な目的別交通手段(交通手段別、年代別)



○町別における公共交通の利用割合を見ると、鉄道（ごめん・なはり線）は赤岡町が 6.5％と最も多い。路線バス（高知東部交通安芸線）は吉川町で 4.0％と最も多い。市営バスは香我美町および吉川町で 2.0％以上の利用が見られる。タクシー利用は赤岡町が 2.6％と最も多い。

○介護認定を受けている人については、家族等による送迎に次いで、その他（移動支援サービス等）の利用が最も多い。タクシー利用は 4.9％、市営バスと路線バスの利用は、それぞれ 2.5％おり、公共交通利用される人が一定数いる。

■ 主な目的別交通手段（町別、介護認定別）

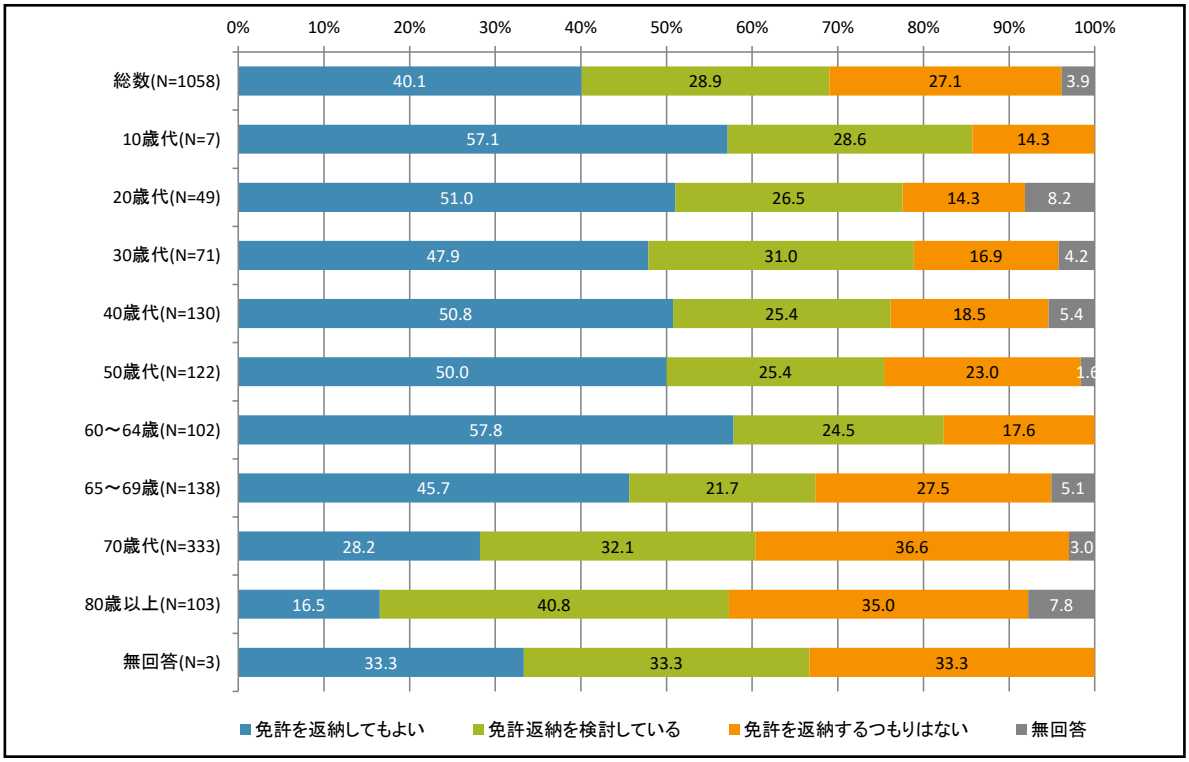


③ 運転への負担度および免許返納意向について

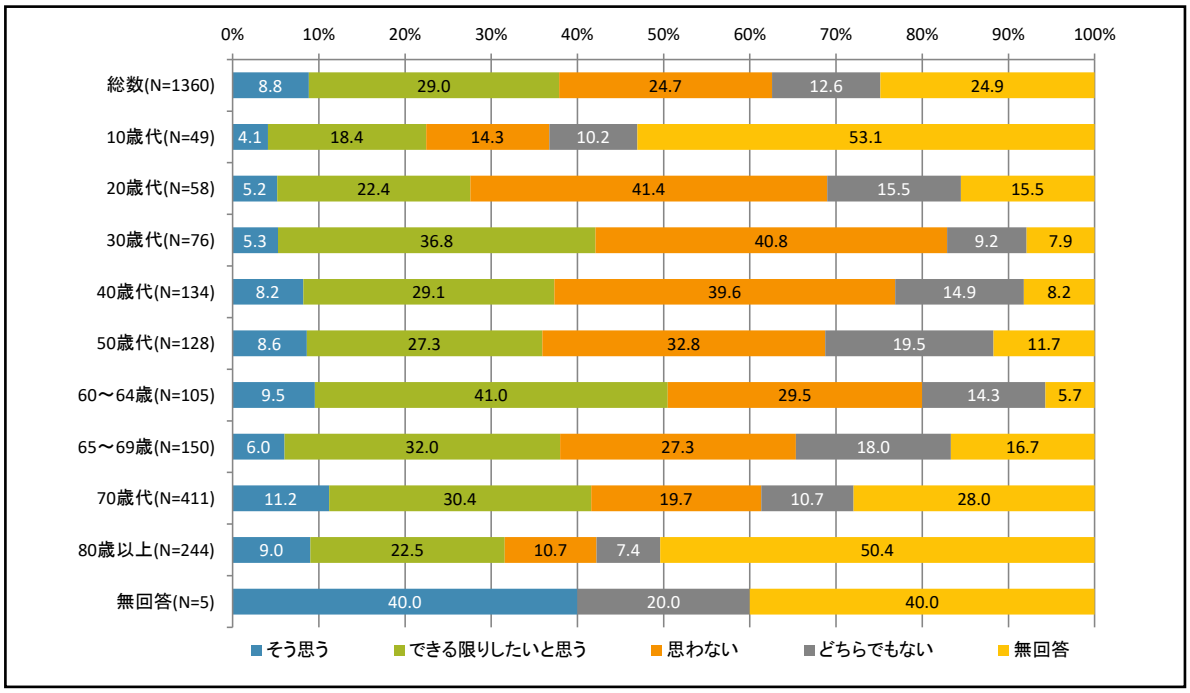
○年齢が若くなるほど早めに運転免許証の返納を考える傾向があり、一方で、高齢になるにつれ、運転を続ける方が多い。また、64 歳までは概ね半数以上が免許返納に前向きであり、今後の公共交通利用への潜在ニーズがみられる。

○今後、自家用車の過度な利用に頼らない意向がある方は全体の 37.8%であり、特に、60～64 歳の人が 50.5%と意識が高いため、公共交通の利用に向けた啓発を進めていくことが求められる。

■ 免許返納意向



■ 自家用車の過度な利用に頼らない意向について



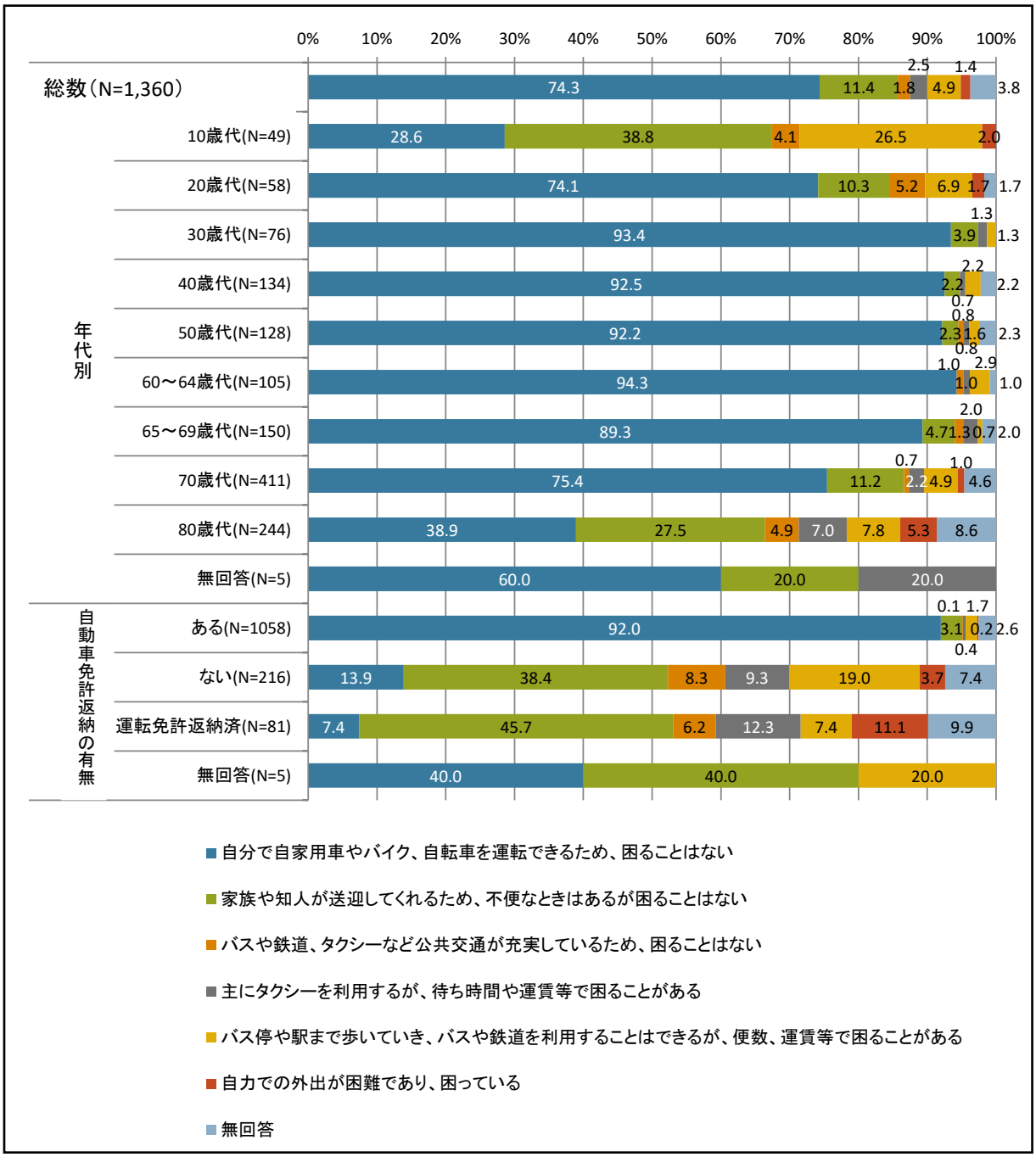
④ 外出困難者の実態について

○全体の 8.8%は交通手段に関して「困ることがある」、または「困っている」と回答しており、特に 80 歳代以上の人や免許を所有していない人、免許を返納された人の割合が多く、通院や買い物の際に不便に感じている。10 歳代では、「便数、運賃等で困ることがある」が 26.5%となっている。

○地域によって公共交通の利用に困っていたり、そもそも自力での外出が困難で困っている方もいるため、移動に関して困っている地域への対策が求められる。

○外出に困った方の 4 割以上がタクシーを利用している。また、赤岡町や吉川町では外出をあきらめる方が 2 割以上いるため、公共交通の不便さを解消することで外出できる機会を作ることが求められる。

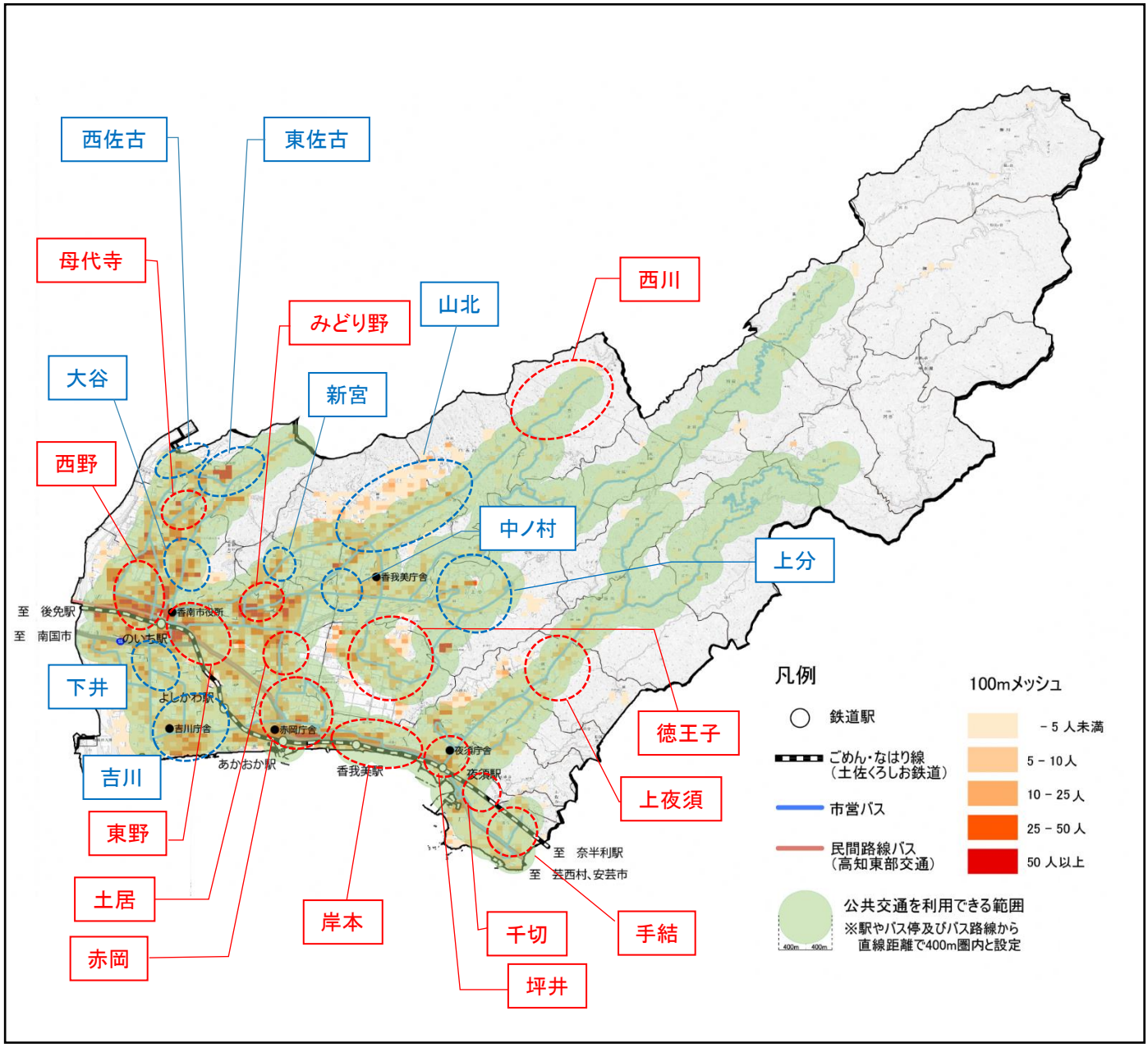
■ 外出困難者の割合



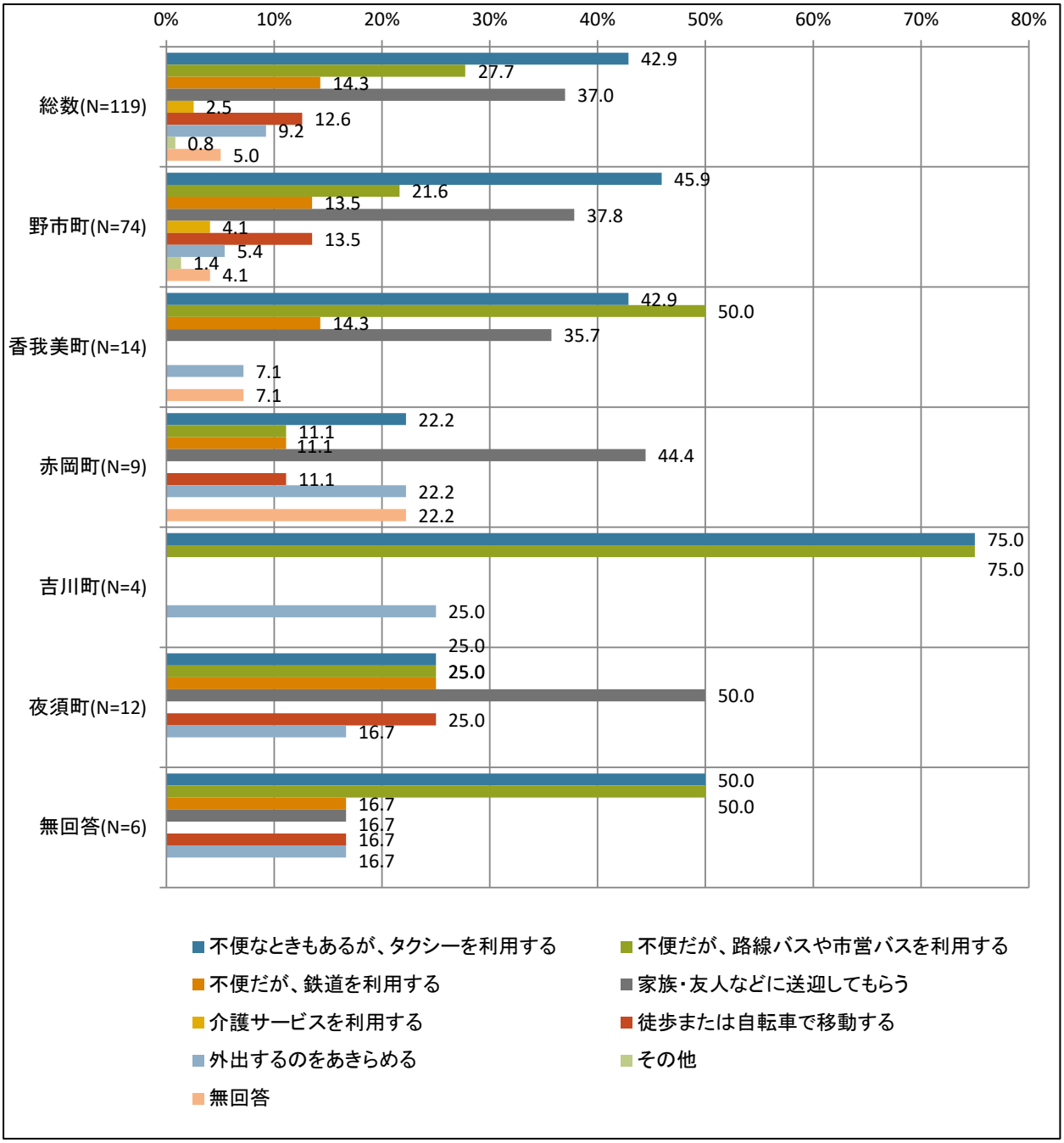
■ 外出で困っている人のいる地域一覧

	回答者数の 10%以上の人が「困っている」と答えた地域	回答者の 5%～10%の人が「困っている」と答えた地域
野市町	東野、母代寺、みどり野、土居、西野	中ノ村、東佐古、西佐古、下井、新宮、大谷
香我美町	西川、岸本	上分、山北
赤岡町	赤岡町全域	－
夜須町	上夜須、坪井、手結、千切	－
吉川町	－	吉川町全域

■ 外出に困っている人の多い地域



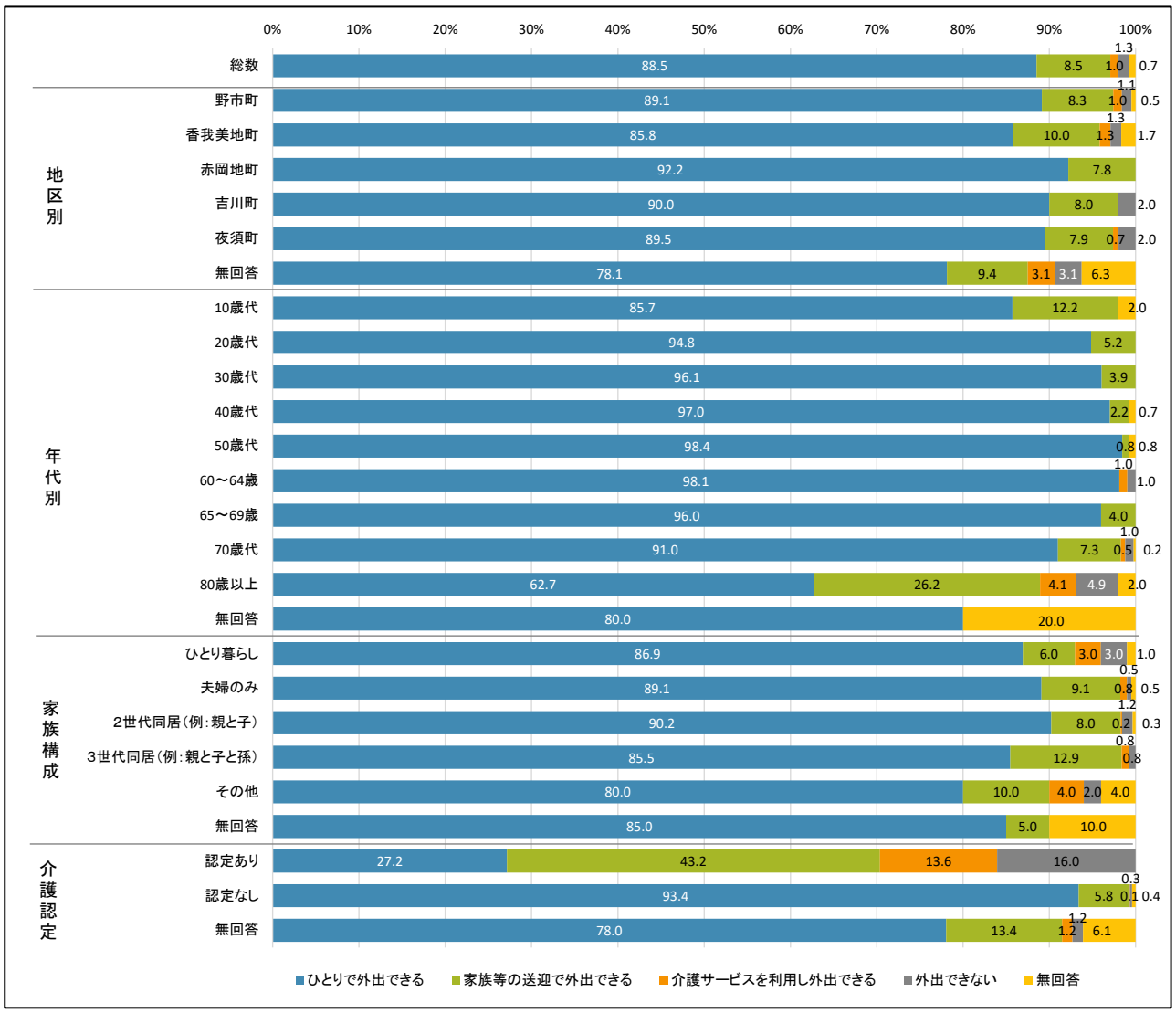
■ 外出に困っていると回答した人の外出時の対応



○日常の外出について、全体の 88.5%はひとりで外出できるが、8.5%は家族等の送迎、1.0%は介護サービス等を利用して外出しており、1.3%の人は外出ができない状況である。

○外出ができない人の割合は、町別では吉川町、夜須町で 2.0%と多く、年代別でみると 80 歳代以上で 4.9%となっている。家族構成別では、ひとり暮らしの人の割合が多いが、2世帯、3世帯同居の人でも家族の送迎や介護サービスに頼れず、外出できない人も一定数いる。また、介護認定を受けている人の 16.0%は外出ができない状況である。

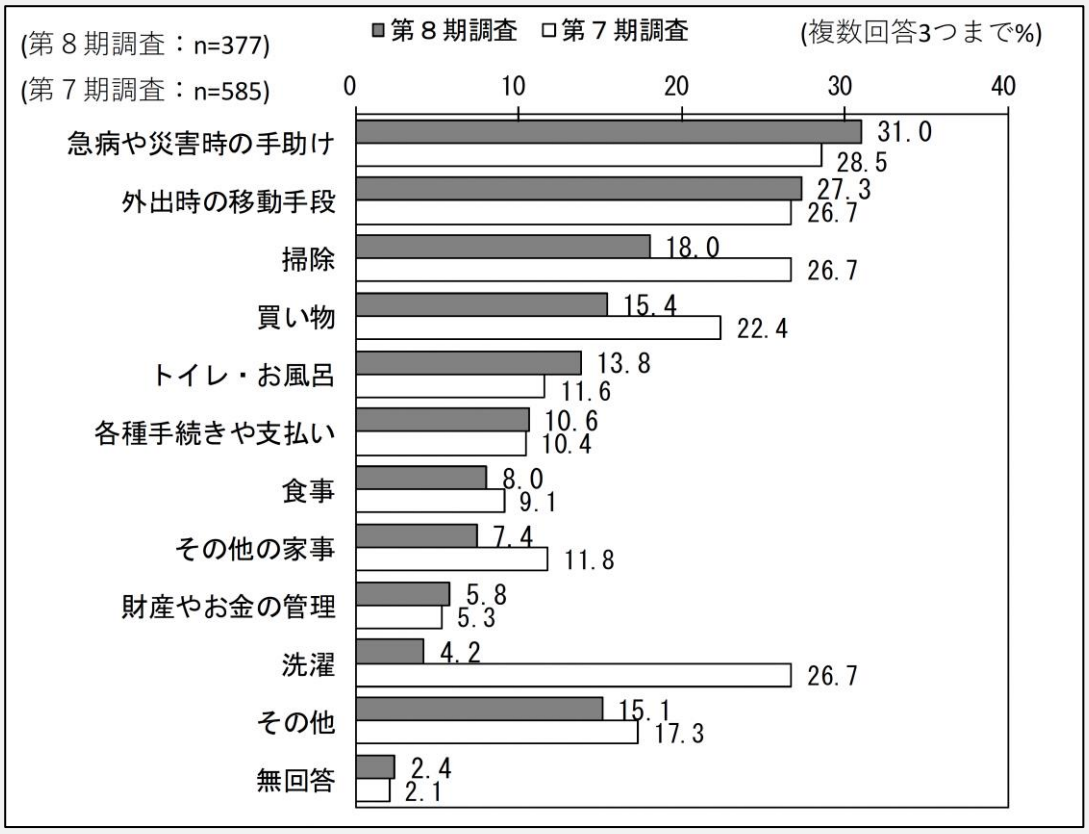
■ 外出できる人できない人の割合



【参考】65 歳以上の市民の日常生活での困りごとと利用したいサービスについて
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果 ※香南市高齢者福祉計画第8期介護保険事業計画より

○日常生活の中で、特に困っている人の割合をみると「外出時の移動手段」が上位2位を占め、前回調査に比べ 0.6 ポイント増加している。

■ 日常生活の中で困ったこと

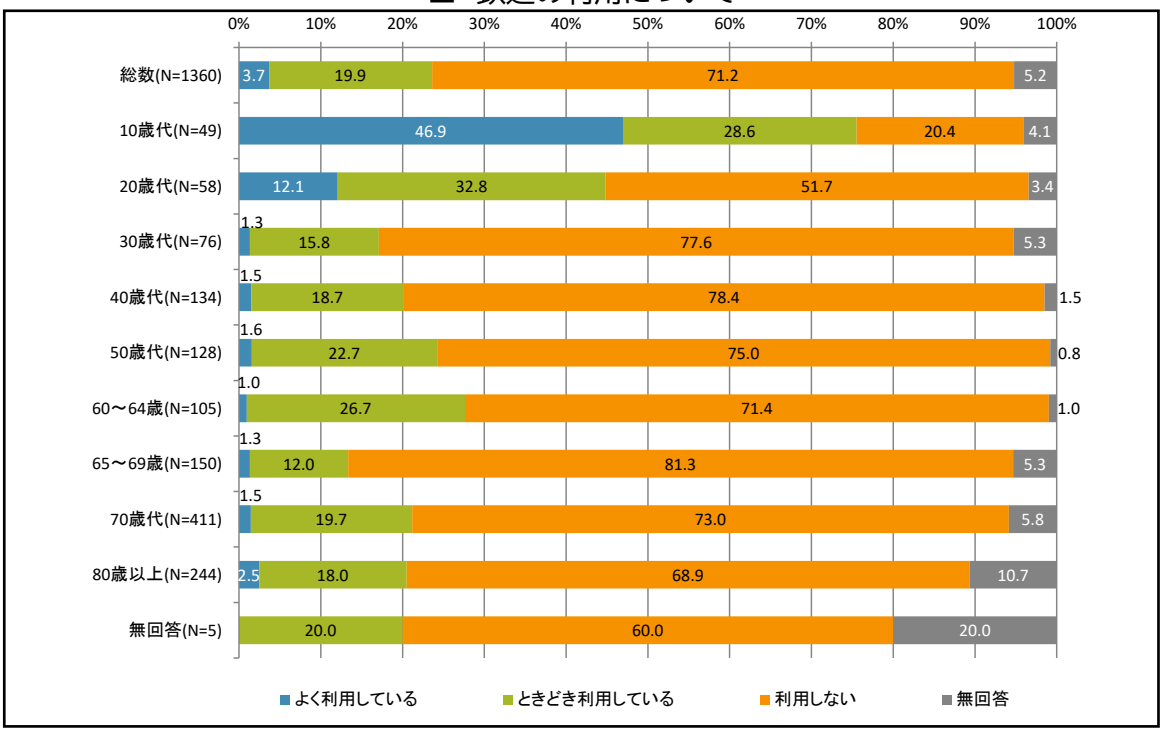


香南市高齢者福祉計画第8期介護保険事業計画
（令和元年介護予防・日常生活圏域ニーズ調査※65 歳以上の市民 3,500 人を対象）

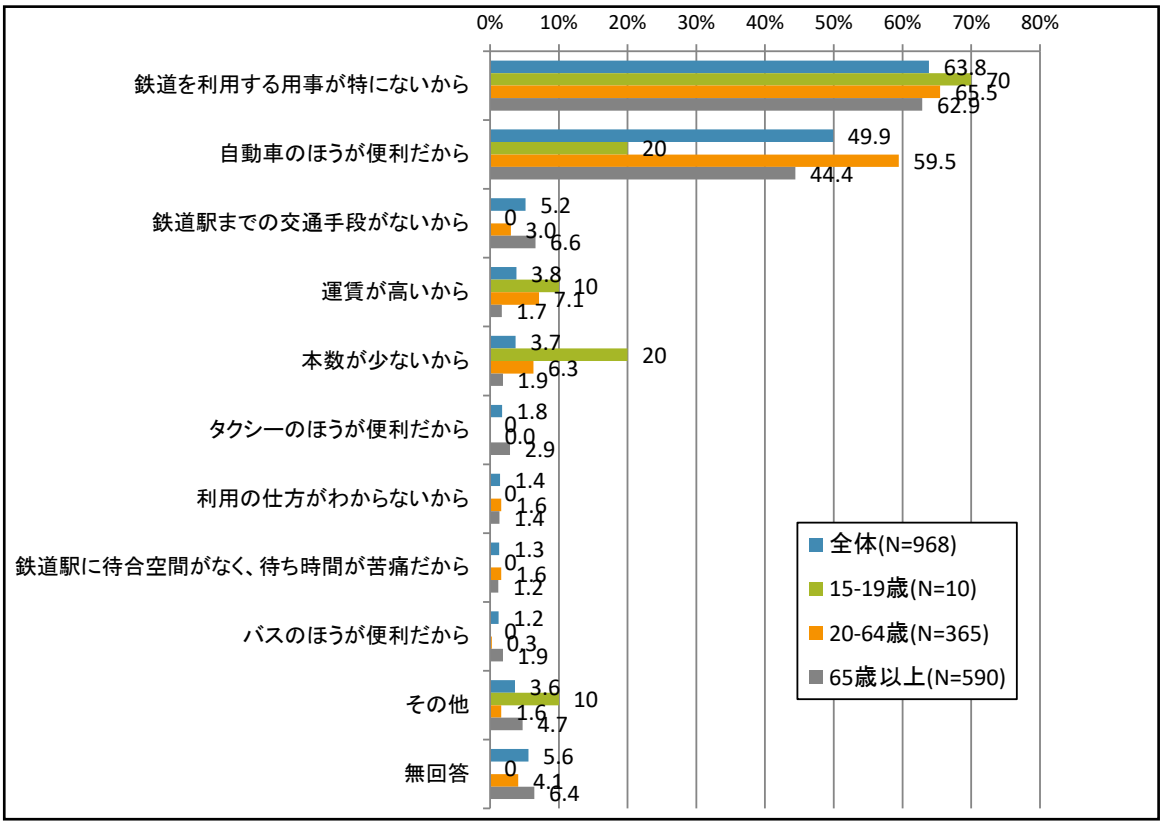
⑤ 鉄道（ごめん・なはり線）の利用実態について

○鉄道を利用している方は全体の 23.6％であり、特に 10～20 歳代の利用がほとんどである。
○利用しない理由は、「利用する用事が特にない」、「自動車の方が便利だから」がほとんどである。
○運行サービスについて、運行本数・運行時間帯や運賃に関する満足度が低いことから、若い世代への運賃補助等により鉄道利用の満足度を高めることが期待できる。

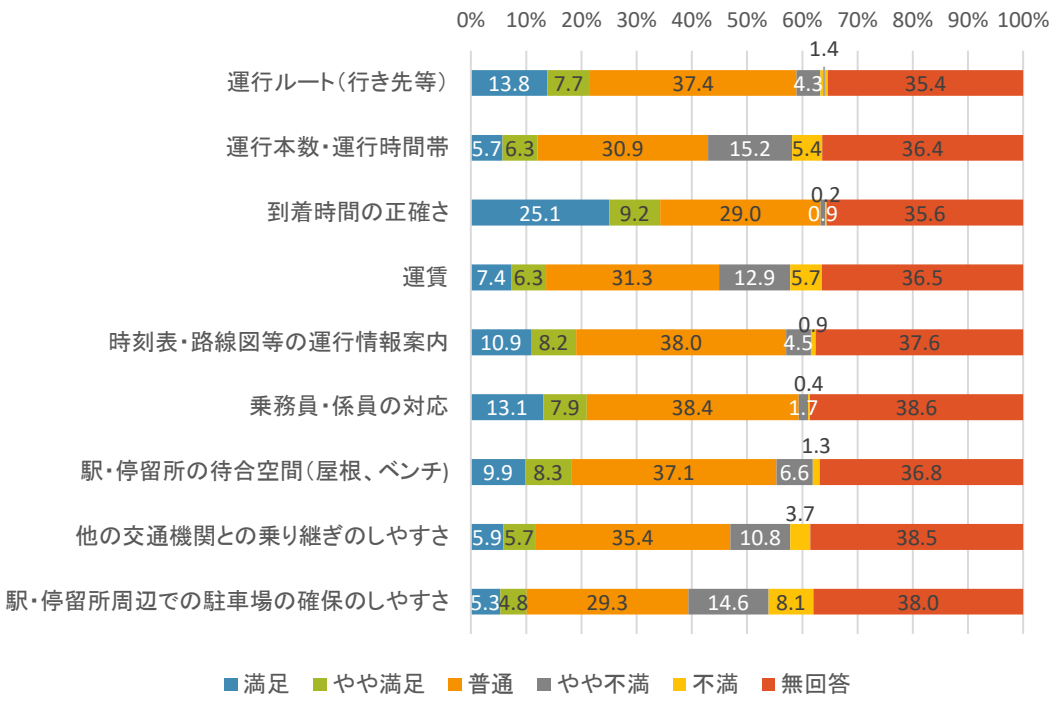
■ 鉄道の利用について



■ 鉄道を利用しない理由



■ 鉄道の運行サービスの満足度

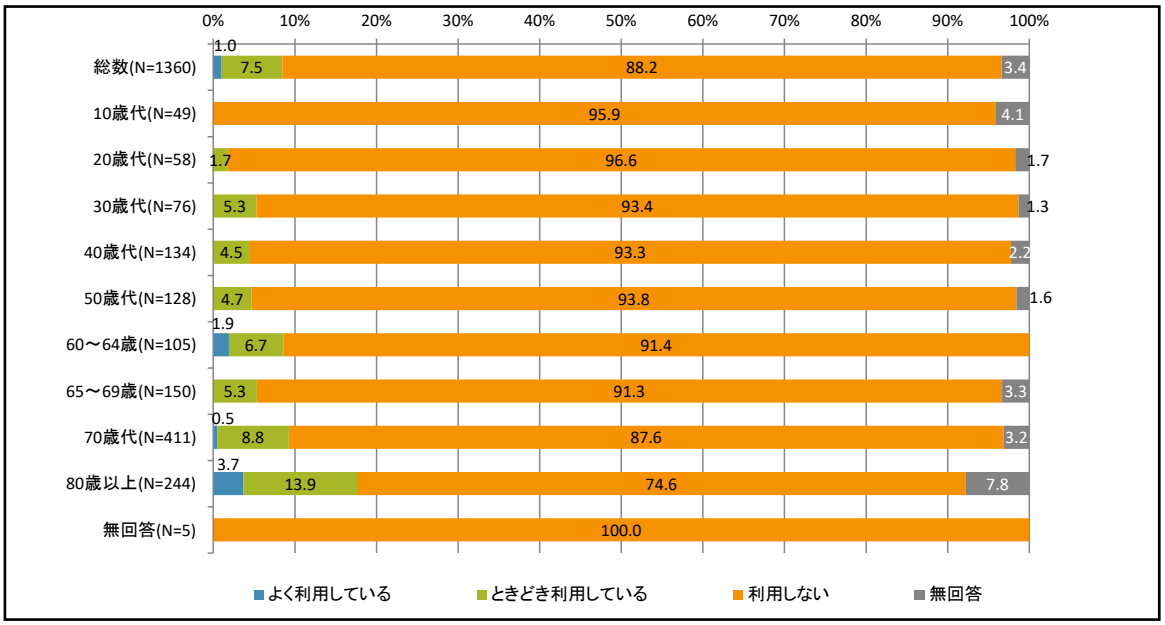


⑥ 路線バス（高知東部交通安芸線）の利用実態について

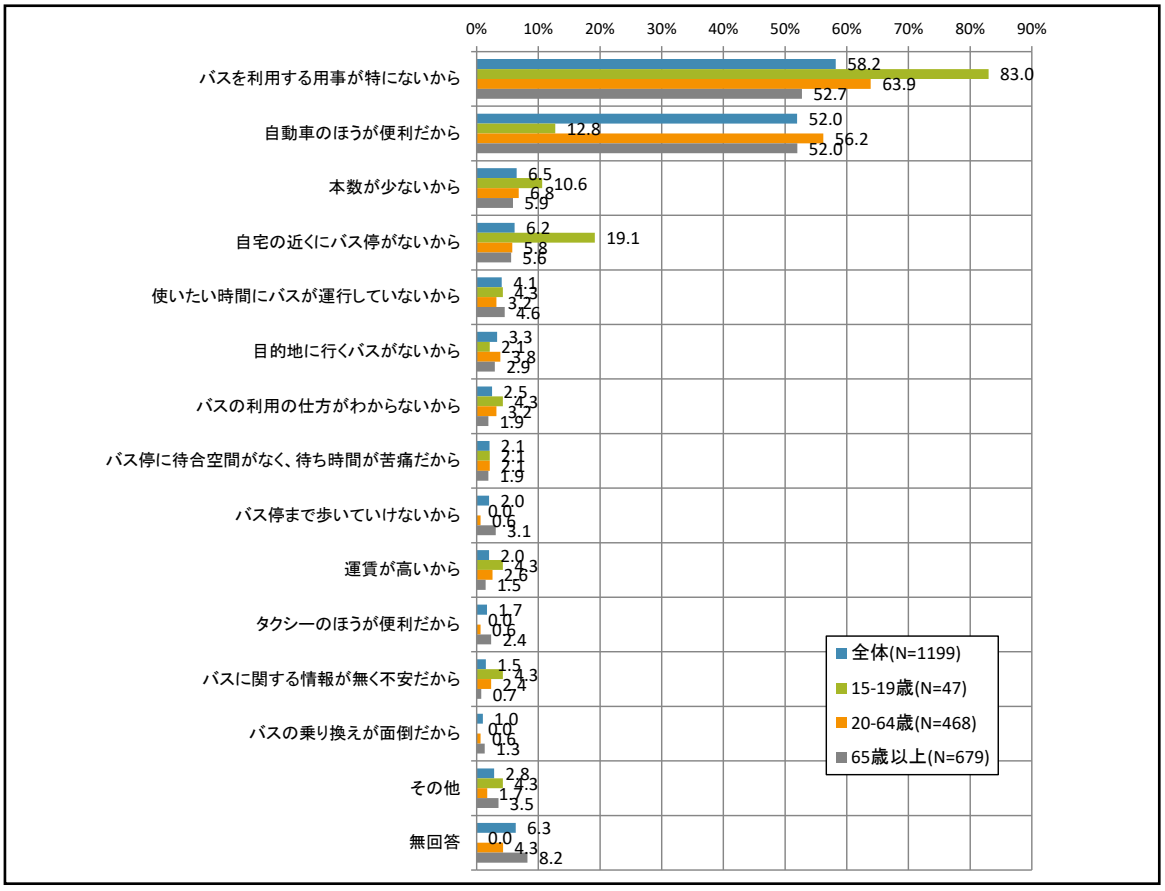
○路線バスを利用している方は全体の 8.5%であり、年代別でみると 80 歳代以上で 17.6%の人が利用している。

○利用しない理由は、「利用する用事がないから」、「自動車の方が便利だから」がほとんどであり、利用するための条件は、「運転ができなくなってから」いう人の他に、「フリー乗車券のような割引切符が導入されたら」の割合も一定あるため、利用促進に向けた取組が求められる。

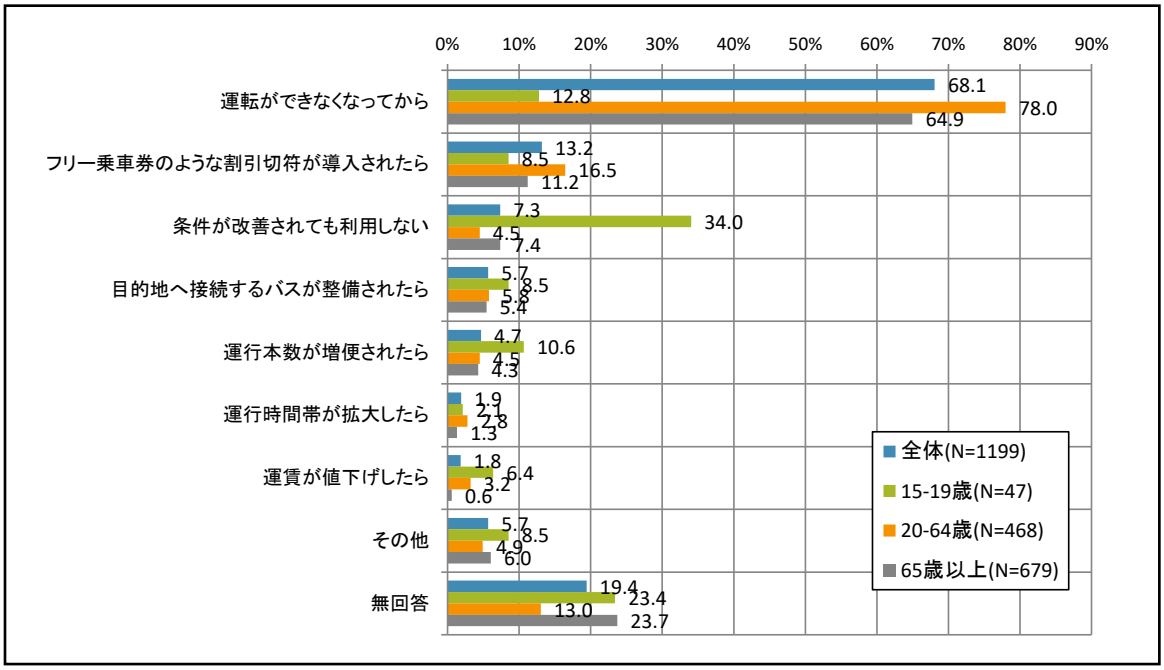
■ 路線バスの利用について



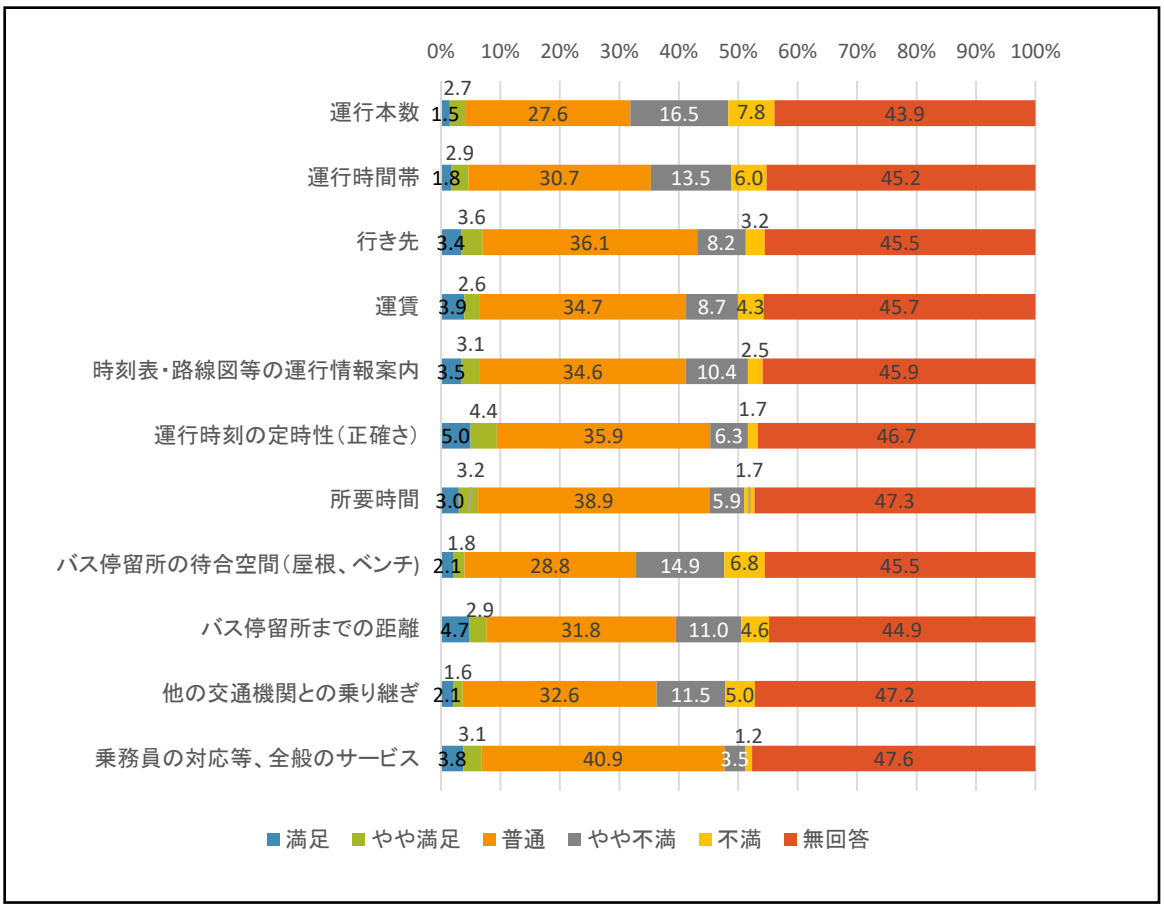
■ 路線バスを利用しない理由



■ 路線バスを利用するための条件



■ 路線バスの運行サービスの満足度



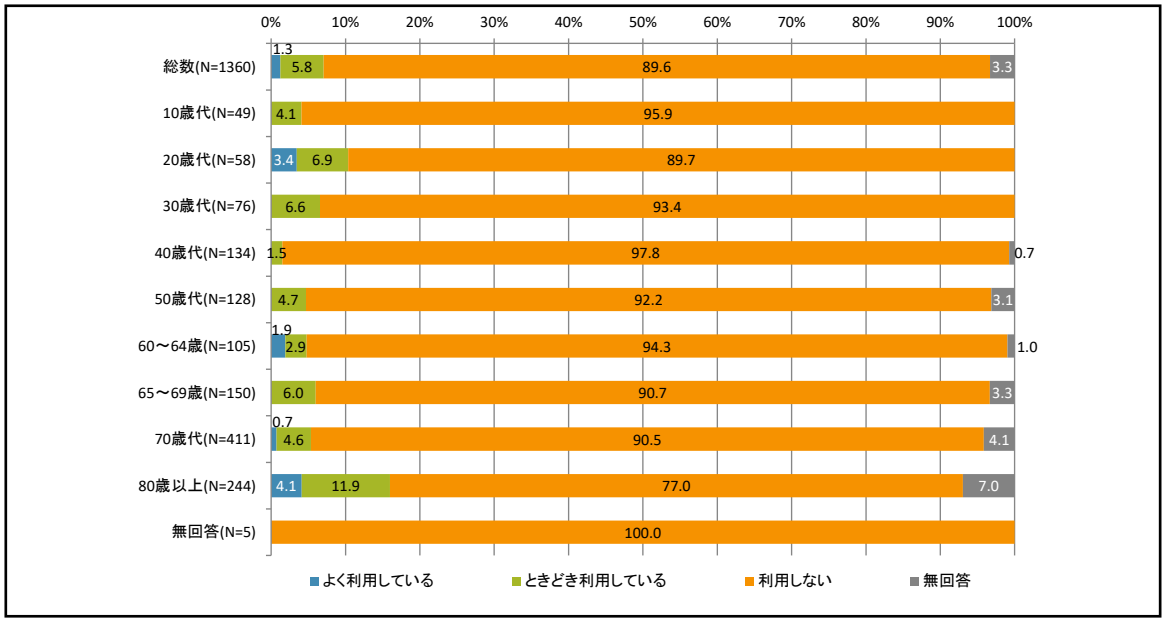
⑦ 市営バスの利用実態について

○市営バスを利用している方は全体の 7.1%であり、年代別でみると、80 歳代以上の利用割合が 16%と最も多い。

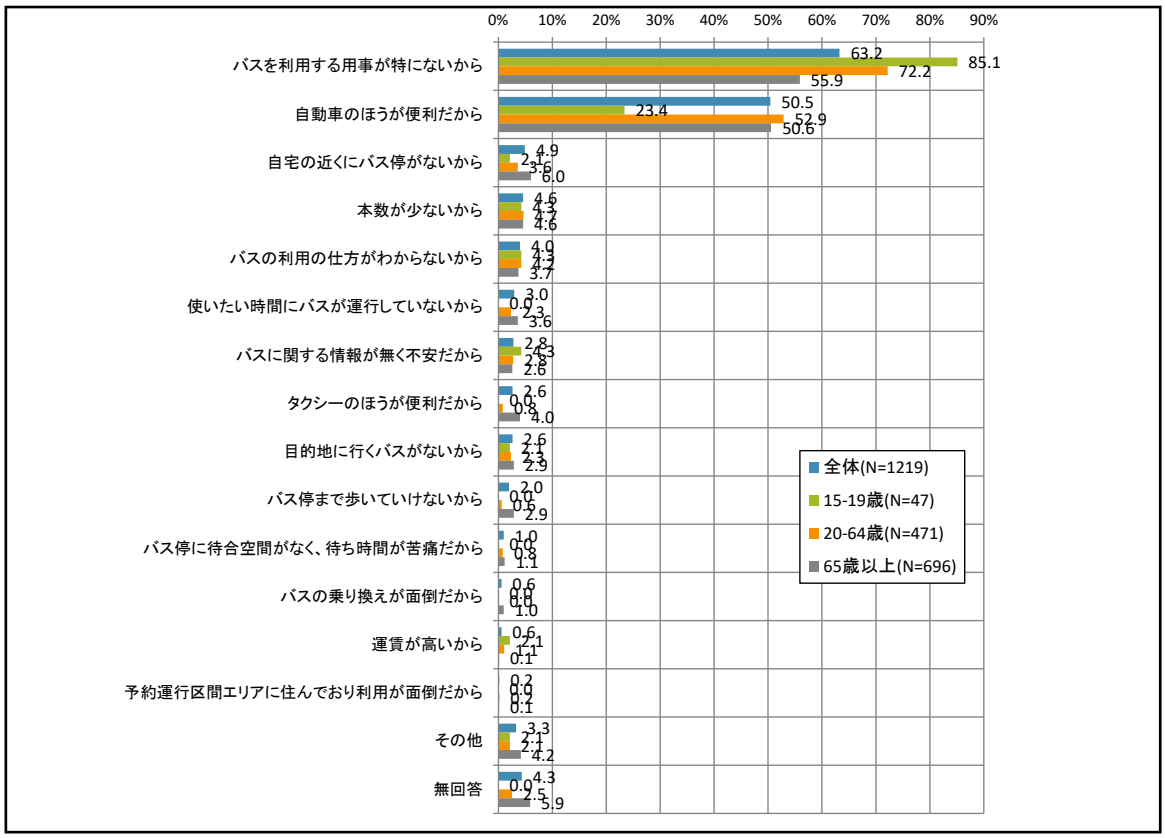
○利用するための条件は「運転ができなくなったら」の割合が多いが、「フリー乗車券のような割引切符が導入されたら」という方もいるため、市営バスの利用促進に向けた取組が期待できる。

○満足度については、運行本数、運行時間帯、バス停留所の待合空間で満足度が低くなっている。

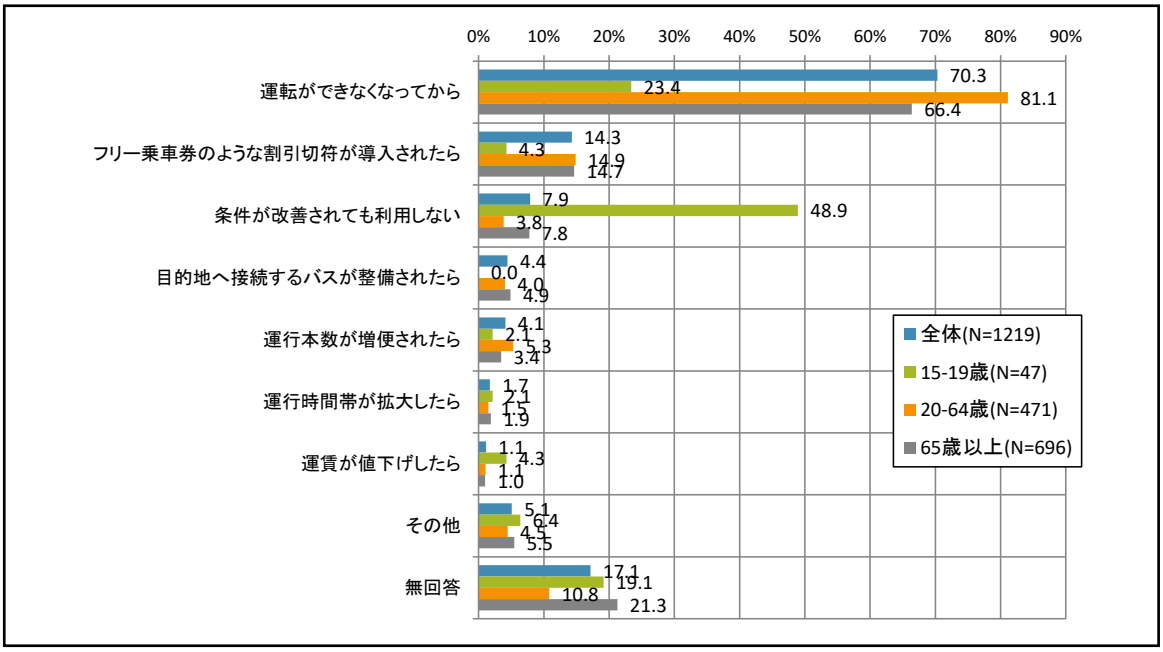
■ 市営バスの利用について



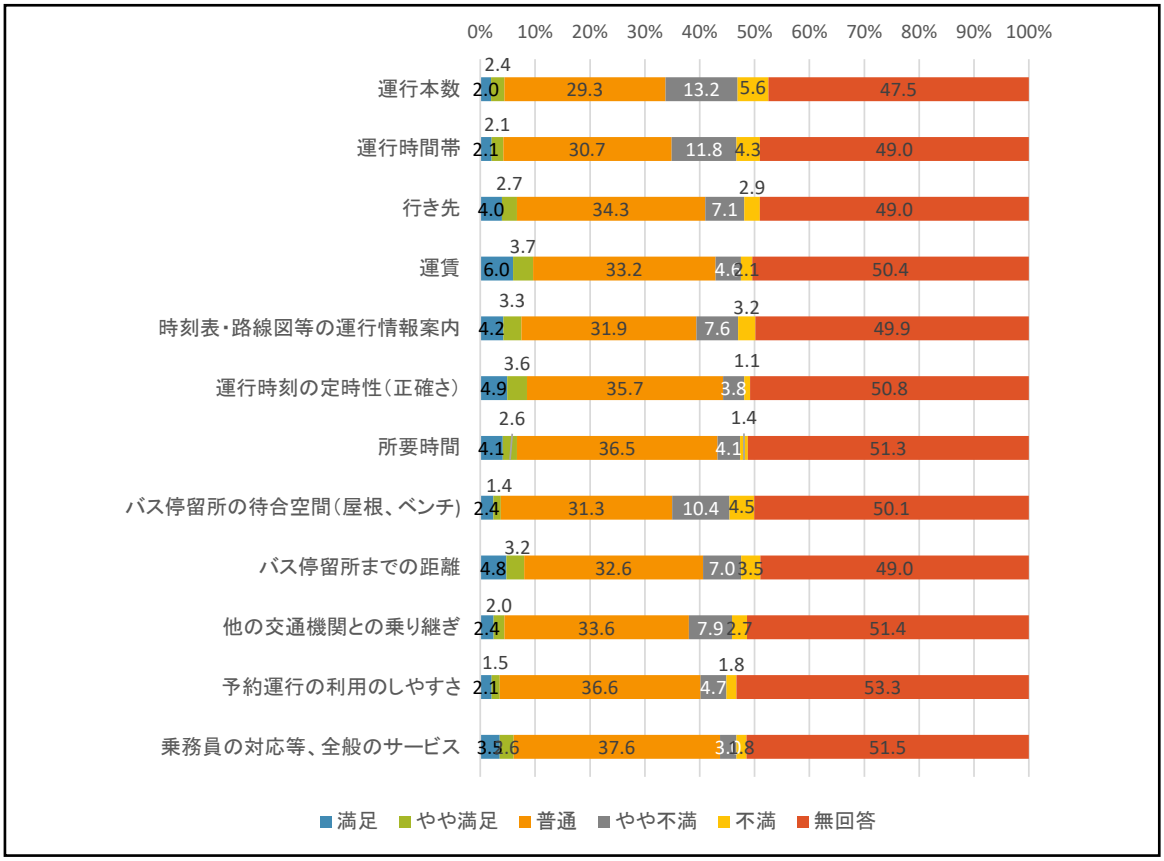
■ 市営バスを利用しない理由



■ 市営バスを利用するための条件



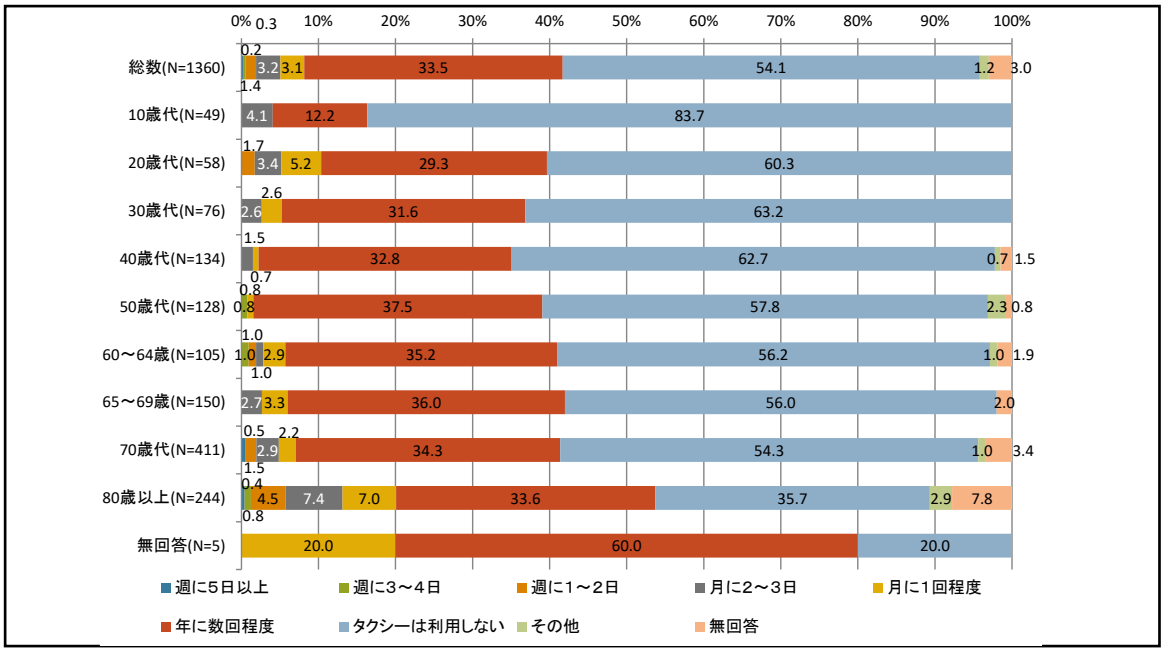
■ 市営バスの運行サービスの満足度



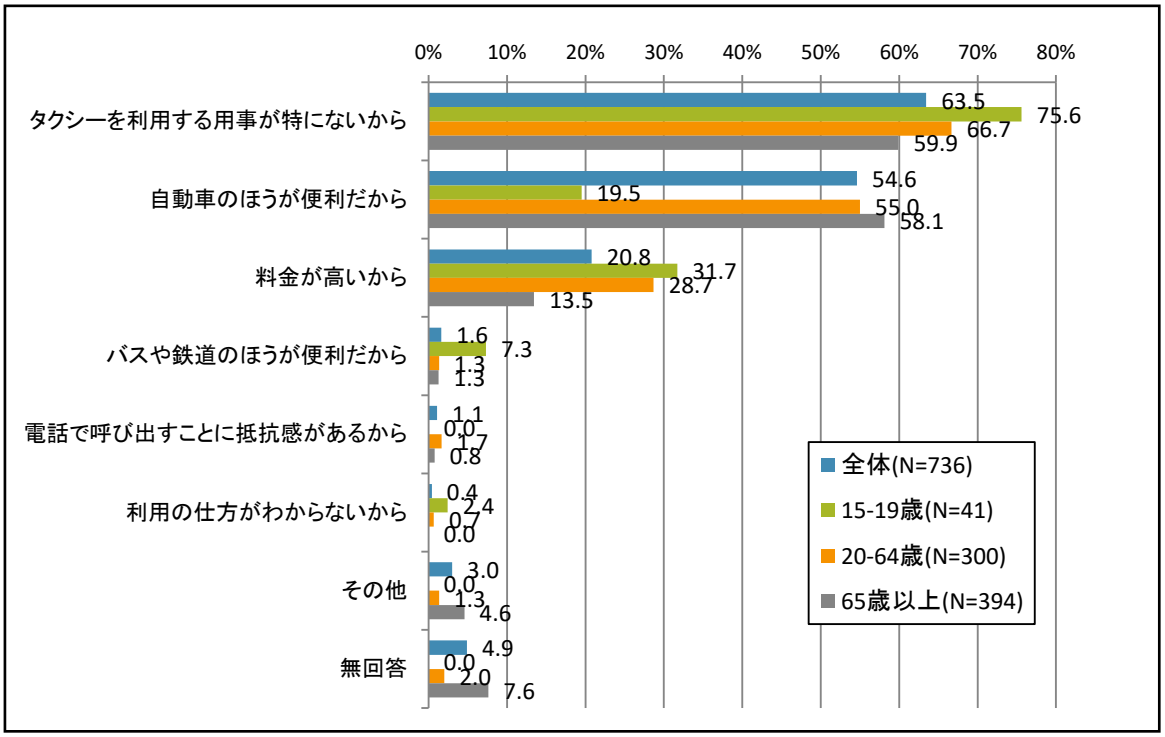
⑧ タクシーの利用実態について

○週に 1 回以上利用している方は全体約2%。年代別でみると 80 歳代以上が多く利用している。
○タクシーを利用しない理由として、「利用する用事が特にないから」、「自動車の方が便利だから」、「料金が高いから」の割合が多くなっている。前述（P57）で外出に困る方の多くがタクシーを利用されていることから、料金補助等の対策により、公共交通利用促進が期待できる可能性がある。
○利用の満足度は、運賃について 26.7%の人が満足されており、配車依頼時の迅速さや目的地の速達性で約 20%の人が不満を持っている。

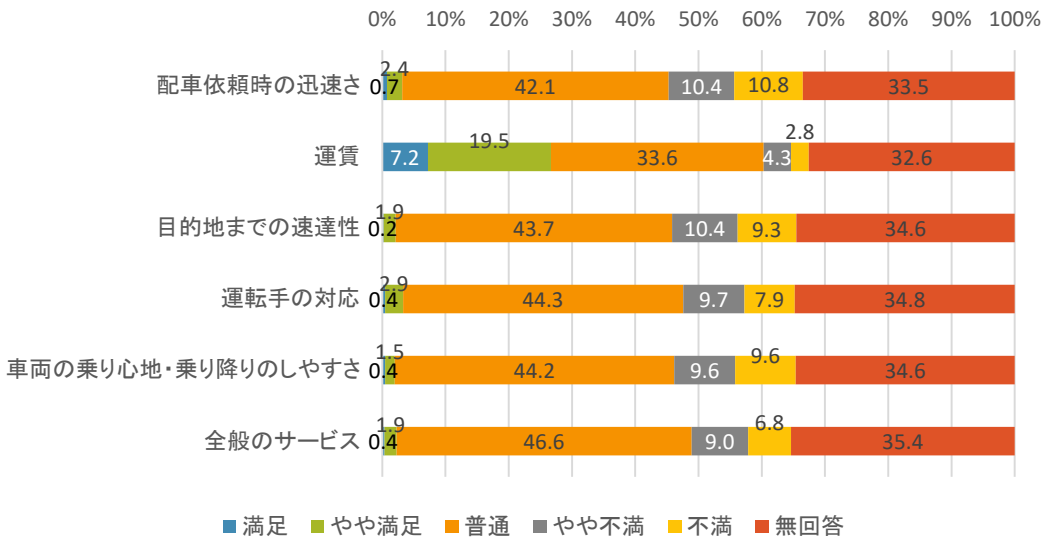
■ タクシーの利用について



■ タクシーを利用しない理由



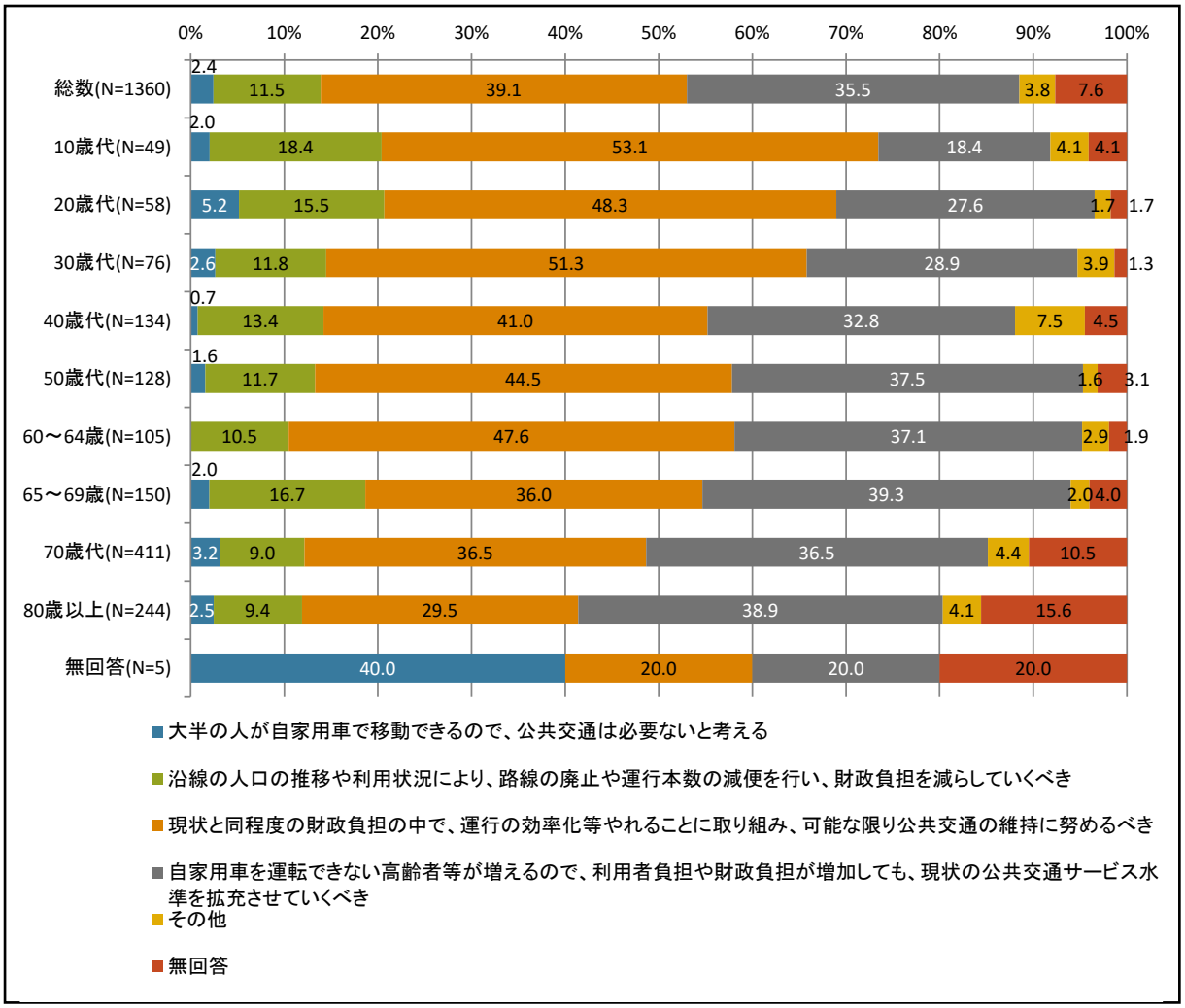
■ タクシーの運行サービスの満足度



⑨ 今後の公共交通の維持・確保について

○「現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化等に取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべき」との回答が最も多く、また、「利用者負担や財政負担を増やしても公共交通のサービス水準を拡充させていくべき」の回答も多くなっているため、交通弱者をなくすために、公共交通の維持確保・充実に取り組むことが求められる。

■ 今後の公共交通の維持・確保について



⑩ 今後の公共交通の在り方について

○本市の公共交通に求められる取組として、車両の小型化や集落への乗り入れ、自家用車に頼らなくても生活できるまちづくりの希望が多く、既存のサービス向上に加えて、タクシー事業の活用等、ドア to ドアに近い形での公共交通サービスが求められている。

○次いで、運行本数や時間帯、また、鉄道、路線バス、市営バスの乗継に関する意見もあり、ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線、市営バスのネットワーク機能を強化していくことが必要である。

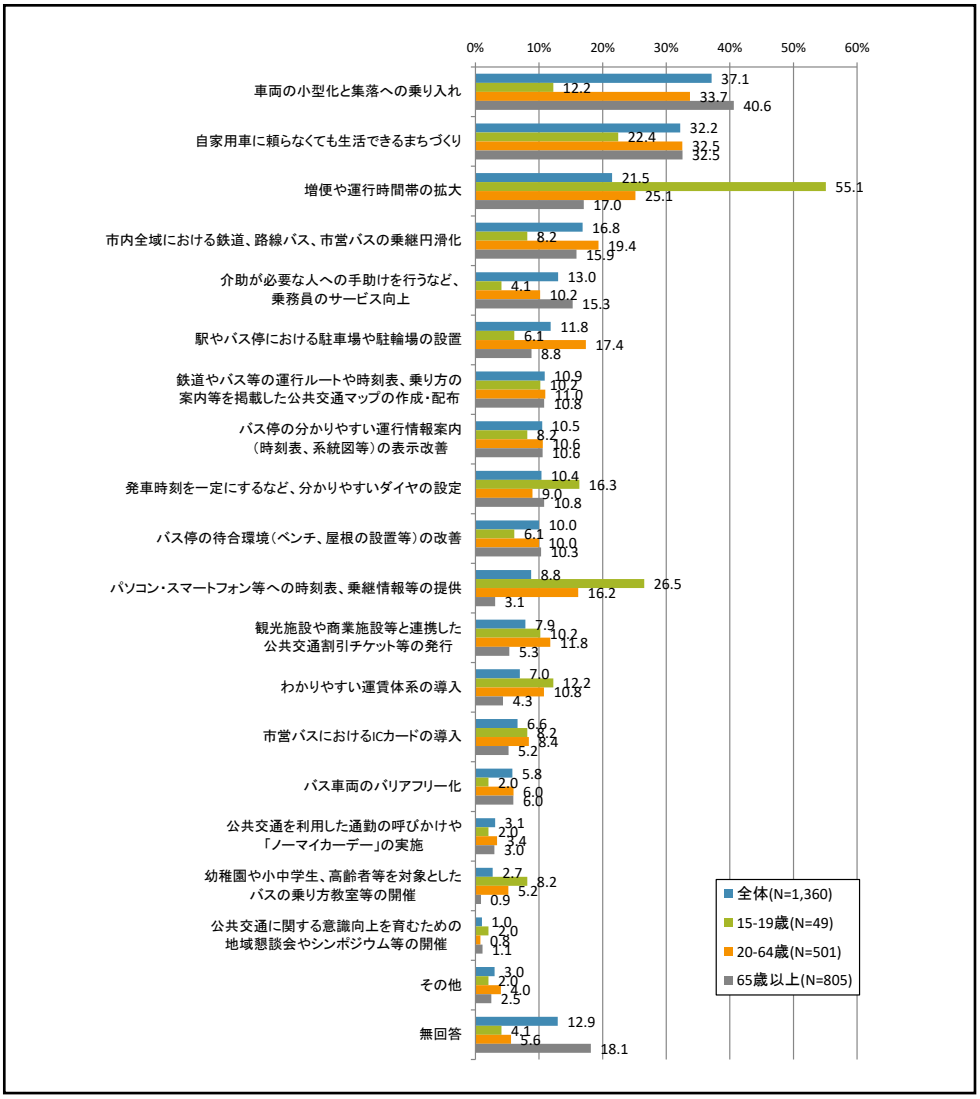
○15～19 歳の若者世代では「増便や運行時間帯の拡大」が 5 割以上と最も多く、次いで、「パソコン・スマートフォン等への時刻表、乗り継ぎ情報の提供」となっている。

○20～64 歳でも増便や運行時間帯の拡大の他、乗継円滑化やパソコン・スマートフォン等での情報提供の回答も多く、IoT 等のデジタルを活用した利便性向上の取組も求められる。

○一方で、65 歳以上では、介助が必要な人への手助けを行うなど乗務員サービスの向上なども上げられ、外出したいが出来ない足の不自由な人でも、外出できる機会を作り、暮らしやすいまちづくりの仕組みづくりが求められる。

○鉄道やバス等の運行ルートや乗り方の案内、運行情報の案内など一定数の意見もあり、利用促進にむけた情報発信も求められる。

■ 今後の公共交通の在り方について



⑪ 地域の意見（自由意見）

■野市町

○小型車両を増便や住宅地まで路線の形成。
○高齢者の方向けのタクシーの利用促進策。
○鉄道や路線バスとの連携によるのいち駅の乗継等交通結節点の強化。
○自宅からお店や病院などへのドア to ドアのシステム。
○外国人も対応できるための英語表記等の対応。
○新たな路線の検討（空港-のいち駅-土佐山田駅）。
○買い物移動の充実化（スーパーへの移動、スーパー敷地内のバス停設置等）。
○IC カードの導入。
○市民の利用を促す取組（市内を巡るツアーの実施、野市動物公園やヤ・シィパークなど子どもの夏休み利用パス）。

■夜須町

○バスの小型化。集落までの乗入れ。
○新たな路線の検討（夜須-野市中央病院、市外（香美市）とのアクセス強化）。
○ごめん・なはり線の運賃の見直し検討。
○高齢者や障害者にやさしい公共交通（バスの低床化、タクシーの利用促進）。

■赤岡町

○運行時間の見直し（例：子育て支援センター「にこなん」で長時間滞在できるような運行）。
○運賃の見直し。
○安心安全なバス停空間の整備。

■香我美町

○バスの利用方法（予約運行区間等）など情報発信の充実。
○タクシーの利用促進（予約制の乗り合いタクシー、タクシー補助等）。
○運行ルートの検討（例：買い物先などの主要ルートの直行便）。
○市営バス増便の検討（例：東川方面への将来的な増便）。

■吉川町

○分かりやすいバスの利用方法に関する周知。
○公共交通の維持存続。

(3)公共交通利用者調査

① ごめん・なはり線利用者調査

①―1 調査概要

【実施時期】令和 3 年 9 月 15 日(水)
【実施手法】市内各駅にて鉄道利用者に対し配布、回収
【回収数】112 人

①―2 ごめん・なはり線利用者層の特性

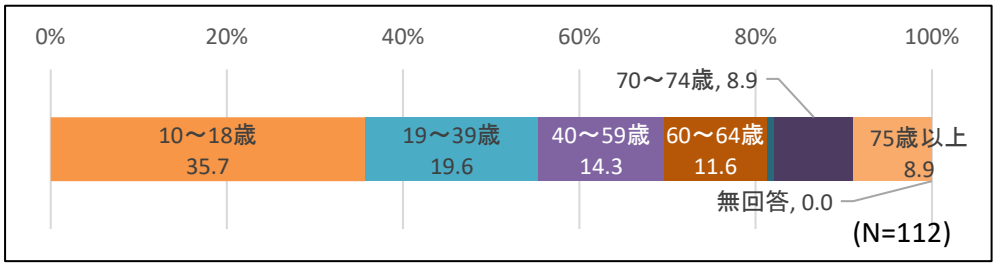
○ごめん・なはり線を利用している人は、通学利用の学生(10～18 歳)が最も多く、その他通勤や買物利用、通院を目的に利用している人が一定数いる。

○ごめん・なはり線からの二次交通について、徒歩が 42.9%と最も多く、次いで、自転車が 32.1%、家族等での車の送迎が 10.7%などとなっている。のいち駅では路線バスや市営バス、タクシーの利用者が 15.9%と一定数を占める。

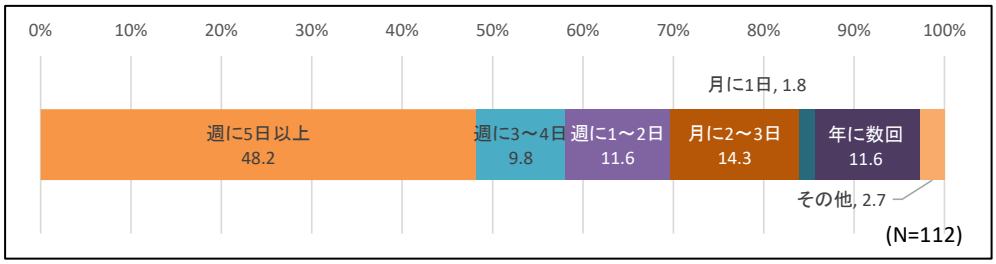
○満足度については、運行本数、運行時間帯、運賃、路線や運行状況の情報提供についての不満が一定数を占める。

○ごめん・なはり線に対する要望として運行本数の増便が 64.3%と最も多く、次いで、運行時間帯の拡大などとなっている。

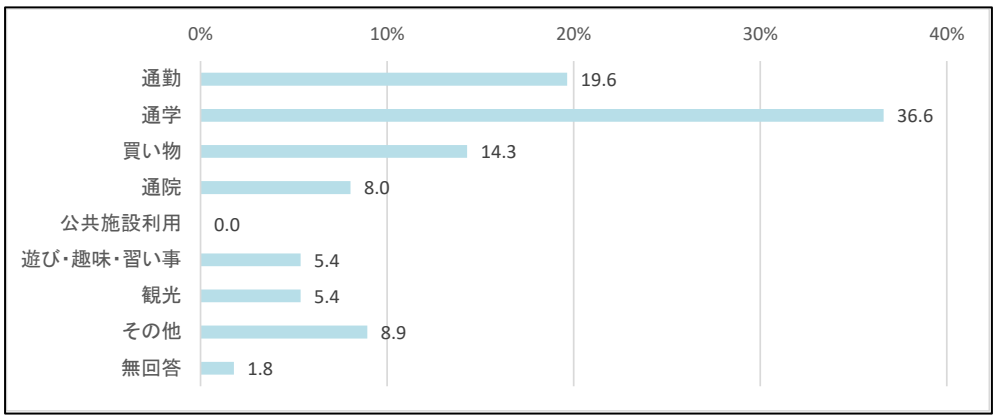
■ ごめん・なはり線利用者の年代別



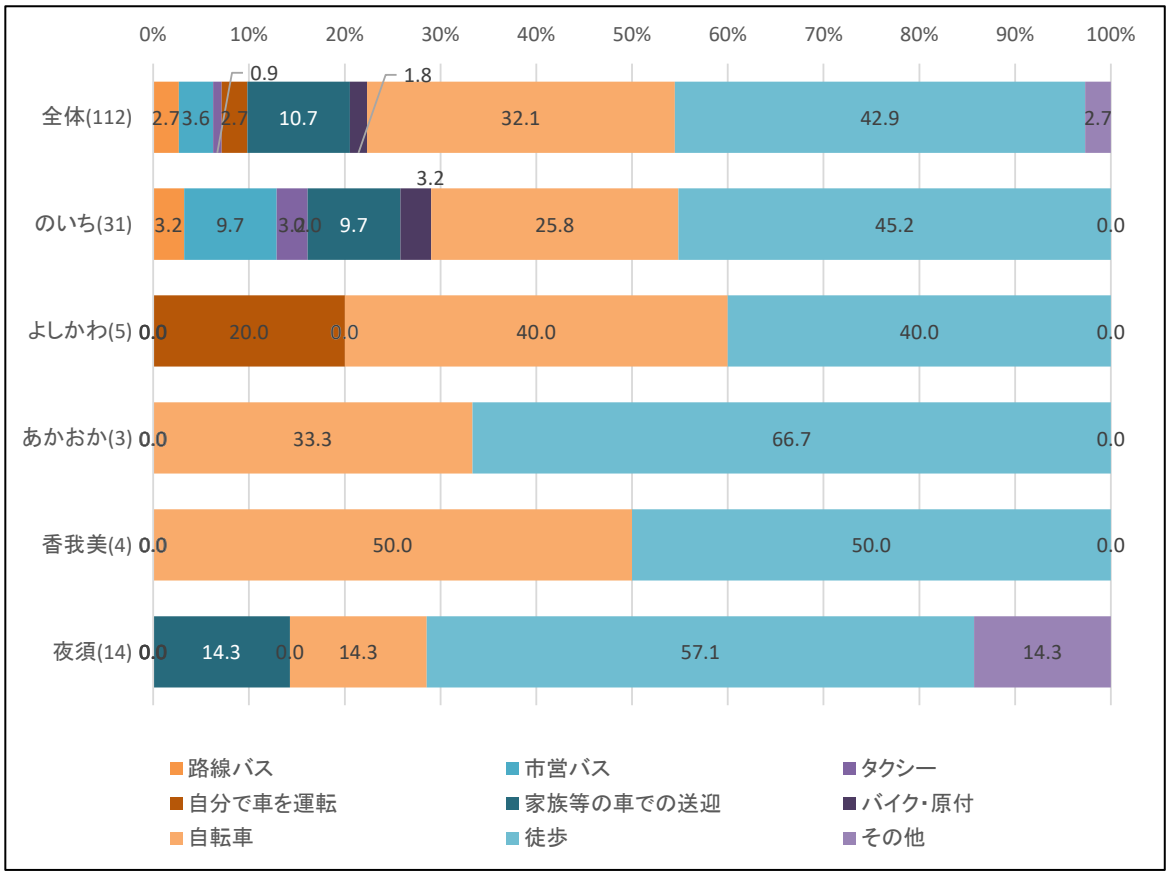
■ ごめん・なはり線利用者の利用頻度



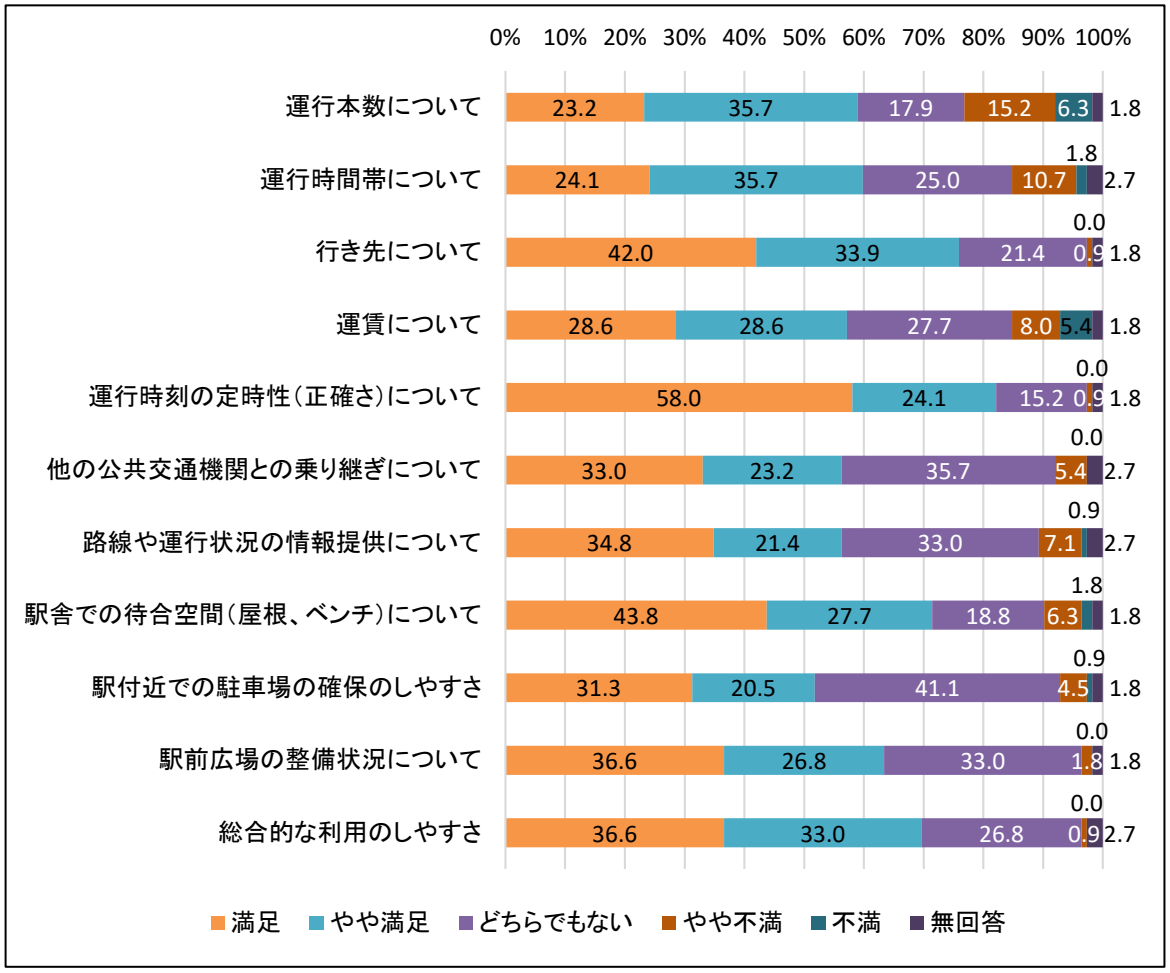
■ ごめん・なはり線の利用目的



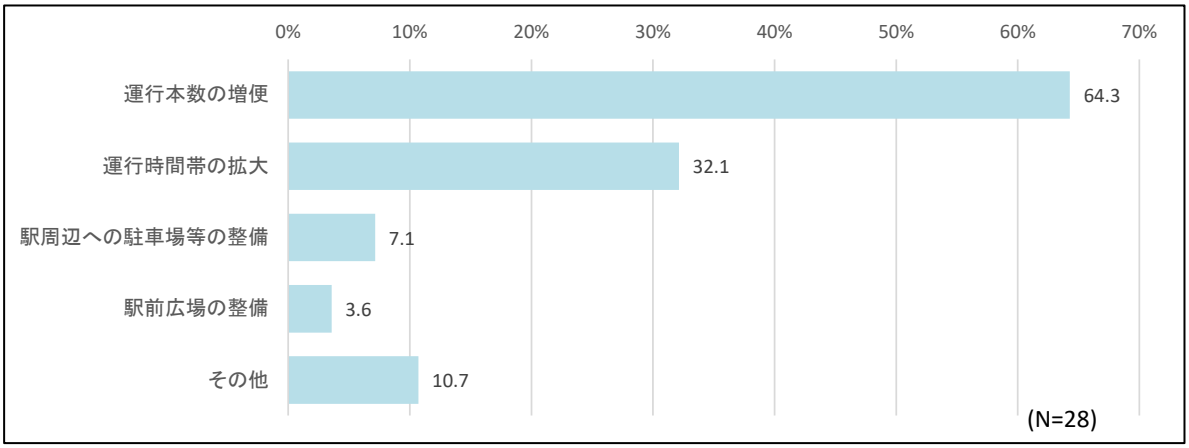
■ ごめん・なはり線からの二次交通（駅別）



■ ごめん・なはり線に関する利用満足度



■ ごめん・なはり線に対する要望



【その他自由意見】
○鉄道からバスに乗り換える際に、バスの行き先が分かりづらい。
○運行状況の確認に不便さを感じる。（電話がつながらない、ツイッターやインターネットの反映が遅い）
○昼間まったくない時間帯があるのでバスとなはり線で話し合って、間に走ってほしい。
○駐車場の数を増やしてほしい。

② 高知東部交通安芸線利用者調査

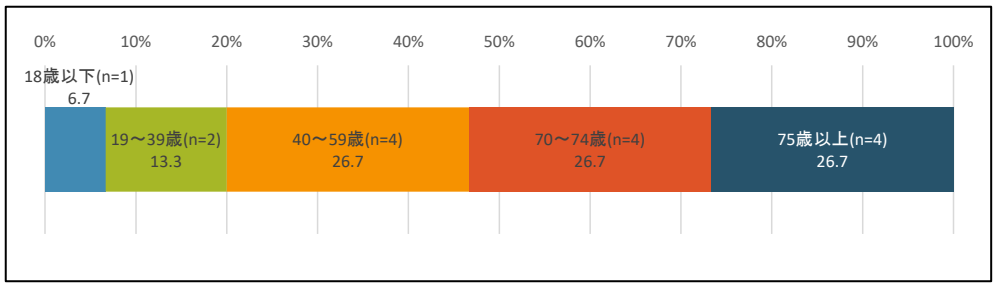
②―1 調査概要

【実施時期】令和 3 年 9 月 16 日(木)
【実施手法】主要バス停(野市龍河洞通、夜須駅)利用者に対し配布、回収
【回収数】15 人

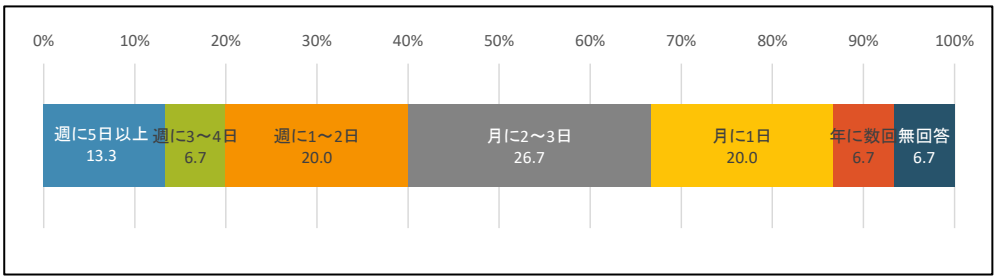
②―2 高知東部交通安芸線利用者層の特性

○高知東部交通安芸線を利用している人は、70 歳以上が 53.4%と半数以上を占めている。
○利用頻度は月 2～3日が 26.7%と最も多い。週に5回以上が 13.3%と 1 割以上を占める。
○利用目的は遊び・趣味・習い事等が 26.7%ともっとも多く、次いで買物や通院などとなっている。
○利用バス停は野市龍河洞通の利用が最も多くみられ、市外への移動が多い。バス停までに市営バス等の公共交通を利用されている方も一定数いる。
○満足度については、運行本数、行き先、他の公共交通機関との乗り継ぎ、バス停での待合空間での不満が一定数を占める。
○高知東部交通安芸線への要望として運行本数の増便、行き先(土佐山田方面など)に関する要望が多い。

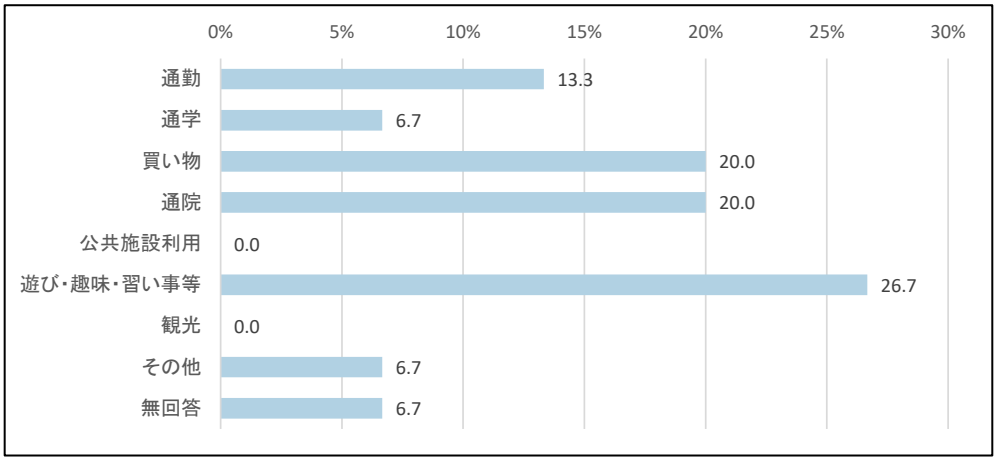
■ 高知東部交通安芸線利用者の年代別



■ 高知東部交通安芸線利用者の利用頻度



■ 高知東部交通安芸線の利用目的



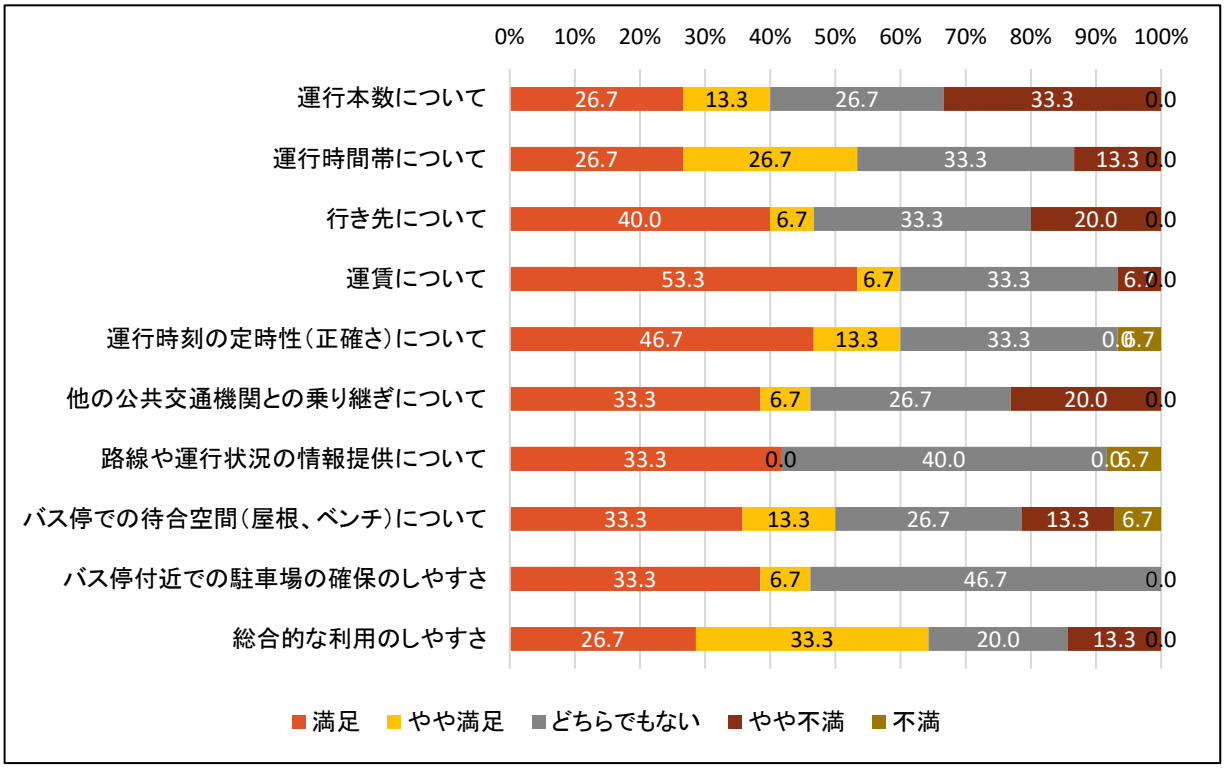
■ 乗り降りする(乗り降りした)バス停と目的

乗車バス停	降車バス停	回答者数	主な目的
野市龍河洞通	後免西町	2	通院、遊び・趣味・習い事
	後免町	2	買い物
	はりまや橋	1	遊び・趣味・習い事
	知寄町	1	通勤
JA 高知病院	野市龍河洞通	1	通院
野市東町、大橋通		2	通勤、通学
はりまや橋		1	通院、遊び・趣味・習い事
夜須駅	赤岡南町	1	買い物
はりまや橋	夜須駅	1	通院
高須小学校通	夜須駅	1	その他(墓参り)

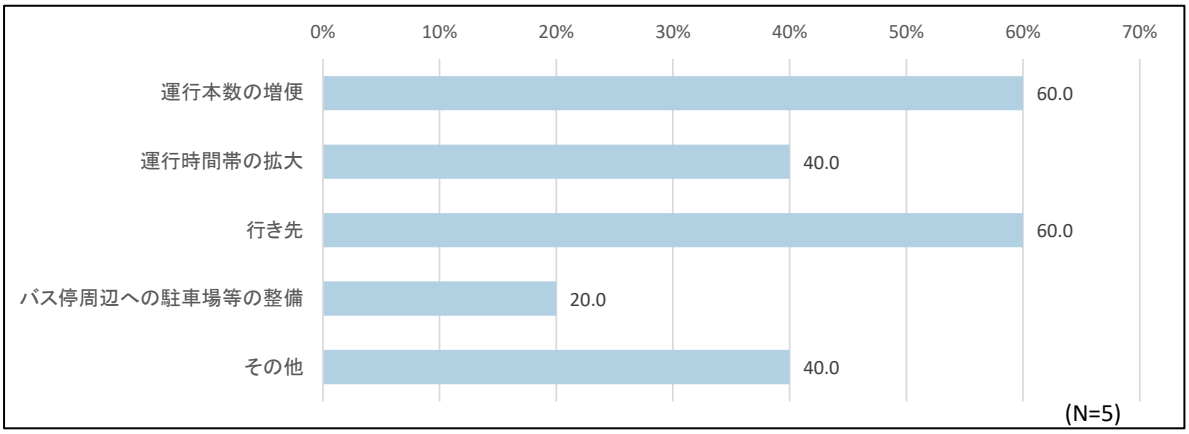
■ 高知東部交通安芸線バス停までの交通手段

乗車バス停	バス停までの交通手段	回答者数
野市龍河洞通	市営バス	1
	自転車	5
野市東町	市営バス	1
夜須駅	自転車	2

■ 高知東部交通安芸線に関する利用満足度



■ 高知東部交通安芸線に関する要望



【自由意見】
○土佐山田方面のバスが欲しい。
○医大方面への便がもっと欲しい。
○待合室があると楽。
○運転手によって配慮が足りず、乗車されようとしているおばあさんを待ってあげない場合がある。
○運賃区間の境界として野市龍河洞通と野市東町の運賃が違う。
○もう少し家の近くから乗れる場所があればよい。

③ 市営バス利用者調査

③―1 調査概要

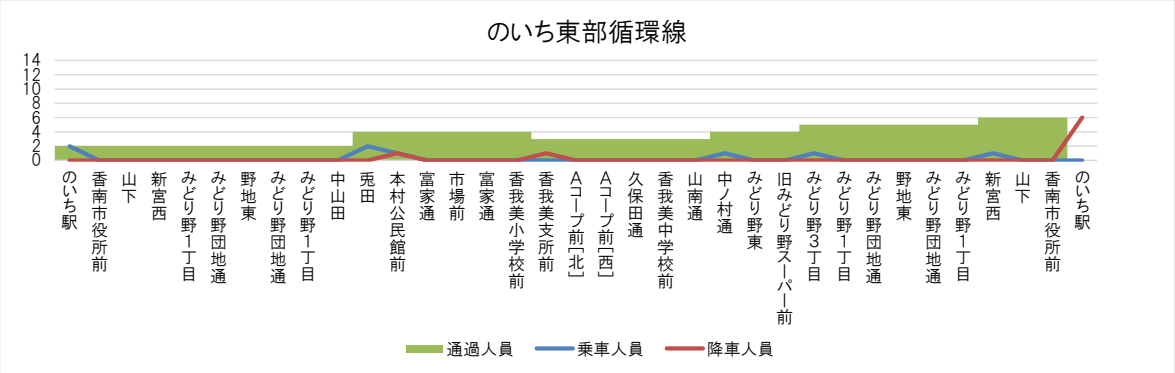
【実施時期】令和 3 年9月15日(水)、9 月 16 日(木)
【実施手法】調査員が乗車し調査カードを配布、回収
【回収数】192 人

③―2 市営バス路線別の特性

○路線便ごとに通過人員をみると、路線番号②「のいち北部循環線」が 10 人前後で最も多く、安定した利用状況となっている。
○路線番号①③⑤⑧⑨⑩⑪⑬においては、最大6人以下の通過人員となっている。
○路線番号⑨「深渕・母代寺線」は利用者が0人であり、その他の路線でも通過人員が0人で走行している区間もある。
○利用目的は、主に買い物や通院が多く、買い物では各路線でのいち駅利用者に多くみられる。また、通院では野地東(野市中央病院)、宇賀(野市整形外科)に多く見られる。
○市内 14 路線のうち、路線番号⑬「千切・行間循環線」、路線番号⑭「手結・住吉線」では、ほとんどスクールバスとしての利用状態となっている。

■ 市営バス乗降図

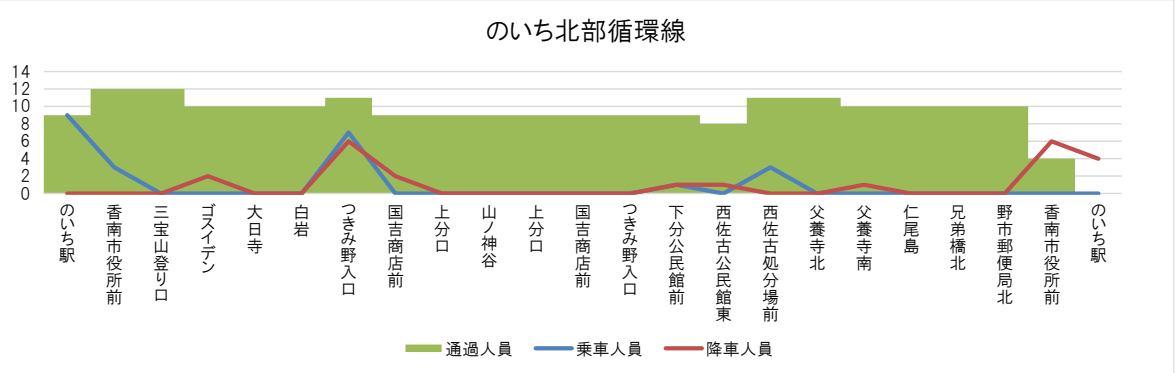
①のいち東部循環線
買い物目的の利用者が多く占める。
のいち駅→みどり野3丁目→のいち駅



②のいち北部循環線

買い物目的の利用者が多く占める。

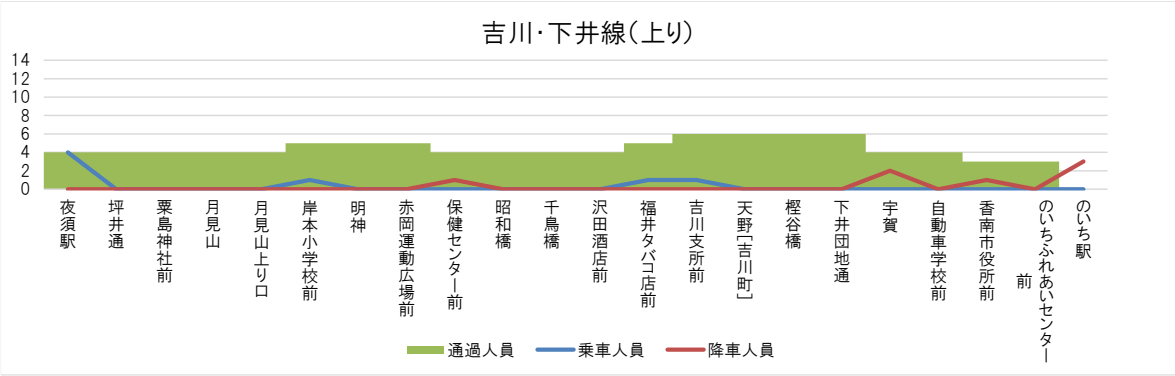
のいち駅→山ノ神谷→のいち駅



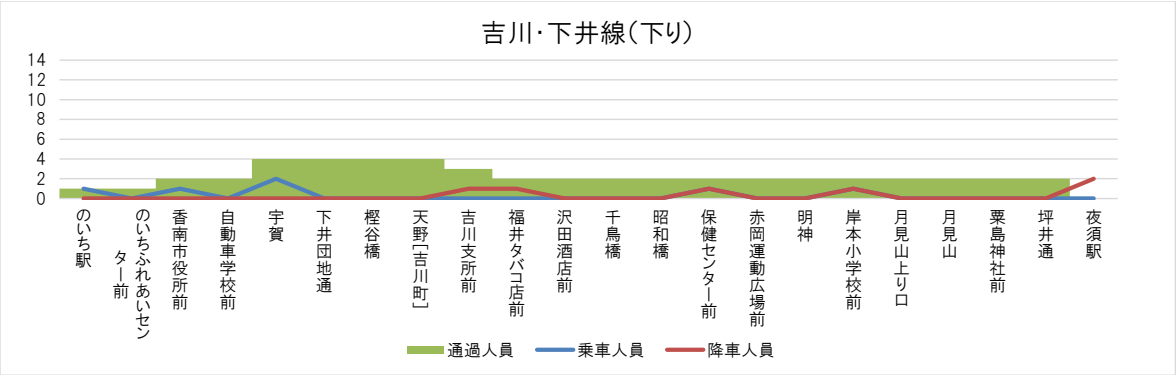
③吉川・下井線(15 日のみ) 月・水・金・土日祝運行

買い物または通院目的の利用者が多く占める。

上り(夜須駅→のいち駅)



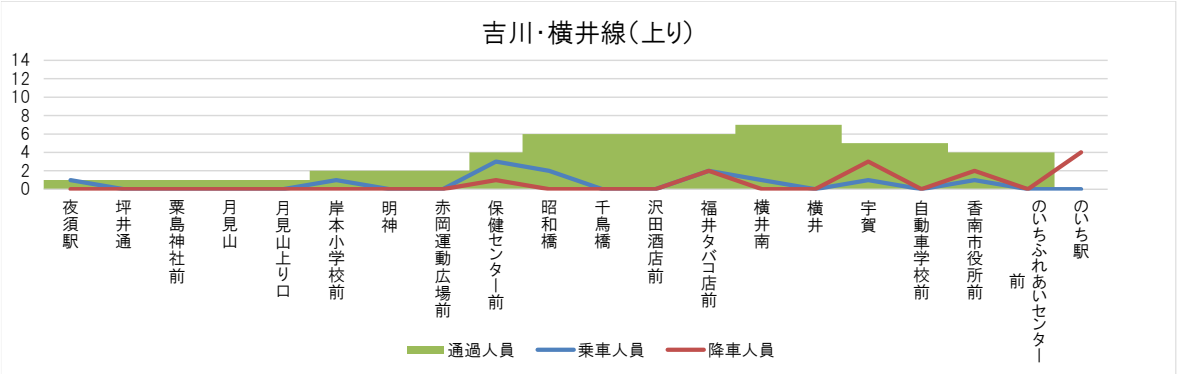
下り(のいち駅→夜須駅)



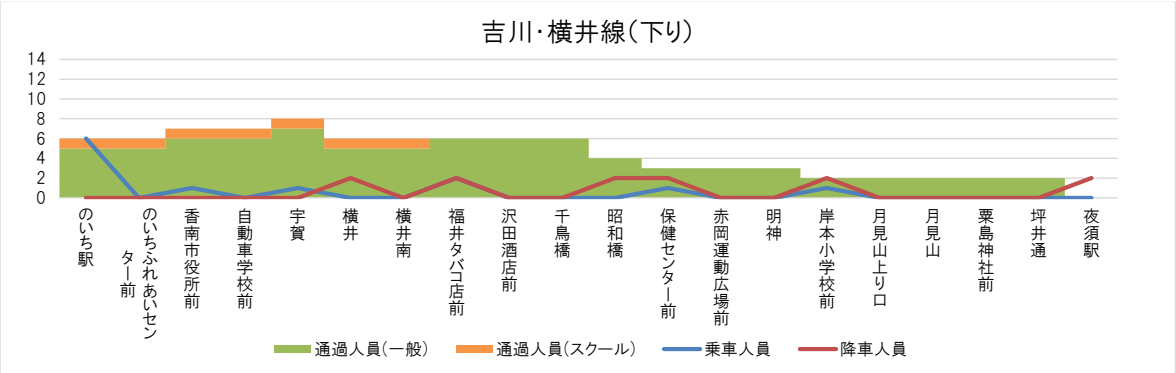
④吉川・横井線（16 日のみ） 火・木運行

買い物目的の利用者が最も多く、次いで通院が多い。

上り（夜須駅→のいち駅）



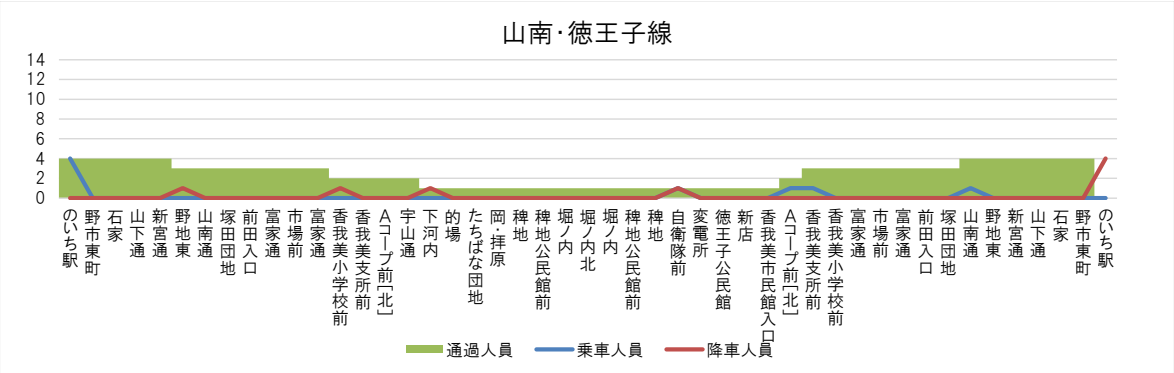
下り（のいち駅→夜須駅）



⑤山南・徳王子線

通勤や通学の利用者の割合が多い。

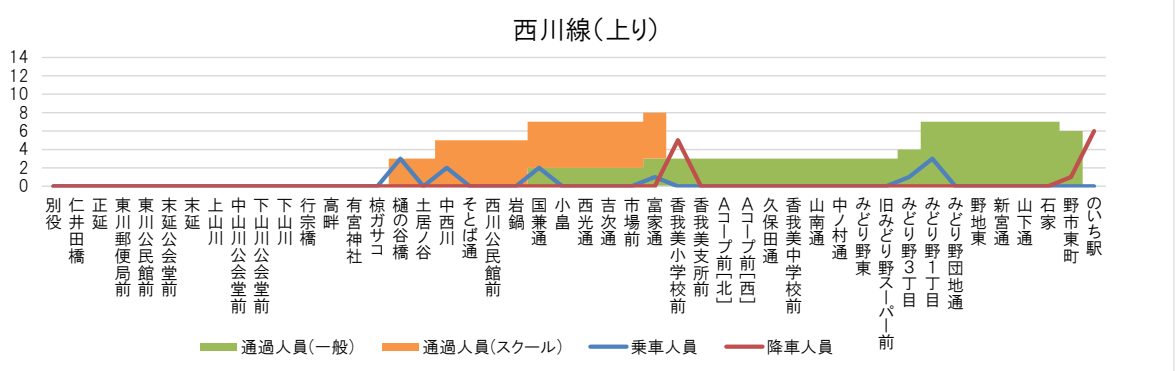
のいち駅→香我美市民館入口→のいち駅



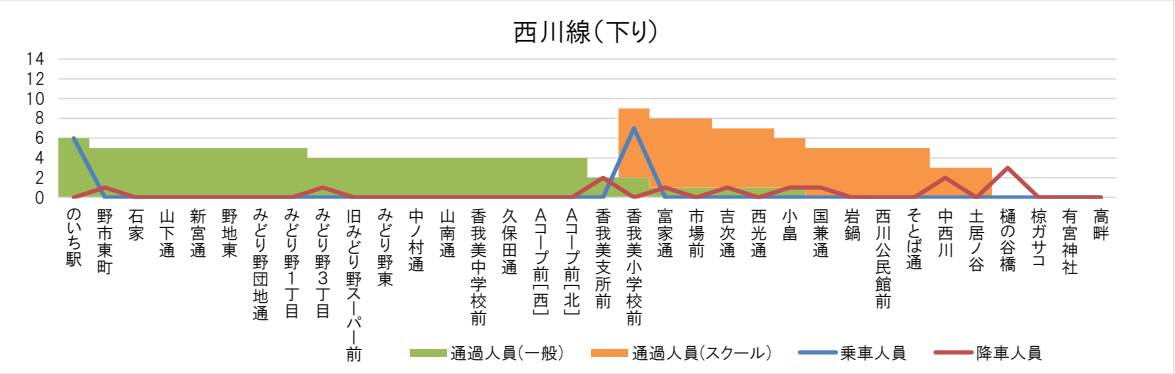
⑥西川線

スクール利用 12 人(上り5人、下り7人)。スクール利用者を除き、通院目的の利用者が最も多い。

上り(別役→高畔→のいち駅)



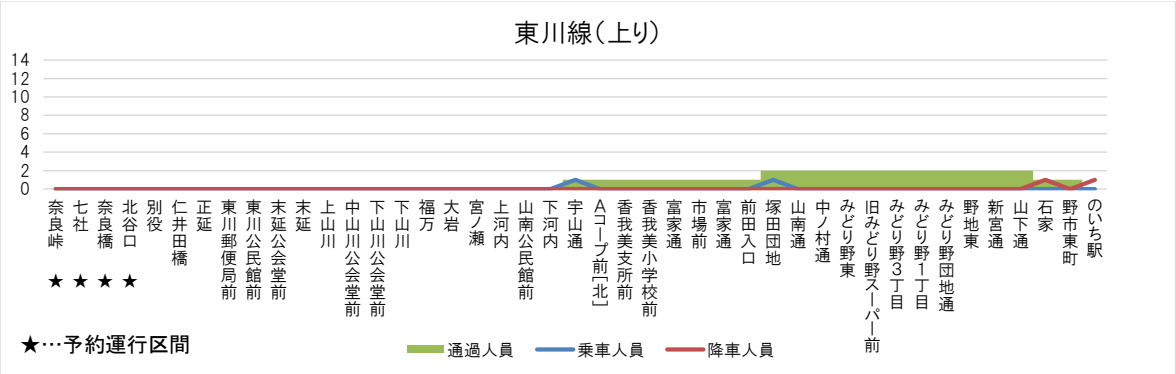
下り(のいち駅→高畔)



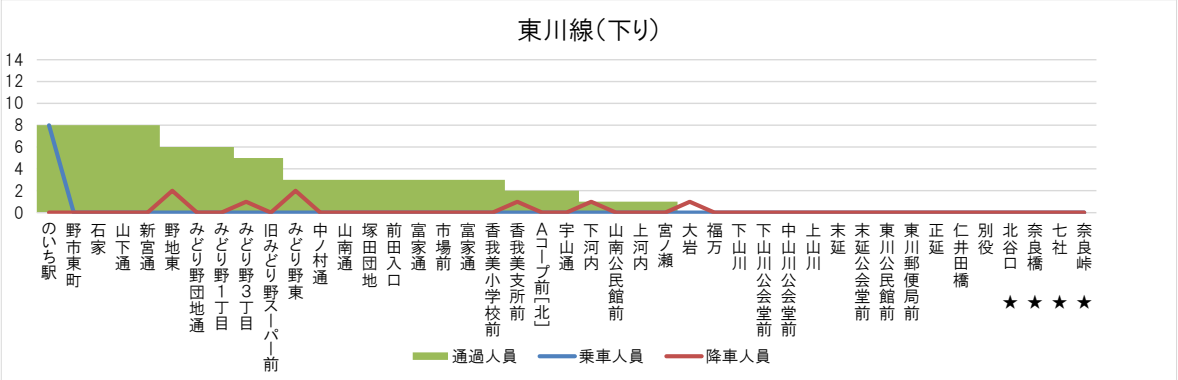
⑦東川線(15 日のみ) 月・水・金・土日祝運行

買い物および通院目的の利用者が各々約半数を占める。

上り(奈良峠→別役→のいち駅)



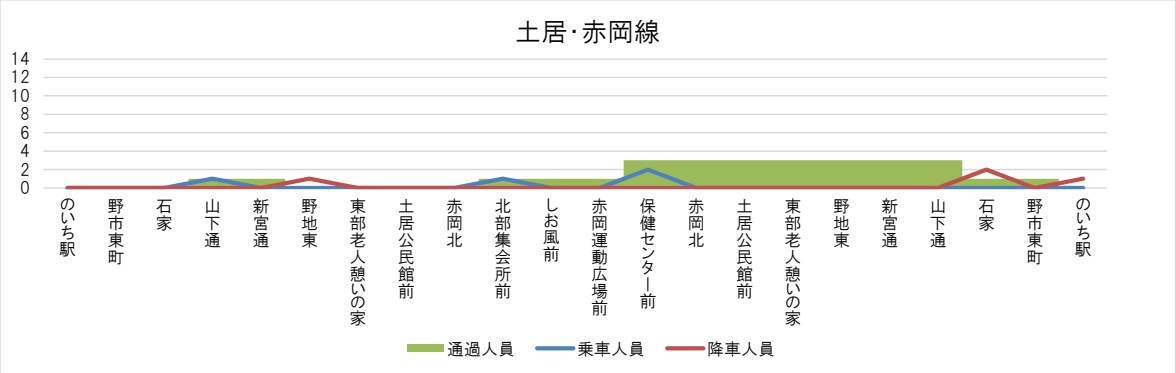
下り（のいち駅→別役→奈良峠）



⑧土居・赤岡線

利用者全員が通院目的で利用している。

のいち駅→保健センター前→のいち駅



⑨深渕・母代寺線（16 日のみ） 火・木運行

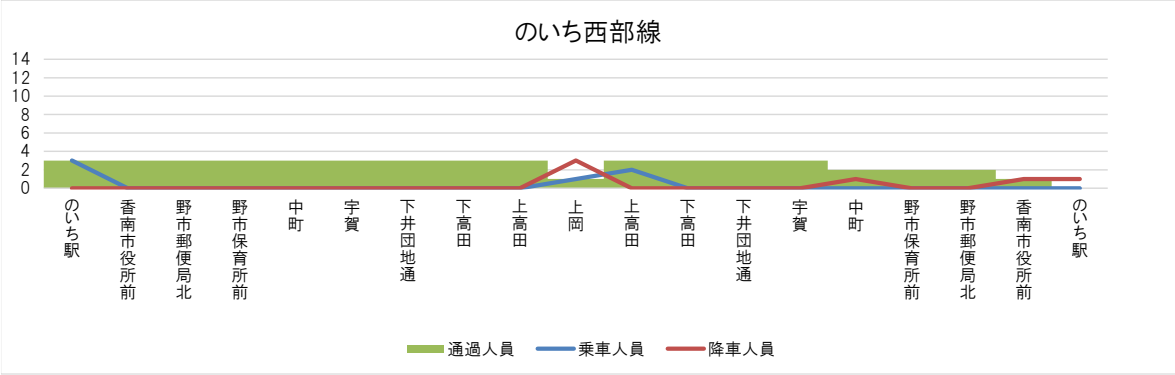
のいち駅→母代寺北団地→のいち駅

乗降数ゼロ

⑩のいち西部線（16 日のみ） 火・木運行

利用者全員が買い物目的で利用している。

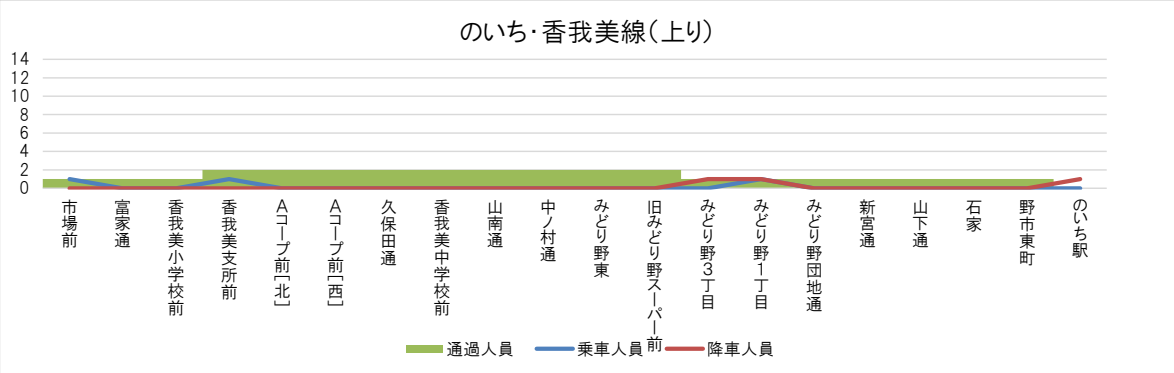
のいち駅→上岡→のいち駅



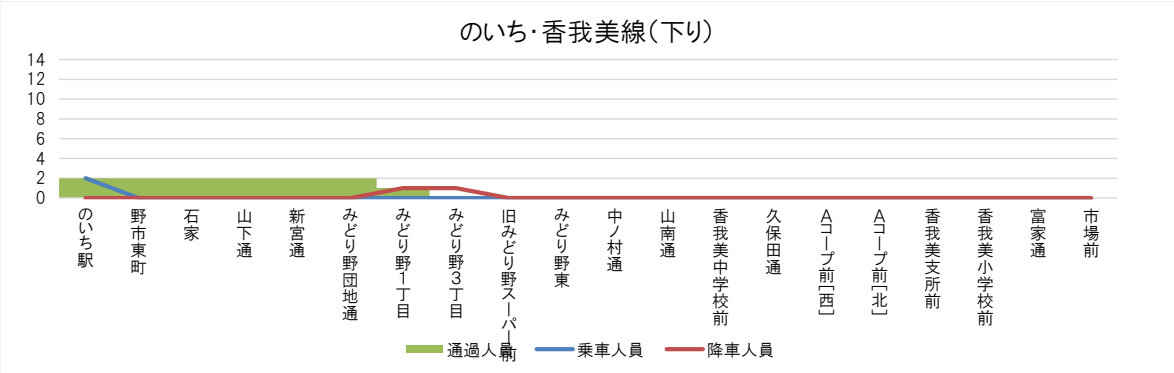
⑪のいち・香我美線

通勤目的の利用者が最も多い。

上り（市場前→のいち駅）



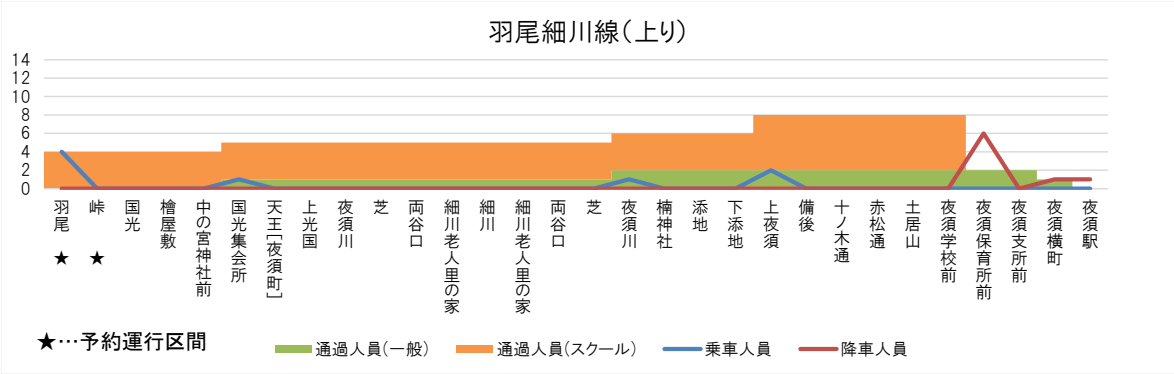
下り（のいち駅→市場前）



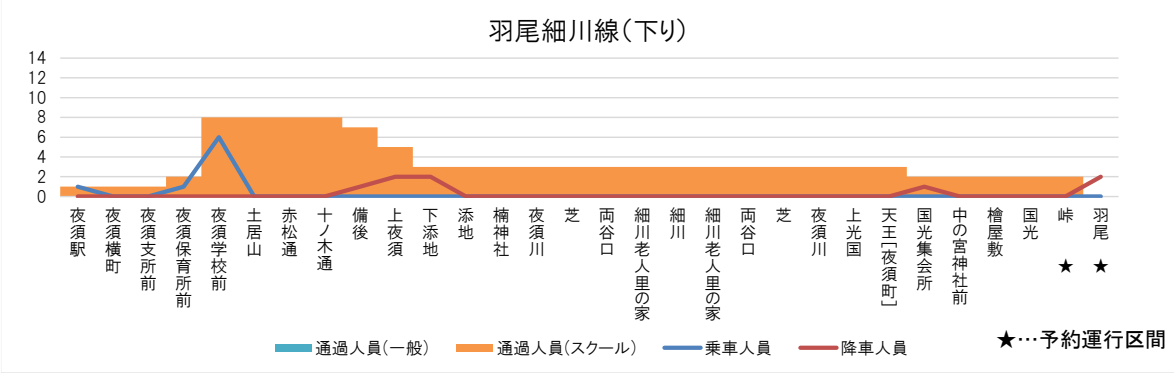
⑫羽尾・細川線

スクール利用 13 人（上り6人、下り7人）。
スクール利用を除くと、買い物目的と遊び・趣味・習い事の利用者のみ。

上り（羽尾→国光→夜須駅）



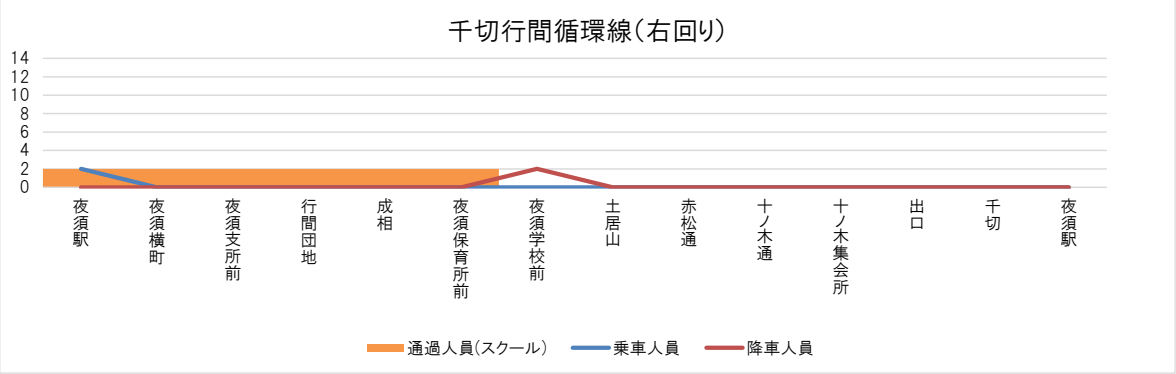
下り（夜須駅→国光→羽尾）



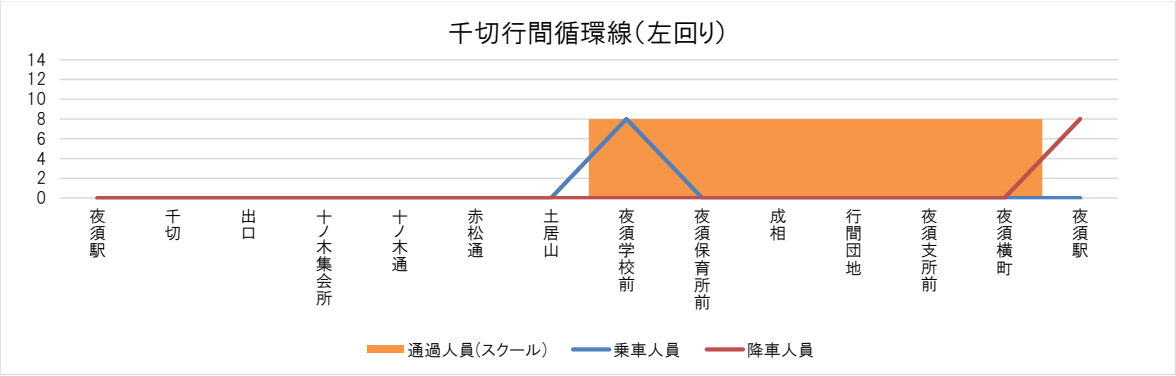
⑬千切・行間循環線

スクール利用 10 人(右回り2人、左回り8人)、スクール利用者のみ利用状態。

右回り(夜須駅→夜須小学校前→夜須駅)



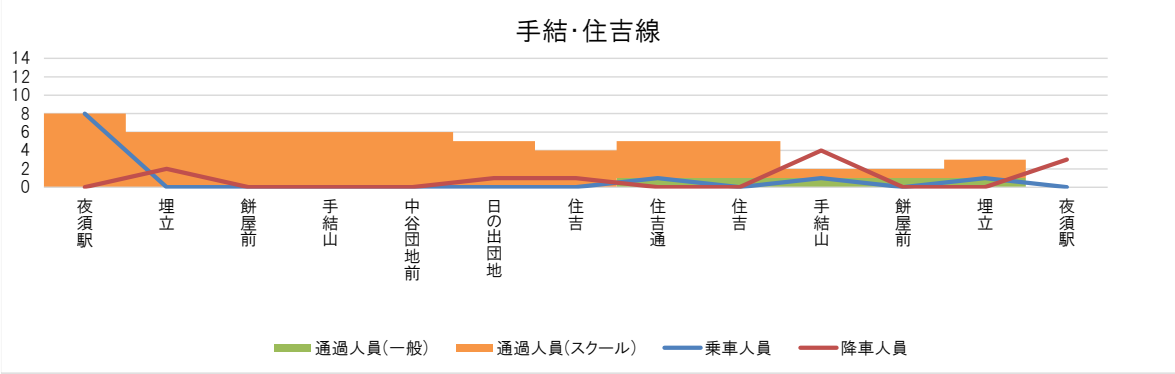
左回り(夜須駅→夜須小学校前→夜須駅)



⑭手結・住吉線

スクール利用 10 人。その他1人(80 歳代以上)だけ買い物目的で利用されている。

夜須駅→住吉通→夜須駅

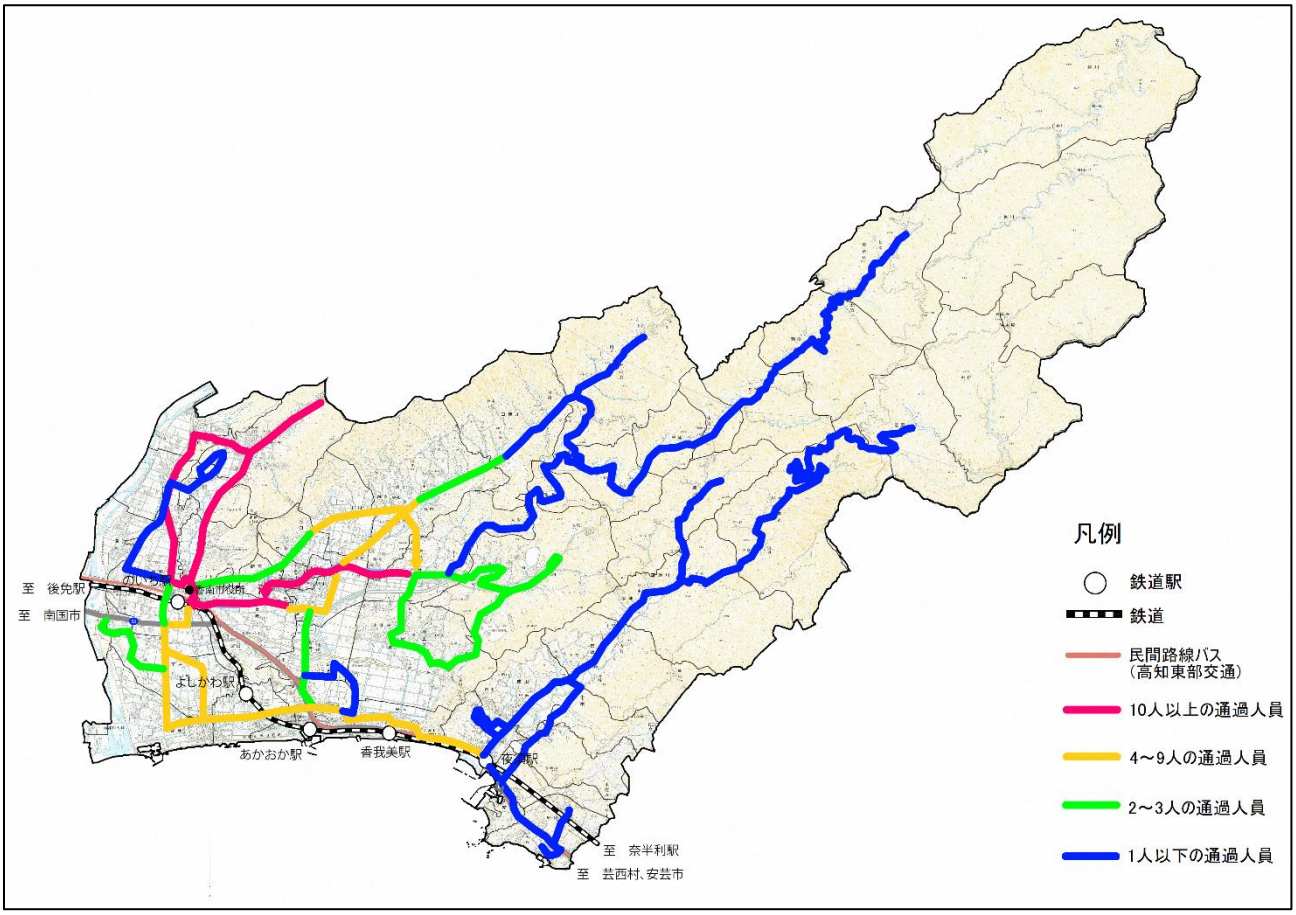


③―3 通過人員

○各路線を重ねた通過人員をみると、のいち北部循環線が多く、また、「のいち駅～野地東区間」「野地東～Ａコープ前区間」の人員が多い。

○野市町では深渕・母代寺線、香我美町では小畠から山側の西川線、下河内より山側の東川線、夜須町では羽尾・細川線、千切・行間循環線、手結・住吉線はほとんど利用者がみられない区間となっている。

■ 通過人員状況図



③―4　市営バス利用者層の特性

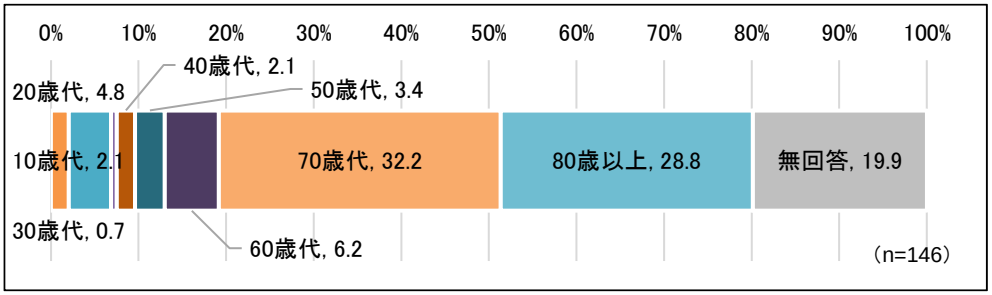
○市営バスを利用されている人は、70 歳代以上が 61.0％を占める。

○利用頻度について、全体の 12.3％が週5日以上利用しており、また約半数は週2日以上利用している。

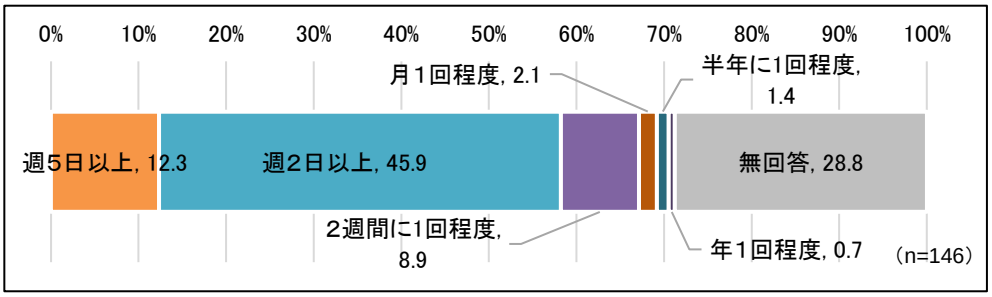
○利用目的は買物が 34.4％と最も多く、次いで通院が 18.2％などとなっている。

○市営バスの運行に満足されている人は全体の 58.9％(「満足している」＋「やや満足している」)と約6割を占める一方で、約 1 割の方は不満を感じている。

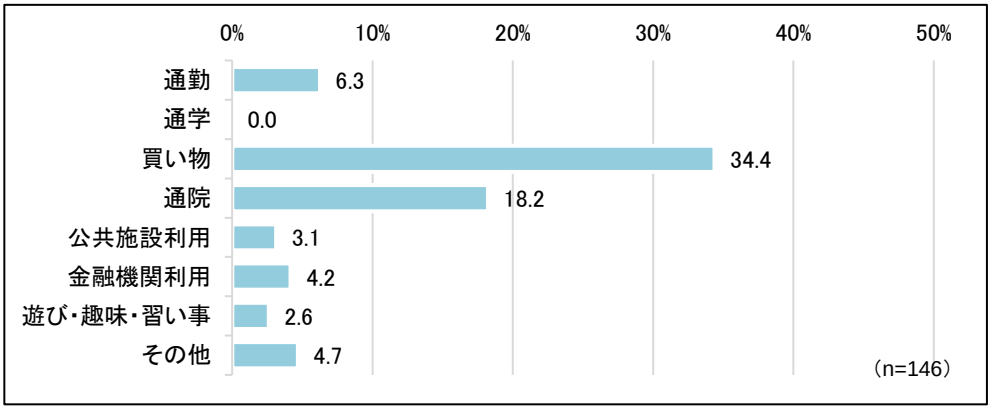
■　市営バス利用者の年代別



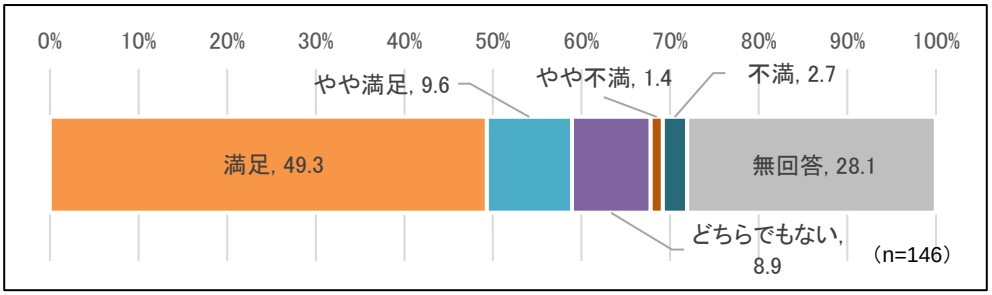
■　市営バスの利用頻度



■　市営バスの利用目的



■　市営バスの利用満足度



(4)集客施設利用者調査

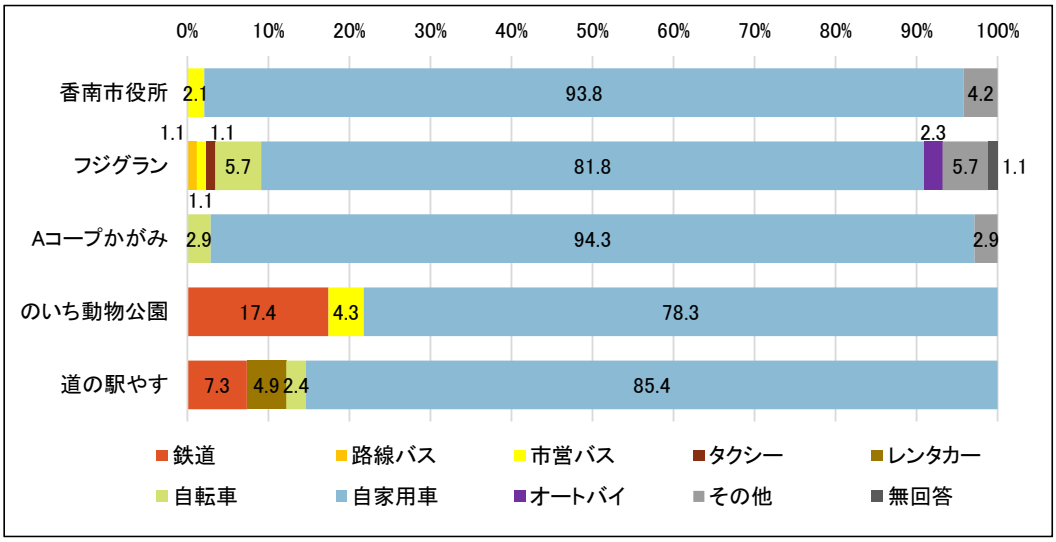
① 調査概要

【実施時期】令和 3 年 9 月 14 日(火)
【対象施設】香南市役所、フジグラン野市、A コープかがみ、高知県立のいち動物公園、道の駅やす
【回収数】270 人

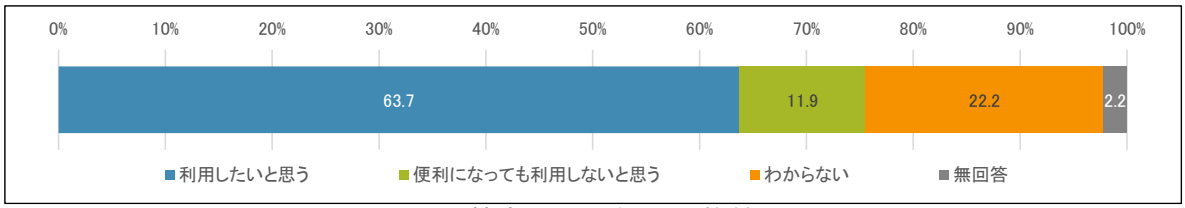
② 集客施設利用者の特性

○調査した集客施設では自家用車利用がほとんどであるが、公共交通が便利になれば利用したいとの意向は約6割を占め、潜在需要ニーズはある。
○公共交通利用促進の施策として、目的地となるバス停の設置や観光施設や商業施設等と連携した公共交通割引チケット等の発行の意見が多い。

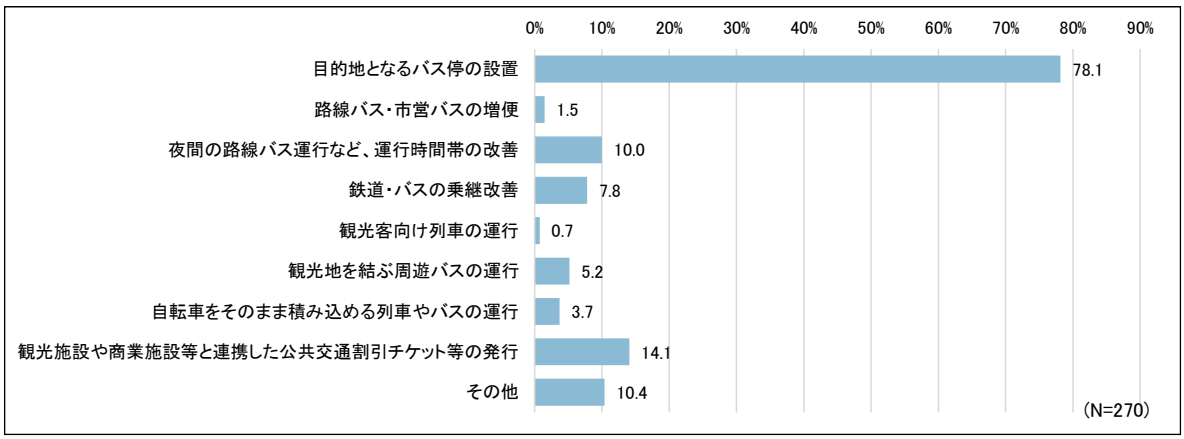
■ 集客施設利用者の交通手段



■ 公共交通利用がより便利になったら利用するか



■ 公共交通利用促進の施策



(5)目的地となり得る事業所等調査

① 調査概要

【実施時期】令和 3 年 9 月 3 日(金)～9 月 20 日(月)
【対象事業所】医療機関、観光施設、商業施設、宿泊施設等 32 事業所
【回収数】14 事業所

② 医療機関の意見

■公共交通に関するニーズや要望※患者さんからの意見

○バス停や待合の場所がわからない。
○患者さんからバスの時刻表のことを聞かれることがある。
○近くにバス停があれば便利である。

■公共交通に関する意見

○運行経路等の説明が必要な時に、複雑で難しい。分かりやすい資料があるとありがたい。

③ 観光事業者の意見

■観光に関する送迎サービスについて

○ごめん･なはり線による観光ニーズがある一方で二次交通が課題である。
○観光客向け周遊バスのサービスがあると良い。
○空港までのアクセスの充実が求められる。

■公共交通に関する意見

○利用者が出発時間まで長時間待合にいることがある。
○県外客から、空港への直接での交通手段がないかと問い合わせがある。
○市営バスに電子マネーを導入してはどうか。
○次世代移動サービスの実証実験を進めてはどうか。
○季節やイベントに応じた増便の対応があると観光客の増加に繋がる。
○バス停が商業施設内に設置できればお客様の利便性が上がる。
○のいち動物公園について、ごめん･なはり線を利用しての来場者には、入園割引券の配布サービスを行っているが、のいち駅からの公共交通機関がないので、割引券の利用者は少ない。観光施設への二次交通が課題である。

④ 宿泊施設の意見

○最寄りの駅や空港と宿泊施設の間を、利用者の到着時刻等に応じて運行サービスを行う事業者もいる。
○観光施設との巡回バスについて、宿泊施設との連携可能性はある。

(6)交通事業者ヒアリング・アンケート調査

① 調査概要

【実施時期】令和 3 年 9 月～12 月※ヒアリングも含む
【対象事業所】バス・鉄道事業者、タクシー事業者

② 鉄道・バス事業者の意見

■他の交通事業者との連携について

○観光面での誘客を伸ばすとともに、コストをかけない二次交通の充実・工夫が必要。
（例）観光施設や宿泊施設間共有の無料送迎の仕組み、過疎地有償運送の展開、市町村コミュニティバス間の連携など、公共交通や後継者不足が指摘されるタクシーなど既存の仕組みに過度に頼るのではなく、代替手段、田舎版マースの検討等が必要。

■利用促進・経営改善に向けた取組

○安価な交通費（LCC※、割安四国鉄道周遊切符など）提供による、関東方面の旅行需要の取込み。
○割安切符による県東部および西部間の利用促進。
○バスロケーションサービスの利便性の向上。

※LCC（Low Cost Carrier）…格安航空会社のこと。高知龍馬空港ではジェットスターが運航している。

■市の施策・計画への期待

○香美市との連携（市役所間や観光施設間を繋ぐ路線の再編等）。
○香南市コミュニティバスとの乗り換えの利便性を高める為、のいち駅バス乗り場にモニターを設置し、バスロケーションサービスとデジタルサイネージによるリアルタイム時刻表の提供等の実施。
○高知東部交通安芸線ののいち駅へ乗り入れのできる環境整備。

③ タクシー事業者の意見

■タクシー事業・経営について

○乗務員の高齢化や人手不足。ハローワーク等で雇用促進を進めているところもあれば、雇用に繋がらない事業者もいる。
○稼働率は常連客の利用等で高いが、時間によって空いている車両もある。

■乗合事業・デマンド型乗合タクシー事業等の将来的な参入について

○参加意向あり。2社は乗合免許を所持している。
○山間部に住む市民にとっては、交通で困っている意見を聞くため、バスで対応できない場合はタクシーが対応できるようになると良い。タクシー車両は小回りが利くため活用しやすい。
○3社協働で取り組む場合オペレーションが課題。

■市の施策・計画への要望・期待

○香南市の山間部の高齢者の人々を始めとしたタクシー需要の喚起。
○のいち駅駅前にすぐ乗れるタクシー乗り場がないので、不便だとの声を聞く。
○のいち駅売店から時折タクシー要望の電話を受けることから、駅前にタクシー乗り場の設置を希望。

(7)関連事業者アンケート調査

① 調査概要

【実施時期】令和３年９月３日(金)～９月20日(月)
【対象事業者】観光協会、子育て支援団体、障害者福祉団体、高齢者デイサービス支援団体

② 子育て支援団体の意見

○子育て世帯には送迎サービスのニーズは少ない。
○今後、自家用車が利用できない状況の家庭があればタクシー等が利用できれば良い。

③ 障害者福祉団体の意見

○市営バスの運行本数が少ない、フリー乗車区間の使い方が難しい。
○市営バスは運転手によって対応が違うことがある。
○シルバー人材センターの外出支援やタクシー会社との連携が必要。
○障害者への理解を深めるため、乗務員との意見交換の機会があると良い。
○乗務員が、障害者や高齢者に対する知識、必要な支援について考える機会があると良い。

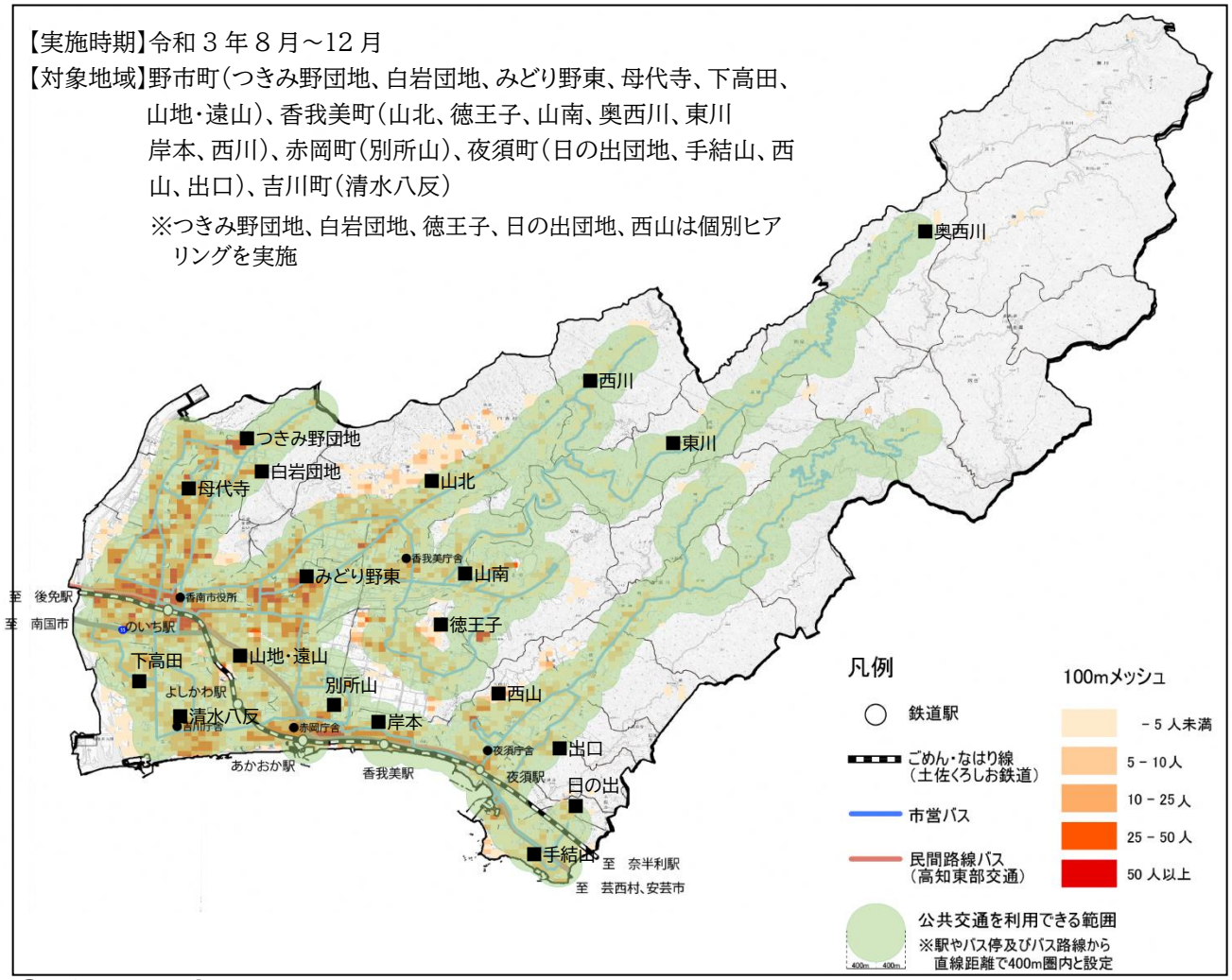
④ 高齢者デイサービス支援団体の意見

○タクシーを利用する方が主であるが、運賃が高いとの声がある。
○駅やバス停までの距離が遠く利用できないので、支援して欲しい。
○バスの便数が少ないという声がある。
○電車やバスに乗り過ごすと次の便までかなりの時間を待たないといけない。
○市営バスの運転手の愛想を良くしてほしい。
○足の不自由な人が乗り口で時間を要することやシルバーカー等の乗入れに気を遣う。
○要介護の方が公共交通を利用するのは難しいという意向がある。
○タクシーは日常的に使うにあたってコストが高い。
○市営バスの便数の少なさや自宅からバス停までの遠く、自宅からバス停までの移動支援が必要。
○要介護者は、バス利用のハードルが高い。
○乗り降りの際には軽介助可能など行うことのできる支援が欲しい。
○タクシー会社などと連携して送迎車両や、運転手の確保が出来ればより良い安全な送迎をする事が出来るのではないか。
○貨客混載事業への取組。
○免許返納等で移動手段がない高齢世帯等と病院や福祉サービスとの橋渡しを公共交通に期待。
○公共交通を利用できる人は介護度が低く、若しくはそこに至っていない人々であり、このように元気な市民を増やしていく事が福祉分野には求められている。

(8)住民意見交換会

① 住民意見交換会実施概要

【実施時期】令和３年８月～12 月
【対象地域】野市町（つきみ野団地、白岩団地、みどり野東、母代寺、下高田、山地・遠山）、香我美町（山北、徳王子、山南、奥西川、東川岸本、西川）、赤岡町（別所山）、夜須町（日の出団地、手結山、西山、出口）、吉川町（清水八反）
※つきみ野団地、白岩団地、徳王子、日の出団地、西山は個別ヒアリングを実施



② 各地区の意見

地区		利用者の特徴	公共交通に関する意見
野市町	つきみ野団地	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・市営バスやタクシーを利用される方もいる	・雨の日は屋根がなく、イスも古いので座れないし、バス待ちも不便に感じる。 ・バス停まで行くことやバスに乗ることが難しい。 ・バスの本数を増やしてほしい。バスに乗り遅れるとタクシーを使うしかない。 ・バスを利用しても帰りの荷物が大変。
	白岩団地	・自分の車で運転がほとんど	・団地入口付近までバスを運行してほしい。 ・バス車両は乗る人が少ないのであれば小型でよい。
	みどり野東	・自分の車で運転するか家族送迎の移動が多い ・公共交通を利用される方もいる	・午前中の往路は市営バスを利用するが、復路の10～12 時、15 時～16 時台がないのが不便。タクシーを利用する。 ・フジの買い物帰りはバスの便が少なく、荷物も多いのでタクシーを利用する。フジの中にバス停があると良い。 ・路線が複数あり、間違えて乗ってしまったこともあり分かりにくい。 ・ごめん・なはり線や高知東部交通との接続が不便。
	母代寺	・公共交通を利用している人も多く、積極的に利用する意向がある。	・水曜日は高齢者サロンの集まりもあるため運行できると良い。

地区		利用者の特徴	公共交通に関する意見
			・予約式運行について予約するのが面倒であるが、通院や買い物の都合に合わせて運行できるようになると良い。 ・のいち駅から野市中央病院に行く際、路線が多くどれに乗ればよいか分からない。 ・回数券のサイズが小さくて使いにくい。
	下高田	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・公共交通を利用している人もいる	・バス車両を空で運行しているのであれば、予約運行の対応でもよい。ただし運賃は高くしないで欲しい。 ・車両の小型化ができれば買い物のフジは駐車場まで乗り入れできるようにしてほしい。
	山地・遠山	・自分の車で運転する方がほとんど ・公共交通を利用している人もいる。	・高知東部交通のバスを使っているが本数が少ない。 ・地区の周りの方も含めて移動手段に困っている人は少ないと思われる。
香我美町	山北	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・公共交通を利用される方もいる	・野市中央病院へ行くために8時台のバスがあると良い。 ・通院や買い物の時間を加味した運行をしてくれるとありがたい。 ・バスの乗り換えや電話による予約ついて抵抗がある。 ・バスの乗降ボタンが届かない。
	徳王子	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど	・乗降場が家の近くを通るなら利用したい。 ・予約式運行でも利用できると良い。
	山南	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・公共交通を利用している人もいる	・予約式運行や路線の再編について利用しやすくなれば良い。 ・藤川クリニックへタクシー利用をしているが料金が高い。 ・久保田通から山南公民館へのアクセスが不便。
	奥西川	・自分の車で運転される方がほとんど（市営バス利用者の方1人は当日欠席）	・市営バスを利用したことがない。 ・車が乗れなくなったら公共交通を利用する可能性はある。
	東川	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・公共交通を利用している人もいる	・乗る人も少なくなっているのでバス車両でなく、タクシー車両でもいいのではないか。 ・買い物は野市まで行くことが多いので、野市まで行ける公共交通機関は継続してほしい。
	岸本	・自分の車で運転するか家族送迎の移動が半数 ・半数は公共交通を利用されている。	・香我美駅はエレベーターがなく利用が困難。 ・市営バスは最終便が赤岡止まりで不便。 ・安芸方面に行くときに市営バスと夜須駅の列車や東部交通のバスとの乗り継ぎが不便。
	西川	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・タクシー利用者もいる	・バスが通るところまでが遠い。便数が少ない。 ・バスや乗合タクシーは利用したい。 ・家族に送迎を頼んでも断られることもあり、お出かけに困ることがある。 ・通常のタクシー料金より安い自分でお出かけできる交通サービスがあれば良い。 ・乗り換え等がわからず行けなかったことがある。
赤岡町	別所山	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・公共交通を利用されている人もいる	・土居・赤岡線で市役所やふれあいセンターへ行けるようになると良い。 ・路線やダイヤについて知らない人が多い。 ・吉川下井（横井）線で 13 時にふれあいセンターへ行けるようにしてほしい。 ・赤岡から香我美へ行く際、乗り継ぎが多く困る。
夜須町	日の出団地	・自分の車で運転するか家族送迎の移動が半数 ・半数は公共交通を利用されている。	・団地内までバスが来て欲しい。バス停が遠い。 ・タクシー運賃が高くて困っている。

地区		利用者の特徴	公共交通に関する意見
	手結山	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・市営バス利用者もいる	・車が乗れなくなったら公共交通を利用する可能性はある。 ・夜須町の病院や診療所まで行けるルートがあれば良い。 ・予約運行の対応でもよい。
	西山	・自分の車で運転するか家族送迎の移動がほとんど ・タクシー利用者もいる	・公共交通を利用できる場所ではないので不安。バスが来てほしい。
	出口	・自分の車で運転する方がほとんど ・公共交通を利用している人もいる。	・金曜日に集まりがあるのでそのような日に運行できるとよい。 ・数年後免許返納予定なので、車が乗れなくなったら公共交通を利用する予定である。
吉川町	清水八反	・自分の車で運転するか家族送迎の移動が半数 ・半数は公共交通を利用されている。	・特に往路は買物や通院などで時間が合わずタクシーを利用する場合が多い。 ・フジからバス停が遠く、荷物もあるためタクシーを利用することが多い。 ・空港から市外タクシーを利用すると対応が悪い印象がある。

③ 住民意見まとめ

■利用者の特徴

○自動車を運転できない人については、家族送迎で対応している人が多い。
○自動車を運転されている人は、運転をやめたら市営バスかタクシーを利用する意向はある。
○自動車を運転されている人は、市営バス等の公共交通を利用したことのない人が多い。
○公共交通を利用されている人で、帰りの運行時間のミスマッチや買い物等による荷物の大きさから、往路は市営バスや路線バスを利用し、復路はタクシーを利用する人も一定数いる。

■公共交通の利用について

○市営バスや高知東部交通安芸線、ごめん・なはり線の乗継を円滑にして欲しい。
○買い物や通院による往路の運行本数や運行時間を充実して欲しい。
○バス停が遠い。団地までバスを運行して欲しい。
○バス車両は乗る人が少ないため小型で良い。
○タクシーは運賃が高い。
○路線が多く、間違えて乗ることもあるため分かりやすくして欲しい。
○予約式運行でも公共交通を維持して欲しい。

■地区における意見・要望について

地区	主な意見・要望
野市	○買い物や通院がしやすい往路のバス路線の充実化。 ○のいち駅～A コープ前(市場前)までの分かりやすい路線の見直し。 ○予約運行の転換への検討について反対はない。
香我美	○買い物や通院がしやすい往路のバス路線の充実化。 ○香我美駅のバリアフリー化。 ○岸本まで運行する路線の見直し。 ○予約運行の転換への検討について反対はない。
赤岡	○土居・赤岡線の充実(市役所やふれあいセンターへ行先検討)。 ○赤岡～香我美方面への乗り継ぎ強化。
夜須	○安芸方面の市営バス、夜須駅の鉄道や路線バスの乗り継ぎ強化。 ○予約運行の転換への検討について反対はない。
吉川	○買い物や通院がしやすい往路のバス路線の充実化。

5 地域公共交通に関する課題

■社会情勢の変化

○香南市の人口は、年少人口、生産年齢人口は減少傾向、老年人口は増加傾向で推移している。中心市街地である野市町は生産年齢人口、老年人口ともに増加傾向となっている。
○高齢化の状況として、3人に 1 人が 65 歳以上の高齢者であり、今後も高齢化の進展により少子高齢化の深刻化が懸念される。
○免許返納件数については近年増加傾向であり、平成 28 年と比較すると約 1.53 倍に増加している。
○商業施設、医療施設、公共施設、教育施設は、概ね路線上に立地している。
○地域公共交通を維持するうえで、新型コロナウイルスの感染拡大等による観光需要の回復が求められる。
○令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されて以降、全国への感染が拡大。エッセンシャルワーカーとして地域住民の「くらしの足」を守る公共事業者にとって、感染拡大は経営危機に直結している。

■地域公共交通の現状

	概況	利用状況等
鉄道	土佐くろしお鉄道「ごめん・なはり線」が運行。 市内に5駅所在。	のいち駅を除き各駅とも利用減少傾向。 運行本数や運行時間、運賃に関する要望あり。
路線バス	安芸線が運行。 高知東部交通(株)が運営。	利用者数は減少傾向。 運行本数や行先(土佐山田方面)、待合空間の要望あり。
市営バス	14 路線が運行。 うち3路線がスクール混乗路線。	のいち東部循環線や山南・徳王子線は年々減少傾向にあるが、その他概ね横ばいとなっている。令和 2 年度は全ての路線で前年度より利用者数が減少している。 利用率が1日1人以下のバス停が多い。
タクシー	市内に3事業者が車両 41 台を保有。	利用者減と乗務員の高齢化で厳しい状況。 新型コロナの影響も大きく受けている。
施設送迎等	高齢者の買物送迎支援「リフレッシュ移動サロン」が香南市社会福祉協議会により運営。	年間 3,000 人以上の利用があり、友達と一緒に買物もできることから満足度も高い。

○市内に交通空白地域が点在(本村・山北・西川、徳王子、西山等)。空白地域への移動手段の確保が必要。
○公共交通に関する財政負担は年々増加し、令和 2 年度では 8,500 万/円。限りある財政状況を踏まえてサービス水準の維持・向上が必要。

■交通事業者・関連事業者

○乗務員の高齢化や人員不足がみられる。
○乗合事業・デマンド型乗合タクシーの連携意向あり。
○のいち駅ロータリーについて、高知東部交通安芸線やタクシーが乗り入れできるような整備を希望。
○足の不自由な人は乗り口で時間を要することや車椅子等の乗入れに気を遣ってしまう。障害者や高齢者に対する知識、介助などのサポートが必要。
○日々の外出・移動について困らないための移動に関する支援が必要。
○シルバー人材センターの外出支援やタクシー会社との連携が必要。
○市役所間や土佐山田駅との広域交通システムが必要。
○観光施設との周遊など観光面での二次交通の充実・工夫が必要。

■香南市の課題整理 ※詳細は次ページ

①高齢者(買い物・通院)や外出に困っている人への移動手段の確保
②地域特性やニーズに応じた交通サービスの提供
③誰もが利用しやすい環境整備
④公共交通への関心の醸成とわかりやすい情報発信の強化
⑤適正な財政負担
⑥まちづくり・観光・福祉との連携
⑦周辺市と連携した広域移動への対応

■地域住民及び公共交通利用者のニーズ

○多くの市民が自動車で移動しており、公共交通の利用は 6.8%。通院や公共施設の利用で家族による送迎に頼っている傾向がある。
○買い物先では、のいち駅周辺の「フジグラン」、市役所周辺の「マルナカ」、赤岡町の「エーマックス赤岡店」等が多い。
○通院先では、野地東の「野市中央病院」、宇賀の「「野市整形外科医院」、中町の「のいち眼科」等が多く利用されている。
○運転されている人で 64 歳までの世代で半数以上が将来的に免許返納に前向きであり、公共交通利用の潜在ニーズがみられる。
○今後の公共交通の維持・確保について、可能な限り公共交通の維持に努めるべきと考える市民が多く、財政負担を増やしてもサービスを拡充させるべきとの意見も多い(各年代の 6 割以上)ため、交通弱者をなくすための公共交通の維持確保・充実に取り組むことが求められる。
○今後の効果的な取組として、車両の小型化や集落への乗り入れ、自家用車に頼らなくても生活できるまちづくりの希望が多く、既存のサービス向上に加えて、タクシー事業の活用等での公共交通サービスが求められている。また、若者世代では、乗継円滑化やパソコン・スマートフォン等での情報提供の回答も多く、IoT 等のデジタルを活用した利便性向上の取組も求められている。
○市営バスの利用について、のいち北部循環線が多く、また、「のいち駅～野地東区間」「野地東～A コープ前区間」の人員が多い。また、香我美町や夜須町の路線では、ほとんど利用者がみられない区間もある。
○商業施設等への移動は自家用車利用がほとんどだが、公共交通が便利になれば利用したいとの意向は約6割を占め、潜在的なニーズはある。

【地域住民の声】

○運転できない人は家族での送迎やタクシーの利用が多く、タクシーは運賃が利用者にとって負担となっている。
○市営バスの路線が多く複雑で、どれに乗ればよいか分からない。
○市営バスや高知東部交通安芸線、ごめん・なはり線の接続を円滑にして欲しい。
○市営バスの帰りの時間のミスマッチが起きているため、運行本数や運行時間を充実して欲しい。
※買物はバス停までが遠く、荷物が重いなどから希望するバスがない。通院は診療時間が変動することから、帰りのバスに乗れないことがある。以上のような理由から、帰りはタクシーを利用される人が一定数いる。
○市営バスのバス停が遠く、地区(団地等)の中までバスを運行して欲しい。
○バス車両は乗る人が少ないため小型で良い。
○フジグランなどの施設内にバス停があると便利である。

課題① 高齢者（買い物・通院）や外出に困っている人への移動手段の確保

○超高齢化の進行や自動車運転免許返納者の増加に対応するため、今後の潜在ニーズもあることから公共交通の利用につなげる取組が必要である。

○自宅から最寄りのバス停まで歩くことが出来ない高齢者の移動手段を確保するため、日常の移動ニーズに対応した移動手段の提供が必要である。

【現状・ニーズ】
○現在 65 歳以上の高齢者は 1 万人以上であり、高齢化率は約 3 割。今後、人口減少に伴い 2030 年では 65 歳以上の高齢者は約 9,500 人が見込まれる。
○自動車を運転している人で 64 歳までの世代で半数以上が免許返納に前向きであり、公共交通利用の潜在的なニーズがみられる。
○交通空白地域以外でも最寄りのバス停が遠いなど外出に困る人が点在している。

課題② 地域特性やニーズに応じた交通サービスの提供

○公共交通利用者からは、ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線、市営バスの運行本数や乗り継ぎに関する不満が多いことから、需要・ニーズに対応したサービス水準の見直しが必要である。

○市内には人口の少ない地域や道幅の狭い地域など実情の異なる地域が多く存在しており、14 路線ある市営バスで全て対応できない状況であるため、地域特性に対応した多様な交通サービスの提供が必要である。

○市内の一部には公共交通空白地域も点在するため、既存市営バス路線を活かしながら、タクシー事業者や地域との協働の取組による公共交通空白地域の解消が求められている。

【現状・ニーズ】
○運行本数、運行時間帯、バス停留所の待合空間、乗継に関する満足度が低く、意見・要望も多い。
○これまで 3 年に 1 度の細やかな見直しを行っているが、公共交通空白地域が点在しており、また、利用者数が非常に少ない区間がある路線もある。
○路線が多く、重複しているところもあり、分かりづらいという利用者の意見もある。

課題③ 誰もが利用しやすい環境整備

○高齢者、障害者等が自立した日常生活及び社会生活を営むことができる社会を構築することの重要性を踏まえ、そのための環境の整備を早急に推進していくことが国の政策としても求められている。

○本市においても高齢者や障害者等誰もが利用しやすい公共交通として、移動円滑化のためのバリアフリーに対応した環境整備が必要である。

【現状・ニーズ】
○足の不自由な人は乗り口で時間を要することや車椅子等の乗入れに気を遣ってしまうため、乗務員による障害者や高齢者に対する知識、介助などのサポートが必要。
○市民アンケート調査では、介助が必要な人への手助けを行うなど、乗務員サービスの向上なども挙げられており、足の不自由な人でも、外出しやすく暮らしやすい公共交通の仕組みづくりが求められている。

課題④　公共交通への関心の醸成とわかりやすい情報発信の強化

○公共交通は市民が乗っていただくことで維持できる事を認識してもらうとともに、公共交通を次世代に繋ぐために、公共交通への関心を促し、積極的に利用を促進していく必要がある。

○市民の移動手段が自家用車移動に依存している中、公共交通に乗ったことがない、乗り方を知らない市民も相当数存在していることから、既存の「香南市営バス運行時刻表」を活用し、ごめん・なはり線、高知東部交通路線安芸・高知線、タクシー等の総合的なガイドブックとしての積極的な周知が求められる。

【現状・ニーズ】
○ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線、市営バスともに新型コロナウイルスの影響もあり、利用者数は減少傾向。利用促進が求められる。
○多くの市民が自動車で移動しており、公共交通の利用は 6.8%。市営バスに乗ったことがない、乗り方を知らない市民も相当数存在している。

課題⑤　適正な財政負担

○市の公共交通に対する財政負担は約 8,500 万円／年であり、限りある財政状況を踏まえ、できるだけ負担を増やさず、利用実態やニーズに考慮した効果的な運行によってサービス水準を維持・向上していくことが求められている。

【現状・ニーズ】
○今後の公共交通の維持・確保について、現状と同程度の財政負担の中で、運行の効率化等に取り組み、可能な限り公共交通の維持に努めるべきと考える市民が多く、利用者負担や財政負担を増やしても交通サービス充実させるべきとの意見も多い。（各年代の 6 割以上）

課題⑥　まちづくり・観光・福祉との連携

○移動の目的となる都市機能の適正な配置、観光振興、福祉政策等と整合・連携を図り、公共交通も社会基盤の重要な役割を担う必要がある。

【現状・ニーズ】
○観光施設との周遊など観光面での二次交通の充実・工夫が必要との意見がある。
○日々の外出・移動について困らないための移動に関する支援策が求められている。
○外出支援サービス等と連携が求められている。

課題⑦　周辺自治体と連携した広域移動への対応

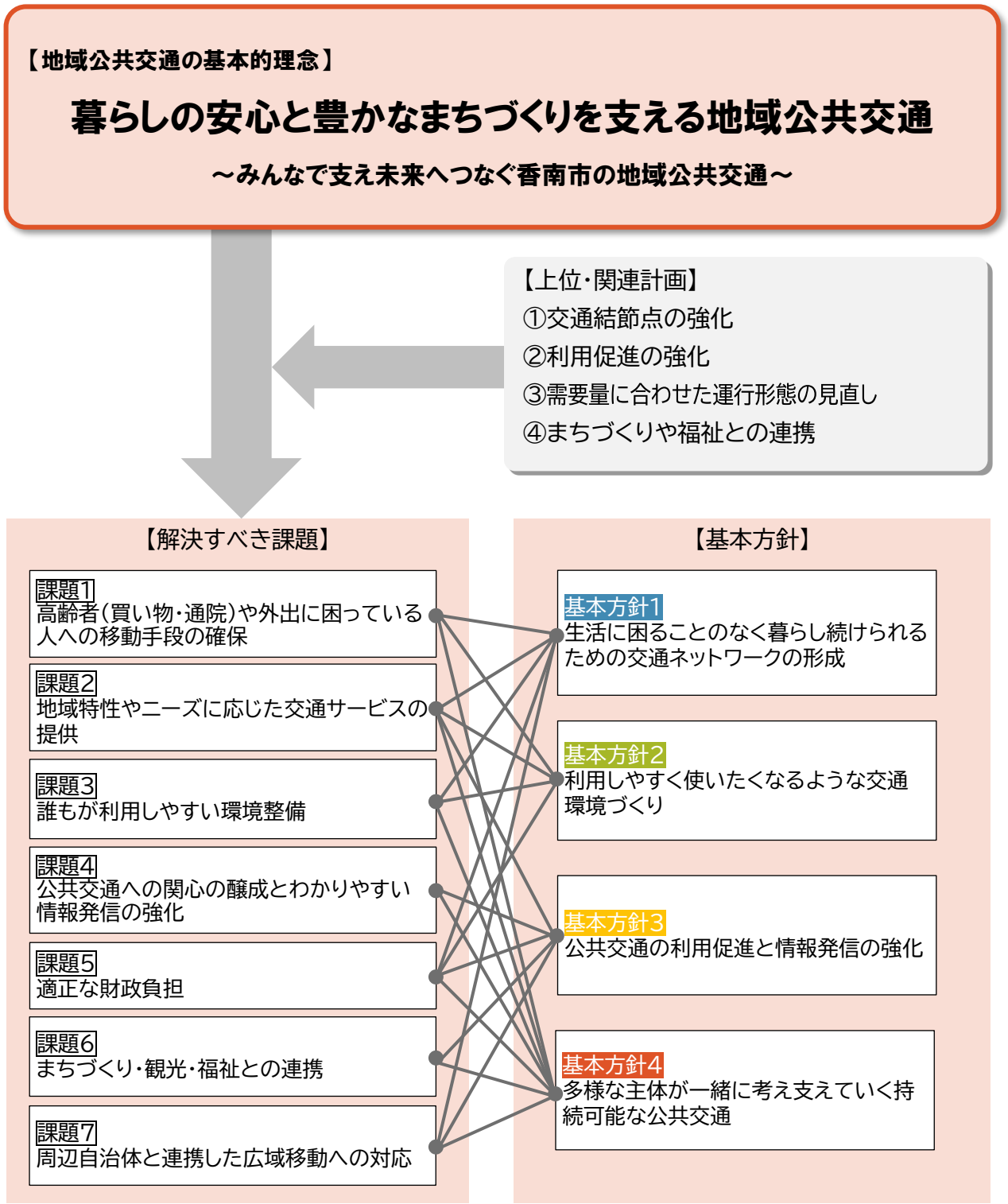
○周辺市の施設や高知龍馬空港利用等、市外への広域移動ニーズにも対応するため、周辺市と連携して広域移動について検討していく必要がある。

【現状・ニーズ】
○高知龍馬空港アクセスの充実が求められている。
○市役所間や土佐山田駅との広域移動ニーズへの対応が求められている。

6　香南市地域公共交通の基本方針

(1)香南市地域公共交通の方向性

香南市における地域公共交通計画は、上位計画である「第2次香南市振興計画」で公共交通の取組内容として公共交通サービスの充実を掲げている。地域公共交通の課題に対応するため、次の4つの基本方針により、公共交通を必要とする人のための持続可能な公共交通網の構築を目指す。



(2)基本方針

本市の地域公共交通の方向性を実現するために、4つの基本方針と11の目標を設定する。

基本方針① 生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成

○広域及び地域間路線(ごめん・なはり線と高知東部交通安芸線)、地域内路線(市営バス)、タクシーや福祉政策の移動支援と役割分担を図りながら、市民が外出移動に困ることのない利便性向上と効率性が両立した公共交通ネットワーク再編を目指す。

○公共交通ネットワークの再編にあたっては、市営バスはごめん・なはり線と高知東部交通安芸線のフィーダー交通の役割を十分に担えるような路線の再編を目指す。また、山間部や交通空白・不便地域について、地域の実情に合わせタクシーを活用した運行路線の導入を目指す。

○ごめん・なはり線や高知東部交通安芸線、市営バス同士の接続について、交通結節点における利用しやすい乗継環境(ダイヤ、運賃など)の整備を目指す。

○交通ネットワークの再編にあたり、適正な財政運営のもと施策および事業を遂行する。

○また、香南市内および市内から地域公共交通を利用して市外へ通勤・通学等が出来る環境を維持・活性化させ、市外への人口流出の抑制や定住促進を図る。

【基本方針概要】

- ●需要の多い市営バス路線の充実とシンプル化
- ●市営バスの幹線を補完する支線としてタクシーを活用した新たな交通手段の導入
- ●拠点間を結ぶ戦略的な地域公共交通の維持・再編と乗換機能の強化(バス路線の機能分担)
- ●運賃体系の見直し、運賃割引サービス等の継続・改善
- ●通学利用のためのスクールバスの維持存続
- ●隣接自治体との連携による公共交通の改善、広域移動への利便性向上

【基本方針の目標】

- 目標 1:公共交通利用者数の増加
- 目標 2:公共交通利用者の満足度の向上
- 目標 3:交通結節点の接続率向上
- 目標 4:居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築
- 目標 5:適正な財政運営
- 目標 6:広域アクセス向上による定住・交流人口の増加

基本方針② 利用しやすく使いたくなるような交通環境づくり

○高齢者や障害者など誰もが無理なく移動できるようにするため、公共交通に関連する施設や車両のバリアフリー化など、人にやさしい移動環境の創出を目指す。

○各公共交通の利用や、待合、乗継ぎに対する負担が最小限となるよう、交通結節点において、より利用しやすい環境(待合空間等)の整備を目指す。

【基本方針概要】

- ●高齢者や身体障害者など誰もが利用しやすいバス環境の改善
- ●駅のバリアフリー対応
- ●交通結節点における鉄道や路線バス、タクシー等公共交通機関どうしの乗り入れ環境の改善
- ●交通結節点におけるバス待ち環境の改善

【基本方針の目標】

- 目標 7:誰もが移動しやすい環境の充実
- 目標 8:乗り継ぎしやすい環境の充実

基本方針③　公共交通の利用促進と情報発信の強化

○地域公共交通を使ってもらうために、分かりやすい運行情報提供等の情報発信や公共交通利用のきっかけとなる機会を創出し、公共交通の利用促進を図る。

○さらに、地域公共交通の必要性をより多くの市民に理解いただくとともに、自発的な協力・利用をしていただくよう地域公共交通に対する機運醸成を図る。

【基本方針概要】

●公共交通の情報の一元化
●公共交通を利用したいと感じてもらえる利用を促す積極的な取組や情報発信
●市民（高齢者等交通弱者）等によるモビリティ・マネジメントへの取組
●自動車利用者も公共交通を時々利用し、公共交通の意識醸成を促す普及啓発

【基本方針の目標】

目標 9 わかりやすい運行情報の提供

目標 10：公共交通を利用する機会の向上

基本方針④　多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通

○公共交通事業は、運転手不足や新型コロナウイルス感染症の拡大による利用者数の減少など、厳しい状況にある中で、持続可能な公共交通ネットワークを確保するためには、従来の行政、交通事業者に頼った公共交通の維持・確保ではなく、これまで以上に地域自らが「公共交通はみんなで『つくり・支え・つなぐ』」という意識を持って関わっていくことが重要である。

○市民・地域・香南市・交通事業者・社会福祉協議会・企業等が、お互いの立場や役割を理解し、協力・尊重し合いながら、持続可能な移動支援サービスの提供に向け、連携した取組を推進する。

【基本方針概要】

●行政の支援のもと、地域住民との協働の取組による移動支援事業の導入
●規定の運行方法にこだわらず地域が主体的に関わりながら、地域特性・地域住民ニーズに柔軟に対応し、「私たちの地域公共交通」という意識を芽生えさせる取組の推進
●観光や移住促進との連携
●誰もが移動手段に困らないための福祉政策（移動支援）との連携

【基本方針の目標】

目標11：地域公共交通に対する市民の参画度の向上

(3)望ましい公共交通ネットワークのあり方

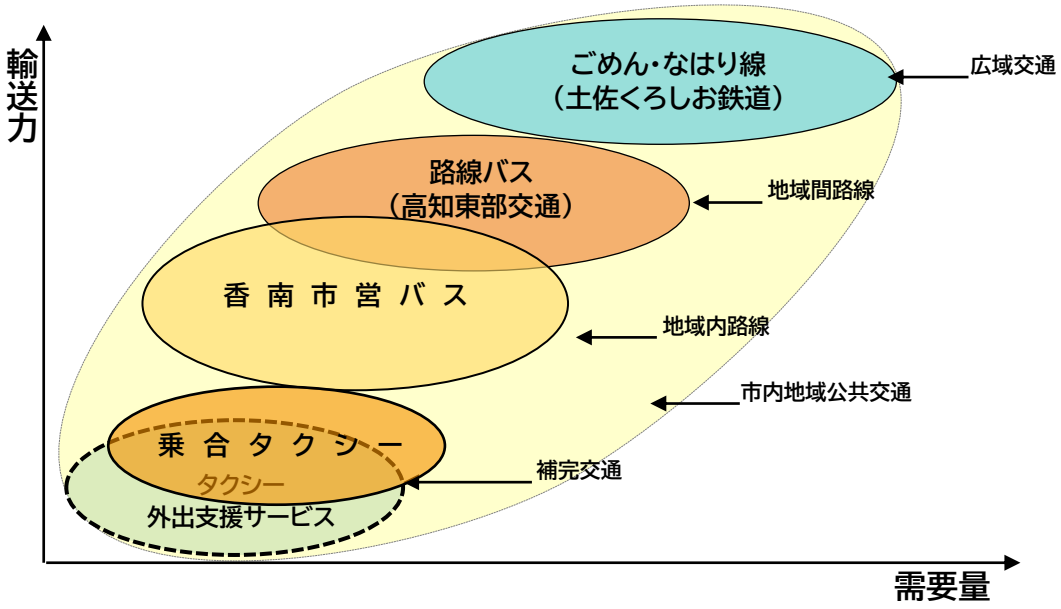
○香南市の地域公共交通ネットワークは、将来の都市構造を踏まえ、既存の公共交通網を有効に活用し、広域交通及び地域間交通(ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線)、市内の各拠点を繋ぐ地域内路線(香南市営バス、乗合タクシー)、補完交通(タクシー、外出支援サービス等)の4段階に機能分担を図り、地域公共交通機関相互の接続・連携により、香南市民の生活交通、更に来訪者の二次交通としても機能させ、利便性向上と効率的な運行を目指す。

○交通結節点としては、ごめん・なはり線のいち駅、夜須駅に加え、市営バス路線のＡコープ前、市場前、保健センター前等を位置づけ、待合空間の整備・乗継情報の提供等の機能強化を図る。

■地域公共交通システムの機能分担

機能分類			性格・役割	
広域交通	鉄道		○都市間連絡の骨格となる広域公共交通軸 ○通勤・通学、買物、観光など多様な目的に対応	○土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線
市内地域公共交通	地域間路線		○地域間の骨格となる東西交通軸 ○通勤・通学、買物など多様な目的に対応	○高知東部交通安芸線 ○空港乗合タクシー
	地域内路線	幹線	○都市拠点と生活拠点を連絡、市街地の連携・一体化 ○広域交通・地域間交通への接続	○香南市営バス
		支線	○生活拠点と集落拠点を連絡 ○幹線路線を補完	○香南市営バス ○新たな交通手段(乗合タクシー)
	補完交通		○地域内路線等を補完し、主に高齢者・交通弱者のために少量個別輸送を担う移動手段	○タクシー ○民間送迎サービス ○地域や福祉政策等で行う外出支援サービス 等
交通結節点			○上記地域公共交通システムの連携拠点で、待合空間の整備・乗継ぎ情報の提供等の機能強化を図るべき拠点	○のいち駅 ○夜須駅　○市場前 ○Ａコープ前 ○保健センター前　等

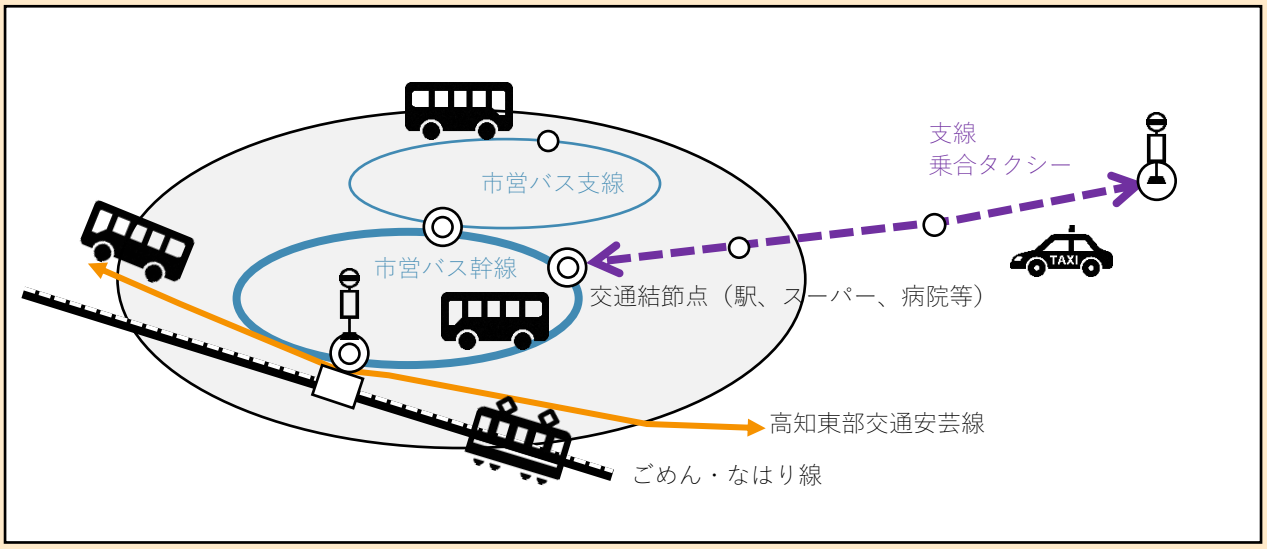
■輸送力と需要量との関係による市内地域公共交通の位置づけ(役割分担)



■山間や公共交通空白・不便地域で対応する乗合タクシーイメージ

概要	市営バスを幹線と支線に交通結節点で分け、利用が少数の支線は、バスの代わりに乗合タクシー(予約式)を導入する。
スクール	スクール混乗のある路線を運休する場合でもスクールのみは継続運行。
運行範囲	市営バス利用が少数の路線及び地区並びに公共交通空白・不便地域
料金	市営バスと同等程度
車両	タクシー事業者の車両
予約形式	乗車の１時間前までに予約

■図　運行イメージ



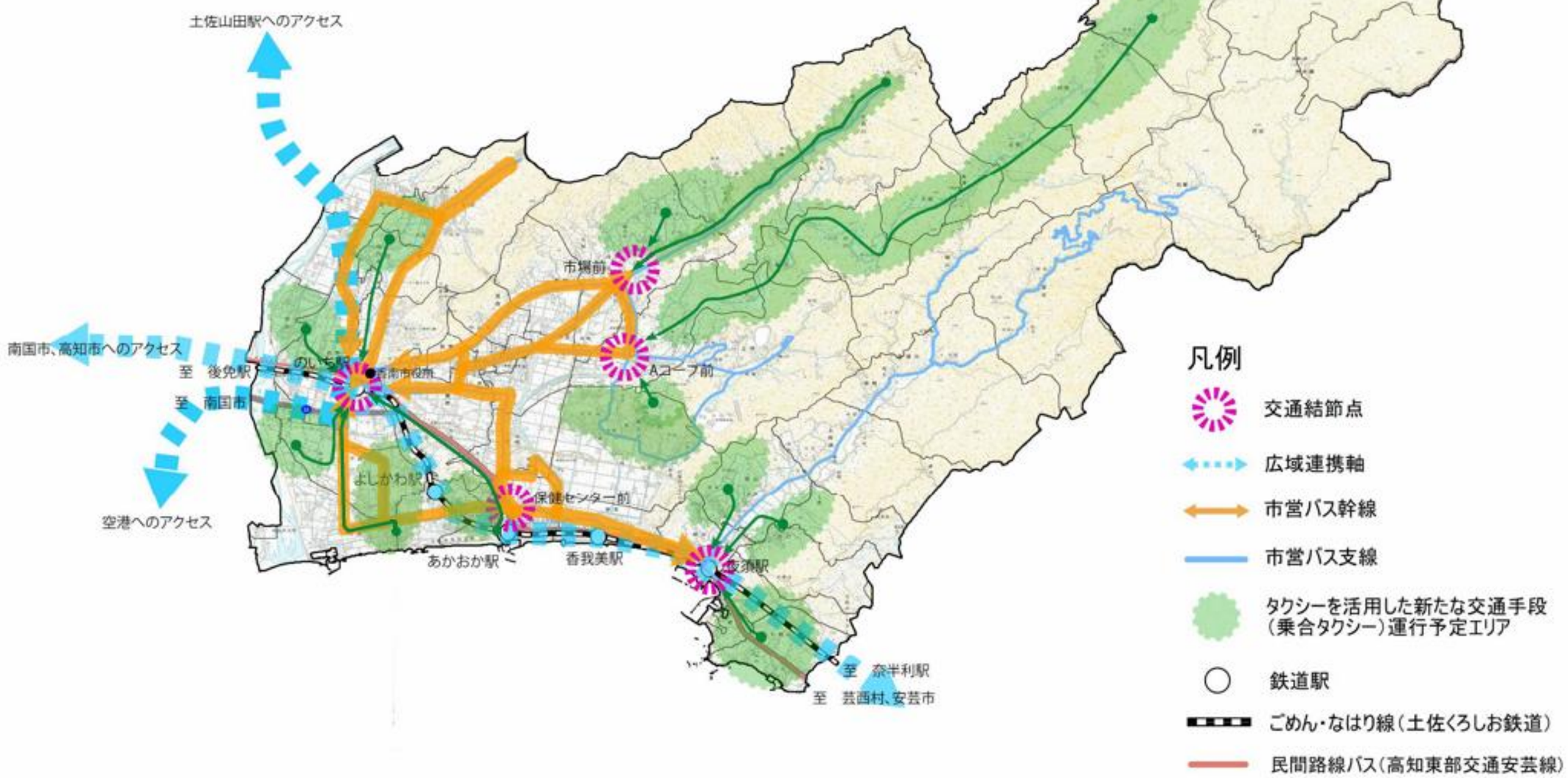
■地域公共交通ネットワークの将来イメージ図（(案）

■市営バス幹線・支線概要

概要	市営バスを幹線と支線に交通結節点で分け、幹線については便数の増加等によってサービスを充実させ、支線については、現状のサービス維持向上を図る。
運行範囲	既存の市営バス路線（乗合タクシーエリアを除く）
車両	既存のバス車両の活用

■タクシーを活用した新たな交通手段（乗合タクシー）運行概要

概要	市営バスを幹線と支線に交通結節点で分け、利用が少数の支線は、バスの代わりに乗合タクシー（予約式）を導入する。 ※スクール混乗のある路線は現状維持とする
運行範囲	市営バス利用が少数の路線及び地区並びに公共交通空白・不便地域（緑色エリア）
車両	タクシー事業者の車両



6章 市場経済社会の構造と力学

7 計画の目標と評価指標

○計画の目標に向けた進捗状況を把握するための指標を下記の通り設定する。

○各目標指標の設定にあたっては、施策や事業をどれだけ実施したかの量や程度など、行政活動の結果を示す「アウトプット指標」とアウトプットの結果により得られる成果や満足度などを示す「アウトカム指標」を設定する。

○計画の目標の実現にあたっては、適正な財政運営のもと施策および事業を遂行する。

①基本方針1：生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成

目標	目標指標の定義	現状値	目標値（2027）
目標 1：公共交通利用者数の増加	市営バス及び予約式乗合タクシー　年間利用者数（第2次香南市振興計画目標）	30,126 人※（2020 年数値）	40,000 人
	高知東部交通安芸線年間利用者数	57,456 人（2020 年数値）	60,000 人
	ごめん・なはり線市内駅年間乗降者数	581,558人（2020 年数値）	598,000 人
目標 2：公共交通利用者の満足度の向上	公共交通利用者調査による市営バス利用者の満足度	58.9%	63.0%
目標 3：交通結節点の接続率向上	交通結節点（のいち駅・夜須駅）の接続率	67.2%	81.7%
目標 4：居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築	全人口に対する公共交通不便地域における人口割合	2.3%	1.0%未満
目標 5：適正な財政運営	市営バスの財政負担額・収支率	53,000 千円 11. 1% （2020 年数値）	現状維持
	高知東部交通安芸線の財政負担額・収支率	4,471 千円 33.5% （2021 年数値）	現状維持
目標 6：広域アクセス向上による定住・交流人口の増加	香南市人口の社会増加数（第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略目標）	66人（2020 年数値）	115 人（2024 年目標値）
	観光入り込み客数（第2次香南市振興計画目標）	907千人/年（2020 年数値）	1,280 千人/年（2026 年目標値）

※予約式乗合タクシーは令和 5 年 10 月から運行を開始。市営バス及び予約式乗合タクシー年間利用者数の現状値(2020 年数値 30,126 人)は市営バスのみの利用者数。

②基本方針2：利用しやすく使いたくなるような交通環境づくり

目標	目標指標の定義	現状値（2021）	目標値（2027）
目標 7：誰もが移動しやすい環境の充実	市民アンケート調査における「外出に困ることがある、困っている」の割合	8.8%	5%未満に下げる
	市民アンケート調査における待合空間の満足度（鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均）	8.6%	向上
目標 8：乗り継ぎしやすい環境の充実	市民アンケート調査における乗り継ぎ環境の満足度（鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均）	6.6%	向上

③基本方針3：公共交通の利用促進と情報発信の強化

目標	目標指標の定義	現状値（2021）	目標値（2027）
目標 9：わかりやすい運行情報の提供	市民アンケート調査における公共交通を利用する人の割合	6.8%	向上
	市民アンケート調査における運行情報案内の満足度（鉄道・路線バス・市営バスの満足度平均）	11.0%	向上
目標 10：公共交通を利用する機会の向上	モビリティ・マネジメントの取組件数※	-	年間 10 件
	地域住民との意見交換会や説明会の実施件数	-	年間 20 件

※モビリティ・マネジメント…過度に自動車に頼る状態から公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度（＝かしこく）利用する状態へと少しずつ変えていく一連の取組。

④基本方針4：多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通

目標	目標指標の定義	現状値（2021）	目標値（2027）
目標11：地域公共交通に対する市民の参画度の向上	地域や事業者との協働の取組件数	-	8 件

■参考　目標設定の考え方

目標	目標指標の定義	目標設定の考え方
目標 1:公共交通利用者数の増加	市営バス及び予約式乗合タクシー年間利用者数	第2次香南市振興計画における市営バス年間利用者数の目標値に、令和5年10月運行開始の予約式乗合タクシーの年間利用者数を加えた数値。
	高知東部交通安芸線年間利用者数	公共交通利用促進により、現状の利用者数よりやや増加することを目指して設定。
	ごめん・なはり線市内駅年間乗降者数	
目標 2:公共交通利用者の満足度の向上	公共交通利用者調査による市営バス利用者の満足度	令和 3 年度公共交通利用者調査より市営バスの満足度が「やや不満」「不満」で 4.1%が解消され、ポイント分が満足度向上に繋がることを想定し 63.0%と設定。
目標 3:交通結節点の接続率向上	交通結節点（のいち駅・夜須駅）の接続率	のいち駅および夜須駅について市営バスの各路線から高知方面へ乗継可能の本数の割合を接続率として設定。（ごめん・なはり線が 10～30 分または高知東部交通安芸線が 5～30 分で乗継できる便）目標値は、市営バス各路線で接続率 60%以下の路線に対し、接続可能本数を 1 本以上追加した場合を想定し、81.7%と設定。
目標4:居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築	全人口に対する公共交通不便地域における人口割合	本計画の推進により、本村・山北・西川・徳王子・西山地区等の公共交通空白地域が解消されることにより、公共交通空白地域に住む人口割合を1.0%未満になるものとして目標値を設定。
目標5:適正な財政運営	市営バスの財政負担額・収支率	利用実態やニーズに考慮した効果的な運行によりサービス水準の維持・向上を図りつつ、現状の財政負担額及び収支率を維持することを目指す。
	高知東部交通安芸線の財政負担額・収支率	
目標6:広域アクセス向上による定住・交流人口の増加	香南市人口の社会増加数	第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に示す目標値を踏襲。
	観光入り込み客数	第2次香南市振興計画に示す目標値を踏襲。
目標7:誰もが移動しやすい環境の充実	市民アンケート調査における外出に困っている人の割合	「外出に困ることがある、外出に困っている」と回答した人の割合を現状値として設定し、その改善を図る。
	市民アンケート調査における待合空間の満足度	鉄道・路線バス・市営バスの満足度（「満足」「やや満足」の合計）の平均値を現状値として設定し、満足度の向上を図る。
目標8:乗り継ぎしやすい環境の充実	市民アンケート調査における乗り継ぎ環境の満足度	鉄道・路線バス・市営バスの満足度（「満足」「やや満足」の合計）の平均値を現状値として設定し、満足度の向上を図る。
目標9:わかりやすい運行情報の提供	市民アンケート調査における公共交通を利用する人の割合	主な交通手段について、公共交通を利用している人の割合を現状値として設定し、その向上を図る。
	市民アンケート調査における運行情報案内の満足度	鉄道・路線バス・市営バスの満足度（「満足」「やや満足」の合計）の平均値を現状値として設定し、満足度の向上を図る。
目標10:公共交通を利用する機会の向上	モビリティ・マネジメントの取組件数	年間の取組件数を把握し、目標値として設定。
	地域住民との意見交換会や説明会の実施件数	年間の実施件数を把握し、目標値として設定。
目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上	地域や事業者との協働の取組件数	基本方針4で示す8事業全ての取組を実現することを目標値として設定。

8 目標達成に向けた具体的な施策

(1)施策および具体事業

暮らしの安心と豊かなまちづくりを支える地域公共交通
～みんなで支え未来へつなぐ香南市の地域公共交通～

基本方針1
生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成

- 目標1:公共交通利用者数の増加
- 目標2:公共交通利用者の満足度の向上
- 目標3:交通結節点の接続率向上
- 目標4:居住地と拠点を繋ぐ交通体系の構築
- 目標5:適正な財政運営
- 目標6:広域アクセス向上による定住・交流人口の増加

- 施策1:拠点間を結ぶ利便性の高い地域公共交通への再編と乗り継ぎ機能の強化
- 施策2:通学利用のためのスクールバスの維持存続
- 施策3:広域的取組の検討

基本方針2
利用しやすく使いたくなるような交通環境づくり

- 目標7:誰もが移動しやすい環境の充実
- 目標8:乗り継ぎしやすい環境の充実

- 施策4:誰もが利用しやすい交通環境づくり
- 施策5:交通結節点の強化

基本方針3
公共交通の利用促進と情報発信の強化

- 目標9:わかりやすい運行情報の提供
- 目標10:公共交通を利用する機会の向上

- 施策6:総合的な公共交通活用ガイドの作成・発信
- 施策7:利用したいと感じてもらえる環境整備
- 施策8:公共交通利用のきっかけづくり

基本方針4
多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通

- 目標11:地域公共交通に対する市民の参画度の向上

- 施策9:地域との協働やまちづくりと連携した事業の推進
- 施策10:各部局と連携した事業の推進

- 事業1:わかりやすく利便性の高い市営バスネットワークの形成
- 事業2:市営バス利用者数の少ない地区や交通空白地域に対する新たな交通手段の導入
- 事業3:ごめん・なはり線や高知東部交通安芸線、市営バス等の乗り継ぎの円滑化
- 事業4:定期的な利用者調査
- 事業5:スクールバスの維持存続
- 事業6:のいち駅と高知龍馬空港を結ぶ乗合タクシー認知拡大と新たな輸送方法の検討
- 事業7:のいち駅-土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討
- 事業8:手押し車やベビーカーの方でも利用できる市営バス環境づくり
- 事業9:駅のバリアフリー化の検討
- 事業10:主要バス停における待合環境の改善
- 事業11:市営バス乗務員の研修会の実施
- 事業12:のいち駅の機能充実
- 事業13:サイクル＆バス(ショップ)ライドの推進
- 事業14:パーク＆ライドの推進
- 事業15:公共交通案内(運行時刻表)の更新・充実
- 事業16:地域移動マップ・お出かけプランの作成
- 事業17:公共交通利用促進にむけた情報発信の強化
- 事業18:運賃体系・運賃割引サービスの改善
- 事業19:市営バスパスポートの導入の検討
- 事業20:市営バス運賃のキャッシュレス化の検討
- 事業21:市営バスの車両デザインや愛称のリニューアル
- 事業22:市営バス利用お試しセットの配布の継続
- 事業23:地域での集まりを活用したお出かけイベントの開催
- 事業24:「クルマときどき公共交通」の利用に向けた公共交通利用促進イベント
- 事業25:ファミリー向け割引制度等の導入
- 事業26:地域住民・地域団体との連携
- 事業27:医療施設・商業施設との連携
- 事業28:観光産業と連携した魅力ある交通体系の構築
- 事業29:産官学連携の取組の推進
- 事業30:交通事業者と連携した雇用促進対策
- 事業31:市民の移動手段に関わる市職員や事業者の定期的な情報交換会等の開催
- 事業32:福祉施策との連携
- 事業33:市職員に対する公共交通利用の促進

（2）具体事業

基本方針1　生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成

施策1　拠点間を結ぶ利便性の高い地域公共交通への再編と乗り継ぎ機能の強化

【事業①】わかりやすく利便性の高い市営バスネットワークの形成

事業内容

○市内を運行する「市営バス路線」と「あらたな交通手段」を地域間幹線系統（高知東部交通安芸線）に接続するフィーダー系統と位置づけ、以下のとおり路線再編、交通ネットワークの形成を図る。

○重複・煩雑化しているのいち駅から香我美中心部間の路線を集約・再編し、サービス水準を向上することで分かりやすく利便性の高いバスネットワークの形成を目指す。

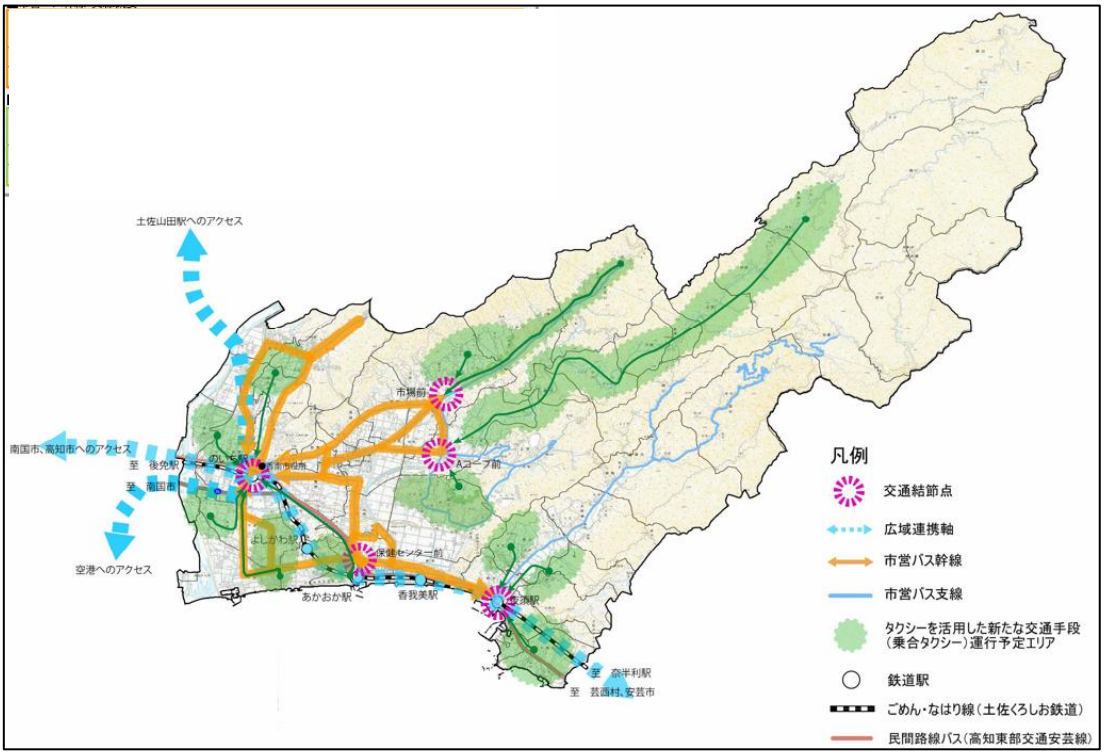
○具体的には、山南・徳王子線、西川線、東川線、のいち香我美線に該当するのいち駅からＡコープ前や市場前の路線の見直し再編を検討する。

○利用者数の少ない路線・区間については、タクシー事業者の車両を活用した乗合タクシーへの移行を行い、バス路線の運行本数の充実を図る。（事業②に記載）

■運行変更点イメージ

	路線名	市街地・幹線路線	端末部・支線路線
1	のいち東部循環線	現行路線を維持（一部ルート変更）	
2	のいち北部循環線	運行本数の充実	－
3	吉川・下井線（上り）	運行本数の充実	－
	吉川・下井線（下り）	運行本数の充実	－
4	吉川・横井線（上り）	運行本数の充実	－
	吉川・横井線（下り）	運行本数の充実	－
5	山南・徳王子線	シンプル化・再編	運行本数の充実
6	西川線（上り）	シンプル化・再編	運行本数の充実
	西川線（下り）	シンプル化・再編	運行本数の充実
7	東川線（上り）	シンプル化・再編	乗合タクシー（予約式）へ移行
	東川線（下り）	シンプル化・再編	乗合タクシー（予約式）へ移行
8	土居・赤岡線	運行本数の充実	－
9	深渕・母代寺線	乗合タクシー（予約式）へ移行	
10	のいち西部線	乗合タクシー（予約式）へ移行	
11	のいち・香我美線（上り）	シンプル化・再編	－
	のいち・香我美線（下り）	シンプル化・再編	－
12	羽尾・細川線（上り）	現行路線を維持	
	羽尾・細川線（下り）	現行路線を維持	
13	千切・行間循環線（右回り）	乗合タクシー（予約式）へ移行	
	千切・行間循環線（左回り）	乗合タクシー（予約式）へ移行	
14	手結・住吉線	乗合タクシー（予約式）へ移行	

■運行イメージ（101 頁：地域公共交通ネットワーク図（案）再掲）



実施主体	香南市、市営バス運行事業者、タクシー事業者					
実施時期（年度）	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	準備	実施			見直し	

【事業②】市営バス利用者数の少ない地区や交通空白地域に対する新たな交通手段の導入

事業内容

○利用者数の少ない市営バス路線・区間の地区や公共交通空白・不便地域については、タクシー事業者の車両を活用した乗合タクシーの導入を目指す。

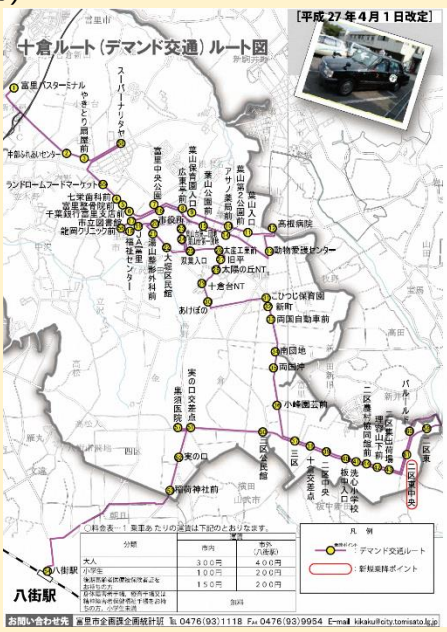
○現在市営バスが運行していない地区で公共交通空白となっている地区では、地区住民と十分に協議し、必要に応じて新たな交通手段の導入を検討する。

■乗合タクシー導入概要（予定）

運行開始	令和5年 10 月から実証運行を経て本格運行へ移行
対象路線（区間）	東川線（下河内～奈良峠）、深渕・母代寺線、のいち西部線、夜須中部線、手結・住吉線、徳王子線、山北・西川線、吉原・横井線、古川・赤岡西部線
運行方式	定時定路線又はエリア型（予約式運行）
車両	タクシー車両
運賃	市営バスと同程度を想定
運行時間帯・便数	地域住民との協議により設定する。
乗降場所	地域住民との協議により設定する。 ※タクシーの活用により車両が小型化し、中山間地域や狭い道路も運行できることから、可能な範囲で地域住民の望む乗降場所の設置が可能。

■例：定時定路線型乗合タクシー（千葉県富里市）

・事前登録の完全予約制で、利用者から予約があった場合に、バスのように決められた乗降ポイント間を定時定路線にて乗合運行している。



実施主体

香南市、タクシー事業者

実施時期（年度）

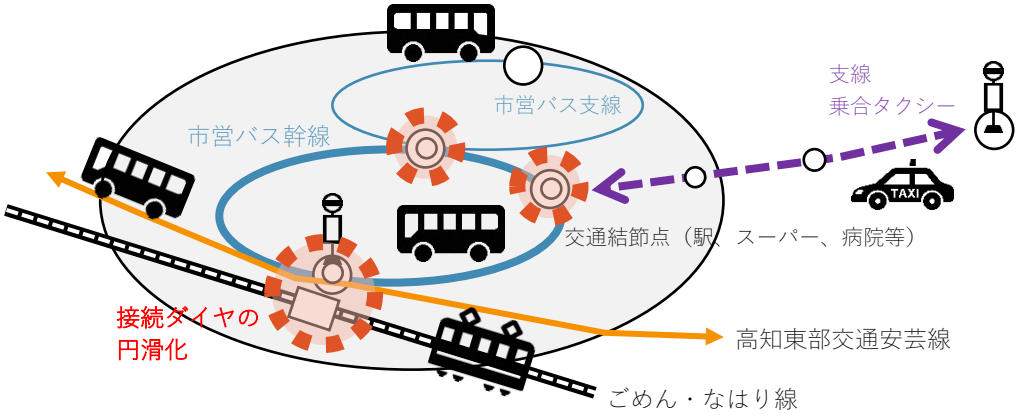
2022	2023	2024	2025	2026	2027
準備	実証運行・検証・本格運行				

【事業③】ごめん・なはり線や高知東部交通安芸線、市営バス等の乗り継ぎの円滑化

事業内容

○ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線、市営バス、事業②の新たな交通手段のそれぞれが、乗り継ぎがしやすくなるよう運行ダイヤの見直しを行う。

■接続イメージ



実施主体

香南市、市営バス運行事業者、土佐くろしお鉄道(株)、高知東部交通(株)、タクシー事業者

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
準備	実施(随時見直し)				

【事業④】定期的な利用者調査

事業内容

○利便性の向上や交通体系の改善に向けた検討材料とするため、公共交通の利用者ニーズや満足度等の把握を目的とした利用者調査を定期的に実施する。

■利用者調査概要

調査頻度	毎年実施
調査対象	各公共交通(市営バス、ごめん・なはり線、高知東部交通安芸線、タクシー)利用者
調査方法	各事業者で検討し実施(アンケート調査等)
調査内容	・利用者属性(性別、年齢、居住地区) ・利用に関する満足度等 ・利用に関する意見・要望

実施主体

香南市、市営バス運行事業者、土佐くろしお鉄道(株)、高知東部交通(株)、タクシー事業者

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
毎年調査を実施					

施策２　通学利用のためのスクールバスの維持存続

【事業⑤】スクールバスの維持存続						
事業内容	○通学の安全を確保するため、現状と同様にスクールバスの維持確保に努め、登下校時間帯以外の空き時間に市営バスを活用している現状の効率的な運行形態を維持する。 ○学校の統合等により新たにスクールバス（場合によってはスクールタクシー）が必要になった場合は、教育機関と協議しながら対応をする。 					
実施主体	香南市、市営バス運行事業者、タクシー事業者					
実施時期（年度）	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	スクールバスの運行（学校の統廃合等で新たに必要であれば随時対応）					

施策３　広域交通との連携強化

【事業⑥】のいち駅と高知龍馬空港を結ぶ乗合タクシー認知拡大と新たな輸送方法の検討						
事業内容	○のいち駅と高知龍馬空港を結ぶ空港乗合タクシーの認知拡大を図るとともに、高知県東部広域地域公共交通網形成計画の主要施策である、のいち駅と高知龍馬空港を結ぶ新たな輸送方法について高知県及び関係市町村、関連事業者と協議・検討を行う。 					
実施主体	香南市、タクシー事業者、高知東部交通、高知県					
実施時期（年度）	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	乗合タクシー認知拡大に向けた情報発信					
	新たな輸送方法の検討（協議の上、試行・運行も想定）					

【事業⑦】のいち駅-土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討

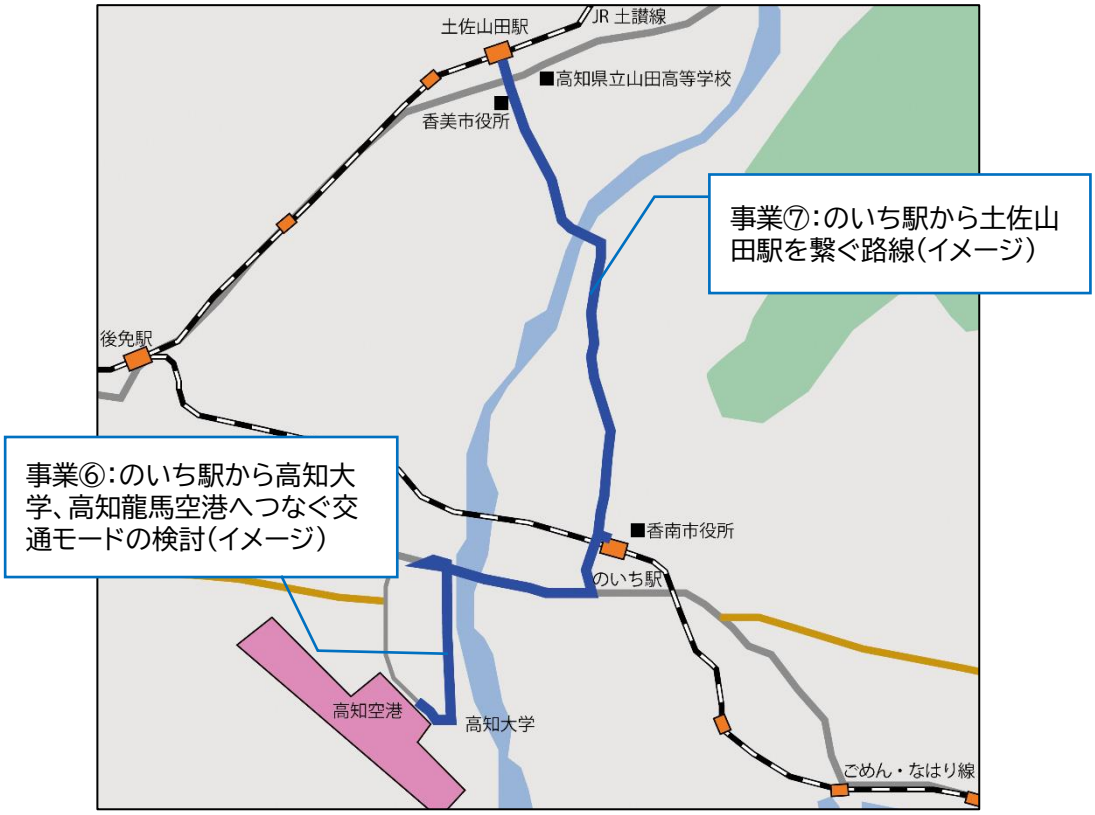
事業内容

○香南市には山田高校へ通学する生徒が多いことや、市民のなかでは香美市の商業施設や医療施設への移動手段を望む声も多くある。そのため、香美市と連携しながら、本市の交通結節点であるのいち駅と土佐山田駅を結ぶ交通モードについて検討する。

■のいち駅-土佐山田駅を結ぶ交通モード概要イメージ

路線	のいち駅（香南市）～土佐山田駅（香美市）
乗降方式	定時定路線を想定
車両	バス車両を想定
運賃	利用ニーズを踏まえ香美市および交通事業者等と協議
運行時間帯・便数	市内から山田高校に通学している生徒や市内の中学生等の利用ニーズを調査のうえ検討
乗降場所	のいち駅、土佐山田駅、商業施設および医療施設のニーズに応じて設定を検討

■交通モード路線イメージ



実施主体

香南市、タクシー事業者、高知東部交通、高知県、（香美市）

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
のいち駅-土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討（協議の上、実証運行も想定）					

基本方針2　利用しやすく使いたくなるような交通環境づくり

施策4　誰もが利用しやすい交通環境づくり

【事業⑧】手押し車やベビーカーの方でも利用できる市営バス環境づくり

事業内容	○市営バス車両の前方席を一部改造し、手押し車ベビーカー、輪行バックなどを置けるフリースペースを整備する。 ○高齢者や妊婦、障がいのある方が乗降する際の介助を乗務員が実施することを検討する。運行の安全性を考慮した上で実施に向けて検討を行う。 ○事業運用にあたっては、事業⑪の市営バス乗務員の研修会を通じて安全に運用できる仕組みづくりとサービス向上を図る。 ■例：みんなのおでかけバス（香川県宇多津町） ・車内にはシルバーカーやベビーカー等の荷物置き場を設けている。
実施主体	香南市、市営バス事業者

実施時期（年度）	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	準備	車両整備（随時対応）および運用実施				

【事業⑨】駅のバリアフリー化の検討

事業内容	○のいち駅の出入口は北出入口と西出入口があり、北出入口は引き戸（手動）となっているが、西出入口は開閉式（手動）となっており、車椅子の方等が利用しづらい状況となっているため、バリアフリーに対応した整備を行う。 ○土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線については、高架駅であるため、利便性を高めるためにエレベーター等の設置によるバリアフリー化を検討する。
実施主体	香南市、土佐くろしお鉄道（株）

実施時期（年度）	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	のいち駅バリアフリー整備					
	土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線のバリアフリー化検討					

【事業⑩】主要バス停における待合環境の改善

事業内容

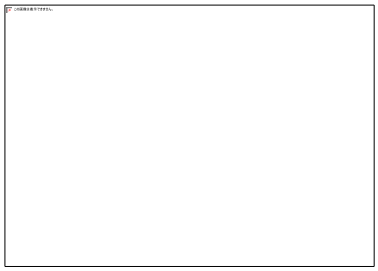
○交通結節点や利用者が多いバス停について、医療施設や商業施設と連携しながら、荒天時でも不便なく過ごすことのできるように、既存の設備の活用や新たにベンチや屋根を設置する等、バス待合所環境の改善を行う。

■対象となるバス待合所（予定）

野地東（野市中央病院）、市場前、Aコープ前、保健センター前等

■整備イメージ

屋根の設置イメージ



ベンチのイメージ

実施主体

香南市、市営バス事業者、商業・医療施設等

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
検討・整備		運用			

【事業⑪】市営バス乗務員の研修会の実施

事業内容

○基本的な接客サービスの向上や、高齢者や障害者等が市営バスを利用するにあたっての理解や配慮の仕方等を、高齢者や障害者等について詳しい方を招き、実際に利用者から寄せられる意見や苦情等を交えながら、学習や意見交換を行い、問題点や課題を共有してサービス改善につなげていく。

■例：車いす利用者に対応した研修（愛知県豊田市・とよたおいでんバス）

・バス事業者と NPO 法人ユートピア若宮が連携し、障害者当事者が事業所に出向いて乗務員へ研修する「コミュニケーション研修」を実している。

・研修では、障害者当事者とバス乗務員の相互理解を深め、実地研修を行うことで、車いす利用者との接し方を理解し、ソフト面での課題の軽減を図ることを目的としている。

実地研修の様子
（出典：NPO 法人ユートピア若宮）

実施主体

香南市、市営バス事業者、社会福祉協議会等

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
企画・準備	研修会の実施（毎年実施）				

施策5　交通結節点の強化

【事業⑫】のいち駅の機能充実

事業内容

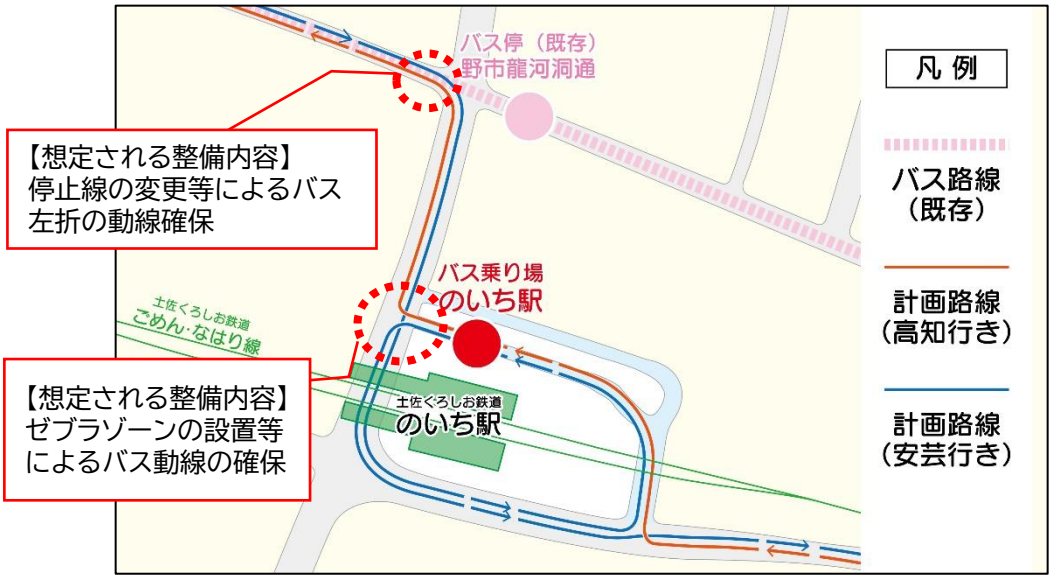
【のいち駅ロータリーへの高知東部交通安芸線乗り入れとタクシー乗降場所設置検討】

○のいち駅におけるごめん･なはり線、市営バスとの連携、バス待ち環境の改善を図るため、のいち駅ロータリーへの高知東部交通安芸線の乗り入れを検討する。

○乗り入れにあたっては、利用者の意見聴取や運行の安全性の確認を十分に行った上で実施するかどうかを判断する。

○上記に合わせて、のいち駅ロータリーへのタクシー乗降場所の設置を検討する。

■のいち駅ロータリーへの乗入れイメージ(案)



【のいち駅舎の情報整理】

○のいち駅舎における各種広告等の情報を整理し、公共交通を利用する方に対して、乗り継ぎや乗降場所等について分かりやすい情報発信を行う。

実施主体

香南市、高知東部交通、タクシー事業者、県中央東土木事務所、香南市観光協会等

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
調整		設計	ハード整備等	乗入れ開始･運行	
のいち駅舎情報整理(随時)					

【事業⑬】サイクル＆バス（ショップ）ライドの推進

事業内容

○通勤通学等での公共交通の利用増を図るために、市営バスの結節点となる市場前やAコープ等に駐輪スペースを確保し、自宅から結節点までの自転車を利用し、結節点からのいち駅まで市営バス利用するサイクル＆バス（ショップ）ライドを推進する。

■とさでん交通のサイクル＆ショップライド

○駐輪スペースにあたっては、通勤通学の自転車利用者やのいち駅で送迎している利用者のニーズ調査を踏まえ、規模・配置検討を行う。

実施主体

香南市、市営バス事業者、商業施設

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
学生、利用者ニーズ調査 駐輪スペース確保・整備		運用			

【事業⑭】パーク＆ライドの推進

事業内容

○現在土佐くろしお鉄道（株）とフジグラン野市が連携しているのいち駅でのパーク＆ライドのニーズが高いことから、パーク＆ライドを推進するため、のいち駅のパークの受入れ場所（駐車場）の検討を行う。

○高知東部交通についても、新たな取組として検討する。

■のいち駅パーク＆ライド（フジグランのいち駐車場）

実施主体

香南市、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、商業施設

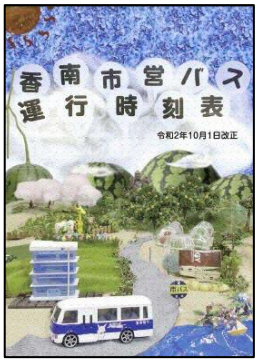
実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
受入れ場所の発掘・検討（随時パーク整備対応）					

基本方針3　公共交通の利用促進と情報発信の強化

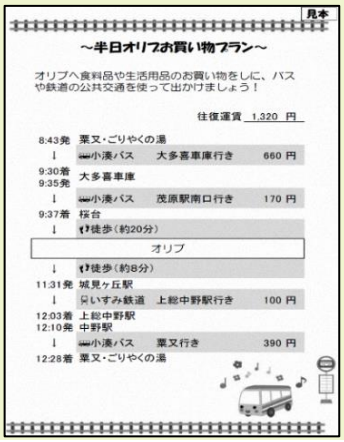
施策6　総合的な公共交通活用ガイドの作成・発信

【事業⑮】公共交通案内（運行時刻表）の更新・充実

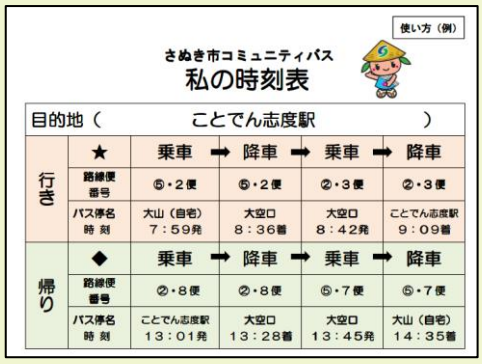
事業内容	○市営バス路線の再編等に伴い、運行時刻表パンフレットの更新を行う。 ○更新にあたっては、市営バスだけでなく、ごめん・なはり線、高知東部交通のバス路線、空港乗合タクシー、福祉交通等、全ての交通手段についての情報を記載するとともに、乗り継ぎダイヤ、利用方法、運賃の支払い方法等の説明を記述したわかりやすいものとする。 
実施主体	香南市、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、タクシー事業者、社会福祉協議会等

実施時期（年度）	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	企画・作成	配布（適宜更新）				

【事業⑯】地域移動マップ・お出かけプランの作成

事業内容	**【地域移動マップ】** ○市民が買い物や通院など目的に応じて「何時のどの路線に乗ればよいか」が分かること、また、買い物であれば移動販売やリフレッシュ移動サロン等の移動支援が「いつ行われているのか」等、公共交通やその他移動に関する様々な情報を、各地域や集落毎に整理した「地域移動マップ」を作成し、公共交通や移動支援等の活用促進を行う。 **【お出かけプラン】** ○多くの市民が『公共交通を利用する用事がない』ことから、公共交通の利用促進を図るため、ウォーキングやサイクリングにおける公共交通の利用や、企業従業者に対して飲み会のために公共交通の利用を促す機会づくりとして、モデル経路や待ち時間活用等を提示したモデルルート「お出かけプラン」を検討する。 ■お出かけプランのイメージ（千葉県大多喜町）  見本 ～半日オリブお買い物プラン～ オリブへ食料品や生活用品のお買い物をしに、バスや鉄道の公共交通を使って出かけましょう！ 往復運賃 1,320 円 8:43発 栗又・ごりやくの湯 ↓ 小湊バス 大多喜車庫行き 660 円 9:30着 大多喜車庫 9:35発 ↓ 小湊バス 茂原駅南口行き 170 円 9:37着 桜台 ↓ 徒歩（約20分） オリブ ↓ 徒歩（約8分） 11:31発 城見ヶ丘駅 ↓ いすみ鉄道 上総中野駅行き 100 円 12:03着 上総中野駅 12:10発 中野駅 ↓ 小湊バス 栗又行き 390 円 12:28着 栗又・ごりやくの湯
実施主体	香南市、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、社会福祉協議会、市民等

実施時期（年度）	2022	2023	2024	2025	2026	2027
	企画・作成・配布（随時）					

【事業⑰】公共交通利用促進にむけた情報発信の強化	
事業内容	○公共交通利用促進にむけ事業⑮と⑯で作成した公共交通案内（運行時刻表）や地域移動マップ等を積極的に配布する。 ○定期的な地域住民との意見交換会や説明会を行うことにより、公共交通への理解促進に繋げるとともに、お出かけ時に路線の乗り継ぎ方等で困らないように、「私の時刻表」の作成を促進する。 ○運転免許返納者に対して公共交通の運行情報を提供するため、警察署に事業⑮で作成した公共交通案内（運行時刻表）等の配布協力依頼をする。 ○GPS や地図情報を活用した運行情報の提供等、IoT 等のデジタルを活用した情報発信の取組を推進する。 ■例：さぬき市の「私の時刻  使い方（例） さぬき市コミュニティバス 私の時刻表 目的地（ ことでん志度駅 ） 行き ★ 乗車 ➡ 降車 ➡ 乗車 ➡ 降車 路線便番号 ⑤・2便 ⑤・2便 ②・3便 ②・3便 バス停名 時刻 大山（自宅） 7：59発 大空口 8：36着 大空口 8：42発 ことでん志度駅 9：09着 帰り ◆ 乗車 ➡ 降車 ➡ 乗車 ➡ 降車 路線便番号 ②・8便 ②・8便 ⑤・7便 ⑤・7便 バス停名 時刻 ことでん志度駅 13：01発 大空口 13：28着 大空口 13：45発 大山（自宅） 14：35着
実施主体	香南市、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、南国警察署、市民
実施時期（年度）	2022 2023 2024 2025 2026 2027 積極的な情報発信（随時） 定期的な住民との意見交換や「私の時刻表」の作成（随時）

施策7　利用したいと感じてもらえる環境整備

【事業⑱】運賃体系・運賃割引サービスの改善	
事業内容	○ごめん・なはり線及び高知東部交通安芸線は運賃設定の見直し検討を行うとともに、各種運賃割引サービスの継続・改善を行っていく。 ○市営バスは、交通結節点等を料金変更ポイントとし、運賃体系をエリアで変更する等、よりシンプルでわかりやすい運賃体系を目指す。新たに導入を目指す乗合タクシーについては市営バス運賃との整合性や運行距離、地区住民の意見等を踏まえて決定する。
実施主体	香南市、市営バス運行事業者、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、タクシー事業者
実施時期（年度）	2022 2023 2024 2025 2026 2027 市営バス新運賃検討・協議 運用 鉄道、路線バス運賃設定の見直し、各種運賃割引サービスの継続・改善（随時）

【事業⑲】市営バスパスポート（期間限定乗り放題）の導入の検討

事業内容

○市営バスは現金や回数券支払い対応となっているため、市営バス間の乗り継ぎ利便性の向上等、市営バスをより利用しやすくするためのサービスとして、どの路線でも乗り放題となるパスポートの導入を検討する。

■例：昼のりワイド-時間帯限定乗り放題定期券-（佐賀県佐賀市）

・9 時～16 時限定で佐賀市営バスの全路線が乗り放題となる定期券を発行している。
・定期券は1ヵ月、3 ヵ月、6 ヵ月で販売している。
・また、昼のりワイドの他に中学生・高校生限定乗り放題の「ノリのりワイド」なども実施している。

実施主体

香南市、市営バス運行事業者

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
パスポート検討	運用				

【事業⑳】市営バス運賃のキャッシュレス化の検討

事業内容

○20～64 歳を中心にデジタルを活用した利便性向上の取組のニーズがあることから、市営バス運賃のキャッシュレス化について検討する。なお、導入にあたっては多額の費用を要することから、利用者ニーズを正確に把握し、導入費用と利便性向上を十分に考慮する。（電子マネーカード、交通系 IC カードですか等）

実施主体

香南市、市営バス運行事業者

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
事例調査		需要調査	導入検討・実施		

【事業㉑】市営バスの車両デザインや愛称のリニューアル

事業内容

○市営バスの利用を促すために、バス車両を香南市の特徴を活かしたデザインにリニューアルするとともに、「香南市営バス」に替わる親しみやすい愛称を公募することで、市民がバスに対して関心を持ち、愛着のある乗り物としての意識醸成を図る。

■例：にんまる（三重県伊賀市）

実施主体

香南市、市営バス運行事業者、市民等

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
車両デザイン公募・整備					
	ネーミング公募・検討・運用				

施策8　公共交通利用のきっかけづくり

【事業㉒】市営バス利用お試しセットの配布の継続

事業内容

○市営バス利用のきっかけづくりとして、各年度に 65 才または75才になった方及びなる予定の市民に対して、市営バス運行時刻表や無料お試し乗車券、路線別時刻表を「市営バス利用お試しセット」として令和 2 年度より配布している。配布以前に利用したいことがない方の利用にもつながっており一定の効果があることから、継続して実施していく。

■市営バスお試しセット配布・利用実績

年度（利用期間）	配布者数	利用人数	配布前の利用なし人数
令和 2 年度 （R2.11.1-R3.1.31）	716 人	54 人	8 人
令和 3 年度 （R3.10.15-R3.1.14）	895 人	56 人	14 人

実施主体　香南市

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
継続・運用					

【事業㉓】地域での集まりを活用したお出かけイベントの開催

事業内容

○高齢者のいきいきクラブ等の地域での集まりを活用して、公共交通を使ってお出かけ（買い物や遠足）をしていただき、普段利用していない方も楽しく利用方法を学ぶことができるとともに、イベントをきっかけとして普段の生活に公共交通での移動を取り入れていただくことを目指す。

○また、取組を推進するにあたり、イベントを開催する地域や団体の活動について情報発信を行うことで、公共交通を利用していない市民に対しての利用促進に向けた普及啓発を図る。

実施主体　香南市、市営バス運行事業者、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、市民

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
情報発信によるイベントの開催の推進（随時）					

【事業㉔】「クルマときどき公共交通」の利用に向けた公共交通利用促進イベント等の開催

事業内容

○普段車で利用されている市民をターゲットに、公共交通を大切にする心を育むとともに、公共交通をいつでも利用できる習慣を楽しくつけられることを目指して、利用促進に繋がる教室やイベント等の啓発活動を推進する。

【取組イメージ例】

・家族で楽しみながら参加できるバスや鉄道の乗り方教室の開催

・ウォークラリーや社会見学など参加型イベントの実施

・公共交通を活用した市内各地の地域資源を再発見するツアーの開催　等

■例：選挙期間中、コミュニティバスの運賃を無料にする取組（香川県丸亀市）

【割引内容】

・丸亀市では、選挙啓発の一環として、投票入場券（はがき）または無料乗車券の提示により、コミュニティバスの運賃（同伴のお子様も含む）を無料にするサービスを実施している。

実施主体

香南市、市営バス運行事業者、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、タクシー事業者、市民

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
イベントの企画・開催（随時）					

【事業㉕】ファミリー向け割引制度等の導入

事業内容

○夏休み、冬休み、春休み等の学校の長期休み期間と休日は、家族で一緒に出かけやすいように公共交通を利用した方に、市内の商業施設や観光施設の利用を割引にするなどの制度について導入を検討する。

○また、県で実施している、小学生を対象とした「バス・でんしゃパスポート」や「夏・冬・春休み限定！バスキッズ定期券」と連携し、利用促進を図る。

■例：ファミリー割引制度を実施しているにじバス（東京都小平市）

【割引内容】

・現金、PASMO（パスモ）、Suica（スイカ）等の交通系 IC カード、回数券のいずれかで乗車する大人１名につき、子ども１名の運賃が無料

実施主体

香南市、市営バス運行事業者、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、タクシー事業者、高知県、商業・観光施設、市民

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
制度研究・企画			制度実施		

基本方針4　多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通

施策9　地域との協働やまちづくりと連携した事業の推進

【事業㉖】地域との協働の取組

事業内容	○地域住民主体による移動支援事業（ボランティア輸送、自家用有償運送事業等）の取組を支援する。 ○例えば、地域おこし協力隊による移動支援事業は、公共交通ではカバーできない移動ニーズ（エリア、輸送人数、移動目的等）や外出に困る市民に対しての送迎サービスを展開する。 ■例：ボランティアによる移動支援『そら豆バス』（南房総市富浦地区） ※R3.3 現在休止中 ・バスもタクシーも存在しない地域で、キーマンが高齢者を外出（お出かけ）させることにより生きがいを創出させるため、高齢者の外出意欲創出、安否確認のために始めた取組み。 ・地域の高齢者が、耕作放棄地を無償借用して、そら豆を育て、出荷し、種代を引いた分をバスの燃料費にし、月2回近くのスーパーへ遠足（買い物）に行く仕組みで、自分達の足を自分達で確保している取組であり、地域の人々の生きがいや健康維持にも繋がった。
実施主体	香南市、地域活動団体、市民
実施時期（年度）	2022 / 2023 / 2024 / 2025 / 2026 / 2027 移動支援事業の検討・実施（随時）

【事業㉗】医療施設・商業施設との連携

事業内容	○バス待合環境の改善や施設へのバス車両の乗り入れ、施設内への運行情報の掲示等について、医療施設や商業施設と連携して取り組む。 ■例：コンビニエンスストアと連携した待合スペース（神奈川県横浜市） ・コンビニエンスストアのイートインコーナーをバスの待合スペースとして開放しており、タブレット型バス接近表示機を設置し、バスの運行状況を提供している。 ■例：店舗の風除室を活用した待合環境 ・バス停留所前の店舗（百貨店・パチンコ屋）の風除室にベンチを設置し、バス利用者が休憩できる環境が整備されている。
実施主体	香南市、高知東部交通、医療施設、商業施設
実施時期（年度）	2022 / 2023 / 2024 / 2025 / 2026 / 2027 医療施設や商業施設との協議（協議次第随時対応）

【事業㉘】観光産業と連携した魅力ある交通体系の構築

事業内容

○高知県立のいち動物公園や観光拠点として整備が予定されている三宝山周辺等、観光主要箇所へアクセスできる移動の充実化について検討を行う。

【事業イメージ例】

・休日におけるタクシーを活用した移動支援プログラムの構築

・市内の観光資源を楽しめるツーリズムの造成と公共交通との連携

■例：やまなしワインタクシー（山梨県笛吹市勝沼地区）

・山梨県の笛吹・勝沼地区は 80 を超えるワイナリーが存在するワイナリーが集中するエリアとして知られ、やまなしワインタクシーは乗車場所から定額（時間貸切）にて好きなワイナリーをまわってワインを楽しむタクシーとなっている。

・乗車場所や降車場所も選べ貸切時間も選択することができ、料金は人数に関係なく1台2時間 10,000 円～（タクシーの場合）となり、タクシー 1 台 4 名様までジャンボタクシー1 台 9 名様まで乗車が可能となている。

実施主体

香南市、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、タクシー事業者、観光協会、観光施設

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
検討・企画・実施（随時）					

【事業㉙】産官学連携の取組の推進

事業内容

○公共交通の乗降データの収集などの交通事業者にとっての課題解決を目的として、必要に応じて大学等の研究機関と連携し、路線やダイヤの見直し等に有効活用していく。

■例：タブレット端末で簡単にバス乗降データを把握できるアプリの開発

実施主体

香南市、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、タクシー事業者、大学・研究機関

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
連携・システム等導入（随時）					

施策１０　各部局と連携した事業の推進

【事業㉚】交通事業者と連携した雇用促進対策

事業内容

○高齢化および人員不足が課題となっている乗務員の雇用促進の対応として、高知県等とも連携し、移住定住窓口等における公共交通の情報や雇用情報等を発信することにより、交通産業のイメージアップと雇用マッチングを目指す。

■例：公共交通雇用促進に向けた取組（高知県）
・高知県では、バス運転手専門求人サイト「どらなび」と連携し、ホームページ特集の掲載やイベントでの出展、営業所見学会等によりバス運転手の雇用促進に取り組んでいる。

右図：どらなび HP

実施主体

香南市、土佐くろしお鉄道（株）、高知東部交通（株）、タクシー事業者、高知県

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
企画検討	事業実施				

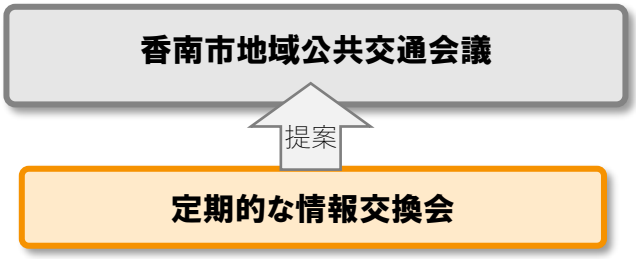
【事業㉛】市民の移動手段に関わる市職員や事業者の定期的な情報交換会

事業内容

○市役所の地域支援課、高齢者介護課、福祉事務所や香南市社会福祉協議会、その他移動支援サービスに関わる事業者が集まり、それぞれの業務のなかで得た情報（移動に困っている人や地区等）を定期的に共有し、事業の連携やサービスの改善につなげていく。

○定期的な情報交換会でとりまとめた意見やアイデアについては、香南市地域公共交通会議で検討しながら事業を推進していく。

■情報交換会の位置づけ（イメージ）



実施主体

香南市、社会福祉協議会、各種移動支援サービス事業者等

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
意見交換会の開催（随時）					

【事業㉜】福祉施策との連携

事業内容

○事業㉛を踏まえ、移動に困っている人に対し、福祉施策の事業により移動支援の充実を図るともに、新たな移動支援サービスについても検討する。

【例】

○医療機関送迎サービスの充実（対象者や利用条件の緩和等）

○リフレッシュ移動サロン事業の改善（対象者の見直し等）

○介護タクシーとの連携（行政支援策の検討等）

○施設送迎車両の活用

※福祉施設の送迎用車両を利用して、高齢者を商業施設や病院等に効率的に送迎する運行システムについて、施設事業者と協議・調整する。

■例：福祉 Mover（群馬県高崎市）

・全国各地を毎日縦横無尽に走るデイサービス送迎車の空席を、AI により有効活用し、法令順守のモデルとした。

・具体的には、配車計画自動化機能と、デイサービス送迎車の空席と移動希望者のリアルタイム最適マッチング機能を兼ね備えた AI プラットフォーム「福祉 Mover」により、デイサービスの業務効率化・標準化と、地域の交通弱者の自由な移動の両方を実現している。

実施主体

香南市、社会福祉協議会、各種移動支援サービス事業者等

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
サービスの改善・充実（随時）					

【事業㉝】市職員に対する公共交通利用の促進

事業内容

○公共交通の利用促進及び利用意識の醸成を目的として、市職員を対象とした公共交通利用促進期間などの導入を検討する。

■例：「職員を対象とした公共交通利用促進月間」の実施（三重県伊賀市）

・令和元年度に 7 月～9 月を公共交通機関利用促進期間として位置づけ、特に 7/29～8/2 はノーマイカーウィークとして、市職員の通勤や公務出張等における率先した公共交通の利用に取り組んでいる。

実施主体

香南市

実施時期（年度）

2022	2023	2024	2025	2026	2027
事業実施（毎年）					

（3）具体事業と実施時期一覧

施策			事業	2022	2023	2024	2025	2026	2027
基本方針1　生活に困ることのなく暮らし続けられるための交通ネットワークの形成									
	施策1	拠点間を結ぶ利便性の高い地域公共交通への再編と乗り継ぎ機能の強化	1 わかりやすく利便性の高い市営バスネットワークの形成	準備	実施			見直し	
			2 市営バス利用者数の少ない地区や交通空白地域に対する新たな交通手段の導入	準備	実証運行・検証・本格運行				
			3 ごめん・なはり線や高知東部交通安芸・高知線、市営バス等の乗り継ぎの円滑化	準備	実施(随時見直し)				
			4 定期的な利用者調査	毎年調査を実施					
	施策2	通学利用のためのスクールバスの維持存続	5 スクールバスの維持存続	スクールバスの運行(学校の統廃合等で新たに必要であれば随時対応)					
	施策3	広域的取組の検討	6 のいち駅と高知龍馬空港を結ぶ乗合タクシー認知拡大と新たな輸送方法の検討	乗合タクシー認知拡大に向けた情報発信 新たな輸送方法の検討(協議の上、試行・運行も想定)					
			7 のいち駅-土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討	のいち駅-土佐山田駅を結ぶ交通モードの検討(協議の上、実証運行も想定)					
基本方針2　利用しやすく使いたくなるような交通環境づくり									
	施策4	誰もが利用しやすい環境改善	8 手押し車やベビーカーの方でも利用できる市営バス環境づくり	準備	車両整備（随時対応）および運用実施				
			9 駅のバリアフリー化の検討	のいち駅バリアフリー整備 土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線のバリアフリー化検討					
			10 主要バス停における待合環境の改善	検討・整備		運用			
			11 市営バス乗務員の研修会の実施	企画・準備	研修会の実施（毎年実施）				
	施策5	交通結節点の強化	12 のいち駅の機能充実	調整 のいち駅告情報整理(随時)		設計	ハード整備等	乗入れ開始・運行	
			13 サイクル＆バス（ショップ）ライドの推進	学生、利用者ニーズ調査 駐輪スペース確保・整備	運用				
			14 パーク＆ライドの推進	受入れ場所の発掘・検討(随時パーク整備対応)					
基本方針3 公共交通の利用促進と情報発信の強化									
	施策6	総合的な公共交通活用ガイドの作成・発信	15 公共交通案内（運行時刻表）の更新・作成	企画・作成	配布(適宜更新)				
			16 地域移動マップ・お出かけプランの作成	企画・作成・配布（随時）					
			17 公共交通利用促進にむけた情報発信	情報発信の仕組みづくり		積極的な情報発信（随時） 定期的な住民との意見交換・「私の時刻表」の作成			
	施策7	利用したいと感じてもらえる環境整備	18 運賃体系・運賃割引サービスの改善	市営バス無料乗車検討・協議 鉄道、路線バス運賃設定の見直し、各種運賃割引サービスの継続・改善（随時）	運用				
			19 市営バスパスポート（期間限定乗り放題）の導入の検討	パスポート検討	運用				
			20 運賃のキャッシュレス化の導入検討	事例調査等		需要調査等	導入検討・実施		
			21 バス車両デザインや愛称のリニューアル	車両デザイン公募・整備	ネーミング公募・検討・運用				
	施策8	公共交通利用のきっかけづくり	22 市営バス利用お試しセットの配布の継続	継続・運用					
			23 地域での集まりを活用したお出かけイベントの開催	情報発信によるイベントの開催の推進（随時）					
			24 「クルマときどき公共交通」の利用に向けた公共交通利用促進イベント等の開催	イベントの企画・開催（随時）					
			25 ファミリー向け割引制度等の導入	制度研究・企画			制度実施		
基本方針4 多様な主体が一緒に考え支えていく持続可能な公共交通									
	施策9	地域との協働やまちづくりと連携した事業の推進	26 地域との協働の取組	移動支援事業の検討・実施（随時）					
			27 医療施設・商業施設との連携	医療施設や商業施設との協議（協議次第随時対応）					
			28 観光産業と連携した魅力ある交通体系の構築	検討・企画・実施（随時）					
			29 産官学連携の取組の推進	連携・システム等導入（随時）					
	施策10	各部局と連携した事業の推進	30 交通事業者と連携した雇用促進対策	企画検討	事業実施				
			31 市民の移動手段に関わる市職員や事業者の定期的な情報交換会	意見交換会の開催（随時）					
			32 福祉施策との連携	サービスの改善・充実（随時）					
			33 市職員に対する公共交通利用の促進	事業実施（毎年）					

（4）地域公共交通特定事業（地域公共交通利便増進事業）の導入について

本市における公共交通の利便性を持続して高めていくために、本計画の施策及び事業を推進するにあたり、地域公共交通利便増進事業を導入する。具体的に地域公共交通利便増進事業と関連させる本計画に記載する事業は次のとおりである。

① 市営バスの路線再編による公共交通ネットワークの利便性向上

○本市を運行する市営バスの路線再編により、市内の公共交通ネットワークを再構築するとともに、市民や来訪者の本市における移動手段確保と利便性の向上につなげる。

［関連する施策］

事業1：わかりやすく利便性の高い市営バスネットワークの形成

② 予約式乗合タクシーの導入による公共交通空白地区における利便性向上

○市営バスの路線再編と合わせて、予約式乗合タクシーを新たに運行開始させることで、市内の公共交通ネットワークを再構築するとともに、公共交通空白地区においても、利便性の高い移動手段の提供を実現する。

［関連する施策］

事業2：市営バス利用者数の少ない地区や交通空白地域に対する新たな交通手段の導入

③ 運賃や料金の設定による利便性向上

○市営バスと予約式乗合タクシーの運賃を見直し、不公平感を感じることがなく、利用の増加につながる運賃（料金）設定を行う。

［関連する施策］

事業 18：運賃体系・運賃割引サービスの改善

事業 19：市営バスパスポート（期間限定乗り放題）の導入の検討

④ 運行回数や運行ダイヤの設定による利便性向上

○予約式乗合タクシーとの路線分割により得られる運行資源を活用し、運行ダイヤの見直し、利用の多い区間の運行回数の増加、他のモードとの乗り継ぎ設定の円滑化につなげ、利便性の向上につなげる。

［関連する施策］

事業1：わかりやすく利便性の高い市営バスネットワークの形成

事業3：ごめん・なはり線や高知東部交通安芸線、市営バス等の乗り継ぎの円滑化

⑤ のいち駅の交通結節点としての機能充実

○現在はのいち駅に乗り入れていないため、市営バスやごめん・なはり線と乗降場所が異なる高知東部交通の路線バスを、のいち駅への乗入れを実現させ、交通結節点としての機能拡充による利便性向上につなげる。

［関連する施策］

事業 12：のいち駅の機能充実

⑥ 公共交通に関する情報発信の拡充

○本市の公共交通に関する時刻表冊子の内容を見直し、記載情報を拡充するとともに、高知東部交通のバスロケーションシステムを誰もが利用できるようにデジタルサイネージを通じた情報発信につなげるなど、利用促進につながる情報発信を充実させる。

［関連する施策］

事業 15：公共交通案内（運行時刻表）の更新・充実

事業 17：公共交通利用促進にむけた情報発信の強化

9　計画の評価と進捗管理

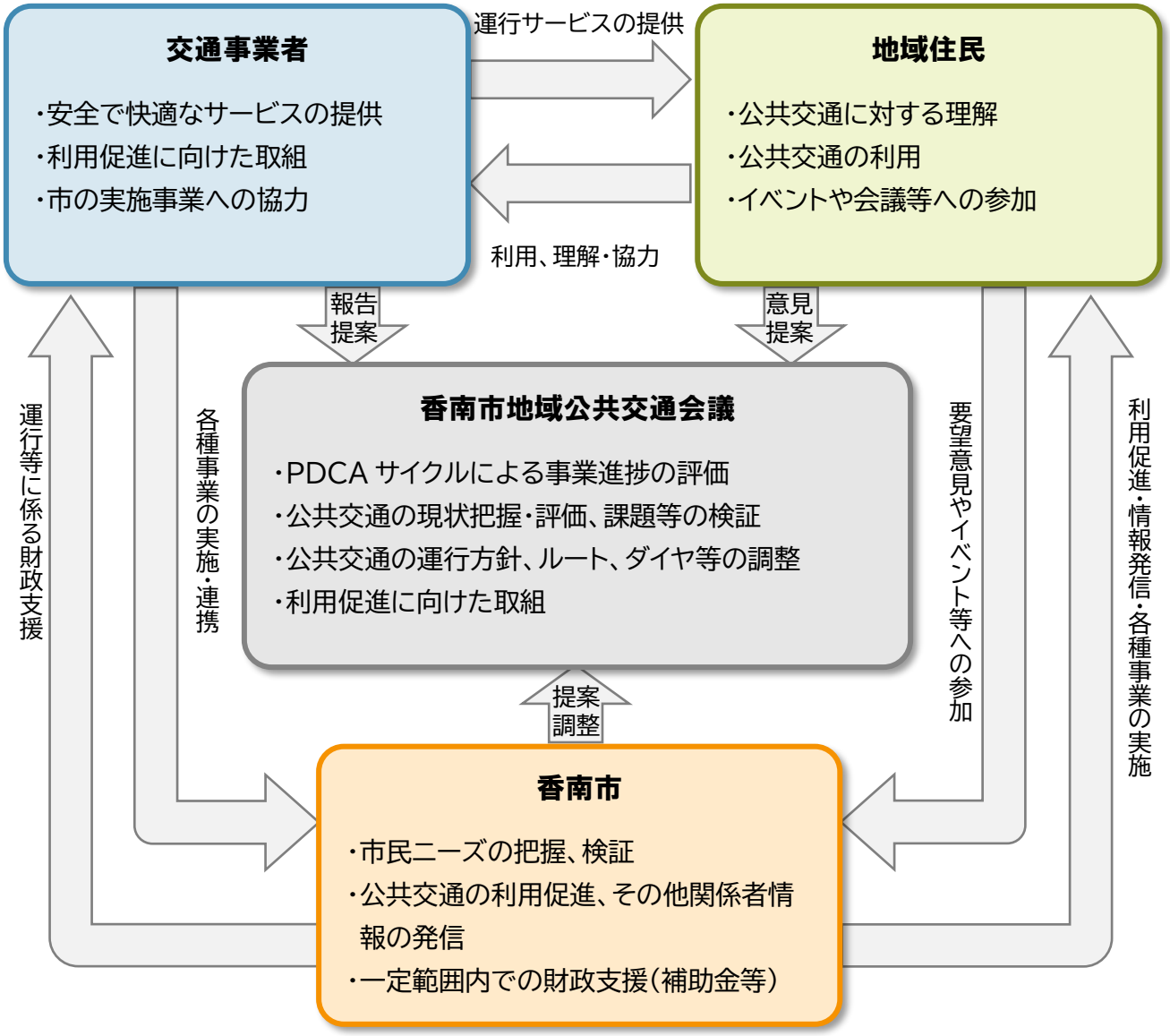
(1)計画の実施及び進捗管理の体制

○持続可能で利便性の高い公共交通の構築・維持を図るためには、交通事業者の自助努力や行政の支援だけでなく、地域住民自らが公共交通を「みんなでつくり、支え、未来へつなぐ」という意識を持って関わっていくことが重要となる。

○市民・来訪者の移動手段を確保する公共交通システムを、魅力ある、使いやすいものとしていくために、これまでの3年に１度の市営バス見直しの取組等を継続させながら、行政、交通事業者、地域住民それぞれが抱える課題について共通認識を持ち、一体となって取り組んでいくことが必要不可欠である。

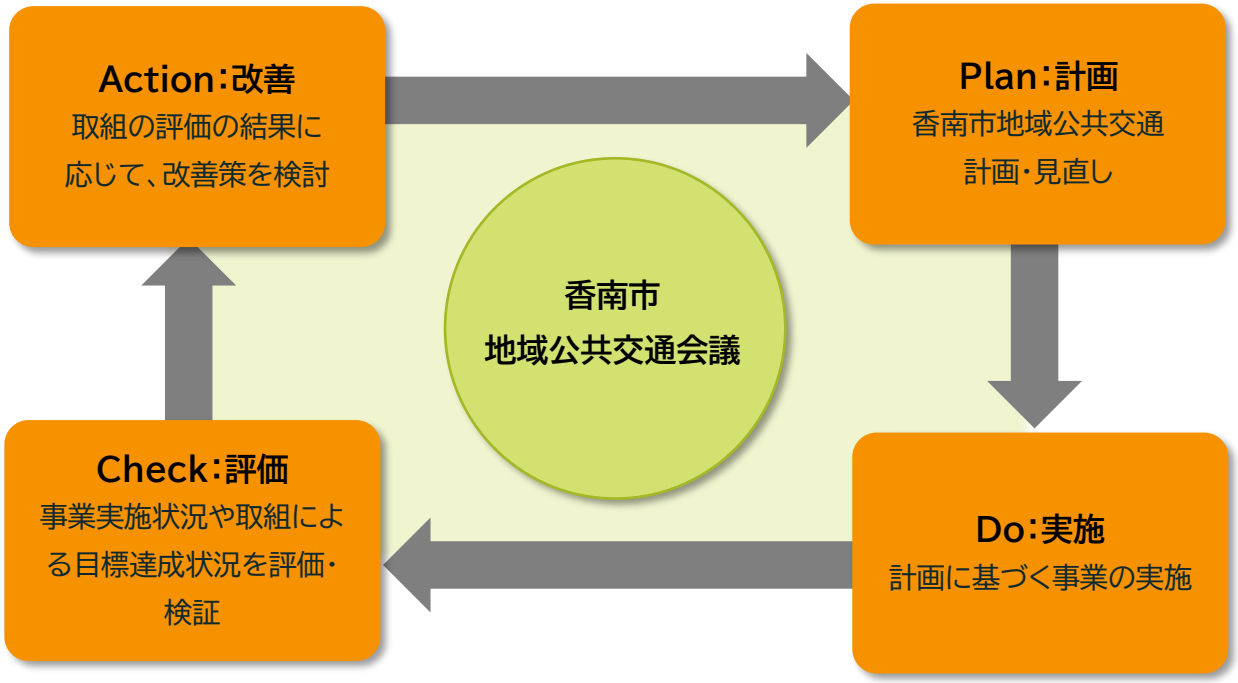
○地域の多様な主体と協働・連携を図りながら、次のような役割分担のもと、各事業に取り組むための体制づくりを進める。

■本計画推進のための地域住民・交通事業者・行政による協働・連携体制



(2)PDCA サイクルの実行

○計画を推進するために、各施策の進捗や目標の達成状況などについて数値目標を指標としながら、評価・検証し、計画(Plan)→実施(Do)→評価(Check)→改善(Action)のサイクルを実行する。



(3)評価方法及びスケジュール

○計画期間におけるPDCAサイクルの具体の評価スケジュールは、下表のとおりとする。

○計画最終年度においては、事業者からの提供による利用実績や市民の公共交通に関する満足度・移動行動等についての各種アンケート調査を踏まえ、計画全体及び公共交通網等の評価を実施し、香南市振興計画と連動し、実施施策の見直し及び新たな施策を追加し、次期計画を策定する。

○また、市営バスの3年に1度の見直し期間に対応して、交通網の再編や施策の評価改善を行う。

○公共交通機関の利用状況及び計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度行うものとし、地域公共交通会議において取組の検証を行う。会議は年度初め(5～6 月頃)に前年度の評価および当年度の取組について調整し、また、次年度の予算を検討する時期(10～11 月)に開催し、取組の進捗確認や次年度の取組について検討を行う。

■評価スケジュール(年度)　　●実施　○必要に応じて実施

	2022	2023	2024	2025	2026	2027
地域公共交通会議の開催	●	●	●	●	●	●
利用者数調査	●	●	●	●	●	●
利用者アンケート調査	○	○	●	○	○	●
市民アンケート調査			●			●
実施事業の評価・見直し	●	●	●	●	●	●
公共交通網の見直し		●			●	
公共交通網の評価			●			●
計画の評価・見直し			●			●
(参考)香南市振興計画(～2026)	○	○	○	○	●	

参考資料

(1)香南市地域公共交通会議　委員名簿（令和8年4月1日時点）

	所属等	氏名
委員	香南市　副市長	北村　浩司
委員	高知東部交通(株)　代表取締役	坂本　泰資
委員	(有)平和観光　代表取締役社長	今西　俊雄
委員	(株)のいちタクシー　代表取締役社長	中村　光明
委員	(有)さくらハイヤー　代表取締役	山本　倫世
委員	(有)野島ハイヤー　代表取締役	野島　康博
委員	(社)高知県バス協会　専務理事	松山　明夫
委員	土佐くろしお鉄道(株)　代表取締役社長	山脇　深
委員	香南市社会福祉協議会　生活支援コーディネーター	別役　修
委員	住民又は利用者の代表	吉田　雅彦
委員	住民又は利用者の代表	山中　節子
委員	四国運輸局高知支局　首席運輸企画専門官	十川　牧子
委員	四国運輸局高知支局　首席運輸企画専門官	安澤　友行
委員	高知工科大学　教授	西内　裕晶
委員	南国警察署　交通課長	岸野　真輔
委員	高知県中央東土木事務所　道路管理課長	宇賀　義政
委員	土佐国道事務所　管理第二課長	門田　健一
委員	高知県交通運輸政策課　課長補佐	岡田　真樹
委員	香南市教育委員会　教育次長	坂本　充子
委員	香南市高齢者介護課長	中島　貴也

（2）香南市地域公共交通会議　開催状況（計画策定関連のみ記載）

①令和3年7月9日（金）

名称	令和3年度 第1回 香南市地域公共交通会議
会議開催年月日	令和3年7月9日（金）
会議開催場所	香南市役所本庁
議題	(1)香南市地域公共交通計画策定について (2)策定スケジュールについて　(3)各種調査について

②令和3年10月26日（火）

名称	令和3年度 第2回 香南市地域公共交通会議
会議開催年月日	令和3年10月26日（火）
会議開催場所	香南市役所本庁
議題	(1)各種調査結果の報告について (2)本市公共交通の課題及び今後の方向性について

③令和3年12月23日（木）

名称	令和3年度 第３回 香南市地域公共交通会議
会議開催年月日	令和3年12月23日（木）
会議開催場所	香南市役所本庁
議題	(1)香南市地域公共交通に関する現状と課題および方向性について (2)地域公共交通計画の目標および具体施策について

④令和4年2月1日（火）

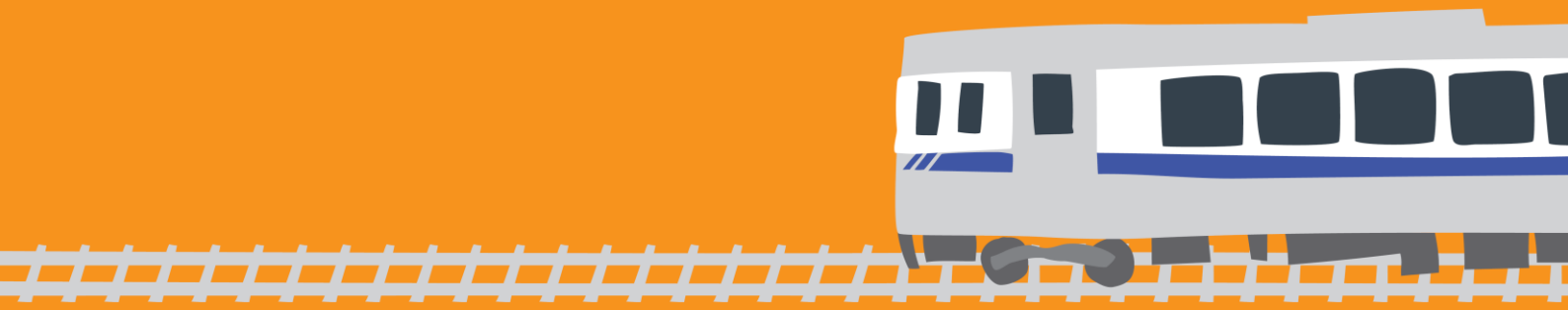
名称	令和3年度 第4回 香南市地域公共交通会議
会議開催年月日	令和4年2月1日（火）
会議開催場所	※新型コロナウイルスにより書面開催とした。
議題	(1)香南市地域公共交通計画（案）について (2)パブリックコメントについて

⑤令和4年3月14日（月）

名称	令和3年度 第5回 香南市地域公共交通会議
会議開催年月日	令和4年3月14日（月）
会議開催場所	香南市役所本庁
議題	(1)香南市地域公共交通計画の策定について (2)次年度以降の取り組みについて

香南市地域公共交通計画
令和4年3月（令和8年5月最終改訂）

発行：香南市
編集：香南市地域支援課
〒781-5292
高知県香南市野市町西野 2706



公共交通をもっと身近に！

ENJOY LIFE

香南市地域公共交通計画
令和４年３月（令和８年５月最終改訂）
発行：香南市
編集：香南市地域支援課
〒781-5292
高知県香南市野市町西野 2706